

札幌市環境基本計画に関する市民等アンケート結果（詳細版）

【掲載内容】

1. 市民向けアンケート調査票
2. 環境基本計画に関するアンケート結果【市民向け】
3. 事業者向けアンケート調査票
4. 環境基本計画に関するアンケート結果【事業者向け】
5. 市民団体向けアンケート調査票
6. 環境基本計画に関するアンケート結果【市民団体向け】
7. アンケート結果【市民向け、クロス集計（性別）】
8. アンケート結果【市民向け、クロス集計（年齢）】
9. アンケート結果【市民向け、クロス集計（住居）】
10. アンケート結果【市民向け、クロス集計（職業）】

問2 現在のあなたが取り組んでいる普段の環境保全行動についてお聞きします。それぞれについて普段の行動にあてはまるものひとつずつに○をつけてください。

全く行っていない	あまり行っていない	どちらともいえない	ときどき行う	いつも行っている				
1	—	2	—	3	—	4	—	5

- ① 植樹活動や水辺の清掃活動など、自然環境を保全する活動に参加している。
1 — 2 — 3 — 4 — 5
- ② 使用済み油や調理くずなどを下水に流さずに処理している。
1 — 2 — 3 — 4 — 5
- ③ 家の庭やベランダなどで植物を育てている。(近隣の公園等での緑化活動を含む。)
1 — 2 — 3 — 4 — 5
- ④ 食材や日用品は無駄なく使い切るようにし、ごみを減らしている。
1 — 2 — 3 — 4 — 5
- ⑤ 外出時にマイ箸を持ち歩いている。
1 — 2 — 3 — 4 — 5
- ⑥ 外出時にマイバッグを持ち歩いている。
1 — 2 — 3 — 4 — 5
- ⑦ 普段使用する日用品や服などは、なるべく手入れや修理をしながら大切に使っている。
1 — 2 — 3 — 4 — 5
- ⑧ 使わなくなった日用品や服などで再利用できるものは、再利用したり、リサイクルショップへ売ったりしている。
1 — 2 — 3 — 4 — 5
- ⑨ ごみの分別区分やごみを出す曜日を守っている。
1 — 2 — 3 — 4 — 5
- ⑩ 使用していない部屋の照明や家電製品などは切るようにしている。
1 — 2 — 3 — 4 — 5
- ⑪ 不要な待機電力を減らすため、使っていない家電製品のコンセントを抜くようにしている。
1 — 2 — 3 — 4 — 5
- ⑫ 夏場の冷房温度は28℃程度(26~30℃)を目安に設定している。
1 — 2 — 3 — 4 — 5

- ⑬ 冬場の暖房温度は 20℃程度（18～22℃）を目安に設定している。
1－2－3－4－5
- ⑭ 食材を購入するときは、北海道産の食材を積極的に選ぶようにしている。
1－2－3－4－5
- ⑮ 食材を購入するときは、季節に応じた旬の食材を選ぶようにしている。
1－2－3－4－5
- ⑯ 普段から和食や北海道内で加工された食品を食べるようにしている。
1－2－3－4－5
- ⑰ 文房具や洗剤などの日用品を購入する際は、エコマークなどの環境ラベルがついているものを選ぶようにしている。
1－2－3－4－5
- ⑱ 環境問題に熱心に取り組んでいる生産者や販売店の商品を選ぶようにしている。
1－2－3－4－5
- ⑲ 徒歩や自転車で行ける範囲の移動は、自動車の利用をできるだけ控えている。
1－2－3－4－5
- ⑳ 日常生活において、電車やバスなどの公共交通を積極的に利用している。
1－2－3－4－5
- ㉑ 自動車を運転する際は、アクセルをゆっくり踏んだり、アイドリングストップを行ったりするなど、エコドライブを実践している。
1－2－3－4－5
- ㉒ 家庭や普段の生活の中で、環境保全に関して話をしている。
1－2－3－4－5
- ㉓ 環境に関する講演会や施設見学などに積極的に参加している。
1－2－3－4－5

問3 以下のそれぞれの行動について、どの程度行いたいと思いますか。あてはまる数字ひとつずつに○をつけてください。

行いたくない	あまり行いたくない	どちらともいえない	やや行いたい	行いたい				
1	—	2	—	3	—	4	—	5

- ① 植樹活動や水辺の清掃活動など、自然環境を保全する活動に参加する。
1 — 2 — 3 — 4 — 5
- ② 使用済み油や調理くずなどを下水に流さずに処理する。
1 — 2 — 3 — 4 — 5
- ③ 家の庭やベランダなどで植物を育てる。(近隣の公園等での緑化活動を含む。)
1 — 2 — 3 — 4 — 5
- ④ 食材や日用品は無駄なく使い切るようにし、ごみを減らす。
1 — 2 — 3 — 4 — 5
- ⑤ 外出時にマイ箸を持ち歩く。
1 — 2 — 3 — 4 — 5
- ⑥ 外出時にマイバッグを持ち歩く。
1 — 2 — 3 — 4 — 5
- ⑦ 普段使用する日用品や服などは、なるべく手入れや修理をしながら使う。
1 — 2 — 3 — 4 — 5
- ⑧ 使わなくなった日用品や服などで再利用できるものは、再利用したり、リサイクルショップへ売ったりする。
1 — 2 — 3 — 4 — 5
- ⑨ ごみの分別区分やごみを出す曜日を守る。
1 — 2 — 3 — 4 — 5
- ⑩ 使用していない部屋の照明や家電製品の電源などを切る。
1 — 2 — 3 — 4 — 5
- ⑪ 不要な待機電力を減らすため、使っていない家電製品のコンセントを抜く。
1 — 2 — 3 — 4 — 5
- ⑫ 夏場の冷房温度は28℃程度(26～30℃)を目安に設定する。
1 — 2 — 3 — 4 — 5

- ⑬ 冬場の暖房温度は 20℃程度（18～22℃）を目安に設定する。
1－2－3－4－5
- ⑭ 食材を購入するときは、北海道産の食材を積極的に選ぶ。
1－2－3－4－5
- ⑮ 食材を購入するときは、季節に応じた旬の食材を選ぶ。
1－2－3－4－5
- ⑯ 普段から和食や北海道内で加工された食品を食べる。
1－2－3－4－5
- ⑰ 文房具や洗剤などの日用品を購入する際は、エコマークなどの環境ラベルがついているものを選ぶ。
1－2－3－4－5
- ⑱ 環境問題に熱心に取り組んでいる生産者や販売店の商品を選ぶ。
1－2－3－4－5
- ⑲ 徒歩や自転車でいける範囲の移動は、自動車の利用をできるだけ控える。
1－2－3－4－5
- ⑳ 日常生活において、電車やバスなどの公共交通を積極的に利用する。
1－2－3－4－5
- ㉑ 自動車を運転する際は、アクセルをゆっくり踏んだり、アイドリングストップを行ったりするなど、エコドライブを実践する。
1－2－3－4－5
- ㉒ 家庭や普段の生活の中で、環境保全に関して話をする。
1－2－3－4－5
- ㉓ 環境に関する講演会や施設見学などに積極的に参加する。
1－2－3－4－5

問4 以下のそれぞれの行動について、あなたができないとしたら、その理由は何ですか。
 あてはまる数字にいくつでも0をつけてください。

1：そもそもその行動を思いつかなかったから	2：自分がやらなければと思わなかったから
3：面倒だから	4：取り組むのに費用がかかるから
5：やろうと思ってもきっかけがなかったから	6：どれもあてはまらない（できている）

- ① 植樹活動や水辺の清掃活動など、自然環境を保全する活動に参加する。
- 1 2 3 4 5 6
- ② 使用済み油や調理くずなどを下水に流さずに処理する。
- 1 2 3 4 5 6
- ③ 家の庭やベランダなどで植物を育てる。（近隣の公園等での緑化活動を含む。）
- 1 2 3 4 5 6
- ④ 食材や日用品は無駄なく使い切るようにし、ごみを減らす。
- 1 2 3 4 5 6
- ⑤ 外出時にマイ箸を持ち歩く。
- 1 2 3 4 5 6
- ⑥ 外出時にマイバッグを持ち歩く。
- 1 2 3 4 5 6
- ⑦ 普段使用する日用品や服などは、なるべく手入れや修理をしながら使う。
- 1 2 3 4 5 6
- ⑧ 使わなくなった日用品や服などで再利用できるものは、再利用したり、リサイクルショップへ売ったりする。
- 1 2 3 4 5 6
- ⑨ ごみの分別区分やごみを出す曜日を守る。
- 1 2 3 4 5 6
- ⑩ 使用していない部屋の照明や家電製品の電源などを切る。
- 1 2 3 4 5 6
- ⑪ 不要な待機電力を減らすため、使っていない家電製品のコンセントを抜く。
- 1 2 3 4 5 6
- ⑫ 夏場の冷房温度は28℃程度（26～30℃）を目安に設定する。
- 1 2 3 4 5 6

⑬ 冬場の暖房温度は 20℃程度（18～22℃）を目安に設定する。

1 2 3 4 5 6

⑭ 食材を購入するときは、北海道産の食材を積極的に選ぶようにする。

1 2 3 4 5 6

⑮ 食材を購入するときは、季節に応じた旬の食材を選ぶようにする。

1 2 3 4 5 6

⑯ 普段から和食や北海道内で加工された食品を食べるようにする。

1 2 3 4 5 6

⑰ 文房具や洗剤などの日用品を購入する際は、エコマークなどの環境ラベルがついているものを選ぶ。

1 2 3 4 5 6

⑱ 環境問題に熱心に取り組んでいる生産者や販売店の商品を選ぶようにする。

1 2 3 4 5 6

⑲ 徒歩や自転車でいける範囲の移動は、自動車の利用をできるだけ控える。

1 2 3 4 5 6

⑳ 日常生活において、電車やバスなどの公共交通を積極的に利用する。

1 2 3 4 5 6

㉑ 自動車を運転する際は、アクセルをゆっくり踏んだり、アイドリングストップを行ったりするなど、エコドライブを実践する。

1 2 3 4 5 6

㉒ 家庭や普段の生活の中で、環境保全に関して話をする。

1 2 3 4 5 6

㉓ 環境に関する講演会や施設見学などに積極的に参加する。

1 2 3 4 5 6

問5 以下の製品等の導入について、あなたの状況に当てはまる数字ひとつずつに○をつけてください。

※賃貸住宅にお住まいなどで回答できない場合は0に○をつけてください

導入する予定はない	今後導入したい	近々導入予定である	すでに導入している	わからない・回答できない			
1	—	2	—	3	—	4	0

- ① 照明器具は、LED や蛍光灯型など、省エネルギーの製品を導入している。
1 — 2 — 3 — 4 0
- ② 冷蔵庫やテレビなどの家電製品は、消費電力の少ない製品を導入している。
1 — 2 — 3 — 4 0
- ③ 住宅は断熱・気密性能の高い住宅を導入している。
1 — 2 — 3 — 4 0
- ④ 高効率な給湯機器（エコジョーズやエコキュートなど）を導入している。
1 — 2 — 3 — 4 0
- ⑤ 高効率な暖房機器（エコジョーズやヒートポンプ暖房システムなど）を導入している。
1 — 2 — 3 — 4 0
- ⑥ 太陽光発電設備を導入している。
1 — 2 — 3 — 4 0
- ⑦ ペレットストーブや薪ストーブなど、木質燃料の暖房を導入している。
1 — 2 — 3 — 4 0
- ⑧ 自動車は低公害車・低燃費車を導入している。
1 — 2 — 3 — 4 0

問6 以下で示すイベントなどに参加したことがありますか。当てはまる数字ひとつずつに○をつけてください。

参加しようと思わない	参加したことはないが、参加してみたい	参加したことがある
1	— 2 —	3

① 地域で行われている環境保全活動に関するイベントへの参加

1 — 2 — 3

② 環境をテーマとする国際交流や国際協力などのイベントへの参加

1 — 2 — 3

③ “さっぽろ雪まつり”などの札幌市で行われているイベントでの環境対策の情報発信への参加

1 — 2 — 3

問7 以下で示すキーワードについてご存知でしたか。当てはまる数字ひとつずつに○をつけてください。

1：全然聞いたことがなかった	2：聞いたことがあるような気がするが、よく知らなかった
3：言葉は知っていたが、詳しくは知らなかった	4：詳しく知っていた

① 「PM2.5」

【解説】「PM2.5とは、大気中に浮遊する微粒子のうち、粒子の大きさが概ね2.5 μ m（マイクロメートル）以下のもの。微細な汚染物質となるため、呼吸器系など健康への悪影響が大きいと考えられている。」

1－2－3－4

② 「生物多様性」

【解説】「生物多様性とは、生態系・生物群系または地球全体に、多様な生物が存在していることを指す。様々な種類の動植物の存在や、同じ種類でも形や色などが違う動植物の存在、さらにはそこに住む動植物の生態系が異なるなど、多様な形態がある。」

1－2－3－4

③ 「気候変動（地球温暖化など）に対する適応対策」

【解説】「気候変動に対する適応とは、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出量の削減や吸収に関する取組を『緩和』と呼ぶのに対し、既に起こりつつある気候変動影響への防止・軽減のための備えと、新しい気候条件の利用を行うこと。渇水対策や農作物の新種開発、熱中症の早期警告インフラ整備などがある。」

1－2－3－4

問8 札幌市と市民が一体となって環境問題の解決に取り組むことによる波及効果について、どのように思いますか。当てはまる数字ひとつずつに○をつけてください。

そう思わない	あまりそう思わない	どちらともいえない	ややそう思う	そう思う				
1	—	2	—	3	—	4	—	5

- ① 新たな技術の普及や雇用の創出などの経済波及効果につながる。
1 — 2 — 3 — 4 — 5
- ② 自然や環境を目当てに来る観光客が増え、新たな観光資源の創出につながる。
1 — 2 — 3 — 4 — 5
- ③ 住宅や居住施設等における生活環境が改善され、健康の増進や福祉の向上につながる。
1 — 2 — 3 — 4 — 5
- ④ 大気や水質環境が改善し、健康な暮らしの増進につながる。
1 — 2 — 3 — 4 — 5
- ⑤ 町内会や市民団体と地域住民との関わりが増えることで、地域コミュニティの活動が活発化し、まちづくりの促進につながる。
1 — 2 — 3 — 4 — 5
- ⑥ 太陽光発電やコージェネレーション設備(ガスなどの燃料から、電気と熱を生み出す設備)などの導入が進み、災害時の電源確保になることで、防災対策にもつながる。
1 — 2 — 3 — 4 — 5
- ⑦ 自動車利用を減らすために公共交通網が整備され、高齢者や子どもなど誰もが使いやすい移動手段の確保をすれば、魅力ある住みやすい都市づくりにつながる。
1 — 2 — 3 — 4 — 5

質問は以上です。長い質問にご協力いただき、ありがとうございました。回答をする上で何か気づかれたことや、ご意見などがございましたら、以下の欄にご自由にお書きください。

環境基本計画に関するアンケート結果【市民向け】

○調査対象：住民基本台帳からの無作為抽出による18～79歳の市民3,000人

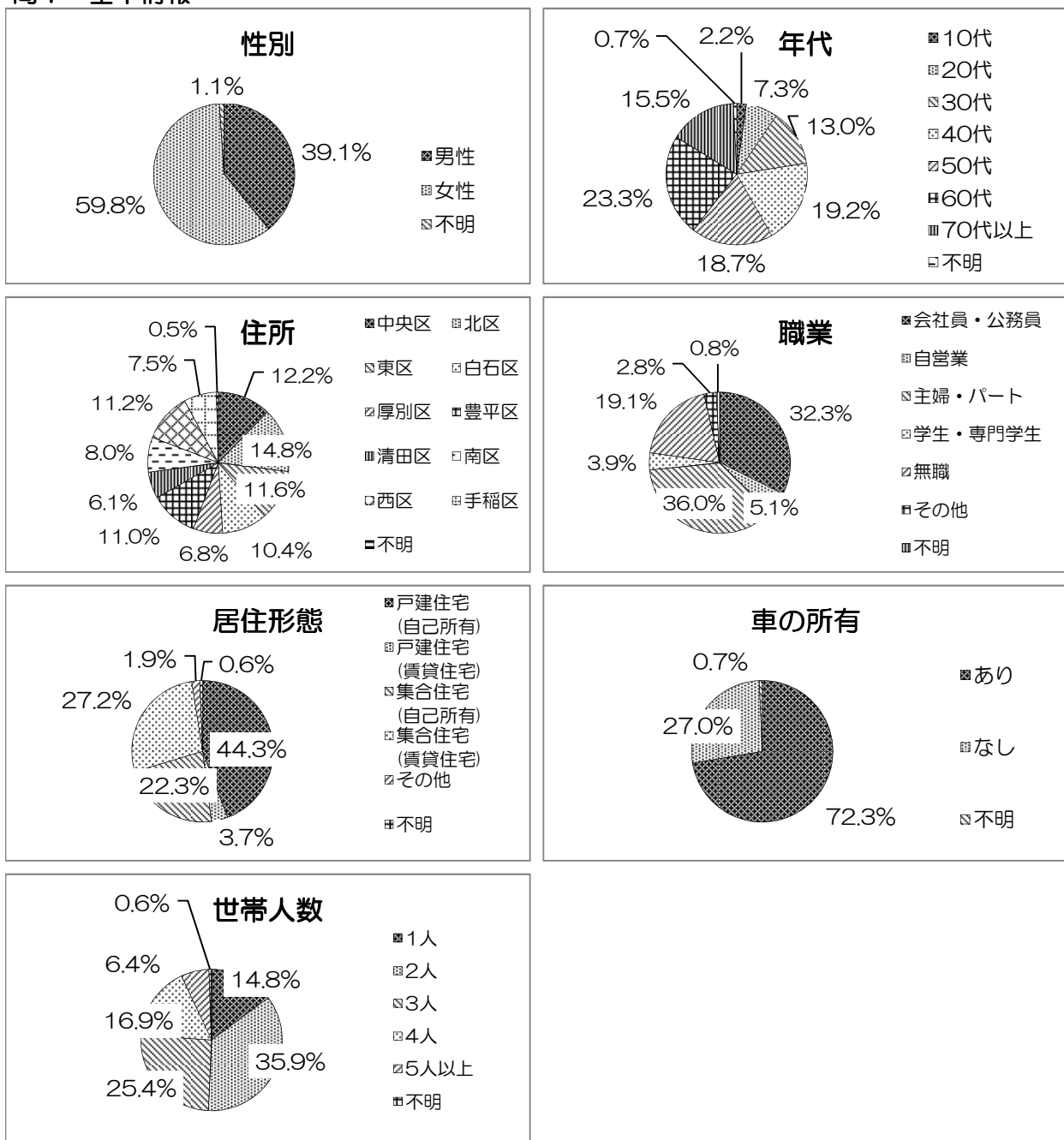
○調査期間：平成27年11月10日（火）～11月30日（月）

○回収率：49.8%（N=1495）

- 調査項目：
- 問1 基本情報
 - 問2 普段取り組んでいる環境保全行動について
 - 問3 環境保全行動に関する関心について
 - 問4 環境保全行動に関する阻害要因について
 - 問5 省エネ住宅・設備等の導入状況（意向含む）について
 - 問6 環境イベントへの参加状況について
 - 問7 新たな環境問題に対する関心について
 - 問8 環境問題の解決に伴う波及効果について

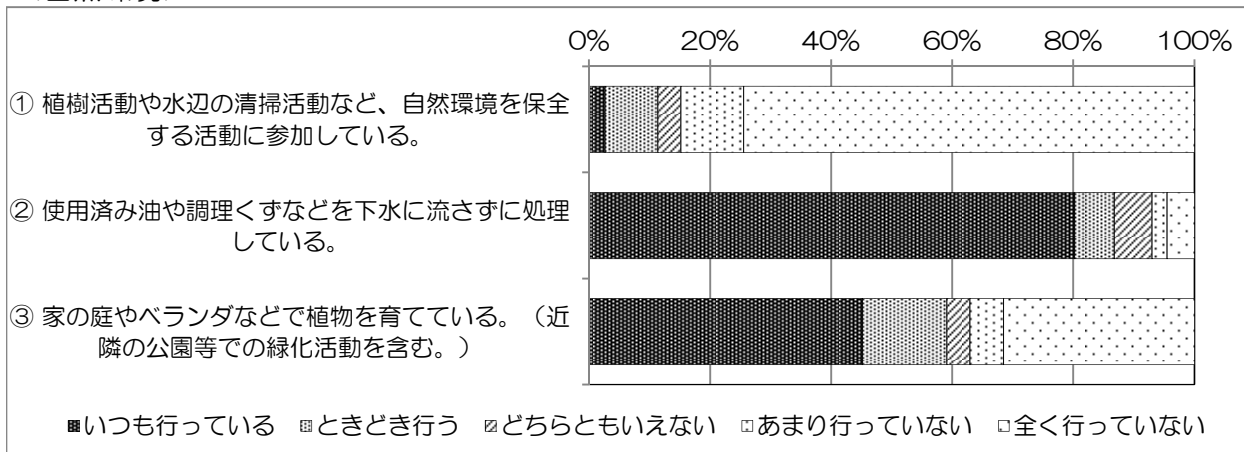
○調査結果

問1 基本情報

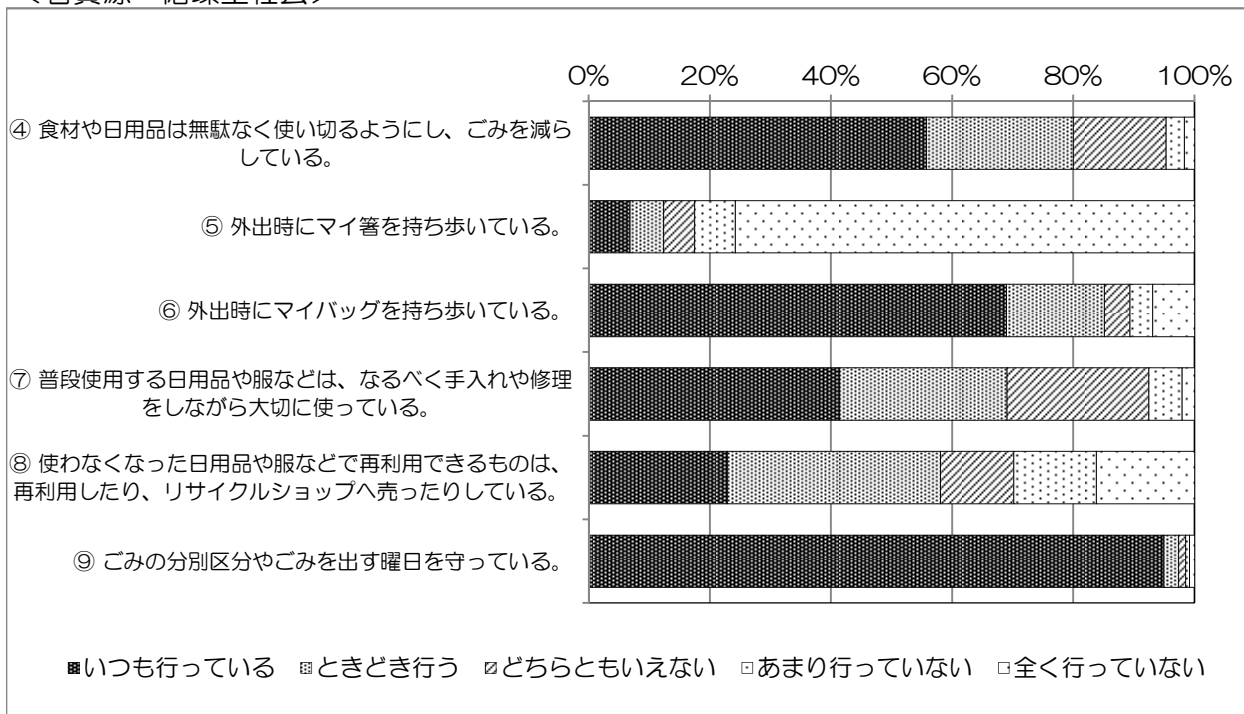


問2 普段取り組んでいる環境保全行動について

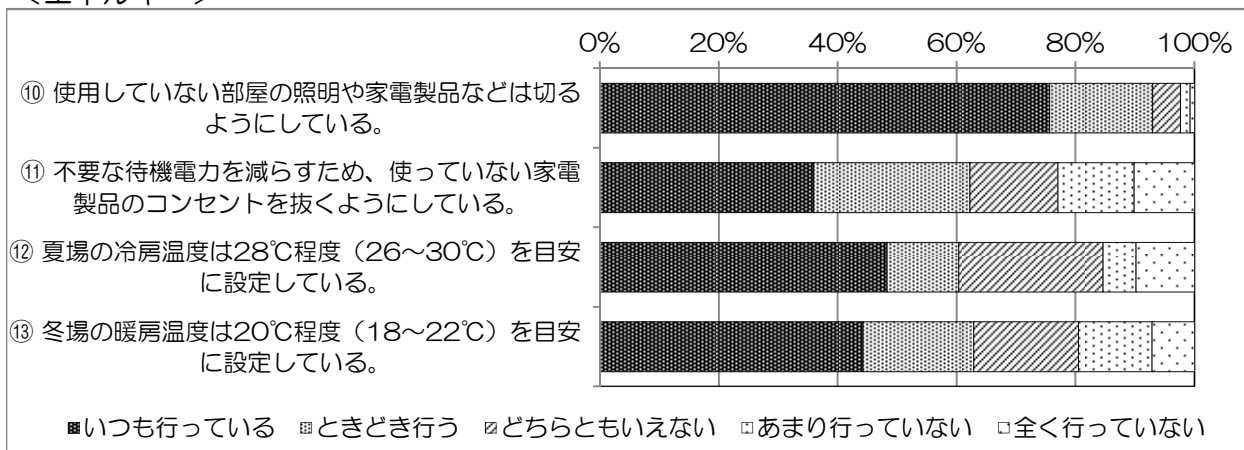
<自然環境>



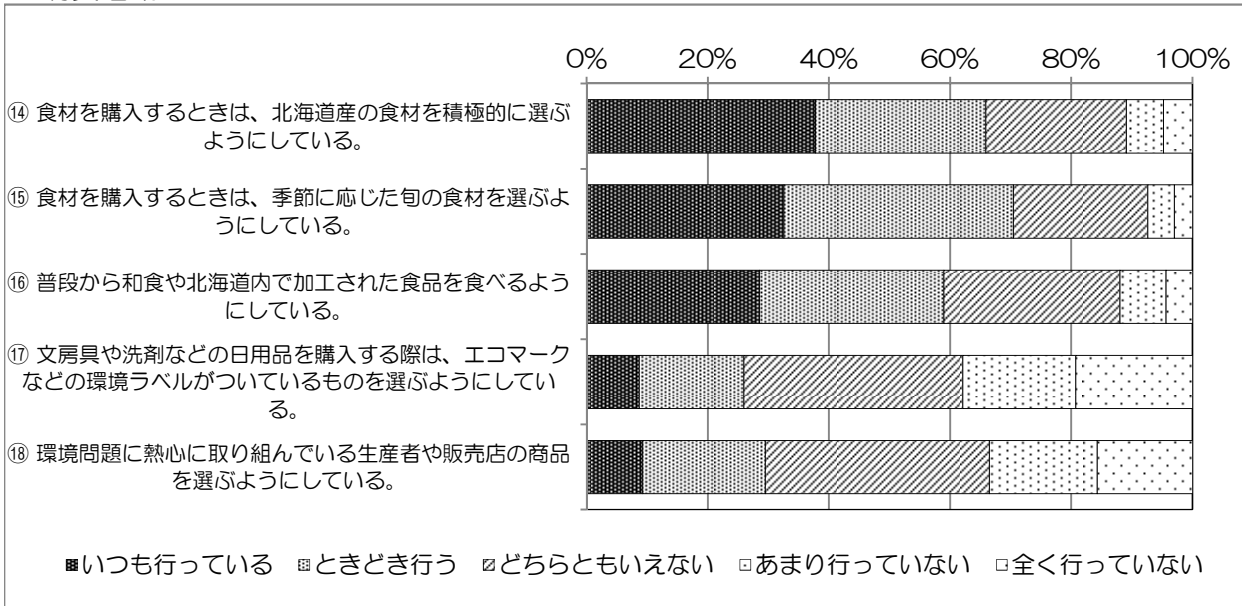
<省資源・循環型社会>



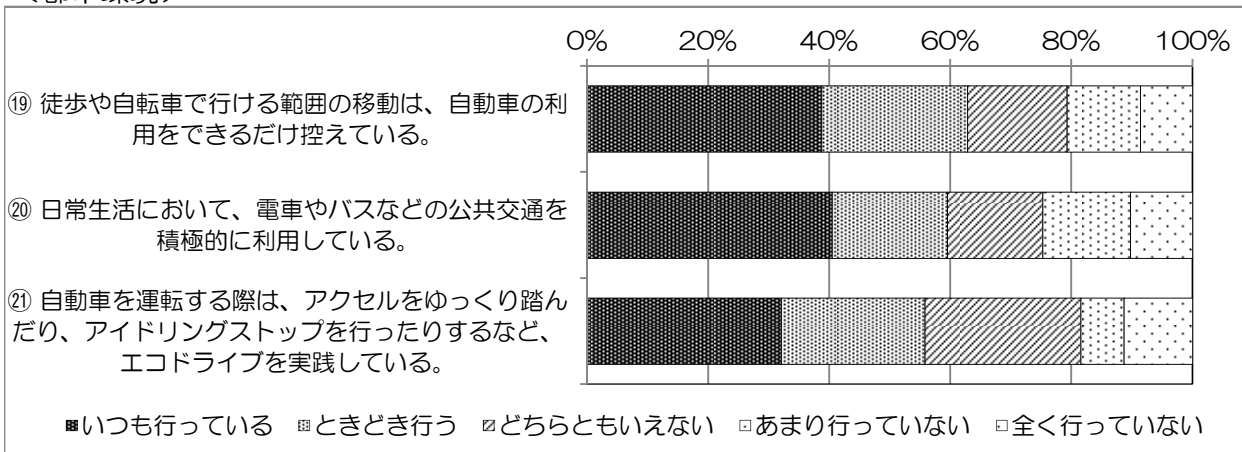
<エネルギー>



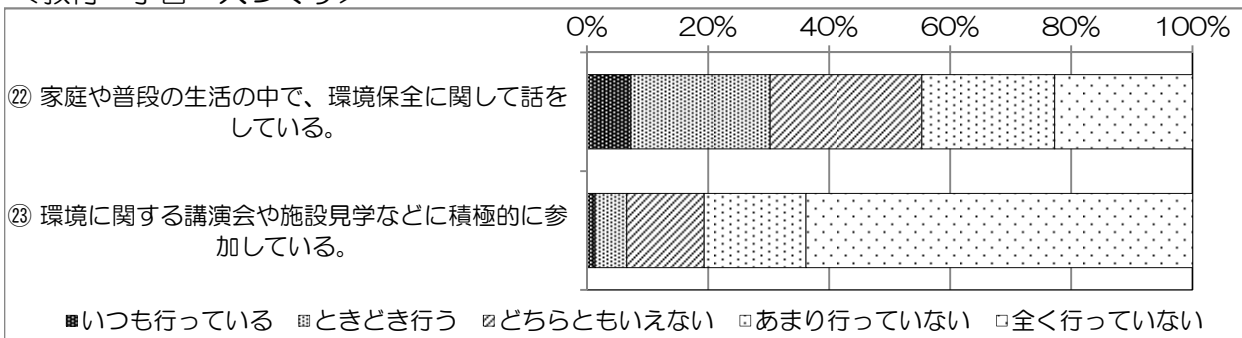
<消費活動>



<都市環境>

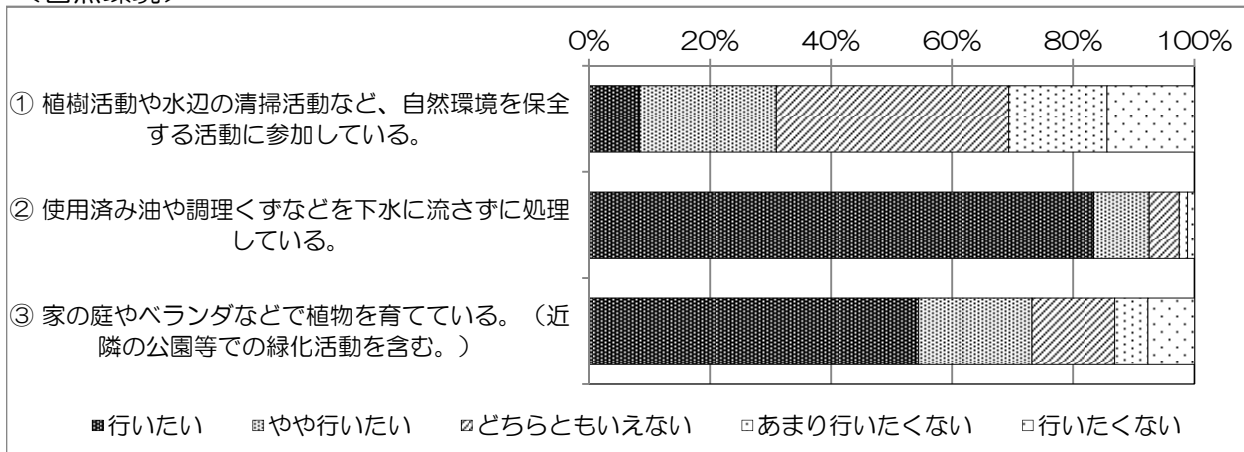


<教育・学習・人づくり>

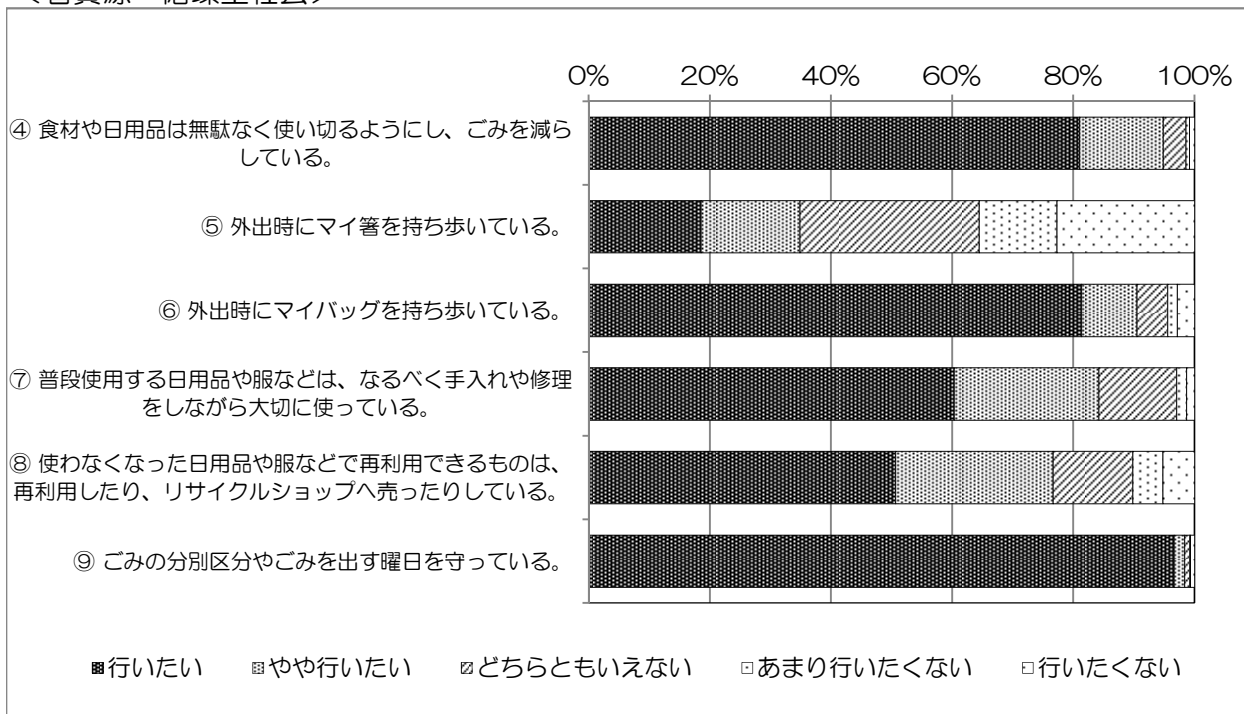


問3 環境保全行動に関する関心（どの程度行いたいと思うか）について

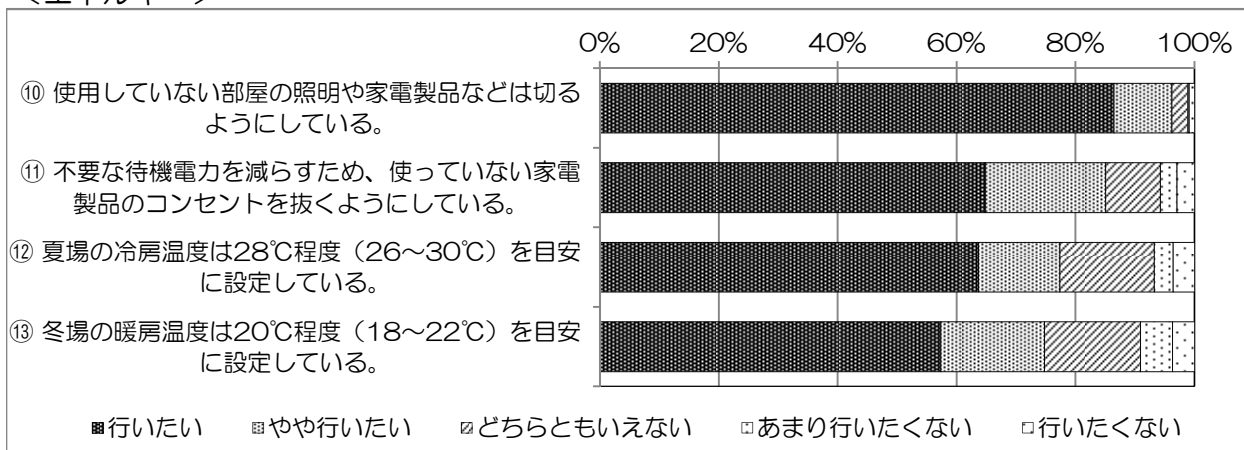
<自然環境>



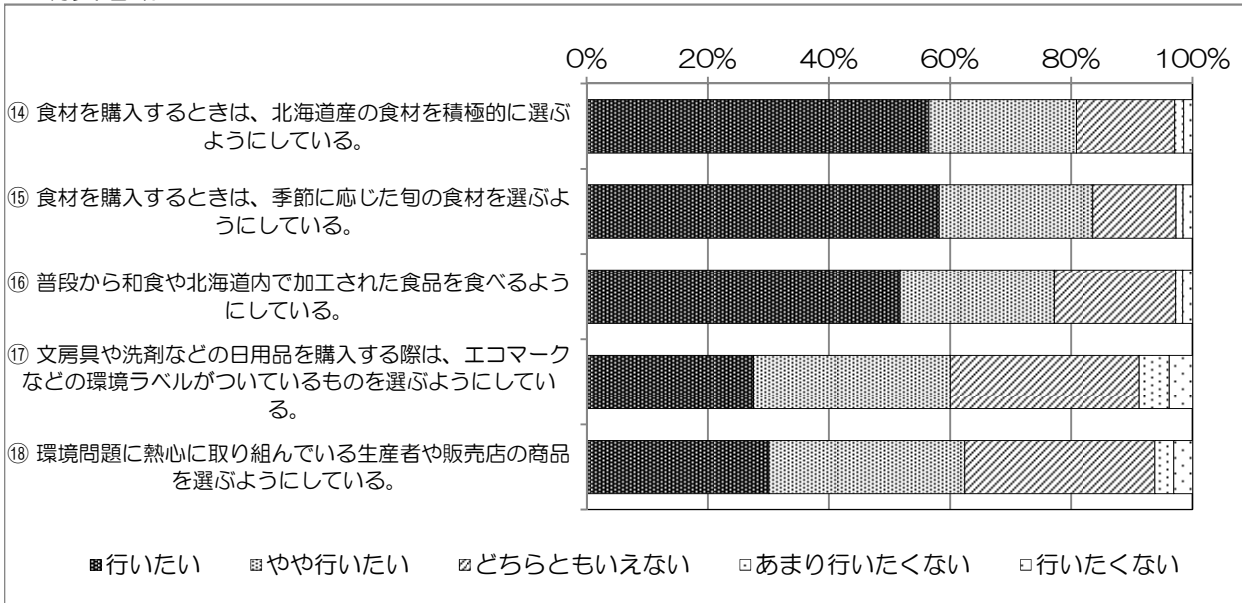
<省資源・循環型社会>



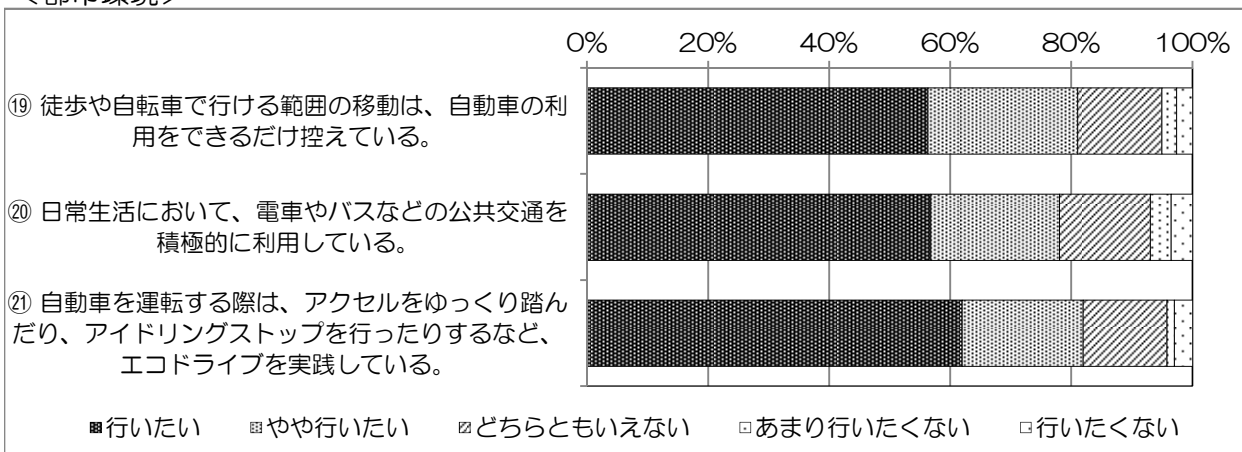
<エネルギー>



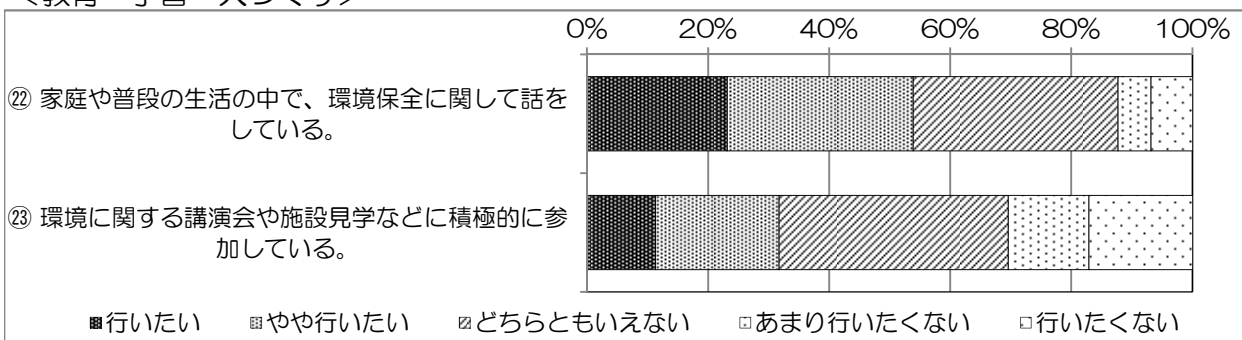
<消費活動>



<都市環境>

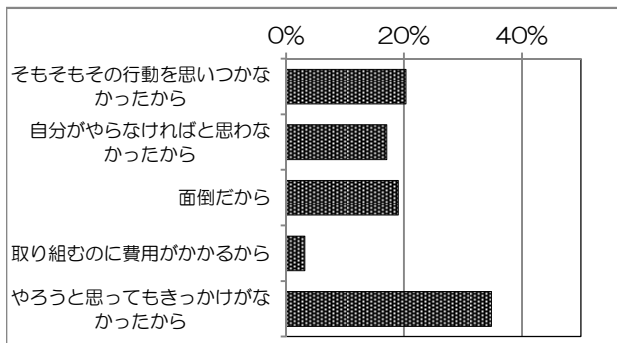


<教育・学習・人づくり>

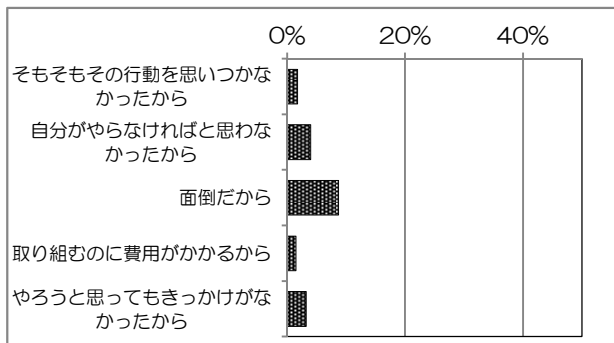


問4 環境保全行動に関する阻害要因（できない理由）について[複数回答]

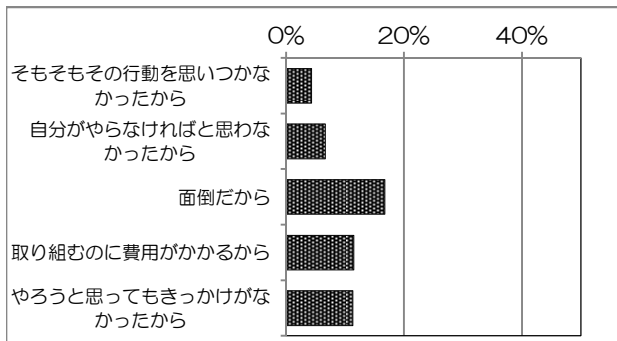
① 植樹活動や水辺の清掃活動など、自然環境を保全する活動に参加する。



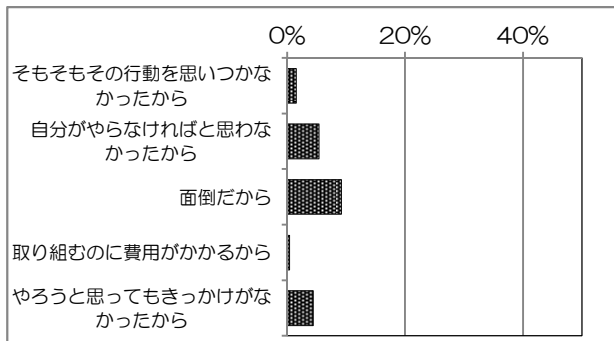
② 使用済み油や調理くずなどを下水に流さずに処理する。



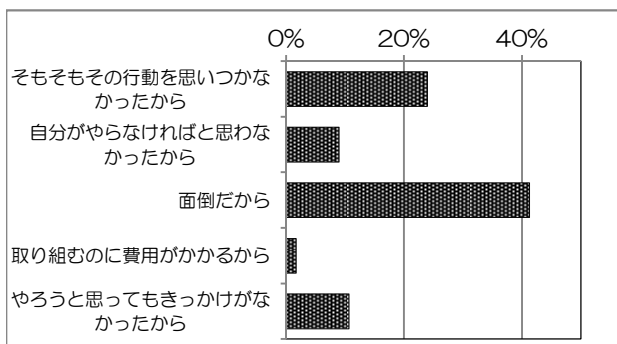
③ 家の庭やベランダなどで植物を育てる。（近隣の公園等での緑化活動を含む。）



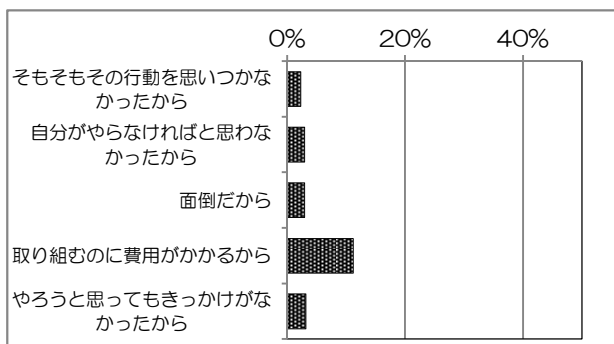
④ 食材や日用品は無駄なく使い切るようにし、ごみを減らす。



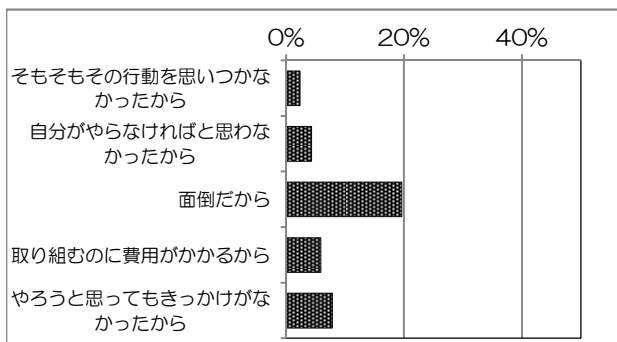
⑤ 外出時にマイ箸を持ち歩く。



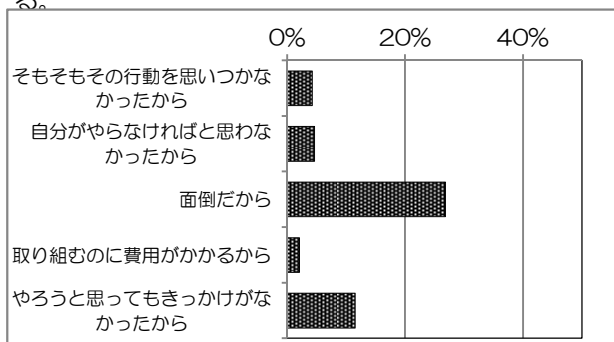
⑥ 外出時にマイバッグを持ち歩く。



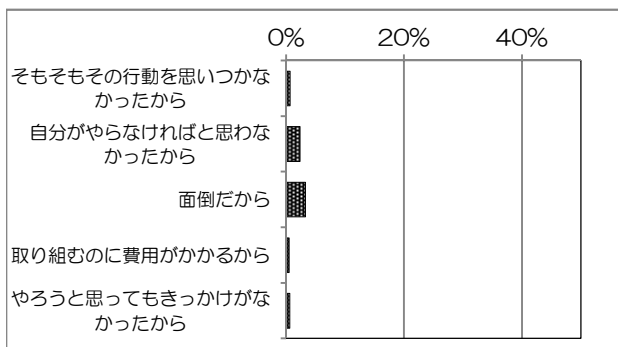
⑦ 普段使用する日用品や服などは、なるべく手入れや修理をしながら使う。



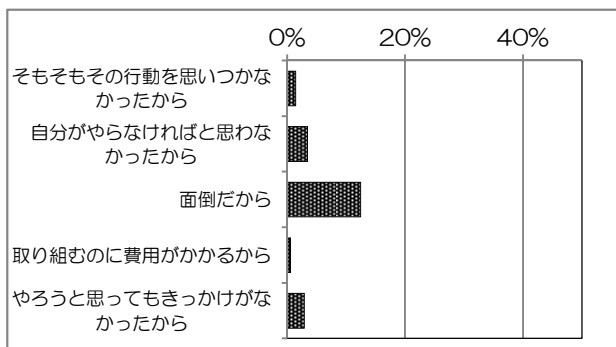
⑧ 使わなくなった日用品や服などで再利用できるものは、再利用したり、リサイクルショップへ売ったりする。



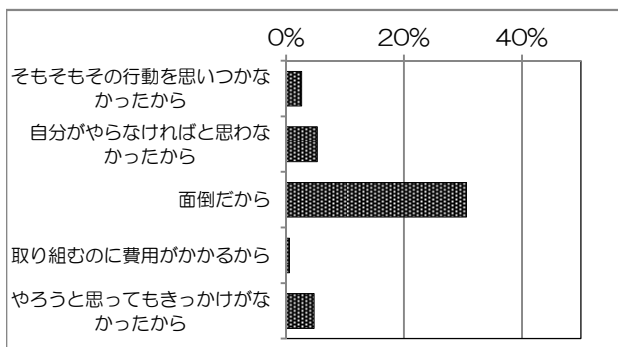
⑨ ごみの分別区分やごみを出す曜日を守る。



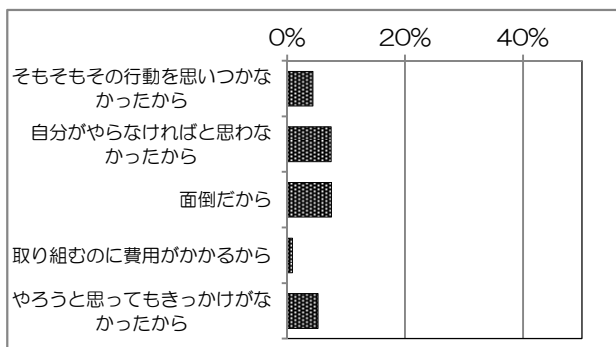
⑩ 使用していない部屋の照明や家電製品の電源などを切る。



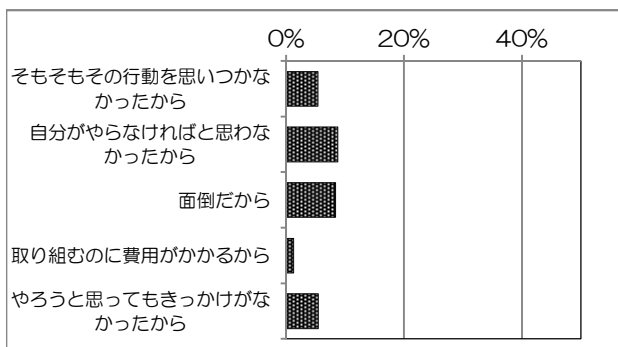
⑪ 不要な待機電力を減らすため、使っていない家電製品のコンセントを抜く。



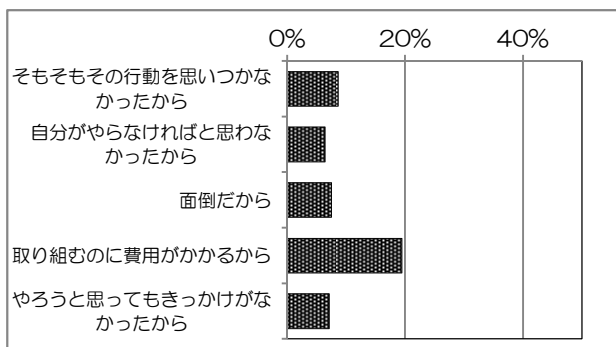
⑫ 夏場の冷房温度は28℃程度（26～30℃）を目安に設定する。



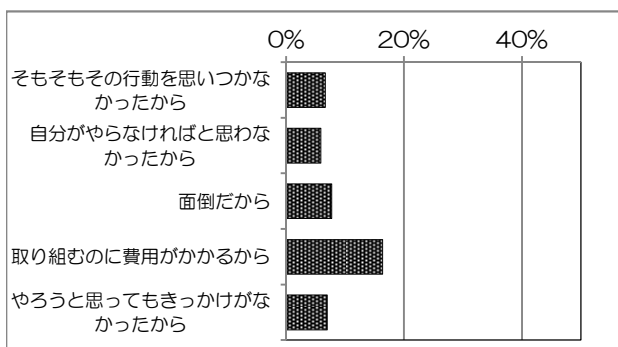
⑬ 冬場の暖房温度は20℃程度（18～22℃）を目安に設定する。



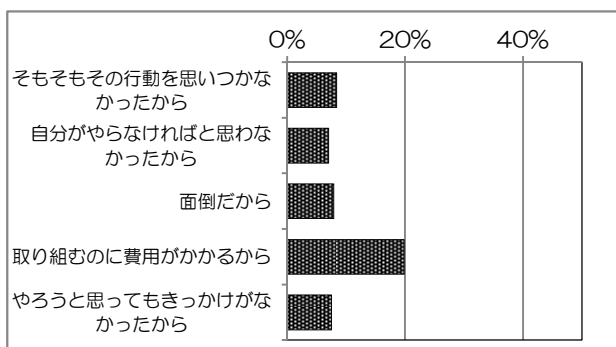
⑭ 食材を購入するときは、北海道産の食材を積極的に選ぶ。



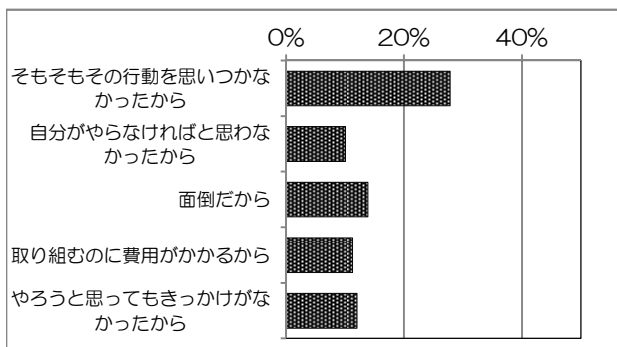
⑮ 食材を購入するときは、季節に応じた旬の食材を選ぶ。



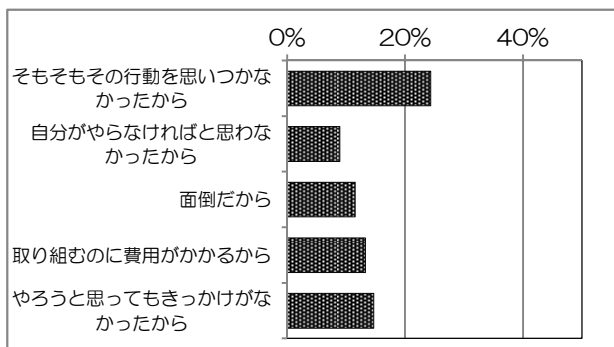
⑯ 普段から和食や北海道内で加工された食品を食べる。



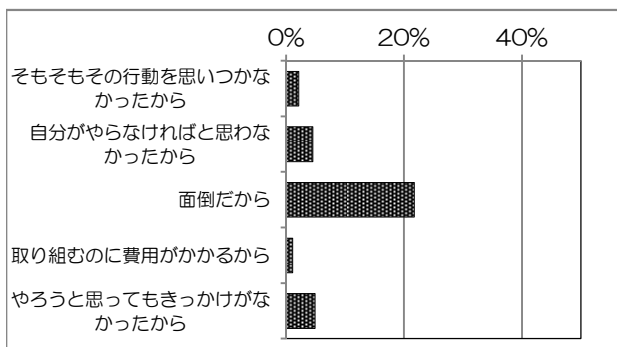
⑰ 文房具や洗剤などの日用品を購入する際は、エコマークなどの環境ラベルがついているものを選ぶ。



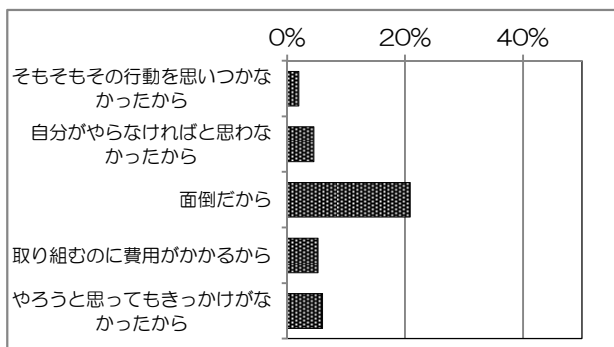
⑱ 環境問題に熱心に取り組んでいる生産者や販売店の商品を選ぶ。



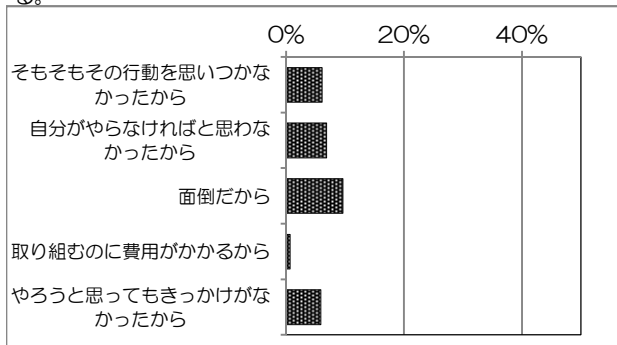
⑲ 徒歩や自転車で行ける範囲の移動は、自動車の利用をできるだけ控える。



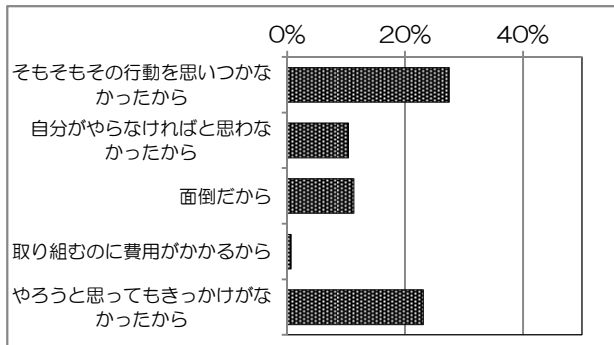
⑳ 日常生活において、電車やバスなどの公共交通を積極的に利用する。



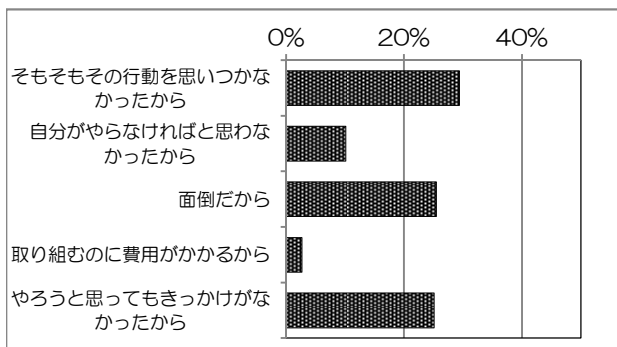
㉑ 自動車を運転する際は、アクセルをゆっくり踏んだり、アイドリングストップを行ったりするなど、エコドライブを実践する。



㉒ 家庭や普段の生活の中で、環境保全に関して話をする。



㉓ 環境に関する講演会や施設見学などに積極的に参加する。

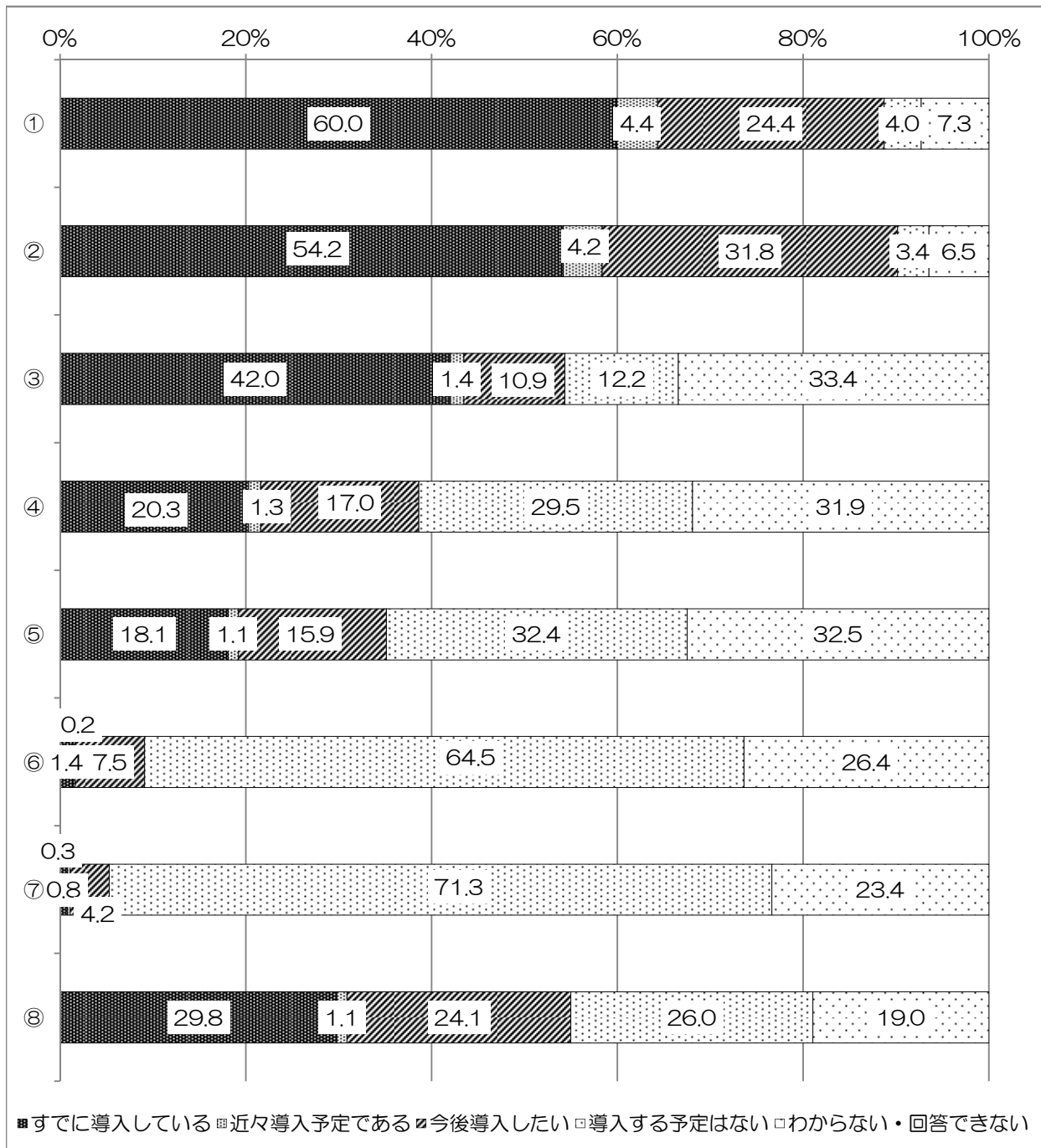


問5 省エネ住宅・設備等の導入状況（意向含む）について

<グラフの各項目>

- ① 照明器具は、LEDや蛍光灯型など、省エネルギーの製品を導入している。
- ② 冷蔵庫やテレビなどの家電製品は、消費電力の少ない製品を導入している。
- ③ 住宅は断熱・気密性能の高い住宅を導入している。
- ④ 高効率な給湯機器（エコジョーズやエコキュートなど）を導入している。
- ⑤ 高効率な暖房機器（エコジョーズやヒートポンプ暖房システムなど）を導入している。
- ⑥ 太陽光発電設備を導入している。
- ⑦ ペレットストーブや薪ストーブなど、木質燃料の暖房を導入している。
- ⑧ 自動車は低公害車・低燃費車を導入している。

問5のグラフ

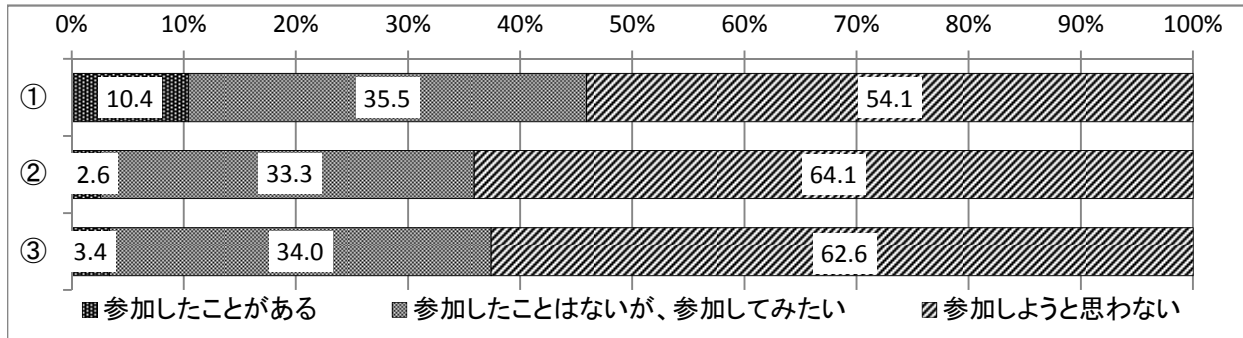


問6 環境イベントへの参加状況について

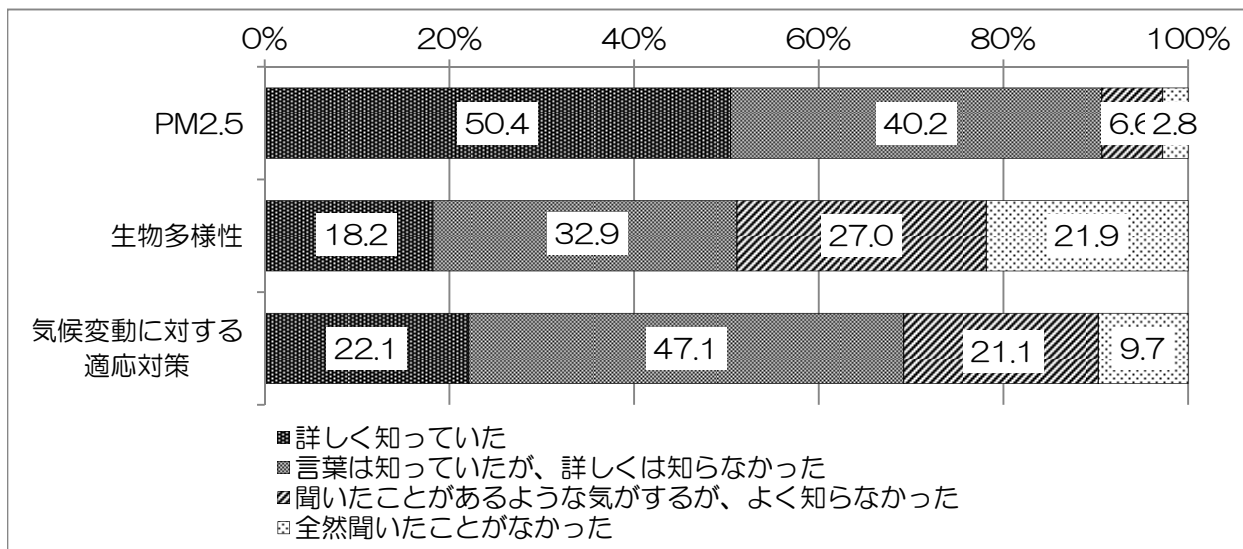
<グラフの各項目>

- ① 地域で行われている環境保全活動に関するイベントへの参加
- ② 環境をテーマとする国際交流や国際協力などのイベントへの参加
- ③ “さっぽろ雪まつり”などの札幌市で行われているイベントでの環境対策の情報発信への参加

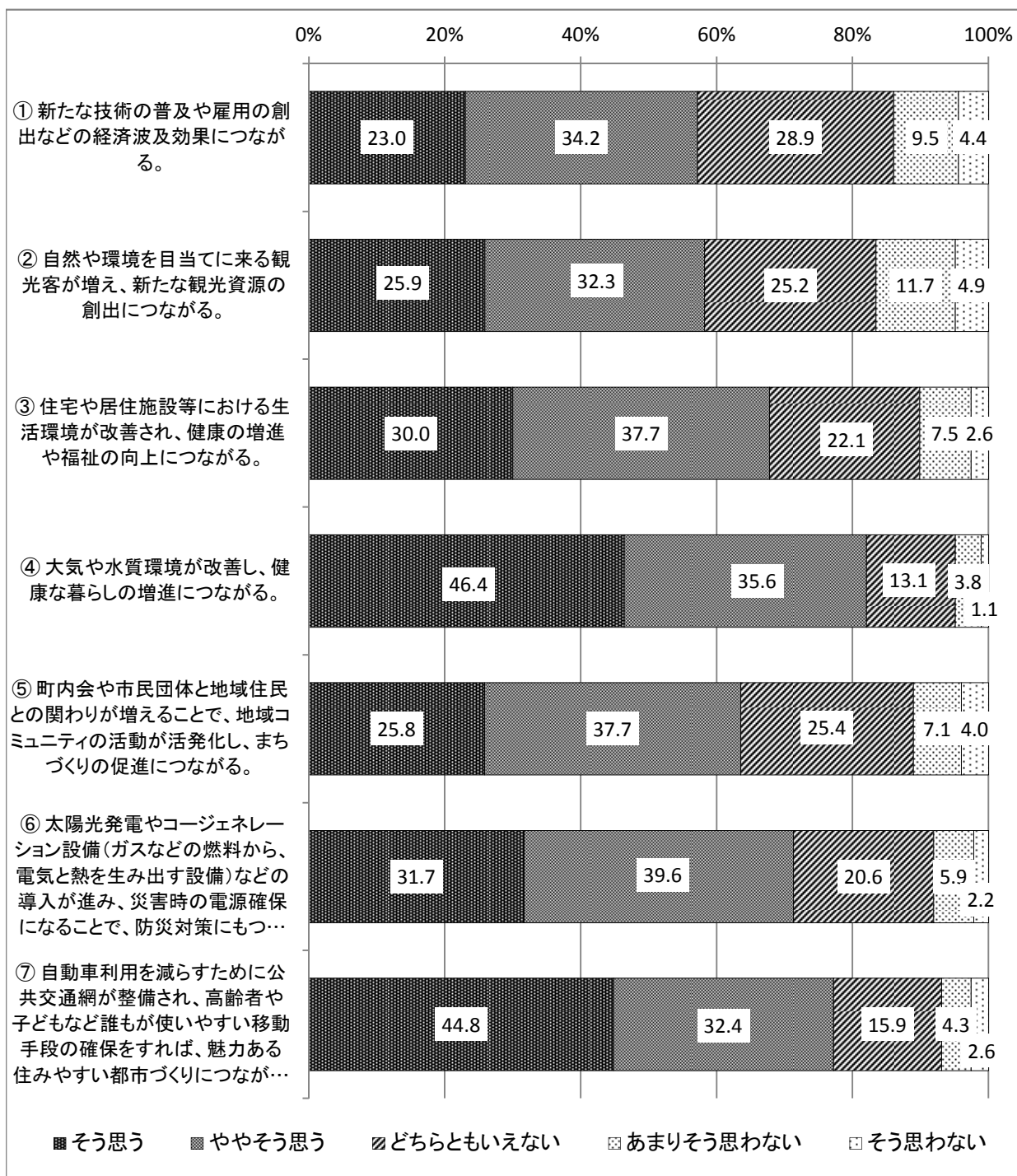
問6のグラフ



問7 新たな環境問題に対する関心について



問8 環境問題の解決に伴う波及効果について (札幌市と市民が一体となって環境問題の解決に取り組むことによる波及効果について)



<自由記述について（件数：236件）>

<消費活動>

○エネルギー	
・省エネ行動	8 件
・省エネ設備	6 件
・再生可能エネルギー	2 件
・脱原発	6 件
○ごみ・3R	18 件
○地産地消、安心・安全	10 件
○ライフスタイル	
・ライフスタイルの変化	2 件
・環境保全行動ができない理由	29 件

<環境全般>

○都市景観	12 件
○交通	43 件
○情報発信・共有	
・情報発信方法等	22 件
・環境保全の取組を知らない	3 件
○アンケートによる気づき・再発見	23 件
○環境保全行動による波及効果	5 件

<市民生活・まちづくり>

○市民参加	4 件
○まちづくり全般	3 件
○コミュニティ（町内会等）	4 件
○少子高齢化	6 件
○観光（外国人観光客）	2 件

<市に対する意見・要望>

○環境に関すること	10 件
○無駄な予算	4 件
○除雪	6 件
○その他	8 件
合計	236 件

※その他、アンケート票自体に関する意見や質問の記載があった。

<自由記述>

<消費活動>

問1～4が同じような内容でしつこい、イヤになった、昨年から会社で冷暖房の温度設定をしているが、冷房の28℃は高すぎる気がする。
冬場の暖房温度が20度程度を目安にしている会社（事業所）はかなり低いと思います。自宅はある程度近い数字にはなっていると思いますが、私の会社も女子更衣室は30度を越えている時もあります。法人に何らかの通知をするか、直接訪問してみるのはいかがでしょうか。
近年の異常気象について最も気にかかる事です。出来る事から取り組んでいく必要を感じています。
人間にとっての便利さや利潤ばかり追求する世の中は長く続かないことを悟るべきですね。自然と共存していくために、人間も自然界の一員としてどんなことができるのか、日常の些細なことからも努力していく必要があります。行政が具体的な取り組みを提起したときは、今後も協力していくつもりです。
・マイバッグやマイ箸等は導入当初からあまり意味のある取り組みだと思っていないので、過剰な推進には違和感を覚える（環境対策にそれほど効果があるとは到底思えず、そういったものの業者に不利益しかもたらしていない） ・本州出身だが、北海道民の暖房のかけすぎにはいつもうんざりしている。室内が暑すぎる。環境対策をしたいなら、そういった意識レベルの改革から取り組むべき。
夏場、冬場の設定温度は我が家クーラーがないので丸印をつけることが出来ませんが、冬場はストーブの温度で何とかつけました…が、夏場はクーラーがあれば設定したく思います。ご苦労さまでした。
選択回答ではありましたが、該当する番号の意味の解釈に戸惑う事がありました。日常生活において、小さな省エネを行っているつもりですが、まだまだ足りないと思っています。社会全体が便利な生活が優先されそれを改善していくのは難しい。もっと子供頃から（学校で）教えていくことが課題とありますが。。
マイはしマイバックはあえて持たない考えです。はしは間伐材の有効活用になるのではと思いますし、ビニール袋は無駄にせずゴミ袋に利用しています。
問5の給湯機器、暖房機器は設備費用が高額なため今すぐ導入しようとは思わない。今使用している機器が故障した時に、他商品と価格やスペックなどのメリット、デメリットを見比べて買い換えや導入を考えたいと思う。
照明器具でLEDについては従来蛍光灯を使用しているが、故障の段階で順次LEDに取り換えている。出来る事から実行していくと良いと思います。
太陽光発電やエコキュートなどすばらしい物だと思うしペレットストーブもいいと思うが、アパートでそういう物はそなえつきの旧式の設備しか使えない状況どうにかならないかなと思いました。先立つものはお金ですね。
エコ商品購入等で、皆の意識を高める為のエコポイント等の工夫があり、消費とエコの両方お得と考えればこれ以外にも地球と健康を結びつける都市づくりが出来たらと思います。
①環境にやさしいとのフレコミでオール電化に協力した人も多かったと思うが、原発事故後、割高を強いられているが、行政は何かしたのだろうか？ ②環境問題に直接関係あるかどうか分からないが、藻岩山山頂施設の工事以来、観光客本位に作ったのか、一般市民には入りやすかった売店・食堂が無くなり、淋しくなった。
エアコンはありません。
・住宅で、地熱エネルギーの設備を導入できるような制度を作ってほしい（冬場ヒートポンプによって18℃程度が保たれるときいています。） ・今後も原発を使用しなくて良い様に、電力消費量を社会全体で控えていくことを続けてほしい。
積雪を利用したエネルギー政策をすすめて欲しい。
泊原発の再稼働を不安に感じています。そうならない様に願っています。
一番の環境破壊は原発事故であると思う。脱原発を強く望みます。
環境問題では「原発問題」が避けて通れないと思います。札幌市に対しては、自然エネルギーからの電力供給のための施策を全国のリーダーとなって声高くすることを節に望みます。泊原発の被害で札幌が消滅することのない様、お願いします。
環境問題で最近気になることは原子力発電による事故などの時に出される放射能の汚染です。北海道の場合は泊原発を止めて、数年経ちますが、何とか電源は保たれていると思います。太陽光や地熱・ガス・風力等もっと頑張って電源を確保しぜひ泊原発を廃炉に行けたらと思います。放射能汚染はすべての努力を無にする悪魔の火です。
家計の大半(特に冬場)がオール電化の為電気代が増えている。原発にたよらない新たなエネルギーを市・道で開発、促進していける活動を行ってほしい。
・福祉の向上に力を入れて下さい。 ・原発稼働反対です。それにかわるエネルギーの確保をお願いします。
東京から約10年前に引越して来た者ですか、引越に際して不用になった本棚等をリサイクルできるように、きれいに清掃して大型ゴミに依頼しました。その後ゴミ清掃車が来て、車の後のゴミ投入口に本棚等を投入しコナゴナにして持って行きました。環境にやさしい街作り等を目指しているのですが、建前でなく小さな事でも確実に行動することが必要だと思います。
ムダなチラシが多く紙のムダ使い、ゴミになっていると思う。ビニール袋はコンビニでも有料にした方が良いと思う。コンビニ、スーパーなど電力を節約している様子がみられない。マンションなども日中も電気がついていいる所が多いと思う。

野菜の皮はなるべくむかずに食しています。ゴミは最小限出さぬ様気をつけています。ゴミ収集場に行くまでにタバコのポイ捨ての処理をいつもしています。
豊平川沿いのゴミを減らしてほしい。バーベキュー禁止にしてほしい。中島公園の中で釣りができるようにしてほしい。
ゴミの選別などで、資源に回るものや環境でも人々が住みやすく考えていくのは、良い方向へとつながっていくと思います。
ゴミを減らすメリットや、環境保全することでどうなるかといったビジョンを発信することで、意識が変わることがあるかもしれないと思いました。
もみじ台団地住民になって4年になります。今月ゴミステーションの問題で昔から住んでいる男性（80代）と意見が別れ女性（70代80代）の方が数が多いので考えているようにはなりませんが、歩道の花壇の事とか昔からの住人がガンとして昔ながらのやり方で新住人の考えを受け付けられない人でどうでもイイヤと思うことがあります。もっと風通しの良い住民同士の付き合いがあれば色々と環境を良くしていけると思います。
皆さんは枯葉を嫌っていますが、私は飼料として利用しています。
環境に対する考え方や取り組みに関するアンケートだと理解しましたが問4の2では油や食べ物で使った食器類を洗う為の洗剤も下水に流れている訳なので環境の事を思うのであれば、洗剤の成分はどうなのでしょう。基準を設定した洗剤を決める（開発）べきだと思います。
札幌は雪解け後、路上のゴミが凄いと思います。中学生に通学路や学校周辺のゴミ拾いをさせると良いと思います。私も子供に良く使う公園がゴミだらけになっていた時ゴミ袋を持たせて帰りにゴミを拾っておいでと言った事があります。
北24条地下鉄付近に住んでいます。昨年に比べゴミの回収は少し改善されたように思いますが、まだまだ歩道にゴミが散らばり汚れているのを多々見かけます。恥ずかしい事と思います。何とか午前中の早い時間での回収・集積の方法等を考えていただきたいです。また街中なのにプロパンガスです。なぜ都市ガス化が進まないのか不思議でなりません。
特にゴミ問題はいつまでも続く事なので身近の事を一人ひとりが確認しないと。
埼玉から一昨年転居してきました。道路沿いのゴミのポイ捨てが多く感じます。モラル向上を願っています。
住んでいるマンションのキッチンに元々ディスポーザーがついており、生ゴミだけはいつもディスポーザーにかけてしまっています。使用油はコープで売っている紙バック式の捨て袋購入し、燃えるゴミに捨てています。
身近な環境問題はゴミステーションです。違反ゴミに×シールをはっていても、そのゴミを片付ける人は違反ゴミを出した人ではありません。違反ゴミをどうしたらいいのか、市からちゃんとしたルールを作してほしいです。
通販利用が多いのでダンボールがたまりやすいので、普段のゴミ回収で出来たら便利だと思う。近くにコンビニ・スーパーなどの回収拠点がなかったり、車を持ってないと不便！
ごみを少しでも減らす事をいつでも考えています。生ゴミは畑に埋めるようにしています。年を重ねても正しく分別出来るのか心配です。
問4は理由があてはまらないものが多かった。25年ぶりに札幌に戻ってきて思ったのは、ゴミのリサイクルの遅れ、中央部の温暖化を強く感じました。高齢化で地下鉄の利用よりバスや電車の方が楽だと思います。道民のモラルの低さにつながりです。学力低下も無関係ではないと思います。どんどん地上げされ、どんどんマンションやビルが建設されている状況の方が問題です。
環境を思ううえで安全で安心な製品を使う様にはしているが費用がかかる。
食材の購入時に見るのは、国内産か外国産か選ぶのは国内産で産地まで気にした事はなかった。国内産の中で、価格の安いものを選んでいたので、せっかく道産食材のが豊富なんだからあえて道内産の物を選びたいと思いました。価格も大事だが子供にもおいしい道産のものを食べさせてあげようと思いました。環境問題には、あまり関心が無いので、もう少し意識しないといけないなと思いました。
免許や車がない私にはその類の回答は意味がありません。食物に関しては、安くて新鮮、おいしいものであれば地元産にこだわる人は少数ではないでしょうか。新鮮、安全、安価な地元食材の開発を願います。
北海道食材を選びたいが、外国産の値段が安いので金額面があると思う。
北海道生産品の技術の遅れが他地域より目立つ（有機肥料の活用等）
食材は道産の物を買いたいのですが大人数になると金額が高くなります。もう少し安く買えるように農家の人々に援助等はどうか。良い物、新しい物を作るには、お金がかかりますから。
地産地消、これ理想ですが、輸入物に比べれば高いのが現実、売り場で残っているのは道産品。今は収入が落ち込んでいる。どこを切りつめるか？やはり食費でしょう。理想は判ります。でも現実を見ないと、事は進みません。他の事も、いくら市が旗を振っても、市民が納得出来る事でなければ事は動きません。道民は「熱しやすく、冷めやすい」これを常に意識していないといけません。あと、エコキュートと、エコジョーズは決して良い商品ではない。ランニングコストが現状では高い。この設問にも疑問を感じる。
食材を道産（国内産）を必ず選んでいます。中国産はいやです。この頃、多いように思います（タイ、ベトナムとかも）
食材は道産の物を買いたいと思う気持ちもあるが、実際、地方や外国産の方が安価だとそちらを選んでしまう。

東北の地震から北海道は住・食が全国から注目されています。食のほうでも出来る限り北海道産を購入しています。これからもずっと環境の良い安心な札幌に住み続けられるように御努力をお願いいたします。
市民が環境問題を自分達と子ども達の未来のこととして考え、行動できるように社会が良くなっていくとよい。太陽光発電に関してはパネルの処分の仕方が決まってない。とか風力発電も風車の近隣の人達への健康被害について問題視されず見切り発車してしまったことは、経済、産業界に流されてきたこれまでの原発を増やして大量の電気を生産して使う「便利で楽な生活」を追い求める経済社会の路線を続け、拡大しているとしか思えません。今一度原子力発電が増える前の社会を振り返る時間が必要ではないでしょうか。
多様な選択肢が広がり、ある程度変化があることが生活環境の向上につながると思います。
環境問題に対して決して無関心なわけではありません。しかし、日々の仕事に追われ時間と金銭的余裕もありません。道産の食材を買いたくても、高いです。洗剤もエコマークがついているものは高いです。私の中で“エコマーク”“道産”はいわゆるブランドです。賞金が安い中買えません。環境問題について取り組む上で、どれだけ自分が貢献できたのかを感じられなければ一時のものにしかならない事が多いと思います。
病人がいるので思うように行動（冷暖房、自動車など）が出来ません
環境問題はなかなかとり組むは大変だと思います。自分（生活）に余裕がなければ考えづらいです。
使っていないコンセントを抜くなどの節電は良いと思いますがその都度、設定が必要なものに対してはむずかしい。
思いはあっても忙しくてできない人間の解答番号がありませんでしたので、“面倒だ”にしておきました。月80時間以上の超過勤務をしているので自分の健康維持も充分環境に役立っています。従って、数少ない休みの日は、寝ています。また下肢障害で車を使用している人間の解答番号がなかったのも、やはり“面倒だ”にしておきました。環境は次世代への遺産ですので非常に重要なことです。太陽光発電を利用して街を明るくし、夜間の犯罪を防止したいので、資金援助制度を充実させて下さい。
77歳の今このアンケートはちょっとむずかしいと思います。やさしい所もありますが足、腰の悪い人には参加しようがありません。
仕事が忙しいので時間がないということもあります。講演会や見学会など参加できないということです。
65歳以上、70歳までは、お金がないので買い物で行くには、歩いて行かなければならず（困っています。）お金がある人たちは、そうことはわからないと思います。一人暮らしの為人のつながりはなく、人と話すことは1週間の間に誰とも話すことがありません。
仕事をして実家の手伝いをしていると時間がない。
経済的に、そして時間的にゆとりがもっとあったならば、実践できる事が増えると思います。また、そうありたいというのも願望です。
行動をすることはほとんどありません。現在病気治療中のため言葉を聞いたり、気にはなっている事もあります。身の回りの事だけで今は目いっぱいという状態です。只、今後札幌市がますます住みよい市になることは願っています。
現状として、今現在は「エコ」を推進しようとしたり、北海道産の食品等を積極的に導入しようとする、そうしない時よりも費用がかかってしまう。そうする事で自分の収入につながる事も考えにくいので、今後の動向に気を配って行きたいと思います。
環境問題に無感ではありませんが、自分の休日と合うことなどを考えると（土、日、祝日）ではないので行事に参加出来ません。身の回りの出来ることはやっつけていこうと思っています。
環境汚染に繋がるような行動は厳に慎んでるつもりですが、経済面、健康面の裏づけが乏しくなってくると難しいかもね。
通勤に自家用車を利用しているが車がないとふべんなので（立地の問題で）低公害車、低燃費車（高すぎ！）を手頃な価格で購入できるようになれば、環境も変わってくると思う（周りの人はみなそう思っている）
環境問題は常に頭にあり気をつけていますが、夫婦でも考え方が違ったりで室温を20℃にすることは中々難しいのが現実です。でも一致することは基本的に一日も早く原発をやめて自然エネルギーに変え安心できる国づくりをして欲しいことが一番の願いです。
環境問題、省エネなどの話になるとものすごく経済活動の匂いがしてあまりメリットを感じられません。本来のこの問題は意識を変えて、あまりそのような経済活動（省エネ製品の購入促進など）をとまなうべきではないと考えています。
生活用品は妻が担当していますのでよくわからない。エコ商品及び低公害車灯は高金額でなかなか購入はきびしい状況です。
転勤の多い職場なので、住環境は職場の社宅で、答えは「0」が多くなり、お役に立たないかも知れません。
・同じ様な設問があった事 ・活動に参加するのは高齢者には無理です
LEDや省エネの家電製品は価格が高い。一人暮らしで賃貸住宅での生活では“お得”という感覚が全くないため導入には至りません。
環境問題は近年大変重要な事項であるとはわかっておりますが、離婚したため生活をするために働くことで精一杯で道産食材など購入したくても安価な商品を選ばなければならない現状があり、気持ちと行動がともなわないのが現状です。

三年前から膝関節（両足）右股関節を手術したので外出もあまりしなくなりました。参加したい気持ちがあっても体が思うようにいかず残念です。町内会の役員をしていた時は色々参加しました。
仕事しているので地域其の他のイベントに参加出来ない状態ですが、個人的には環境問題に取り組んでおります。
雇用や貧困の問題の方が優先順位が高く、環境問題に取り組める余裕のある市民はどれだけ居るのが疑問である。
環境にやさしいとおサイフにやさしいは必ずしも一致しないので、ムスカシイ所が多いと思います。公共交通機関に限らず。封筒がのりつき？シールつき？のものだと回答率上がりそうです。
現在79才になるため、健康上の問題があるので、環境問題は大事なことで考えていますが、行動に移せません。
持病あり、仕事でつかれてる。休みの日は「大事」な休息时间！夏は汗をかかない温度、冬も寒くなくあつくない適温キープ。
個人によっておかれているかんきょうはちがいます。時間とお金のよゆうのある方はもっと色々ボランティアなど参加できるでしょうが、仕事のある身の人はずいぶんきまいません。エコライトも予算高すぎ、考えて下さい！
緑（樹や花）を育てる活動が市民に広がればよいと思います。季節によってすてきな街路樹が観光資源になれば観光客も市民もうれしいです。☆枝葉草のゴミ収集の日を月2回にしてほしいです。
ペンの送付は無駄です。街路樹の剪定の仕方が美しくないです。街の景観を良くするような方法をとって下さい。
昨年道外から引越して来た私の札幌の印象は春になると街中がお花であふれ、とてもキレイ！！これからも素敵な街を保ってほしいと思います。
きれいな札幌にずっと住みたいと思うので、がんばりましょう。
建物の高層化に限度が必要。エネルギー源、大気、水質は一地域では解決不可能。市街地にもっと緑地が必要
街路樹が大きくなり過ぎ、街路灯が枝等でかくれてしまい、暗くなっている。歩くのに危険な箇所が多くある。（公園内の木も同様である）保安上、問題があるので樹木の伐採をお願いしたい。
札幌は住みよい街だと思います。けれど古い建築物よいビルもたくさんあったのにそれをスクラップ&ビルドにしていったのは好ましく思いません。この街は”色”がないと思います。どこにもある街でなくどこにもない街であってほしいです。
私は平成25年6月横浜市から札幌に移住してきました。横浜在住時は環境については利便性のみ考えていましたので考えた事はありませんでしたが、札幌市に住んで感じたことは、横浜環境に似ているようで全く空気感が異なる事です。樹木など多い環境がそのように感じるのでしょうか。しかし、ビル林立多くなり、都会化の空気・空の色に臭気を感じる事もあるのも事実です。私も家庭において出来る事を心かけて過ごしていきたいと思っています。
札幌は環境も良く、とても住みやすいと思います。
街路樹の枝が成長が著しく、更に葉が繁り、自宅の部屋への日当たり、日照に影響し、部屋が暗く、寒くなる。結果的に部屋の温度をアップさせたり、照明時間を長くしたりしなければならず、環境に反することになってしまふ。落葉の清掃もたいへん。枝の剪定も積極的に行ってほしい。
木が少なくなってきたと考えます。一戸建ては少なくとも一本は木を植えて欲しいと思います。また隣人が木を切れ！と言い寄るのは良くない。公園の少なさと遊具の多さにあきれる。仲通の活用で子供達は乏しい空間になるのでは…。雪の活用、自然と都市の結合、都市にはそれが有るから良いのでは山や地方でなくても身近で自然に親しむ事の大切さを知らしめるのもひとつの方法と考えます。
ヨーロッパの環境意識が高いのは大都会でも広大な公園や森が町の中にあり、質の高い自然と日頃接しているからではないでしょうか？自然らしい自然も知らない子供が環境保全に関心をもちたないのは当然だと思う。
南区は交通の便利はあまりよくありません。車がなくなっても交通の便利がもっと良くなればと思います。
高齢者は足が弱っている人が多いので自動車利用が多く成ってしまいます。バス電車利用はむずかしい
子どもの将来の事も考えもっと環境問題について意識していきたいと思っています。近所にはご高齢のドライバーの方が非常に多いので、もっと公共交通機関が便利になってほしいです。
日常生活、買物など歩行、移動には地下鉄。これから市電も利用予定
福岡のバス路線は福岡駅からかなり細かく広い範囲で整備されている。札幌もそれを見本に整備してほしい。あと、もっとなんの活動してるか、市民からわかりやすく見えるようになったらみんな興味持つと思います。
市電は使用している市民以外、反対されているのが怖い。市電を利用している市民は地下鉄やバスを利用する人達を悪いとは思っていないと思う。
渋滞が恒常化している道路を改善すれば排ガスは減ると思います。地下鉄の暖房は不要。啓発イベントは不要（費用対効果に合うものだけにすべき）
問8の⑦のアンケートですが、料金が高くないようにすると、誰もが使いやすく成ると思います。<私は身障者なので公共の交通機関を利用してますが、優先席に座っていても、隣でスマートホン、ケイタイ電話を使用している人が多いです。環境、また、マナーも良くなるとよいと思います>
自動車利用を減らしたいと思うなら、清田区にも、JR、地下鉄はあるべきだと思う。住宅街が続く中でスーパーも遠くコンビニも遠いところなら車は絶対必要。お年寄り、体の不自由な方なら特にないと厳しいと思う。
公共交通網が整備されても、障がい者には使いづらい。高齢者も同様だと思う。自動車をとめやすい場所の整備の方が子ども、高齢者、障がい者には住みやすいと思う。札幌に来る観光客はイベントか買い物目的だと思う。

自動車の利用を減らすために特に冬場の対策が必要と思います。
札幌市営地下鉄（南北線、東西線、東豊線）をもう少し延伸してほしいです。
グリーンロードなど市内中心部の整備ばかりで地下鉄の延伸など札幌市端部の整備が行われない状況で、環境の取り組みを問われても優先順位が異なるのではという思いしか湧きません。また本アンケートの間も同じ問が何度も繰り返し出てきて答えるのが嫌になりました。構成を考えた方がいいと思います。
バスは市民生活に必要な交通手段であると考えますが、時間通りに運行されなかったり、運転手等の対応の悪さから利用を避けている。自然や環境の改善等による新たな雇用や観光資源の創出ができればよいが、自然や環境はお金を払って手に入れるという感覚が薄いため、実現させるのは難しいのではないかと考える。また、行政の手を離れ、民間の需要のみで成り立つようにならなければ、この分野の活性化は難しいのではないかと感じる。
路面電車のループ化はいかがなものか？絶対反対。何のための地下鉄なのか疑問に思う。
札幌市の場合「自家用車通勤」等、交通アクセスが今後の課題ではないかと思えます。（特に冬期間）
・自転車専用道路整備 ・ペットの保育園
白石在住で、車いすの家族がいますが、外出時の自力走行で大変困っている事があります。歩道がガタガタで傾斜もありとても一人では危険です。車道に転がりそうになったり、段差が激しい所もあります。車いすでも安心して走行出来るように歩道の整備をして欲しいです。
地下鉄 清田区延線を希望。環境及び地球温暖化への一歩かと思えます。
かん字の意味がわからなかった。これでも考えながら書きました。公共交通も利用し歩く事も体身にも良いし、人生行路とします。
自家用車の使用を控えるような少し誘導するような質問だったと思います。生活スタイルが車社会で確立されていて車メーカーが我が国の主要となっている中、とても安易な質問でした。嫌な思いをしました。割りばしについても間伐材を利用して協力している気持ちもあったので、その点も嫌な思いをしました。
高齢者が自家用車を使用しなくても良い公共交通網を増やしてほしい。日中は小型バスなどを動かしても良いのかも、環境にも良いのでは？
清田区まで地下鉄を伸ばしてもらいたい。
もっと地下鉄の交通網が細かく(札幌)してほしい。そうすれば札幌に住んでるのに「車がないと住めない」という事がなく、車がなくとも住める街になると思う。
路面電車のループ化は全く不要
地下鉄の料金がもう少し安くなったら利用者が増えると思う。平日もドニチカのように安くなったら、、、外出が増える。
公共交通網はもう十分に整備されていると思います。利便性ばかり追求すると魅力的な街作りは出来ませんね。ここに住んで居て良かったと思える様なそして観光客も札幌に魅了され何度も訪れて来るようなそんな街並びであって欲しいです。札幌駅からススキノまでのグリーンベルト。素敵な街並がひとつずつ消えていくのは淋しい限りです。
環境問題 自動車の利用を減らすことだろうか？今出来ることには違いがないと思うが、自動車を減らすことでは作ってしまった自動車の利用を減らすより作る前にどうするか考える事も、紙面では札幌市と札幌市民の間でどう思うか問うていますが国としてトータルで考えた方が環境問題解決の早道かと思えます。
長い年数がたてば必ず環境問題は改善されると思います。過去50年以上の歩みを考えても実感できます。公共交通網の整備には大きな経費がかかるので、困難と思われる。
自家用車について ・65才～75才位まではまだまだ活動的なので公共交通を利用できるバス等をもっともっと出してほしいです。 ・高齢者についても運転しなくても良い方法を考えてほしい。
交通渋滞について年々渋滞がひどくなってきていると思う。特に大型車が増え幹線道路から生活道路に入り込む車が増え、歩行者の安全が確保されていない場所があり、規制が必要と思う。併せて駐車違反の取り締まりも強化してほしい。提案で、物流に関して共同配送方式を強く推進してほしい。1社への配送に何社も行くのは渋滞と省エネに反する。早急な取組指導を！
市電が再利用され観光にも利用されるようにと期待されているが、それによってマイカーが減るとは思いません。個人の車利用は必要にされると思う。※ボールペン送付は必要なし！市税のムダ使いです！
・公共交通網の整備→車内持ち込みの緩和→（ベビーカー、自転車、ペット等）←（ラッシュ時除き） ・中心部のマイカー規制
高齢者の交通事故の多発を減らす為にも交通網の整備を早急に願います。
清田区に地下鉄があれば本当は車ではなく、そちらを利用したいです。
要望 市電の札幌駅までの延長。札幌市の発展のために是非必要！
今後の高齢化社会において高齢者が乗りやすい、移動しやすいように公共交通網が整備されていくことを希望します。
路線バスが減便されて不便になった。地下鉄料金が高く使いづらい。遅い時間帯の運行が必要。民間へ委託すれば改善できるのでは。

子供が産まれる前はなるべく車ではなく公共交通を使っていましたが、子供と一緒に歩いたりきびしいです。地下鉄のベビーカーマークができ少し気持ちが楽にのれるようになりましたが、エレベーターを探す大変さ、きても人がたくさんで、クタクタになることを考えると、車を使ってしまいます。なにより冬が大変です。誰もが使いやすい移動手段の確保は必要だと思います。

共通1日乗車券が廃止され、以前はよく地下鉄バスを使っていましたが、最近は車ばかりになってしまいました。通年は無理でも期間限定でぜひ復活してほしいです。あと…24軒のリサイクルプラザの係員の方が不親切で利用しづらいです。リサイクル品を車から出す時、「車は敷地に入ったらダメ」「業務開始前だから受け取れない」などなかなか厳しいです。1度利用しただけであまり行きたいとは思いません。本当は生ごみ処理機の乾燥ゴミなど毎週でも出しに行きたいのですが…。今はゴミとして捨てている現状です。

私はできるだけ歩いています。しかし歩道に自転車がが多く、いつもうしろから突然自転車が来るのではないかとびくびくしながら歩道を歩いています。何度も接触し一度は正面からまともにぶつかり倒れたこともあります(自転車の人がスピードを制御できなかった)。札幌の高い税金を使ってこの調査をしているのでむだにしないで市の改善につなげて欲しい。どうでもいい講演会などは行わず、ヨーロッパの町のように自転車ゾーンと自転車駐車をつくり車を減らし、歩行者もびくびくせずに歩ける環境を作してほしい。このことは①車減少→環境に良い ②自転車歩行者ともに満足で健康が増進される→医療費削減 につながる。

車より徒歩をしようとしているが、歩道があまりに悪い。①歩くためではなく、車が家や店舗に入るための斜面となっている。だから歩きにくいし車いすなど真直ぐ行くこともできない。 ②車の駐車帯のようにになっている所が多い。自動車修理工場 病院の廻りなど

自転車が乗れる道路をもっと整備して(地下鉄に持ち込めたり)いただければ自動車利用が減るのではないのでしょうか。札幌はけっこう公園とか山があり、緑のバランスが良いと思います。

<環境全般>

環境保全に関するイベントよりも、もっともっと北海道地域のテレビで発信してくれたら、関心や興味がわく気がする。

環境問題について地域か町内会が中心となって講演などを行って今札幌市が行おうとしている事など説明されたらもっと身近なこととして考えられるようになるのではと思いました。

もっと町内会を利用して(回覧板など)環境問題の解決に老人会など時間のある人々に協力をよびかけたら良いのではないのでしょうか？

札幌市民として、広報さっぽろが届くのを毎日楽しみにしています。10年ほど前、広報で募集していたワードとエクセルの講習を受けさせていただきました。当マンションも年齢の高い方が町内会の活動に参加しています。若い方たちは仕事などで忙しく、あまり参加しません。若い人達でも環境問題は自分たちにも関係があるのだと認識してもらうことが必要だと感じます。私自身もこのアンケートを機会に自分にできる範囲で行っていきたいと思います。ありがとうございました。

TV、ラジオなどで、今日の環境数値などを知らせたり活動内容をすすめるなど報じてほしい。

環境の保全改善には市民一人一人の自覚が必要であり、実行にはこの力を結集させる必要がある。 ・施策を明確に広報する(ユニバーサルのに) ・その進捗状況を広報する(ヤレだけでは駄目) ・その成果を広報する(町内活動、個人のメリット)

大人だけではなく、子供にこそ環境問題の知識を身に着ける場が欲しい。家庭内だけではなく、学校、課外授業など。

環境という事をもっと意識しなければいけないと思った。個人の意識を変えていく必要がある。しかし、環境という事に意識を向けるきっかけがないように思う。TVなどで聞くと、自分に直接関わりがないように思えてしまう。もっと身近な問題として、考えていけるような情報発信の方法、内容があれば、市民全体の問題としてとらえていけると思われる。

市民としての意識も大切であるが、企業等の取り組みや、行政の働きかけも必要と感じる。24時間営業を制約したり、マンションの乱立や土地の開発の制約、多くの残業が課せられる状況等、いち市民だけではどうにもならない事が札幌市には存在しているような気がする。

町内会で、春秋の大掃除を行っていますが、各家庭が、家の前の歩道等の掃除をする家は1割位しかない。冬に散布した、滑り止めの砂が何年も積もり、大風の時、目に入ることがある。バス通りは、きれいでも、住宅街は汚い。もっと啓発活動を行って欲しい。

自分はかなり考えて生活していると思う。もっと多くの人を意識する事が必要と感じる。

環境保全の大切さは理解しているが、個人としては積極的な取り組みは出来ていません。市がリードして市民に対する啓蒙等を行っていただき、各種行事等を行うことにより市民の意識も高まると感じます。

一人一人が環境についてもっと意識を高めていくことが大切だと改めて感じました。北海道の素晴らしい自然を残していく為私自身出来ることをやっていきたいと思っています。

<p>二酸化炭素削減など私たちが身近に出来る環境問題が具体的にどの様な効果があるのかを最アピールしたほうが良いと思う。また地域、隣同士がもっと助け合う生活環境があればそれだけでエコに繋がると思います。今共産党が猛威をふるって批判したり、反対したりし、それに賛同する市民も増えていますが、批判ばかりしてるところからは何の創造も解決策もないと思う。皆が協力し合う所に良い政策、発展があると思うので、札幌市民で良かったと思える市にしてほしい（していきたい）です。</p>
<p>・環境問題改善で市が何をしているのかのアピール不足 ・今回の設問で市が何を発信しているのか、何の施策に関してのアンケートを求めているのかが不明 ・省エネに関する設問でエコジョーズ・エコキュートに興味があるものの、国・市の助成制度に関する周知が不足</p>
<p>環境問題は関心、無関心の両極かと思う。関心ある人にお任せ、我関せずという感あり、せめて自分と自分の手の届く事には取り組むというのが、今の自分、知っているようで知らない様で〜。キーワードの間等も広報で分かりやすい情報提案町内会を通しての知識提供等、知りたいところである。私達が生きて行くよで大事な大事な環境問題、一人一人が大事ではなく身の回りの小事に目を向ければどれほど改善されるかと思い、一人でも多くの人の喚起したい思いで一杯です。</p>
<p>・問4に対する回答が選択しにくかった。 ・環境対策に対する市民へのアピールが目立つものがなく、身近に感じることがない。もっと具体的なことを1つつづ提案し、市民に伝える方法を考えて、より良い環境で生活できるよう、市民をまきこんでいってほしいと思う。</p>
<p>1、遊休地の売却益を歳入の一助に活発に広告すべきと思うが。 2、市役所18F、19Fレストラン、公共施設のレストラン、食材調味に今一、努力すべし。圏外からの客の感想も加味（テナント任せになっていないだろうか） 3、除雪作業費軽減と舗装補修費削減と考え、業者には住民の苦情のないよう丁寧な作業のあまり、舗装面や縁石を削っている。路面より50～100m/m残雪にすれば、排雪送料も減ると思いますが、一笑に付されますか。 4、高齢者の健康・体力維持増進で、医療費の増加を減らすため、出前健康スポーツ体操を活性化する方法、工夫、考えてみては如何か？ 環境基本計画から外れております。悪しからず。</p>
<p>講演会や施設見学などの開催を告知するには工夫が必要だと思う。町内会に入らない家庭も増え、広報さっぽろを見ない人もいるので、企業や小中高等学校・大学に向けて告知するなどした方が良いのではないだろうかと思う。</p>
<p>過去の災害等の情報だけでなく現代や未来に対する環境の情報をわかりやすく市民に伝えてほしいと思います。</p>
<p>・問4の意味が理解？ できないとしたら質問で6のできている、というのが回答に？ ・環境に関する講演会 etc情報が手に入らない（わからない）</p>
<p>コストパフォーマンスが大事と思う。費用（財源労力）と効果の検証を正しく行う事がすべてと思う。</p>
<p>札幌市の環境問題の解決に取り組む内容を知らない。</p>
<p>札幌市が環境保全にどう取り組んでいるか知りません。私は30年以上札幌に住んでおりますがとても利便性は向上していますが、自然環境は悪くなっていると感じます。最近では道端にゴミやガムなど平気で捨てる人が多いです。人々のモラルの低下をくい止める方が先決だと思う。</p>
<p>札幌市の環境問題に対する方針を理解していないので回答しづらい部分がありました。北海道の環境保全は今まで通り必要と思います。</p>
<p>環境問題についての取り組みをできる範囲内でやらねばならないと、このアンケートを機会に考えたいと思います。</p>
<p>本アンケートの課題は市民一人一人が真剣に考えなければならないことです。行政（札幌市）はリーダーシップを持って市民を本活動に活動していただきたいと思います。</p>
<p>最初から似た様な問が多くて混乱しました。問4では特に迷いました。いざだから自分は環境問題のことはあまり考えませんでしたでしたがそれでは、ダメだなと考えさせられました。</p>
<p>環境保全行動を考えるきっかけがこのアンケートで少しできました。また、気づかされました。</p>
<p>環境についてあまり考えた事はなかったが、テレビなどを観て環境問題があることは知っていた。これから、自分たちも考えていけたらとこのアンケートをして思いました。</p>
<p>改めて、日頃、あまり真剣に、考えていなかったことへの反省と、これからは、もう少し、気持を込め、より、意識を持って、生活していきたいと、思いました。</p>
<p>様々な環境について、考え方を改め、更に良い環境が構築できるよう、努力して行きたいと思えます。</p>
<p>反省することが多く、考えさせられました。まだまだ人生の勉強中です。</p>
<p>市民の意識が高まって環境問題が少しでも改善できればと思ったので、できることからはじめようとおもう。</p>
<p>免許は持っていないので、移動は公共交通機関や徒歩なので、そういう部分は環境保全に協力しているのだと思いますが、それ以外のほとんどは無駄使いしているんだと今回のアンケートで知れたので、今後は環境のことを少しでも意識して生活しようと思います。</p>
<p>運転免許がないのと冷房がないので、参考ににならないかもしれませんが。環境の事を考える事ができました。ありがとうございました。</p>

<p>問2～4の設問が同一内容から回答に戸惑うことがありました。反面、現在大きな社会問題となっている地球規模での環境変化への無関心さ疎かな行動と自分自身が「うしろめたさ」を感じるアンケートでした。これらの問題は自分が出来る範囲での「小さな行動の積み重ねからまず一歩」が大切と思う。早朝(am6時頃)散歩で時々ゴミ袋を持ち、黙々とポイ捨てゴミを拾ってる人(常連?)を見掛けます。こうした人々の活動を市民に啓蒙する手段として広報(特集)に掲載されてはどうか。</p>
<p>もっと張り詰めた生活をしなければ一市民として暮らせないのだと思った。年を増しても頑張りたいと思います。</p>
<p>環境問題について考えた事がなかったが札幌の魅力に繋がることがわかったので、少し気をつけたいと思った。とにかく高齢者への対応が凄く気になってます。例えばトイレの男女のサインはおしゃれな物はいいですね。</p>
<p>封筒(表面)に書いてある「ノーカーデー」のこと、久々に見たような気がします。もっと運動したほうが良いかもと思いました。</p>
<p>私は花粉症なのですが、PM2.5のニュースを耳にして、花粉症のような頭痛と体のだるさを感じています。気のせいかもしれませんが、改めて地域の環境を考える良い機会でした。生活や環境が改善していくことを願い、自分たちにも家の中・外に心がけることがありそうです。</p>
<p>今回のアンケートを書かせて頂くに当って自分なりにもう少し環境という事をしっかり考えなければと思いました。人気No.1の北海道も皆さんのこうした地道な活動があってこそと思います。ありがとうございます。</p>
<p>環境保全のため自分にも出来ることがあると気づきました。なるべく公共交通機関を使う事。室温も夏の冷房、冬の暖房の調節をして環境保全に貢献できる様にしたいと思いました。</p>
<p>市民として私の出来る事を考え始めました。誰かがやってくれると思っていました。市で決めた事に従うだけと決めていましたが、一歩前進します。</p>
<p>今回のアンケート調査により啓発されたので、今後この種の事に関して自分でできる範囲で努力していきたい。ボールペンありがとうございます。環境のことをもっと考えなくてはいけないと考えさせられました。</p>
<p>今回このようなアンケートに参加させて頂き改めて自分の出来ることを再確認しようと思うことが出来ました。ありがとうございました。</p>
<p>意外に質問が難しく感じました。これから考えて生きていく必要もあると思いました。</p>
<p>札幌市全体の経済効果が上がるように。(望む)</p>
<p>経済効果が生まれる環境施策を展開していくべきだと考えます。</p>
<p>環境教育の指導者として研究の実践発表などを行っています。もっと一人一人が自分のこととして捉えていくことが出来るような工夫をしていきたいものですね。</p>
<p>環境問題の名目で雇用創出には内外ともに慎重に検討し無駄を無くすようにすすめていただきたいと思料いたします。</p>
<p>冷房機器がある前提のアンケートになっています。問8について、波及効果に関わらず、取り組むことは大賛成です。</p>

<市民生活・まちづくり>

<p>良い環境とは緑がいっぱいあるという事ではなく、住民が助け合い、協力し合い、そして尊重しあいながら、笑顔の絶えない活気のある街づくりが出来ている状況だと思えます。住民が生き生きとしていない所に観光客も来ないと思えます。北海道の中心的存在の札幌市が率先して、住民の意見を聞き、積極的な問題解決を進める事が何より大切ではないかと思えます。</p>
<p>もっと市民が参加できるイベントを札幌市で開催してほしいです。</p>
<p>地域の環境活動は子供の学校での取り組みや声かけもあり親子で参加しています。子供がいなかったら、そのような参加の機会・動機がなかったかも知れません。</p>
<p>環境のために自分ができることはできるだけやっていきたいです。ただ現代は日祝日も仕事がある人など様々でイベントの参加という形では難しいことがあるかも。個人が毎日の生活の中で無理なくできることを市が後押ししてくれたらうれしいです。ゴミの分別が無理なく進んでできるのは、市がわかりやすく分別の情報を提供してくれたり、ゴミ袋がどこでも売っているとか参加しやすいシステムを作ってくれているからだと思えます。個人が日常の中で参加できるシステムを作ってくれたら、時間はないけど気持ちはある人はたくさんいると思えます。</p>
<p>札幌はエコを感じさせるまちづくりを行っているようにはあまり感じない。だが、ひっそりと団地の電灯やトンネルがLEDになるなど地みちな活動がみえかしてくれている。LEDの色がもう少しあたたかい色だと、いいなと思う。LEDの青い光がめたくさみしい感じがする。地域暖房がもっとふきゅうすれば、いいと思う。地域だんぼうの方が高いけど、エコに繋がる我が団地でもかいてきに使用してもらっている。これがもっと広がれば、暖房の単価がやすくなるかな、、、?</p>
<p>便利さのみを追求するのではなく、自然と文化を大切に街作りを進めていただきたい。</p>
<p>環境問題だけでなく、多くの問題や課題があると思えます。この時代に貧困でなくなっている方が居たり、本当に胸が痛くなる事件が多すぎるとおもうのです。もっと一人一人が安心して生活できるよう心から祈るばかりです。</p>
<p>1、近代化や開発はスローダウンし、環境をテーマとしたコミュニティに注力すべきと考えます。町内会の活用。 1、高齢者の自動車運転で事故は増加しており、この対策を!</p>

環境問題が市民が健康な暮らし、地球温暖化対策につながればと思いました。地域コミュニティの活動が活発化し、犯罪の少ない街、また犯罪のない街になっていけばと思います。私個人としては、各活動につきましても、仕事が忙しく、なかなか参加できないですが、参加したい気持ちはあります。
町内会が無いので地域コミュニケーションが取れていない。環境保全活動の地域別活動によるPRが少ない(専用パンフレット)
地域コミュニティに関してはかなり希薄だと言うのが現実だろう。流入の多い土地柄かもしれないが少なくとも私の出身の東京都ではそうは感じなかった。
少子高齢化で郊外に居住する者は生活が不便となっている。イベントがマスコミを通して行われているのは知っているが市の中心部に片寄っていて市外の人より参加する事が少ない。27年前に現在地へ居住を始めたが除雪状況が非常に悪化して危険である。
今やテロやさわがしい昨今何とかおだやかに住みやすい町作りに何か1つでも協力できればと年配者も若い方々もなんとかまると生きていけるのかな今 子供の少なくなる時代仕事もあり皆が一生懸命生きていける時代をつねに願っています。誠に拙い文章ですみません
老人でもすみ良い町にしてほしい。
子どもたちのために第一に考えてください
人に(高齢者に)優しい街づくりを期待します。
高齢者や子供たちが住み安く環境にやさしい街になって欲しいです。母子や父子にも貧困にならないように。
中国人観光客が増えると色々な環境が損なわれる。
冷房などをもっていない場合の回答がない。外国人観光客が増え、特に中国系の人々のマナーの悪さが目立つので呼びかけなどの対応をして欲しい。観光客向けの店が増え、市民の利用しにくい環境が増えた。

<市に対する意見・要望>

今は氷河期が終わり始めている時期なので地球が温暖化して当たり前です。環境に合わせる事が大事なのではないでしょうか？
いつもの市の環境政策の推進に取り組んで下さりありがとうございます。今後もより良い街づくりのため、よろしくお願い申し上げます。
政令指定都市としては、環境問題は大事だと思った。今まで以上に住みやすい都市になって欲しい。もう少し身近に環境のイベントがあればよいのになと思いました。
最小費用で最大効果が得られるように検証して頂き、環境対策を推進して下さい。市民として協力していきたいと思えます。
何事をするにしても、楽しむことが継続の秘訣だと思います。(具体的には思いつかずすみません)
実際に環境基本計画が実行されるのは、大体何年後くらいになるのだろうか？
家庭で環境保全の活動を行うのはもっともですが、それ以上にエネルギーを消費している事業者(特に都心部)のほうも対策を進めているのでしょうか？そちらをどうかしない限り、いくら家庭で消費エネルギーを削減したところで焼け石に水ですし、ヒートアイランド現象などの改善はされないような気がします。端的に言えば過剰な照明とかそういうのからLEDにするなり点灯時間短くするなりした方が、という話です。
昔に比べれば自己中心型の人間が多くなり、他人のことは考えていない。北海道は自然が多いことが資源であり、これを守ることが大事だと思う。大通公園周辺に高い建物は不安で、道外の方は自然を見にくる。縦割り行政でもっと行政間で業務の整理をして欲しい。
今年は気候変動が多く、年々地球温暖化で身体も心も健康への何かと影響あった。年代と時代の変化に対応した文化美化運動の促進を。身近な出来ること意識してボランティア活動できたら…と思っています。独居老人も病院や買物、長い冬のさっぽろでは万が一と 希望として災害などの対策、古くなった改修整備早めの対応願います。
ペットの散歩時の糞尿に関して条例があるのだろうか？尿は水ですすめて散水するとか。糞の処理はたまに持ち帰らない人が居るが、大体守られているが、尿のやりっぱなしは…せめて散水してうすめるとかしないと。
「札幌市と市民が一体」などとあまり考えて欲しくない。特に経済波及効果など行政に考えて欲しくない。「むだ」が増えるだけ！！
環境問題は私達の住み易い町になってほしいです。これからの若い方の知恵を頂き、税金の無駄使いのならない様に願いたいものです。ありがとうございました。
机上の空論による税金のムダ使いはくれぐれも、やめていただきたい。
現状を正しく把握してより良くしてもらいたい。無駄な経費を掛けない。
冬の雪対策について今まで以上に除雪に力を入れてください。中央線に雪が残りワダチができる。
除雪にもう少し力を入れて欲しい。除雪が雑。外灯が暗い。バスが時間通り来ない。JRや地下鉄の終電があまりに早すぎる。封筒が小さい。何故、私を選んだのですか？ふしぎでたまりません。ペンありがとうございます。
家の回りの除排雪の冬の環境を整えて欲しい
雪害のことももっと考えて欲しい。観光客のためには色々便利にしているが普段生活している市民の為に除排雪をもっと充実して欲しい。冬は道幅が狭すぎる。歩きづらく公共交通機関を使う気にならない。

先週には雪が降りましたが、車道だけでなく歩道の除雪対策も重要と思います。
札幌には冬場の雪対策が一番の重要な環境問題だと思います…が。
もいわ山ロープウェイで自動販売機が多量にあるけど売店で牛乳、パン、オニギリなどを販売して欲しいです。缶だらけだし健康にも良くないと思います。
理想を現実にして下さい。
生活保護受給について、もう少しきびしく審査すべきであると思う。
住みよい札幌市となります様頑張ってください。
この種の調査は天下りの機関の仕事となっている例が極めて多い。市民の誠意を食い物にしないように。
広報さっぽろは月の初めに届くよう心がけて下さい。おそいと出席したいことなどに間に合わないことがあります。大変でしょうが月末ぐらいに次の広報がとどくと大変たずかります。
オリンピックの開催は必要ないと思う。もっと使うべきものがある。未来の子供や高齢者のために使うべき。

札幌市環境基本計画に関するアンケートへのご協力のお願い

【はじめに】

このアンケートは、札幌市における環境政策を総合的に進めるための計画である「札幌市環境基本計画（計画期間：1998年～2017年）」を、環境に関する現状を踏まえ、今後の新たな計画へと改定していくために、事業者の環境への取組状況や、環境に対する考え方を聞き取るものです。

本アンケートは、産業分類毎に無作為抽出した市内事業者 500 社にお送りしています。ご多忙のところ恐れ入りますが、今後の札幌市の環境政策推進のため、ご協力をお願いいたします。

【ご記入上の注意点】

1. 本アンケートは、送付を受けた事業者としての行動や方針をお答えください。
2. このアンケートは、主に選択回答です。該当する番号に○印をつけてください。最後の自由回答は、所定の欄にご記入ください。
3. 回答は、アンケートに記入する現時点での状況や考え方を記入ください。
4. 本アンケート票は、回答後、
2015年12月10日（木）までに、同封の返信用封筒に入れて、投函ください。

【個人情報の取扱いについて】

この調査によって得られたデータは統計的に処理され、各事業者における個別の回答が取り上げられることはありません。

【本アンケートに関するお問い合わせ先】

札幌市 環境局 環境都市推進部 環境計画課（担当：菊野、佐竹）

電話：011-211-2877 メール：kan.suishin@city.sapporo.jp

問1 貴社のことについてお伺いいたします。本年10月1日時点の状況で、あてはまるものひとつずつに○をつけてください。

事業者名			
業種	1. 農業，林業 4. 建設業 7. 情報通信業 10. 金融業，保険業 12. 学術研究，専門・技術サービス業 14. 生活関連サービス業，娯楽業 16. 医療，福祉 18. サービス業（他に分類されないもの） 19. 公務（他に分類されるものを除く）	2. 漁業 5. 製造業 8. 運輸業，郵便業 11. 不動産業，物品賃貸業 13. 宿泊業，飲食サービス業 15. 教育，学習支援業 17. 複合サービス事業	3. 鉱業，採石業，砂利採取業 6. 電気・ガス・熱供給・水道業 9. 卸売業，小売業
従業員数	正社員：約 人 派遣社員・契約社員：約 人 アルバイト・パート：約 人		

問2 現在、貴社が取り組んでいる環境保全行動、及び従業員が取り組むよう、貴社として推奨している取組についてお聞きします。それぞれについてあてはまるものひとつずつに○をつけてください。

積極的に取り組んでいる	一部取り組んでいる	検討中	取り組んでいない	取り組む機会がない
1	2	3	4	5

- ① 植樹活動や水辺の清掃活動など、自然環境を保全する活動を行っている。
1 — 2 — 3 — 4 5
- ② 使用済み油や調理くずなどを下水に流さずに処理している。（廃油回収など）
1 — 2 — 3 — 4 5
- ③ 事務所の敷地で植物を育てている。（近隣の公園等での緑化活動を含む。）
1 — 2 — 3 — 4 5
- ④ 文房具等の日用品や食材等は無駄なく使い切るようにし、ごみを減らしている。
1 — 2 — 3 — 4 5
- ⑤ 食事時にマイ箸を利用することを従業員に推奨している。
1 — 2 — 3 — 4 5
- ⑥ 買い物時にマイバッグを使用することを従業員に推奨している。
1 — 2 — 3 — 4 5
- ⑦ 普段使用する事務用品や備品などは、なるべく手入れや修理をしながら大切に使っている。
1 — 2 — 3 — 4 5
- ⑧ 使わなくなった事務用品や事務機器などで再利用できるものは、再利用している。
1 — 2 — 3 — 4 5
- ⑨ 廃棄物の分別区分の徹底や、ミスコピーの低減、裏紙利用など廃棄物の削減をしている。
1 — 2 — 3 — 4 5
- ⑩ 使用していない事務所や会議室等の照明や電化製品などは切るようにしている。
1 — 2 — 3 — 4 5
- ⑪ 不要な待機電力を減らすため、事務所等で使っていない電化製品のコンセントを抜くようにしている。
1 — 2 — 3 — 4 5
- ⑫ 事務所や会議室等での夏場の冷房温度は28℃程度（26～30℃）を目安に設定している。
1 — 2 — 3 — 4 5

- ⑬ 事務所や会議室等での冬場の暖房温度は 20℃程度（18～22℃）を目安に設定している。
1 — 2 — 3 — 4 5
- ⑭ 社員食堂や社員への食事提供は、北海道産の食材を積極的に提供するようにしている。
1 — 2 — 3 — 4 5
- ⑮ 社員食堂や社員への食事提供は、季節に応じた旬の食材を選ぶようにしている。
1 — 2 — 3 — 4 5
- ⑯ 社員食堂や社員への食事提供は、和食や北海道内で加工された食品を購入するようにしている。
1 — 2 — 3 — 4 5
- ⑰ 文房具や洗剤などの備品を購入する際は、エコマークなどの環境ラベルがついているものを選ぶようにしている。
1 — 2 — 3 — 4 5
- ⑱ 環境問題に熱心に取り組んでいる生産者や販売店との契約や商品購入を行っている。
1 — 2 — 3 — 4 5
- ⑲ 企業活動において、徒歩や自転車で行ける範囲の移動は、自動車の利用をできるだけ控えるよう、従業員に推奨している。
1 — 2 — 3 — 4 5
- ⑳ 企業活動において、電車やバスなどの公共交通を積極的に利用するよう、従業員に推奨している。
1 — 2 — 3 — 4 5
- ㉑ 社用車を運転する際は、アクセルをゆっくり踏んだり、アイドリングストップを行ったりするなど、エコドライブを実践するよう、従業員に推奨している。
1 — 2 — 3 — 4 5
- ㉒ 企業活動の中で、環境保全に関して話をする機会を設けている。
1 — 2 — 3 — 4 5
- ㉓ 環境に関する講演会や施設見学などに積極的に参加・実施している。
1 — 2 — 3 — 4 5

問3 以下の製品等の導入について、貴社の事務所・事業所の状況に当てはまる数字ひとつづつに○をつけてください。

※テナントに入居などで回答できない場合は0に○をつけてください

導入する予定はない	今後導入したい	近々導入予定である	一部導入している	全て導入している	わからない・回答できない				
1	—	2	—	3	—	4	—	5	0

① 照明器具は、LED や蛍光灯型など、省エネルギーの製品を導入している。

1 — 2 — 3 — 4 — 5 0

② パソコンやコピー機などの家電製品は、消費電力の少ない製品を導入している。

1 — 2 — 3 — 4 — 5 0

③ 事務所などは断熱・気密性能の高い建築物を選択・建築している。

1 — 2 — 3 — 4 — 5 0

④ 高効率な給湯機器（エコジョーズやエコキュートなど）を導入している。

1 — 2 — 3 — 4 — 5 0

⑤ 高効率な暖房機器（エコジョーズやヒートポンプ暖房システムなど）を導入している。

1 — 2 — 3 — 4 — 5 0

⑥ 太陽光発電設備を導入している。

1 — 2 — 3 — 4 — 5 0

⑦ ペレットストーブや薪ストーブなど、木質燃料の暖房を導入している。

1 — 2 — 3 — 4 — 5 0

⑧ 社用車は次世代自動車*を導入している。

1 — 2 — 3 — 4 — 5 0

※ハイブリッド、プラグインハイブリッド、天然ガス、電気、クリーンディーゼル自動車

問4 以下で示すイベントなどを貴社として実施したことがありますか。当てはまる数字ひとつずつに○をつけてください。

実施しようと思わない	今後実施してみたい	定期的を実施している	かつて実施したことがある
1	— 2	— 3	— 4

① 環境保全活動に関するイベント（講演会や施設見学会等）の実施（共催含む）

1 — 2 — 3 — 4

② ①で「3」を選んだ方はお答えください。どのようなイベントを実施したことがありますか。（複数ある場合は、代表的な事例についてお書きください）

③ 環境保全活動に関するイベント（講演会や施設見学会等）への協力（資金・商品提供等）

1 — 2 — 3 — 4

④ 環境をテーマとする国際交流や国際協力などのイベントの実施

1 — 2 — 3 — 4

⑤ ④で「3」を選んだ方はお答えください。どのようなイベントを実施したことがありますか。（複数ある場合は、代表的な事例についてお書きください）

⑥ 環境をテーマとする国際交流や国際協力などのイベントの協力（資金・商品提供等）

1 — 2 — 3 — 4

⑦ “さっぽろ雪まつり”などの札幌市で行われているイベントでの自社の環境対策の情報発信への参加

1 — 2 — 3 — 4

⑧ ⑦で「3」を選んだ方はお答えください。どのようなイベントに参加したことがありますか。イベント名をお答えください。（複数ある場合は、代表的なイベントについてお書きください）

問5 札幌市と市民、事業者が一体となって環境問題の解決に取り組むことによる波及効果について、貴社の立場として、どのようにお考えですか。当てはまると考えられる数字ひとつずつに○をつけてください。

そう思わない	あまりそう思わない	どちらともいえない	ややそう思う	そう思う				
1	—	2	—	3	—	4	—	5

① 新たな技術の普及や雇用の創出などの経済波及効果につながる。

1 — 2 — 3 — 4 — 5

② 自然や環境を目当てに来る観光客が増え、新たな観光資源の創出につながる。

1 — 2 — 3 — 4 — 5

③ 住宅や居住施設等における生活環境が改善され、健康の増進や福祉の向上につながる。

1 — 2 — 3 — 4 — 5

④ 大気や水質環境が改善し、健康な暮らしの増進につながる。

1 — 2 — 3 — 4 — 5

⑤ 町内会や市民団体と地域住民との関わりが増えることで、地域コミュニティの活動が活発化し、まちづくりの促進につながる。

1 — 2 — 3 — 4 — 5

⑥ 太陽光発電やコージェネレーション設備（ガスなどの燃料から、電気と熱を生み出す設備）などの導入が進み、災害時の電源確保になることで、防災対策にもつながる。

1 — 2 — 3 — 4 — 5

⑦ 自動車利用を減らすために公共交通網が整備され、高齢者や子どもなど誰もが使いやすい移動手段の確保をすれば、魅力ある住みやすい都市づくりにつながる。

1 — 2 — 3 — 4 — 5

問6 貴社の事業内容についてお尋ねします。

① 貴社の主な事業内容を簡単にご紹介ください。

② 貴社の活動を通じて、必ずしも環境保全を目的としていなくても、環境保全に結びつく可能性につながることはありますか。その活動について具体的にお書きください。

（例：経費削減のため、コピー機やプリンターの裏面使用を行っていることが、廃棄物削減などの環境保全につながる。

顧客確保のために、家電などの省エネアドバイスをを行っていることが、エネルギー対策や温暖化対策につながる。

自社の社員がまちづくりなど地域に関わっており、地域の繋がりをつくる一貫として美化活動や地域清掃を行うことがあり、地域の景観保全やみどりの創出につながる。 など）

【具体的な活動内容について】

質問は以上です。長い質問にご協力いただき、ありがとうございました。回答をする上で何か気づかれたことや、ご意見などがございましたら、以下の欄にご自由にお書きください。

環境基本計画に関するアンケート結果【事業者向け】

○調査対象：市内企業の無作為抽出による500社

○調査期間：平成27年11月17日（火）～12月10日（木）

○回収率：48.2%（N=241）

○調査項目：問1 基本情報

問2 団体として取り組んでいる環境保全行動について

問3 団体または所属員への省エネ建築物・設備の導入状況について

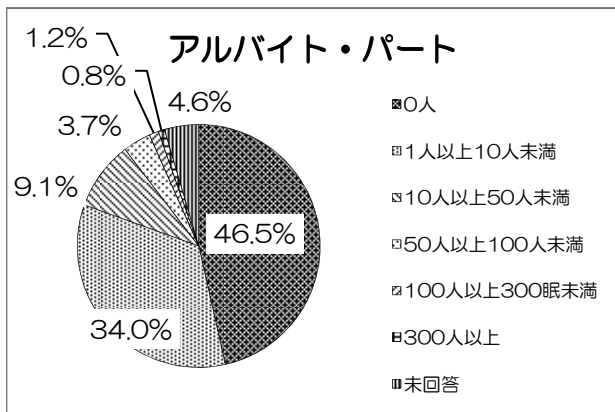
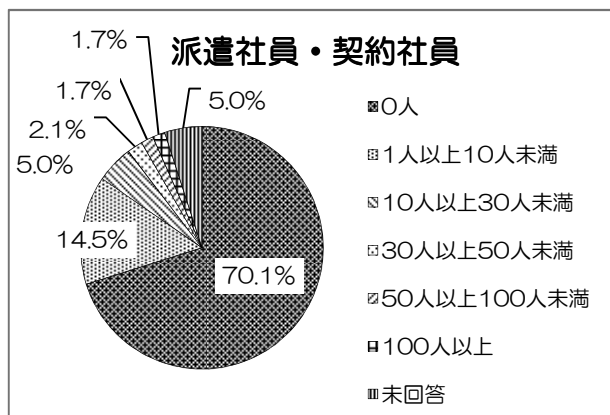
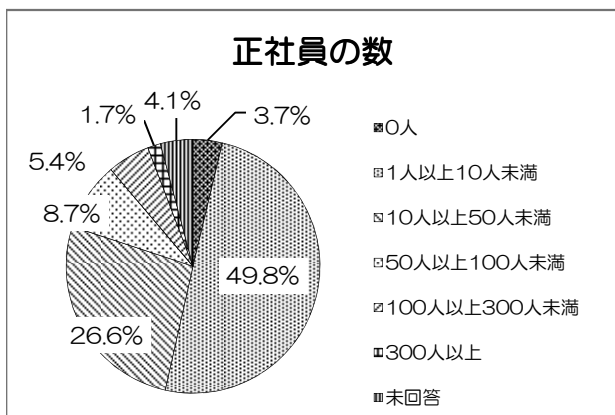
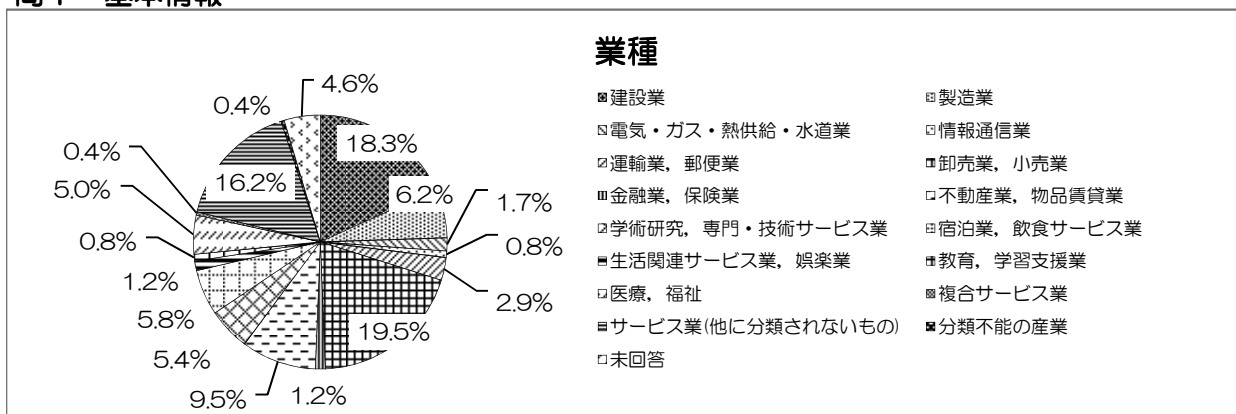
問4 環境イベントの実施状況について

問5 環境問題の解決に伴う波及効果について

問6 団体活動と環境保全について

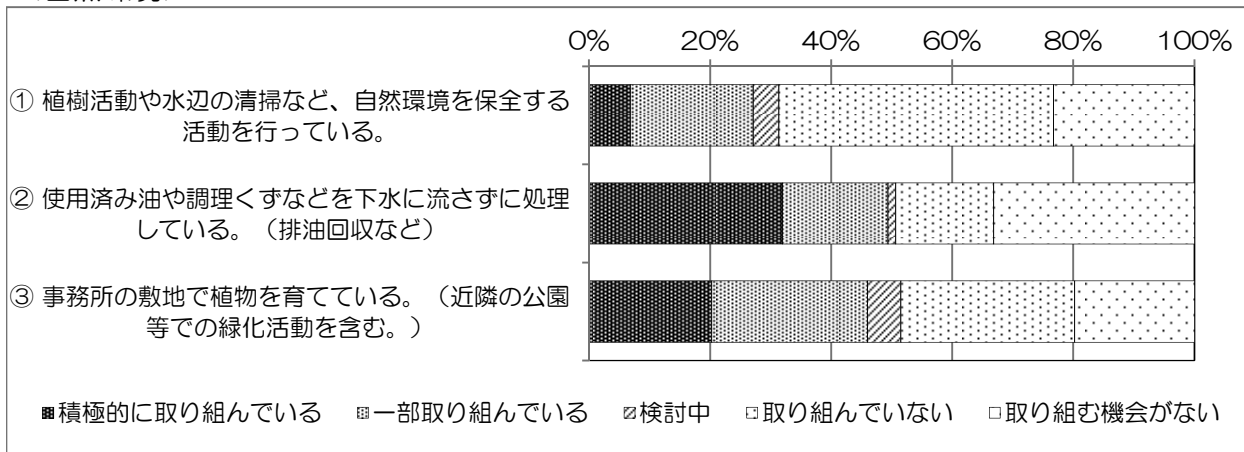
○調査結果

問1 基本情報

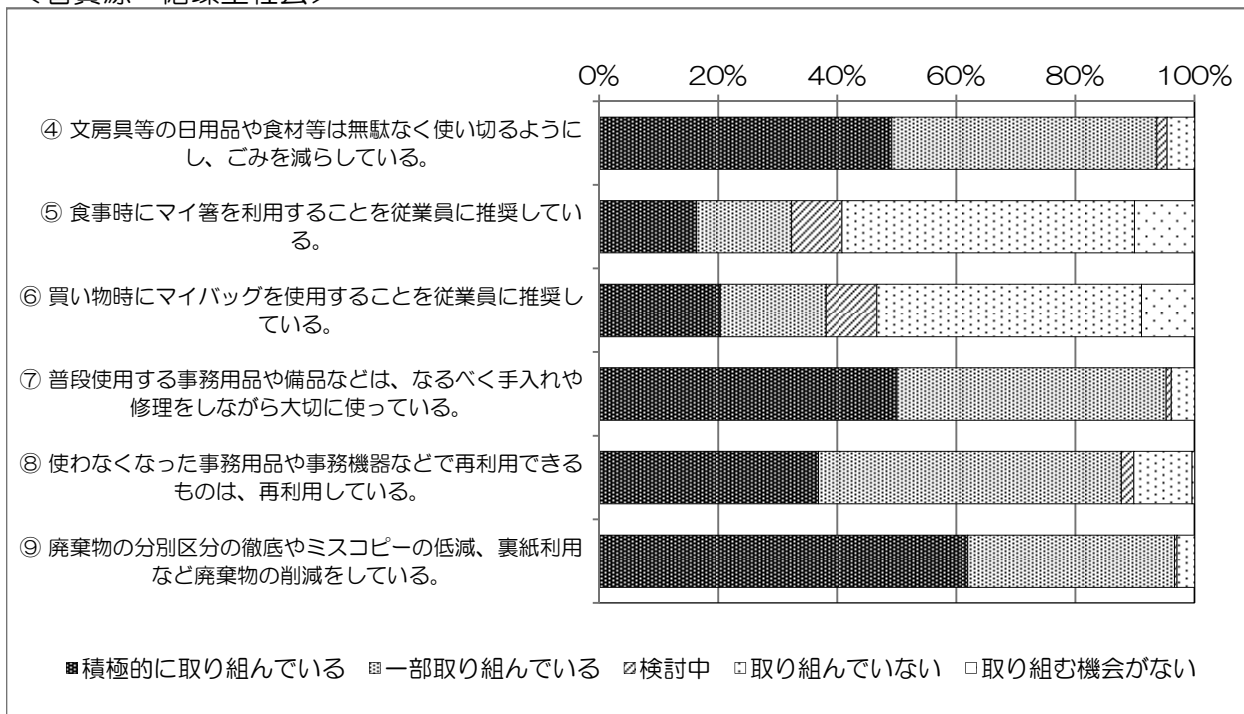


問2 会社として取り組んでいる環境保全行動、従業員に推奨している取組について

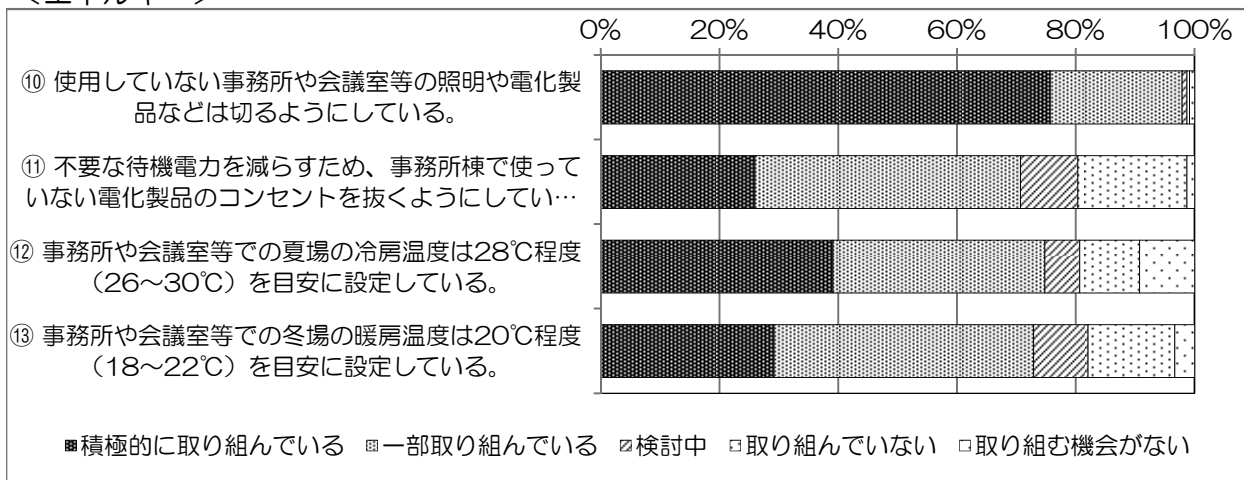
<自然環境>



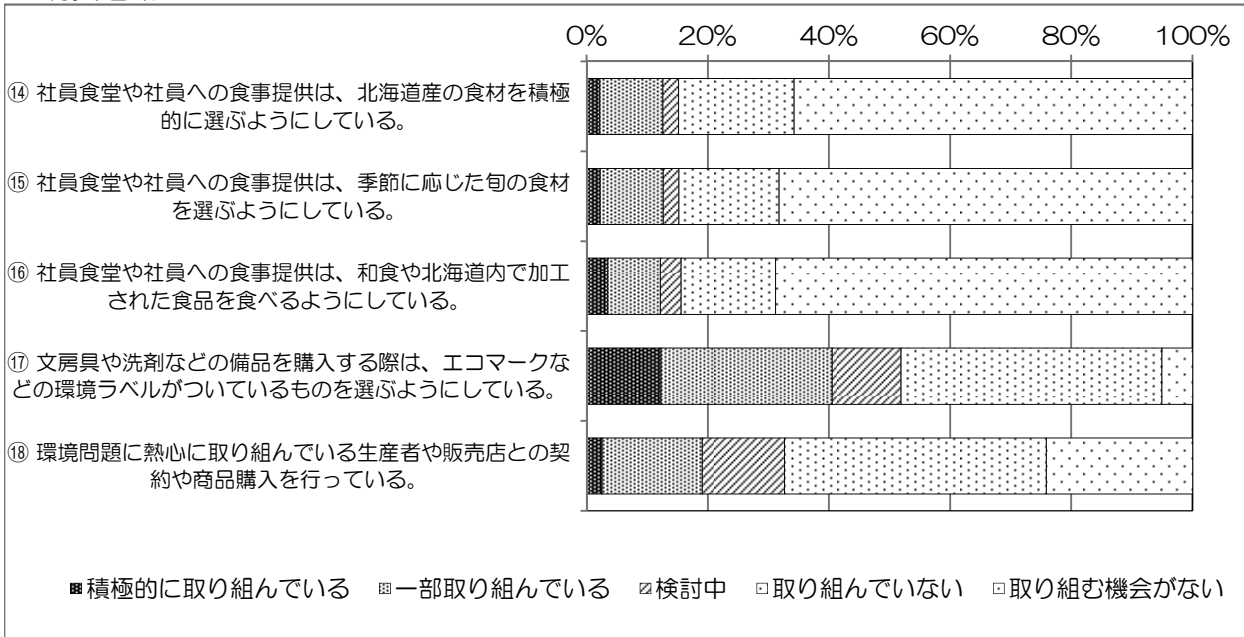
<省資源・循環型社会>



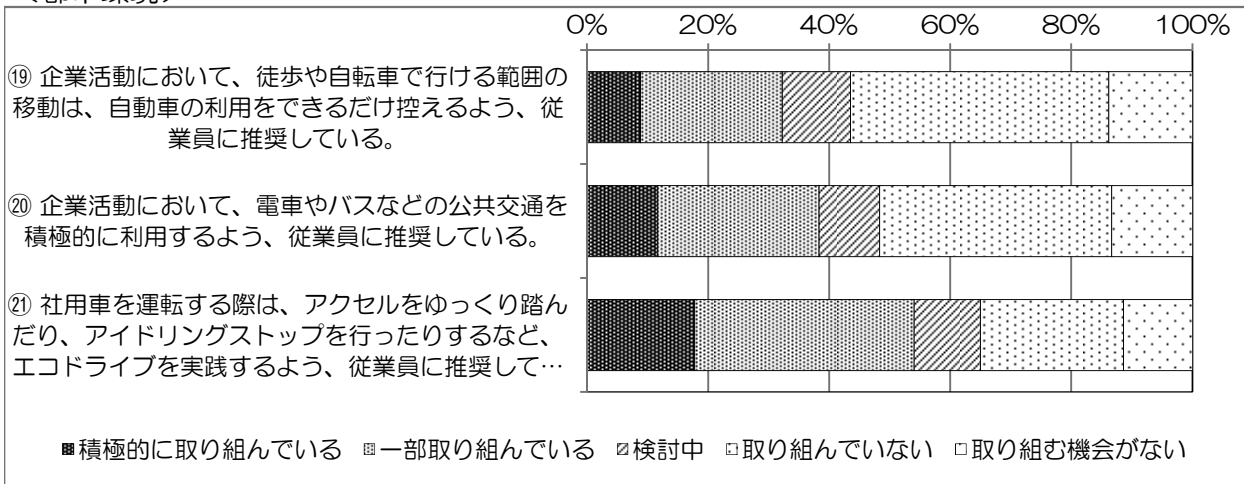
<エネルギー>



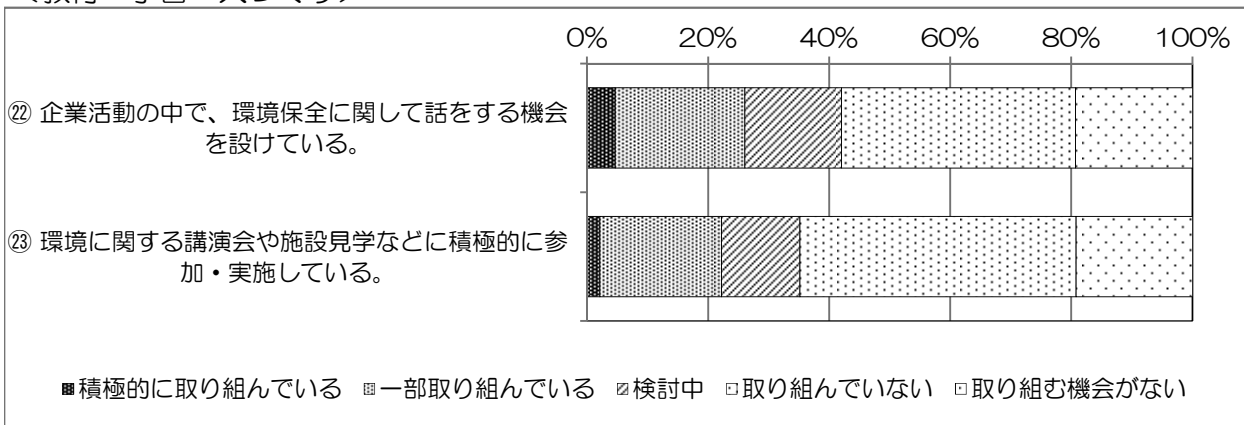
<消費活動>



<都市環境>



<教育・学習・人づくり>

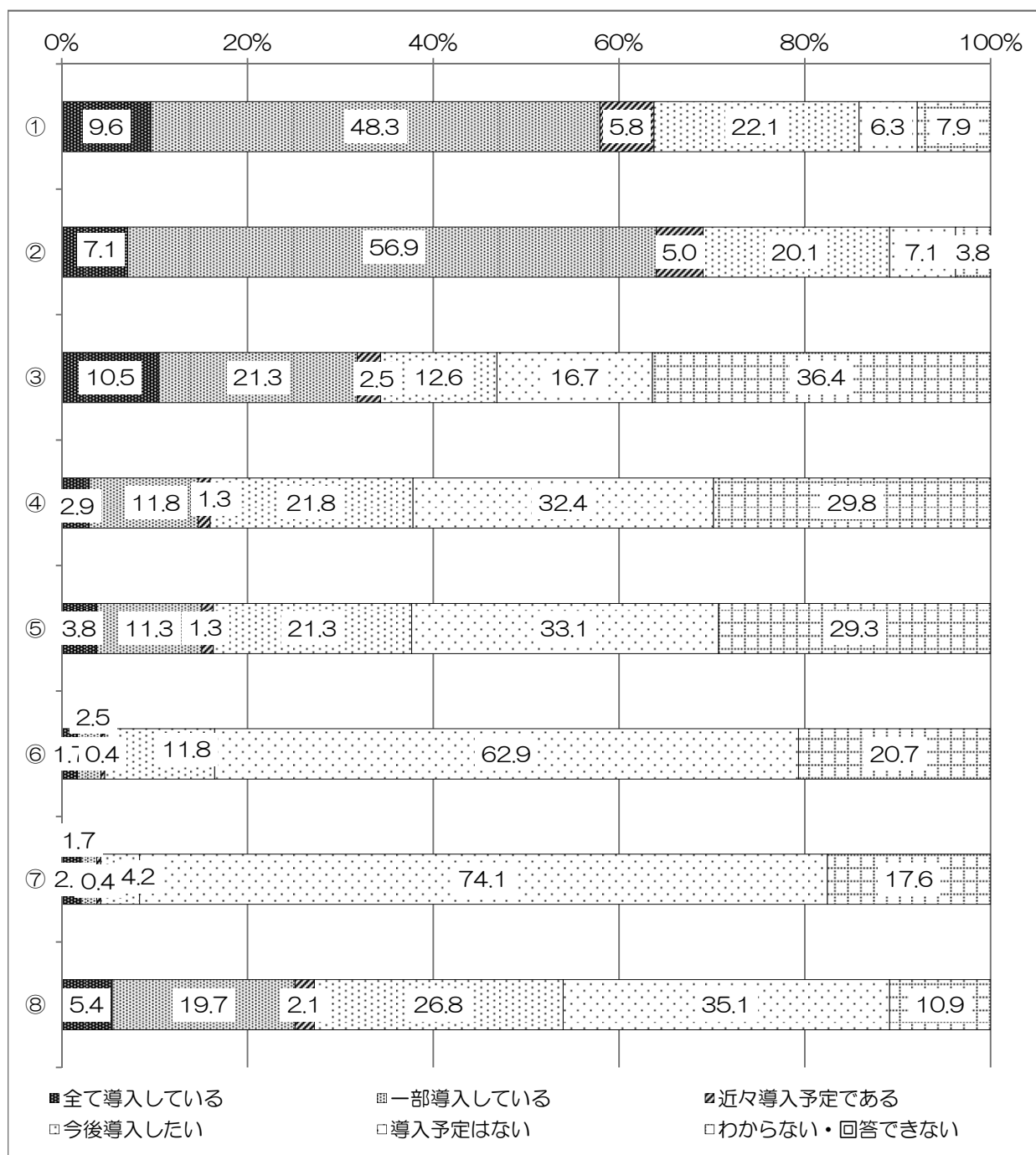


問3 事務所・事業所への省エネ建築物・設備の導入状況について

<グラフの各項目>

- ① 照明器具は、LEDや蛍光灯型など、省エネルギーの製品を導入している。
- ② パソコンやコピー機などの家電製品は、消費電力の少ない製品を導入している。
- ③ 事務所などは断熱・気密性能の高い建築物を選択・建築している。
- ④ 高効率な給湯機器（エコジョーズやエコキュートなど）を導入している。
- ⑤ 高効率な暖房機器（エコジョーズやヒートポンプ暖房システムなど）を導入している。
- ⑥ 太陽光発電設備を導入している。
- ⑦ ペレットストーブや薪ストーブなど、木質燃料の暖房を導入している。
- ⑧ 社用車は次世代自動車を導入している。

問5のグラフ

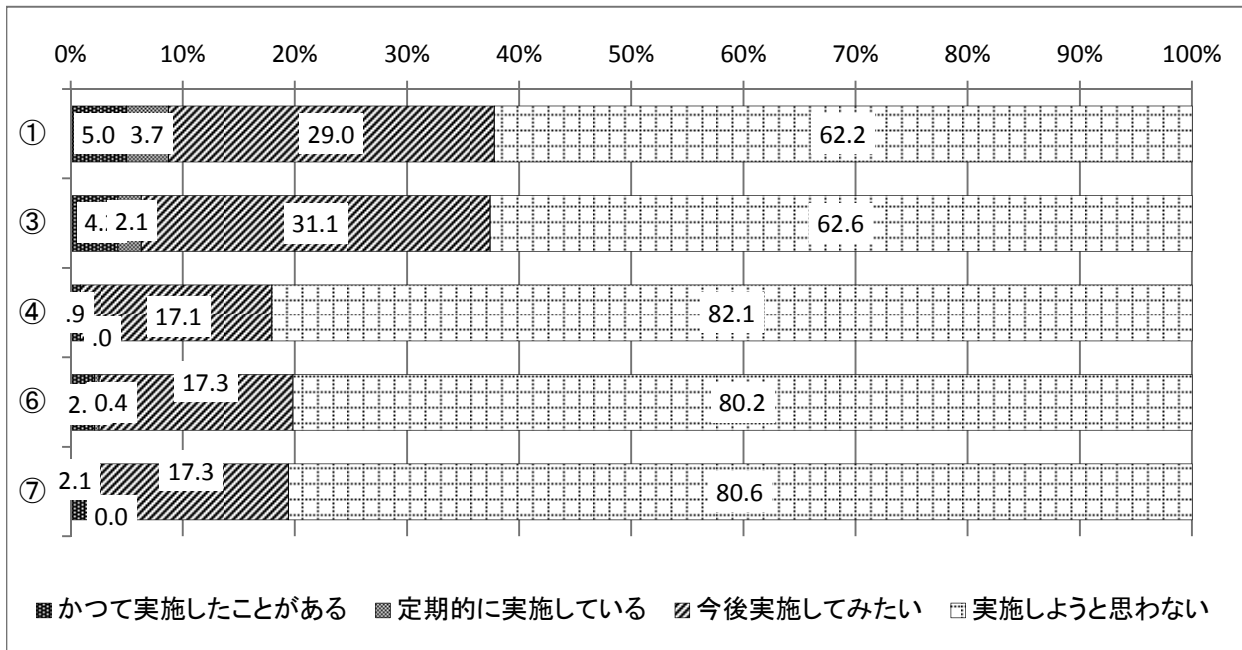


問4 環境イベントの実施状況について

＜グラフの各項目＞

- ① 環境保全活動に関するイベント（講演会や施設見学会等）の実施
- ③ 環境保全活動に関するイベント（講演会や施設見学会等）への協力
- ④ 環境をテーマとする国際交流や国際協力などのイベントの実施
- ⑥ 環境をテーマとする国際交流や国際協力などのイベントへの協力
- ⑦ “さっぽろ雪まつり”などの札幌市で行われているイベントでの環境対策の情報発信への参加

問4のグラフ



③ 環境保全活動に関するイベント（抜粋）

- ・講演会の実施 ①CO2を出さない農業の推進 ②自然条件を生かした農業技術の導入
- ・①ごみ拾い(多世代交流)、公園の清掃 ②古着物の再生活用イベント
- ・札幌ドームの太陽光発電やコジェネレーションの参加見学。
- ・太陽光利用したエコクッキングに参加。バイオトイレの見学・ドイツ視察。
- ・毎年5月にレイチェル・カーソン生誕祭を行い、環境保全活動の講演を行っている。
- ・清田区が行う市民まちづくりで旧36号線の桜並木通りへの参加など
- ・スポーツGOMI拾い大会
- ・モエレ沼公園内のゴミ拾い、草刈り、サクラ見学、クラフト展など
- ・生ごみ堆肥化、資源化の講習会等

⑥ 環境をテーマとする国際交流や国際協力などのイベント（抜粋）

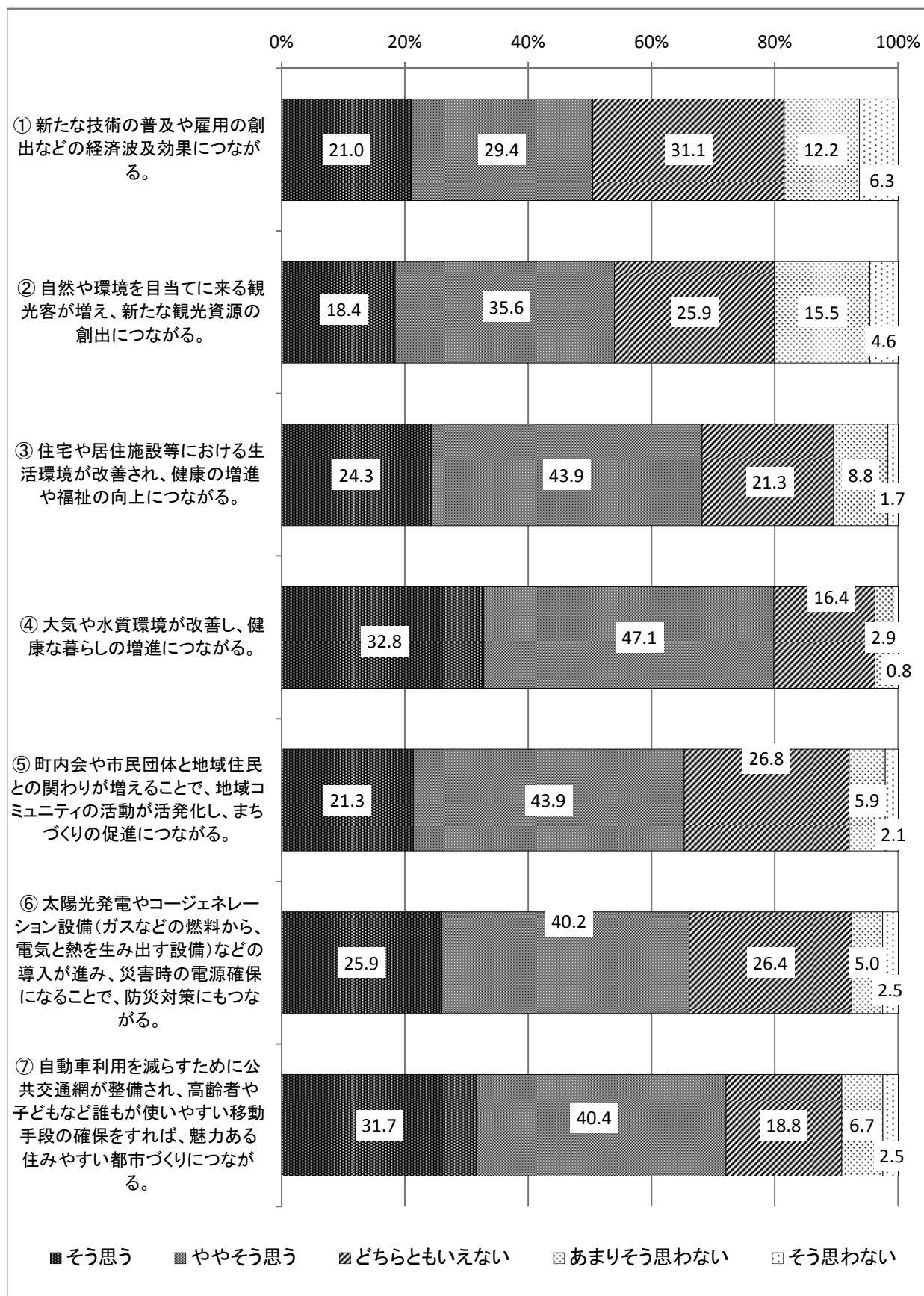
- ・グリーナーウィーク2014 環境系の国際会議を札幌で開催。
- ・ドイツ緑の党との交流。独日平和フォーラムベルリン代表のオイゲン氏の講演会。
- ・IGPN国際フォーラム
- ・セタワールドキャンプ植樹記念実施
- ・中国大学生交流記念植樹

⑦ 札幌市で実施しているイベントへの参加

- ・環境広場さっぽろ
- ・さっぽろホワイトイルミネーション
- ・ミュンヘンクリスマス市 in Sapporoでピアンカさんの講座に参加

問5 環境問題の解決に伴う波及効果について

(札幌市と市民、市民団体が一体となって環境問題の解決に取り組むことによる波及効果)



問6 団体活動と環境保全について

(事業活動を通じて、環境保全に結びつく可能性につながる活動)

<自社内での取組>

【エネルギー対策】

- ・家庭・職場内における設備を変える。特に電気（LEDの照明を増やす。省エネの電化製品を使う）
- ・パソコンは毎日使用しないため電源コンセントは抜いている。
- ・電子レンジも使う時のみコンセントを入れる。
- ・エアコンは利用していない。
- ・ガス給湯器や暖房器具はビル備え付けのためエコではないかもしれないが、利用は最小に抑えている。
- ・社内の工事及び事務所の照明を全てLEDに変えた事
- ・蓄電池による電力貯蔵により、昼間の電力使用のピークカット(夜間電力の有効利用)
- ・ウォームビズ実施。事務所での暖房時の室温を極力低めに設定し、寒い時は各自厚着等によって対処する。

【廃棄物・リサイクル対策】

- ・経費削減の為、再生紙使用。コピー用紙裏面使用。リサイクルトナー使用など。
- ・ポスティングされた広告等の裏が白紙のものは、メモ用紙として活用。
- ・ボールペン等はインクが出なくなるまで使用。
- ・事業所付近の清掃活動を年2回行っており、地域の景観保全につながっている。
- ・展示会会場設営に伴う仮設間仕切のパネル(規格サイズに製作)を再利用できるようにシステム化して、コストを抑え、終了後の産廃を無くしている。
- ・使用済みのガラスがリサイクル出来るようになれば、産業廃棄物の低減になると思いますので、廃棄物取り扱い業者に問い合わせ中である。
- ・電子ペーパーの導入(システム)(室工大他) 紙の使用削減につなげるシステムの提案。会議の資料を電子化し、紙の印刷を減少させる。
- ・使用済み油・調理くず等の処分方法(再利用等)
- ・木資材の廃材を全てリサイクルとして再利用している事
- ・食べ残しをたい肥化する。

【公共交通利用、自動車対策】

- ・事業主含め社員全員、駐車場がないため、自転車・公共交通機関の使用が主。
- ・社用車の低燃費車への切替え
- ・トップ(経営)が公共交通機関の利用(遠くへは地下鉄等)

<営業活動の中での顧客に向けた取組>

【エネルギー対策】

- ・長期優良住宅の積極的認定
- ・省エネ・エネルギー対策製品の設計段階からの取り入れ
- ・ビルの緑化・屋上緑化品の販促
- ・建築全般を通じ、断熱や省エネ機器の提案を顧客に行っています。

【廃棄物・リサイクル対策】

- ・仕事柄使用する材料等をF☆☆☆☆にしている(環境対応型)

札幌市環境基本計画に関するアンケートへのご協力をお願い

【はじめに】

このアンケートは、札幌市における環境政策を総合的に進めるための計画である「札幌市環境基本計画（計画期間：1998年～2017年）」を、環境に関する現状を踏まえ、今後の新たな計画へと改定していくために、市民団体の環境への取組状況や、環境に対する考え方をお聞きするものです。

本アンケートは、札幌市が実施している「さぽーとほっと基金」に登録している463団体にお送りしています。ご多忙のところ恐れ入りますが、今後の札幌市の環境政策推進のため、ご協力をお願いいたします。

【ご記入上の注意点】

1. 本アンケートは、送付を受けた団体としての行動や方針をお答えください。（必ずしも代表の方がお答えいただく必要はありませんが、団体としての立場でご回答ください。）また、「あなたは」と尋ねられている箇所は、ご回答者ご自身のことをお答えください。
2. このアンケートは、主に選択回答です。該当する番号に○印をつけてください。最後の自由回答は、所定の欄にご記入ください。
3. 回答は、アンケートに記入する現時点での状況や考え方をご記入ください。
4. 本アンケート票は、回答後、
2015年11月30日（月）までに、同封の返信用封筒に入れて、投函ください。

【個人情報の取扱について】

この調査によって得られたデータは統計的に処理され、各団体における個別の回答が取り上げられることはありません。また、団体に属する個人（記入者）に関する情報は公開いたしません。

【本アンケートに関するお問い合わせ先】

札幌市 環境局 環境都市推進部 環境計画課（担当：菊野、佐竹）

電話：011-211-2877 メール：kan.suishin@city.sapporo.jp

問1 貴団体のことについてお伺いいたします。本年10月1日時点の状況で、あてはまるものひとつずつに○をつけてください。

団体名			
活動地域	1. 区内（ 区） 4. 札幌市内とその近郊 7. 国内と海外	2. 区内とその周辺 5. 北海道内 8. 海外のみ	3. 札幌市内 6. 国内（道内含む） 9. その他（ ）
年間活動経費	1. 10万円未満 4. 100～500万円 7. 5000万円以上	2. 10～50万円 5. 500～1000万円	3. 50～100万円 6. 1000～5000万円
記入者役職	1. 代表者 4. その他（ ）	2. 事務局員（団体構成員）	3. 団体会員等

問2 現在、貴団体のメンバーが取り組んでいる普段の環境保全行動についてお聞きします。メンバーのそれぞれについてはよくわからない場合には、主に、このアンケートに回答されているご担当者または代表者を想定して、それぞれについて普段の行動にあてはまるものひとつずつに○をつけてください。

多くのメンバーは 全く行っていない	多くのメンバーは あまり行っていない	多くのメンバーは どちらともいえない	多くのメンバーは ときどき行う	多くのメンバーは いつも行っている	団体として 行っている				
1	—	2	—	3	—	4	—	5	6

- ① 植樹活動や水辺の清掃活動など、自然環境を保全する活動を行っている。
1 — 2 — 3 — 4 — 5 6
- ② 使用済み油や調理くずなどを下水に流さずに処理している。（廃油回収など）
1 — 2 — 3 — 4 — 5 6
- ③ 事務所の庭やベランダなどで植物を育てている。（近隣の公園等での緑化活動を含む。）
1 — 2 — 3 — 4 — 5 6
- ④ 食材や日用品は無駄なく使い切るようにし、ごみを減らしている。
1 — 2 — 3 — 4 — 5 6
- ⑤ 食事時にマイ箸を利用している。
1 — 2 — 3 — 4 — 5 6
- ⑥ 買い物時にマイバッグを使用している。
1 — 2 — 3 — 4 — 5 6
- ⑦ 普段使用する日用品や備品などは、なるべく手入れや修理をしながら大切に使っている。
1 — 2 — 3 — 4 — 5 6
- ⑧ 使わなくなった日用品や備品などで再利用できるものは、再利用したり、リサイクルショップへ売ったりしている。
1 — 2 — 3 — 4 — 5 6
- ⑨ ごみの分別区分やごみを出す曜日を守っている。
1 — 2 — 3 — 4 — 5 6
- ⑩ 使用していない事務所や会議室等の照明や家電製品などは切るようにしている。
1 — 2 — 3 — 4 — 5 6
- ⑪ 不要な待機電力を減らすため、事務所等で使っていない家電製品のコンセントを抜くようにしている。
1 — 2 — 3 — 4 — 5 6

- ⑫ 事務所や会議室等での夏場の冷房温度は 28℃程度（26～30℃）を目安に設定している。
1 — 2 — 3 — 4 — 5 6
- ⑬ 事務所や会議室等での冬場の暖房温度は 20℃程度（18～22℃）を目安に設定している。
1 — 2 — 3 — 4 — 5 6
- ⑭ 食材を購入するときは、北海道産の食材を積極的に選ぶようにしている。
1 — 2 — 3 — 4 — 5 6
- ⑮ 食材を購入するときは、季節に応じた旬の食材を選ぶようにしている。
1 — 2 — 3 — 4 — 5 6
- ⑯ 普段から和食や北海道内で加工された食品を購入するようにしている。
1 — 2 — 3 — 4 — 5 6
- ⑰ 文房具や洗剤などの備品を購入する際は、エコマークなどの環境ラベルがついているものを選ぶようにしている。
1 — 2 — 3 — 4 — 5 6
- ⑱ 環境問題に熱心に取り組んでいる生産者や販売店の商品を選ぶようにしている。
1 — 2 — 3 — 4 — 5 6
- ⑲ 団体活動において徒歩や自転車で行ける範囲の移動は、自動車の利用をできるだけ控えている。
1 — 2 — 3 — 4 — 5 6
- ⑳ 団体活動において、電車やバスなどの公共交通を積極的に利用している。
1 — 2 — 3 — 4 — 5 6
- ㉑ 自動車を運転する際は、アクセルをゆっくり踏んだり、アイドリングストップを行ったりするなど、エコドライブを実践している。
1 — 2 — 3 — 4 — 5 6
- ㉒ 団体活動の中で、環境保全に関して話をしている。
1 — 2 — 3 — 4 — 5 6
- ㉓ 環境に関する講演会や施設見学などに積極的に参加・実施している。
1 — 2 — 3 — 4 — 5 6

問3 以下の製品等の導入について、貴団体の事務所やメンバーのお宅（代表者またはご回答者）の状況に当てはまる数字ひとつずつに○をつけてください。
 ※テナントに入居などで回答できない場合は0に○をつけてください

導入する予定はない	今後導入したい	近々導入予定である	すでに導入している	わからない・回答できない
1	— 2	— 3	— 4	0

- ① 照明器具は、LED や蛍光灯型など、省エネルギーの製品を導入している。
 1 — 2 — 3 — 4 0
- ② 冷蔵庫やテレビなどの家電製品は、消費電力の少ない製品を導入している。
 1 — 2 — 3 — 4 0
- ③ 住宅や事務所などは断熱・気密性能の高い建築物を導入している。
 1 — 2 — 3 — 4 0
- ④ 高効率な給湯機器（エコジョーズやエコキュートなど）を導入している。
 1 — 2 — 3 — 4 0
- ⑤ 高効率な暖房機器（エコジョーズやヒートポンプ暖房システムなど）を導入している。
 1 — 2 — 3 — 4 0
- ⑥ 太陽光発電設備を導入している。
 1 — 2 — 3 — 4 0
- ⑦ ペレットストーブや薪ストーブなど、木質燃料の暖房を導入している。
 1 — 2 — 3 — 4 0
- ⑧ 自動車は低公害車・低燃費車を導入している。
 1 — 2 — 3 — 4 0

問4 以下で示すイベントなどに貴団体として参加・実施したことがありますか。当てはまる数字ひとつずつに○をつけてください。

参加・実施しようと思わない	参加・実施したことはないが、参加・実施してみたい	参加・実施したことがある
1	2	3

① 環境保全活動に関するイベント（講演会や施設見学会等）への参加

1 — 2 — 3

② 環境保全活動に関するイベント（講演会や施設見学会等）の実施

1 — 2 — 3

③ ②で「3」を選んだ方はお答えください。どのようなイベントを実施したことがありますか。（複数ある場合は、代表的な事例についてお書きください）

④ 環境をテーマとする国際交流や国際協力などのイベントへの参加

1 — 2 — 3

⑤ 環境をテーマとする国際交流や国際協力などのイベントの実施

1 — 2 — 3

⑥ ⑤で「3」を選んだ方はお答えください。どのようなイベントを実施したことがありますか。（複数ある場合は、代表的な事例についてお書きください）

⑦ “さっぽろ雪まつり”などの札幌市で行われているイベントでの環境対策の情報発信への参加

1 — 2 — 3

⑧ ⑦で「3」を選んだ方はお答えください。どのようなイベントに参加したことがありますか。イベント名をお答えください。（複数ある場合は、代表的なイベントについてお書きください）

問5 札幌市と市民、市民団体が一体となって環境問題の解決に取り組むことによる波及効果について、あなたはどのように思いますか。当てはまる数字ひとつずつに○をつけてください。

そう思わない	あまりそう思わない	どちらともいえない	ややそう思う	そう思う				
1	—	2	—	3	—	4	—	5

- ① 新たな技術の普及や雇用の創出などの経済波及効果につながる。
1 — 2 — 3 — 4 — 5
- ② 自然や環境を目当てに来る観光客が増え、新たな観光資源の創出につながる。
1 — 2 — 3 — 4 — 5
- ③ 住宅や居住施設等における生活環境が改善され、健康の増進や福祉の向上につながる。
1 — 2 — 3 — 4 — 5
- ④ 大気や水質環境が改善し、健康な暮らしの増進につながる。
1 — 2 — 3 — 4 — 5
- ⑤ 町内会や市民団体と地域住民との関わりが増えることで、地域コミュニティの活動が活発化し、まちづくりの促進につながる。
1 — 2 — 3 — 4 — 5
- ⑥ 太陽光発電やコージェネレーション設備（ガスなどの燃料から、電気と熱を生み出す設備）などの導入が進み、災害時の電源確保になることで、防災対策にもつながる。
1 — 2 — 3 — 4 — 5
- ⑦ 自動車利用を減らすために公共交通網が整備され、高齢者や子どもなど誰もが使いやすい移動手段の確保をすれば、魅力ある住みやすい都市づくりにつながる。
1 — 2 — 3 — 4 — 5

問6 貴団体の活動についてお尋ねします。

① 貴団体の活動を簡単にご紹介ください。

② 貴団体の活動を通じて、必ずしも環境保全を目的としていなくても、環境保全に結びつく可能性につながることはありますか。その活動について具体的にお書きください。

（例：高齢者の介護支援をしているが、紙おむつ使用を減らす生活を助けることで、結果的にごみ減量化につながる。

子育て支援をしているが、その中で自然環境とふれあう機会もあり、結果的に環境教育にもつながる。

まちづくりなど地域に関わる中で、地域の繋がりをつくる一貫として美化活動や地域清掃を行うことがあり、地域の景観保全やみどりの創出につながる。

中間支援団体であり、支援先には環境に関連する団体もある。 など）

【具体的な活動内容について】

質問は以上です。長い質問にご協力いただき、ありがとうございました。回答をする上で何か気づかれたことや、ご意見などがございましたら、以下の欄にご自由にお書きください。

環境基本計画に関するアンケート結果【市民団体向け】

○調査対象：さぼーとほっと基金登録463団体

○調査期間：平成27年11月10日（火）～11月30日（月）

○回収率：36.7%（N=170）

○調査項目：問1 基本情報

問2 団体として取り組んでいる環境保全行動について

問3 団体または所属員への省エネ建築物・設備の導入状況について

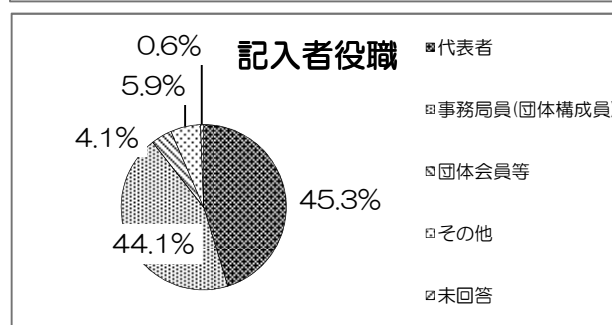
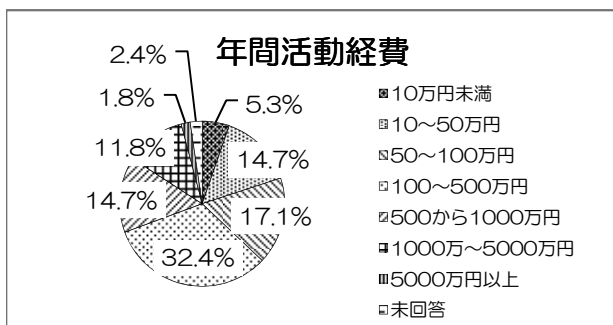
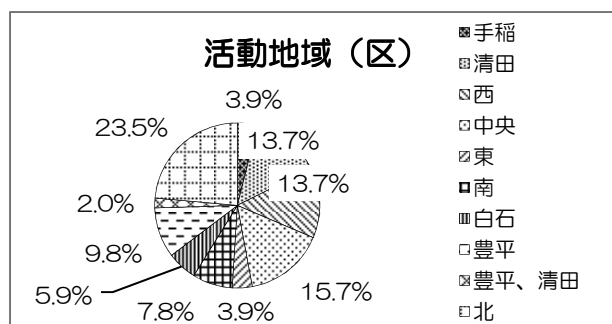
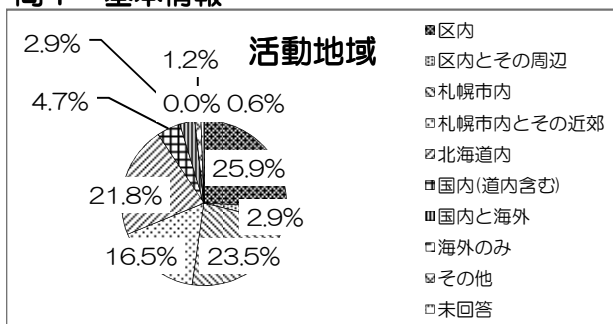
問4 環境イベントの実施状況について

問5 環境問題の解決に伴う波及効果について

問6 団体活動と環境保全について

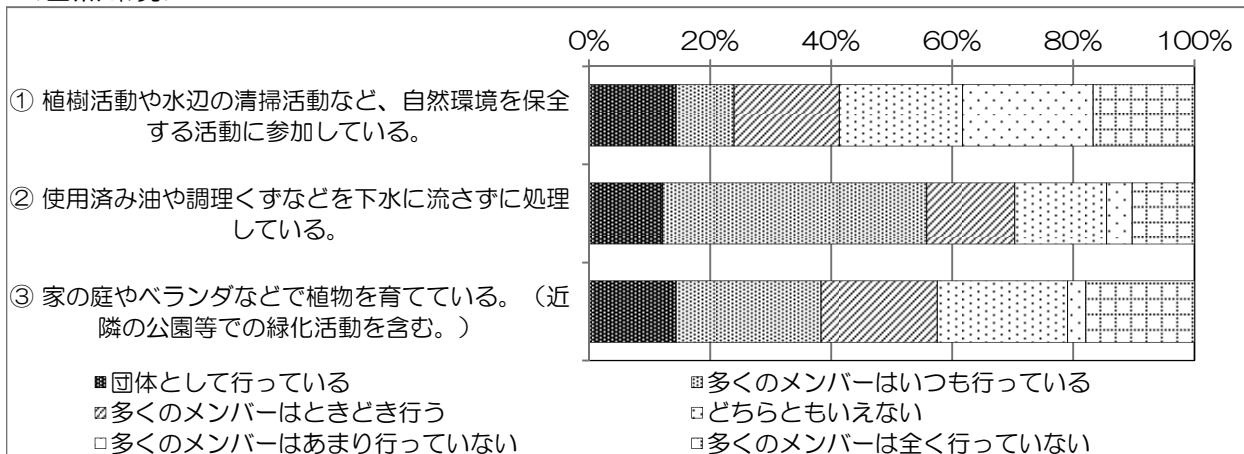
○調査結果

問1 基本情報

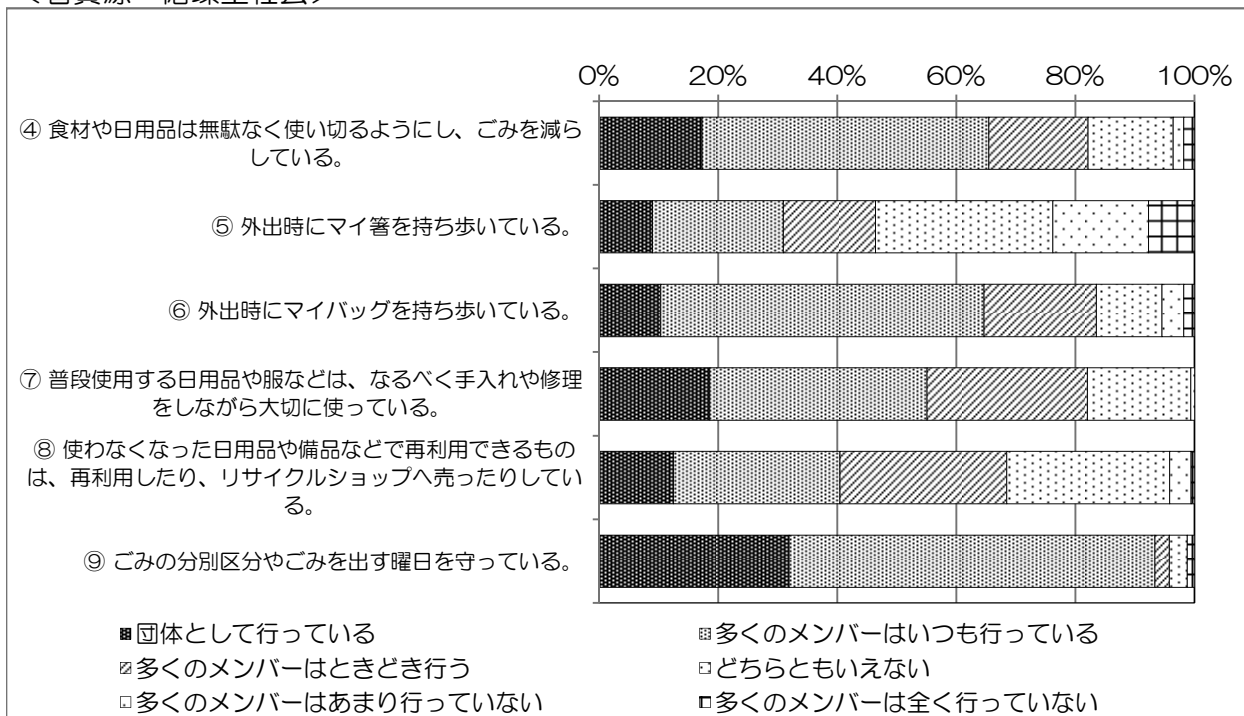


問2 普段取り組んでいる環境保全行動について

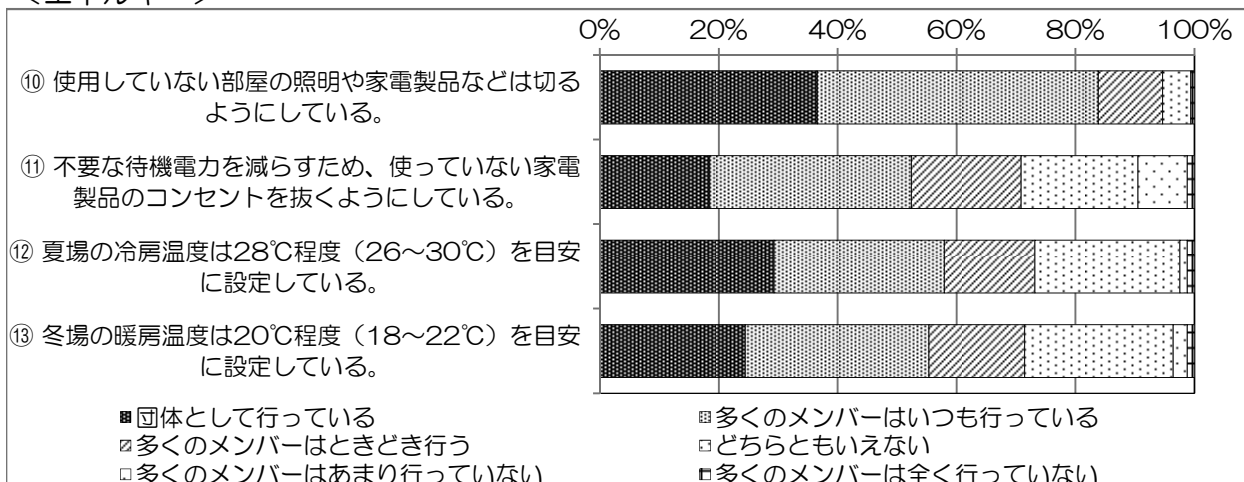
<自然環境>



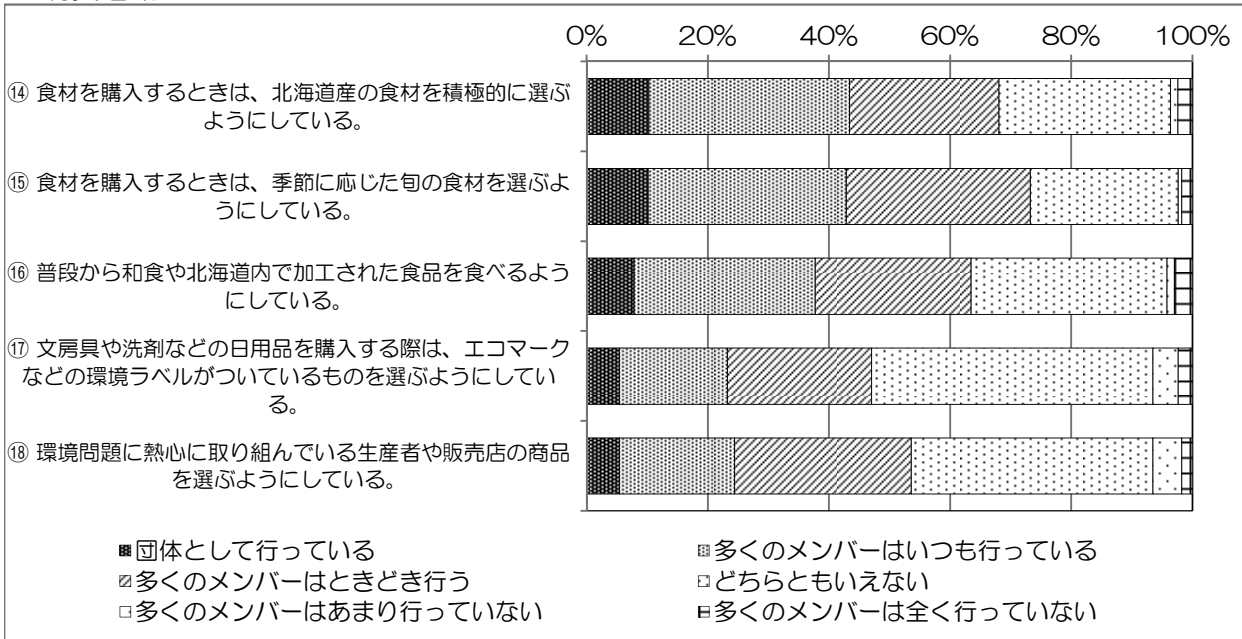
<省資源・循環型社会>



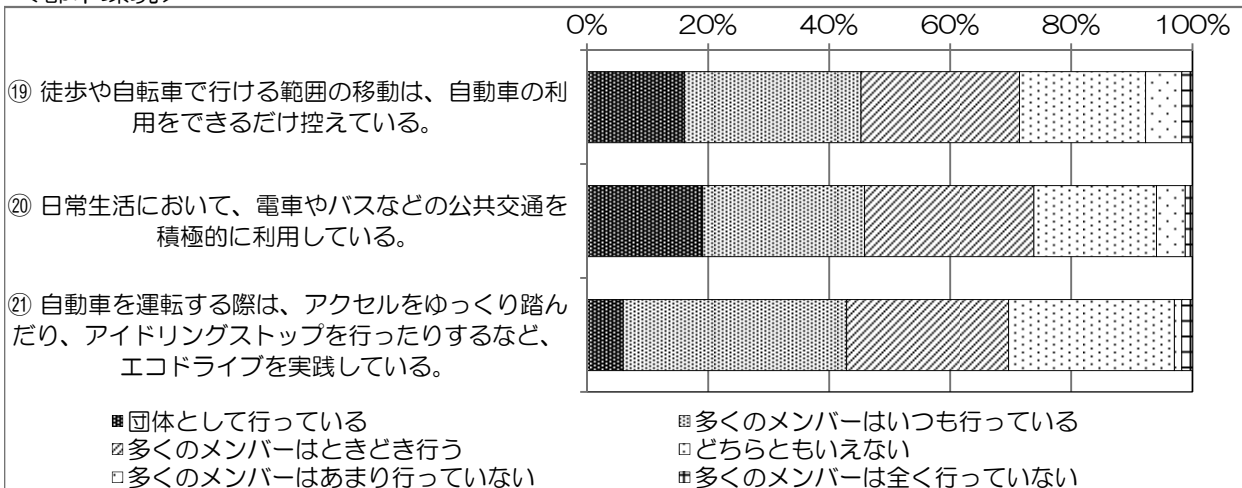
<エネルギー>



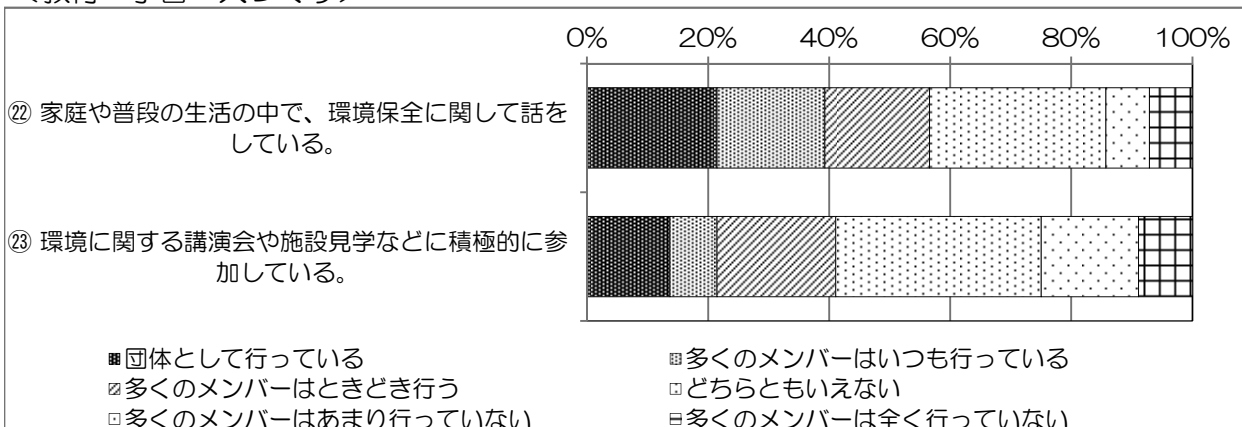
<消費活動>



<都市環境>



<教育・学習・人づくり>

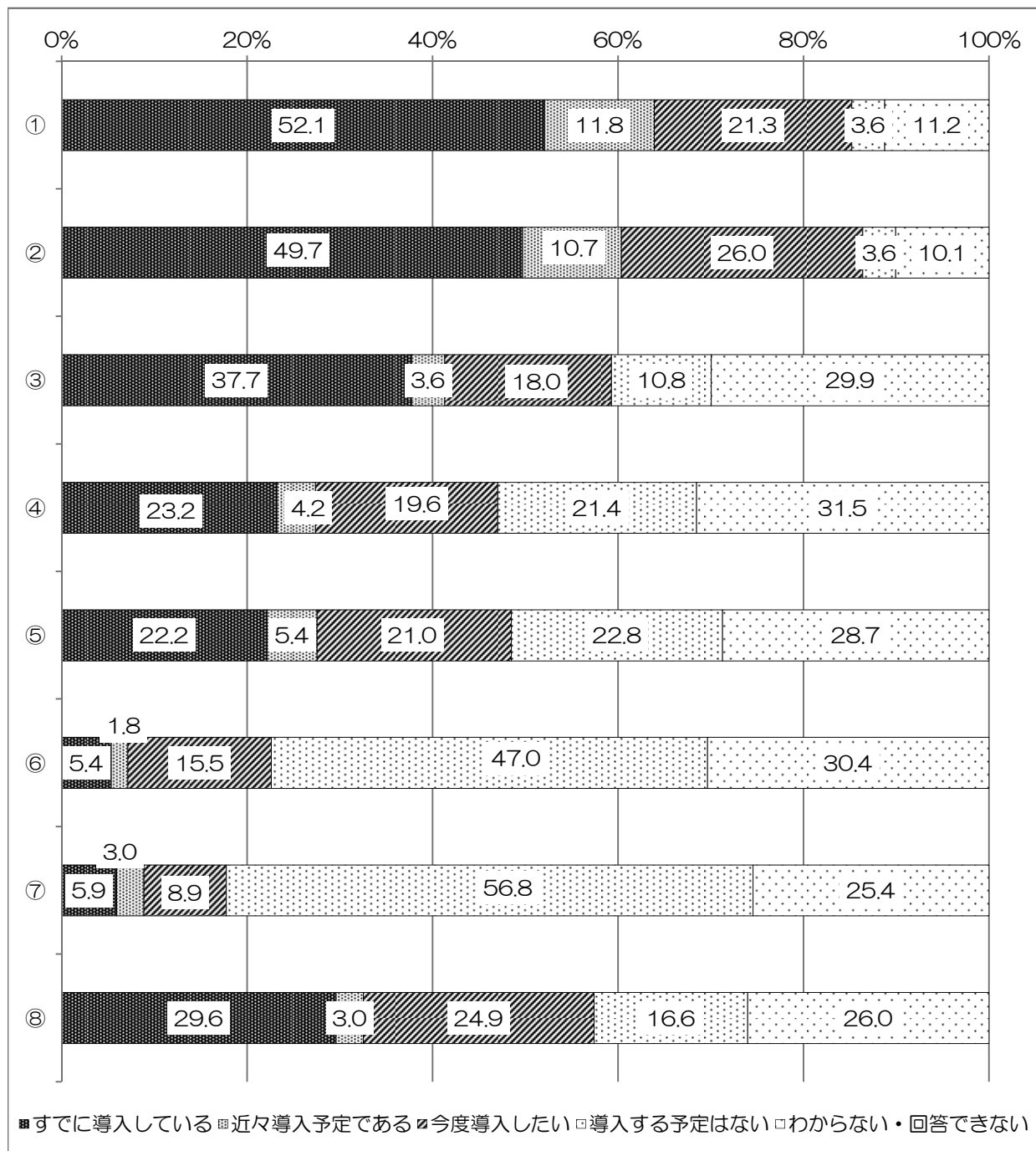


問3 団体または所属員への省エネ建築物・設備の導入状況について

<グラフの各項目>

- ① 照明器具は、LEDや蛍光灯型など、省エネルギーの製品を導入している。
- ② 冷蔵庫やテレビなどの家電製品は、消費電力の少ない製品を導入している。
- ③ 住宅や事務所などは断熱・気密性能の高い建築物を導入している。
- ④ 高効率な給湯機器（エコジョーズやエコキュートなど）を導入している。
- ⑤ 高効率な暖房機器（エコジョーズやヒートポンプ暖房システムなど）を導入している。
- ⑥ 太陽光発電設備を導入している。
- ⑦ ペレットストーブや薪ストーブなど、木質燃料の暖房を導入している。
- ⑧ 自動車は低公害車・低燃費車を導入している。

問5のグラフ

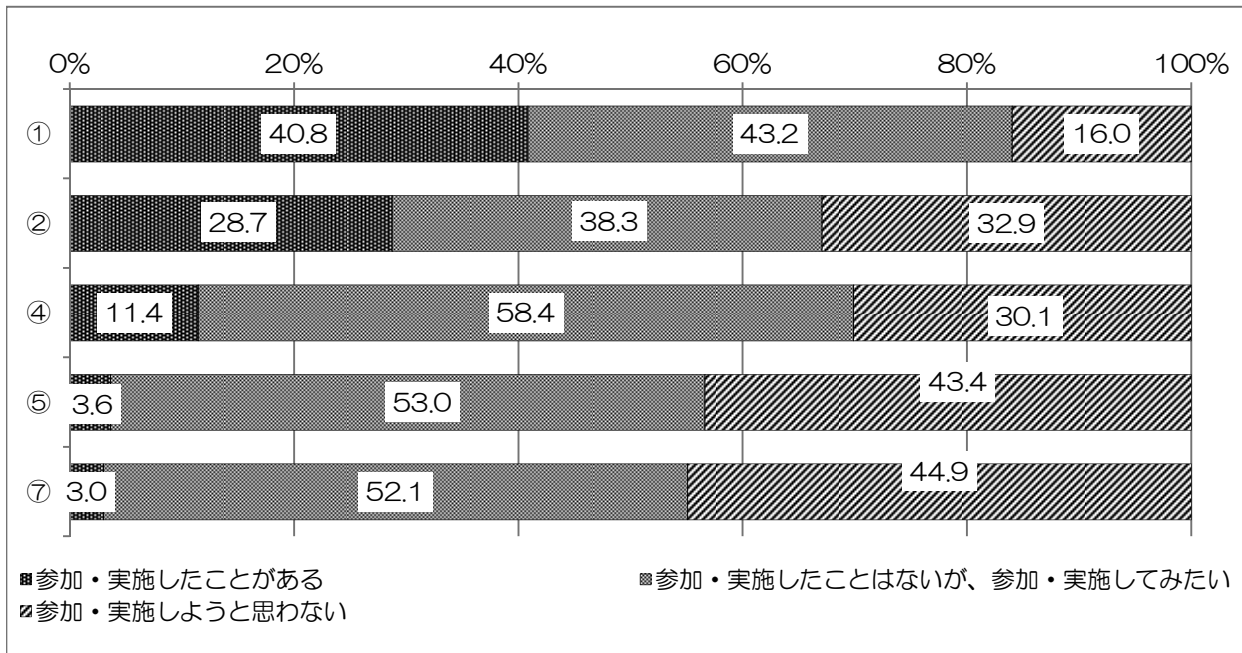


問4 環境イベントの実施状況について

<グラフの各項目>

- ① 環境保全活動に関するイベント（講演会や施設見学会等）への参加
- ② 環境保全活動に関するイベント（講演会や施設見学会等）の実施
- ④ 環境をテーマとする国際交流や国際協力などのイベントへの参加
- ⑤ 環境をテーマとする国際交流や国際協力などのイベントの実施
- ⑦ “さっぽろ雪まつり”などの札幌市で行われているイベントでの環境対策の情報発信への参加

問4のグラフ



③ 環境保全活動に関するイベント（抜粋）

- ・講演会の実施 ①CO2を出さない農業の推進 ②自然条件を生かした農業技術の導入
- ・①ごみ拾い(多世代交流)、公園の清掃 ②古着物の再生活用イベント
- ・札幌ドームの太陽光発電やコジェネレーションの参加見学。
- ・太陽光利用したエコクッキングに参加。バイオトイレの見学・ドイツ視察。
- ・毎年5月にレイチェル・カーソン生誕祭を行い、環境保全活動の講演を行っている。
- ・清田区が行う市民まちづくりで旧36号線の桜並木通りへの参加など
- ・スポーツGOMI拾い大会
- ・モエレ沼公園内のゴミ拾い、草刈り、サクラ見学、クラフト展など
- ・生ごみ堆肥化、資源化の講習会等

⑥ 環境をテーマとする国際交流や国際協力などのイベント（抜粋）

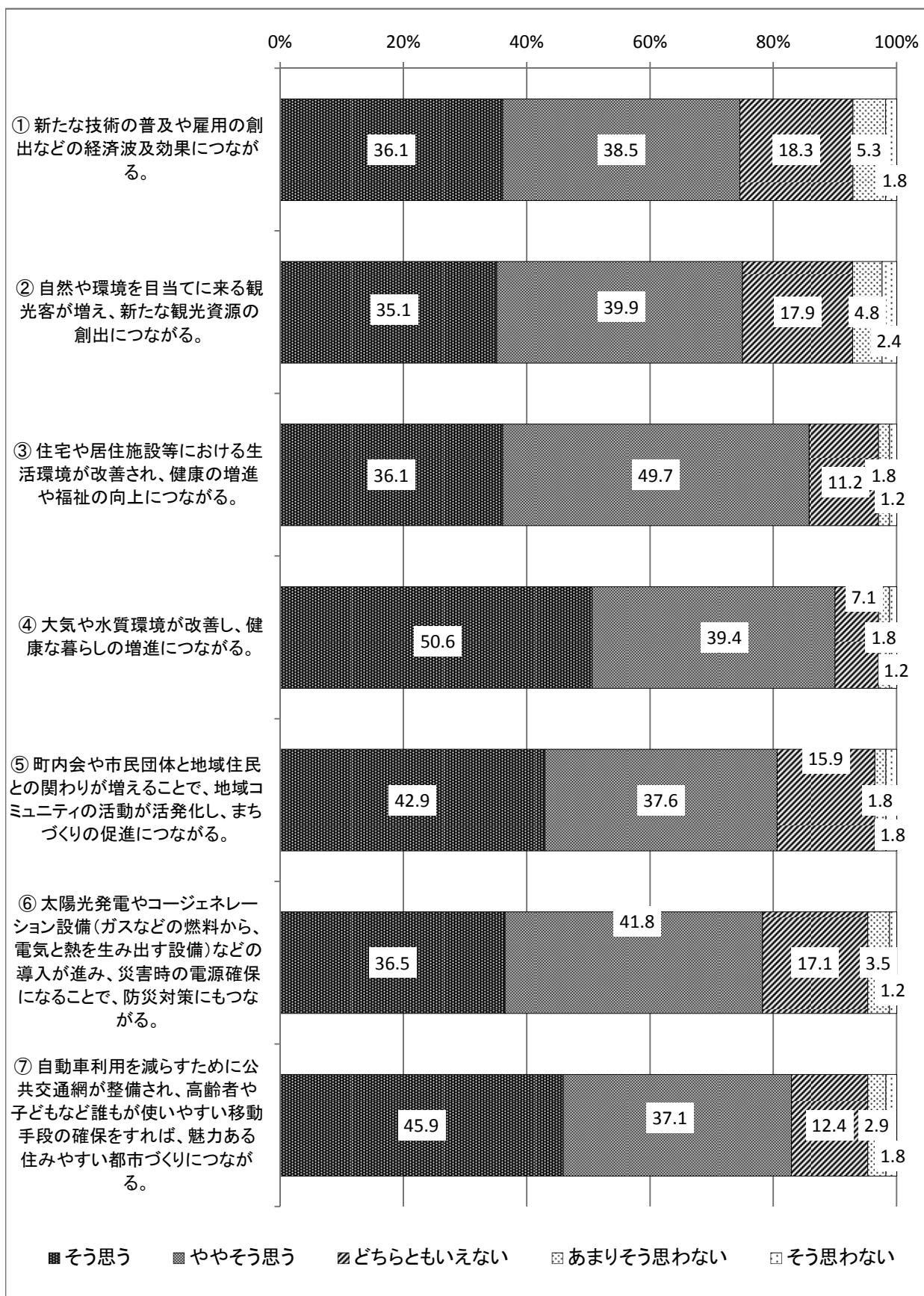
- ・グリーナーウィーク2014 環境系の国際会議を札幌で開催。
- ・ドイツ緑の党との交流。独日平和フォーラムベルリン代表のオイゲン氏の講演会。
- ・IGPN国際フォーラム
- ・セタワールドキャンプ植樹記念実施
- ・中国大学生交流記念植樹

⑧ 札幌市で実施しているイベントへの参加

- ・環境広場さっぽろ
- ・さっぽろホワイトイルミネーション
- ・ミュンヘンクリスマス市 in Sapporoでピアンカさんの講座に参加

問5 環境問題の解決に伴う波及効果について

(札幌市と市民、市民団体が一体となって環境問題の解決に取り組むことによる波及効果)



問6 団体活動と環境保全について

(団体の活動を通じて、環境保全に結びつく可能性につながる活動)

【自然環境保全】

- ・北海道の木の話をすることで、外来種の話もし、道産材への意識も高まります。いろんな種類の木があることが、強い森作りに繋がる等、森作りの専門の先生のご協力の元で環境教育を広めています。
- ・森づくり：植樹、下刈、除伐作業
- ・子ども環境教育：地ごしらえ、植樹、下刈、子ども植樹博士認定、自分の木選び、フリークライミング、しいたけ栽培、冬の森散策
- ・園芸療法としてひきこもりの青年と町内のますかだんの草取り、植えこみをします。地域に関わる中で相互理解を得られる事と環境美化の目的を得られます。
- ・まちづくりセンター及び神社敷地の美化活動で花の苗を植えたり、地域内で市が進めている春と秋の地域美化活動に協力し、清掃を行っている。
- ・現に親子ふれあい清掃やヤマメの稚魚放流など環境保全に役立つ取り組みを行っている。

【廃棄物・リサイクル】

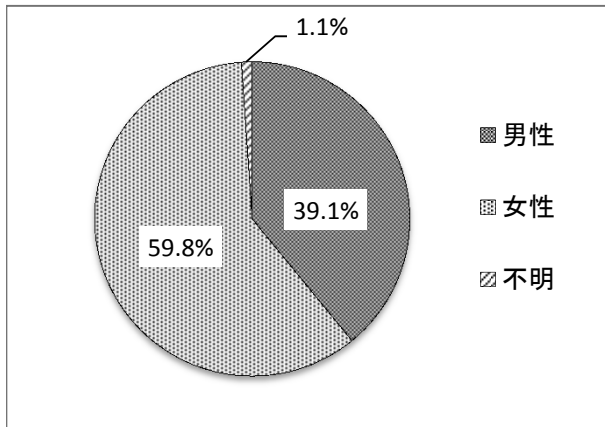
- ・アート作品の材料を自然のもの（木、実、皮など）を使用して作ったり、リサイクル品を使用して作ることが出来るので、その作品展やワークショップを開催できます。
- ・不要木の除伐を進めることにより、モエシ沼公園の景観がより良くなる。
- ・アクセスの良いモエシ沼公園までBDFバスを走らせることにより、環境にも、来園者にもやさしい交通手段となった。
- ・毎年6月に地域の専門学校の学生とともに、地域内の一斉ゴミ拾いを実施している。
- ・紙コップ紙皿はなるべく使わないようにしてゴミを減らす。
- ・町内会の清掃活動に参加させてもらっています（月に1回）
- ・高校生による清掃活動や雪かき、フリーマーケットへの出店によりリサイクル活動。
- ・使わないペットボトルや廃材を使い、手作り楽器や小道具などを作ったりしています。
- ・夏休み2週間、小学生200名、中学生250名、大人参加人員650名。 地域清掃 年1回中学生による。地域全体を中学生と一緒に地域清掃を行っている。
- ・生ごみ堆肥をつかったの地域花いっぱい活動、街路樹ますや学校・公園等の花壇に花を植えて地域コミュニティーをつくっています。

【その他】

- ・環境保全をテーマにした映画の上映、又は上映支援

環境基本計画に関するアンケート結果【市民向け、クロス集計（性別）】

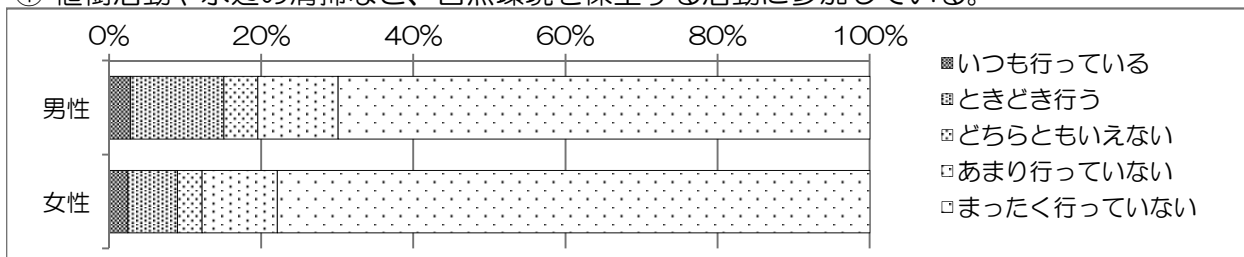
◎性別ごとの割合



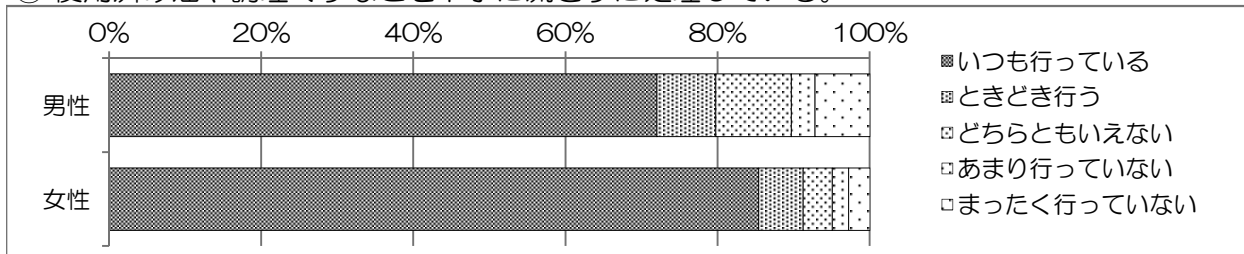
n=1495
※「不明(n=16)」は
クロス集計表からは除外

問2 普段から取り組んでいる環境保全行動について

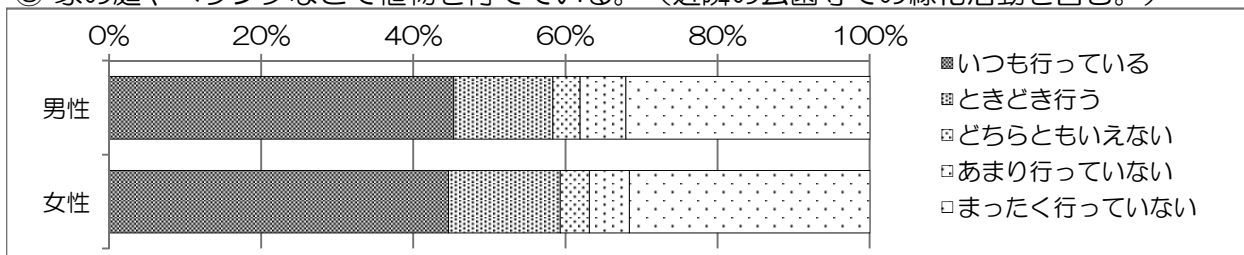
① 植樹活動や水辺の清掃など、自然環境を保全する活動に参加している。



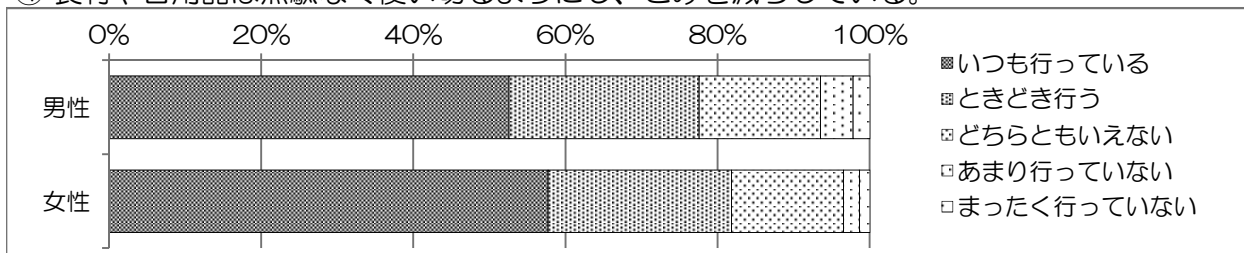
② 使用済み油や調理くずなどを下水に流さずに処理している。



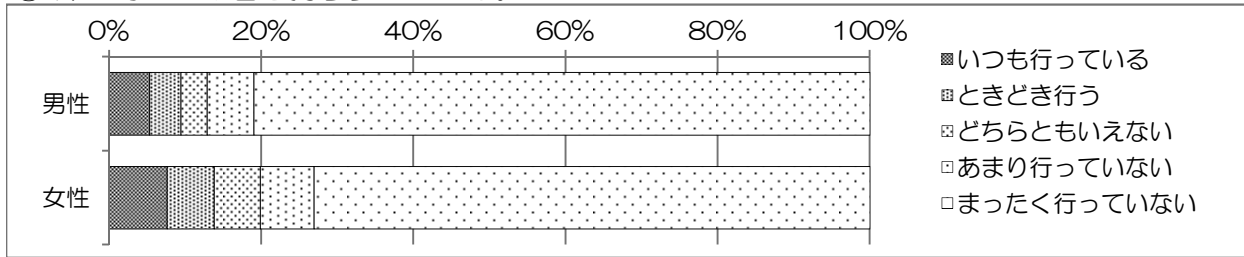
③ 家の庭やベランダなどで植物を育てている。（近隣の公園等での緑化活動を含む。）



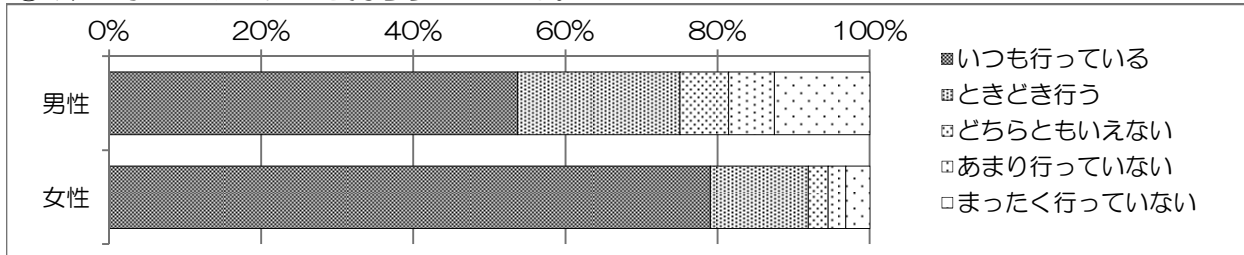
④ 食材や日用品は無駄なく使い切るようにし、ごみを減らしている。



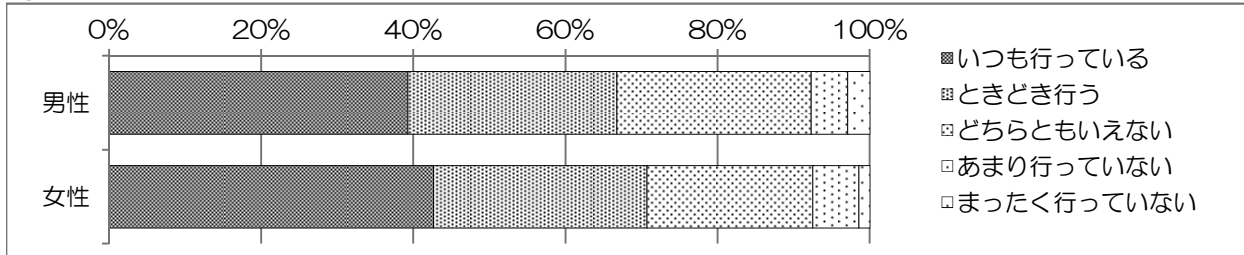
⑤ 外出時にマイ箸を持ち歩いている。



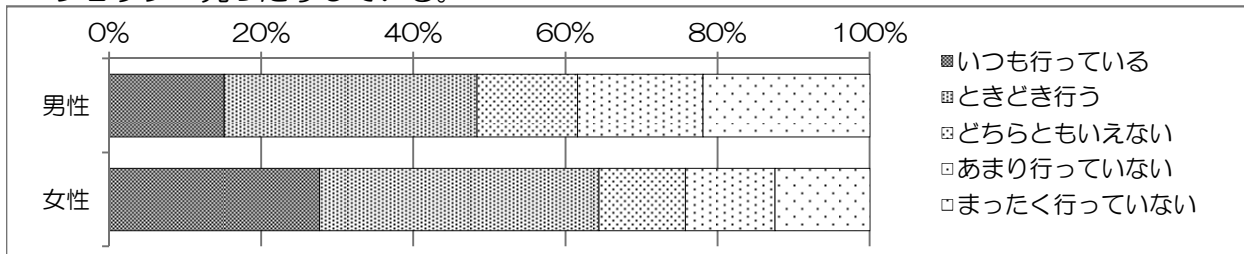
⑥ 外出時にマイバッグを持ち歩いている。



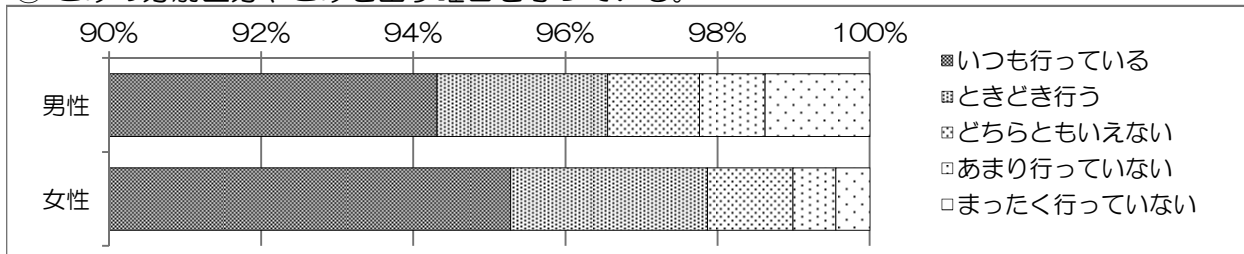
⑦ 普段使用する日用品や服などは、なるべく手入れや修理をしながら大切に使っている。



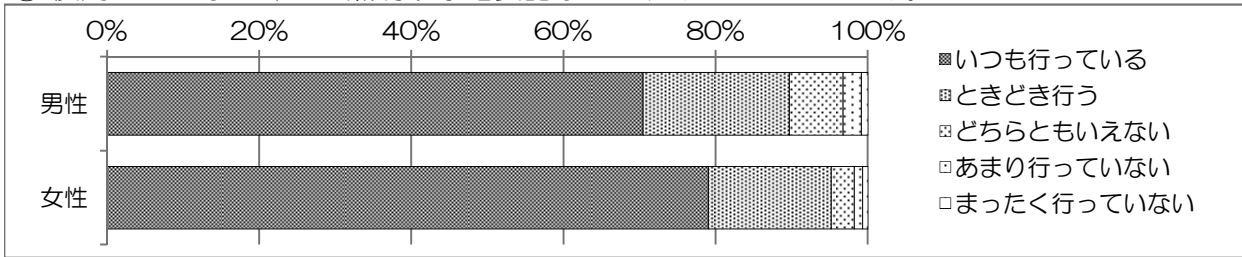
⑧ 使わなくなった日用品や服などで再利用できるものは、再利用したり、リサイクルショップへ売ったりしている。



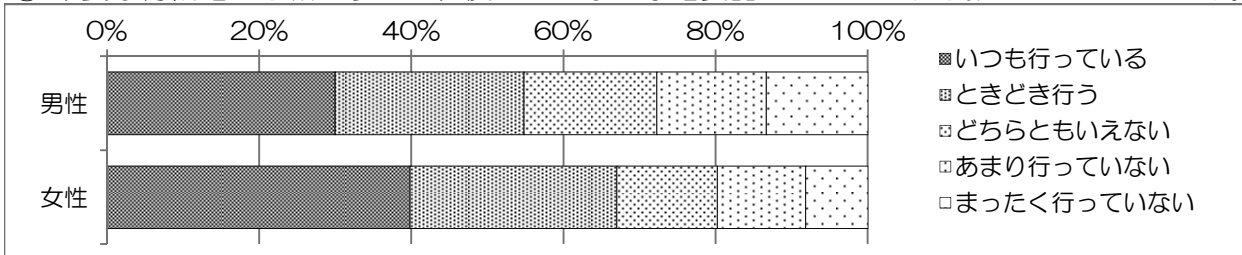
⑨ ごみの分別区分やごみを出す曜日を守っている。



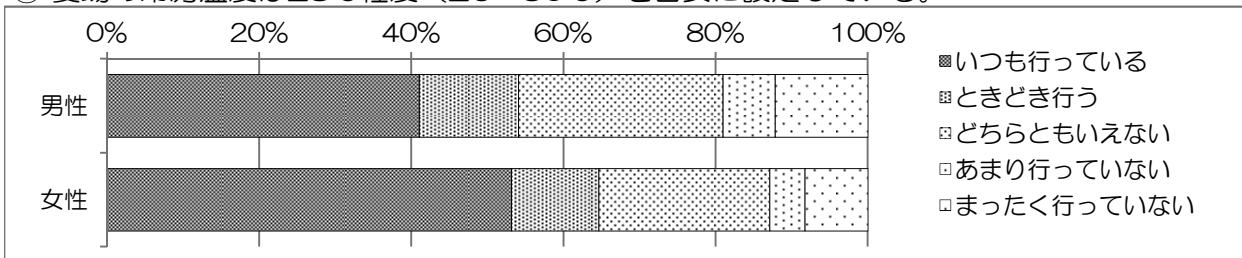
⑩ 使用していない部屋の照明や家電製品などは切るようにしている。



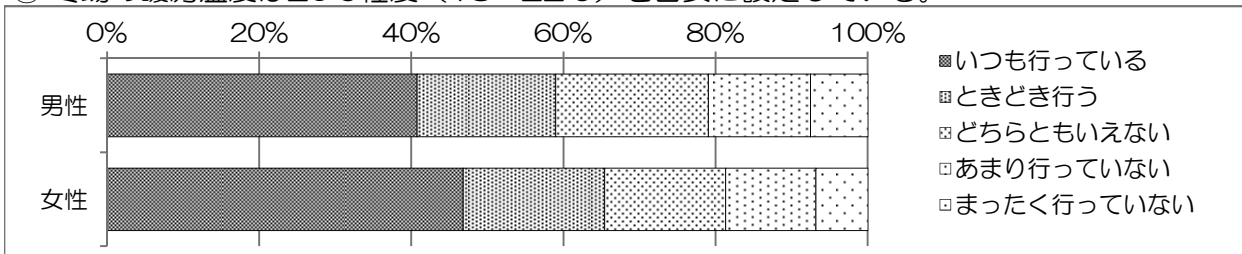
⑪ 不要な待機電力を減らすため、使っていない家電製品のコンセントを抜くようにしている。



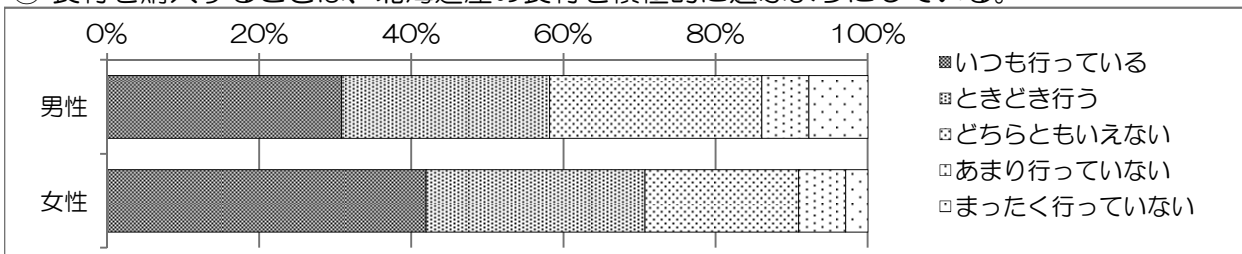
⑫ 夏場の冷房温度は28℃程度（26～30℃）を目安に設定している。



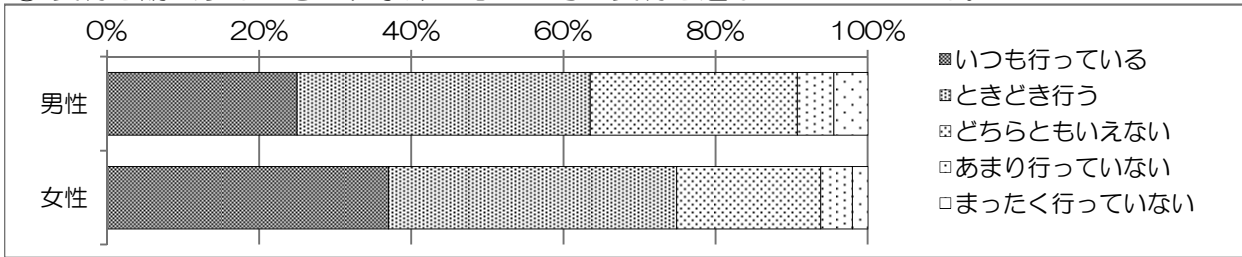
⑬ 冬場の暖房温度は20℃程度（18～22℃）を目安に設定している。



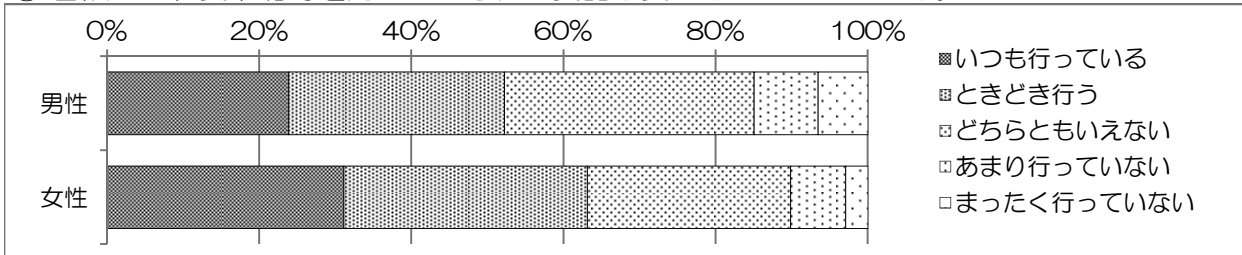
⑭ 食材を購入するときは、北海道産の食材を積極的に選ぶようにしている。



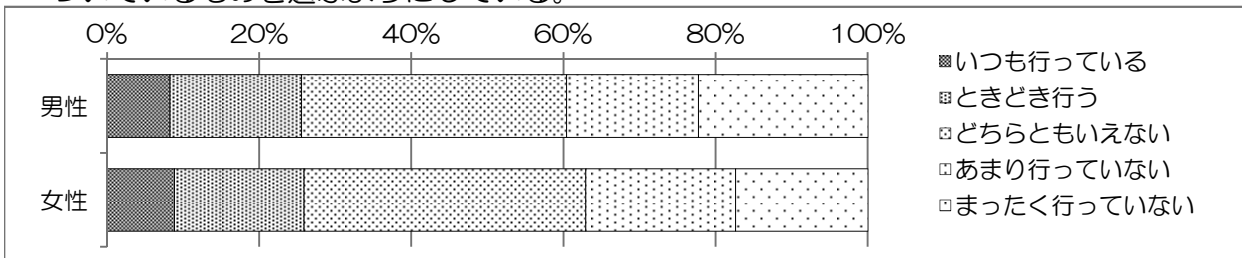
⑮ 食材を購入するときは、季節に応じた旬の食材を選ぶようにしている。



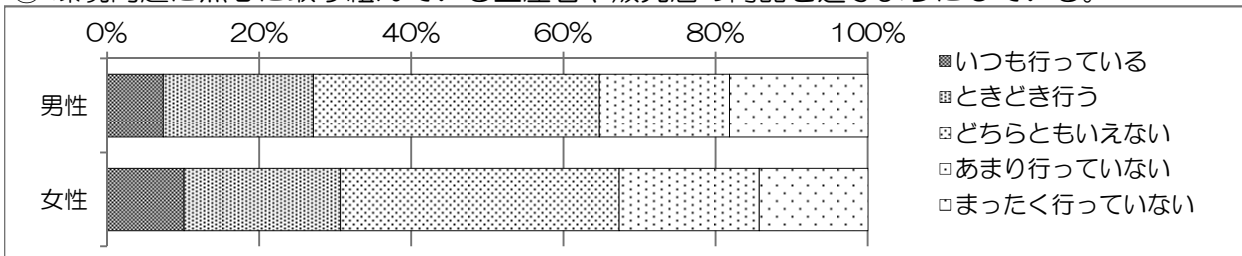
⑯ 普段から和食や北海道内で加工された食品を食べるようにしている。



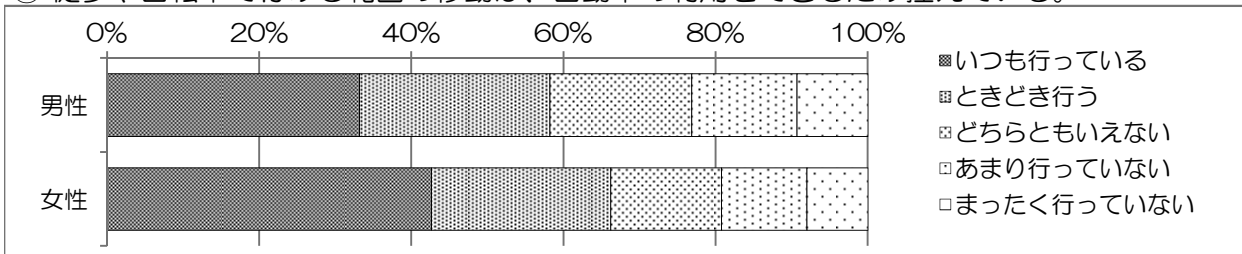
⑰ 文房具や洗剤などの日用品を購入する際は、エコマークなどの環境ラベルがついているものを選ぶようにしている。



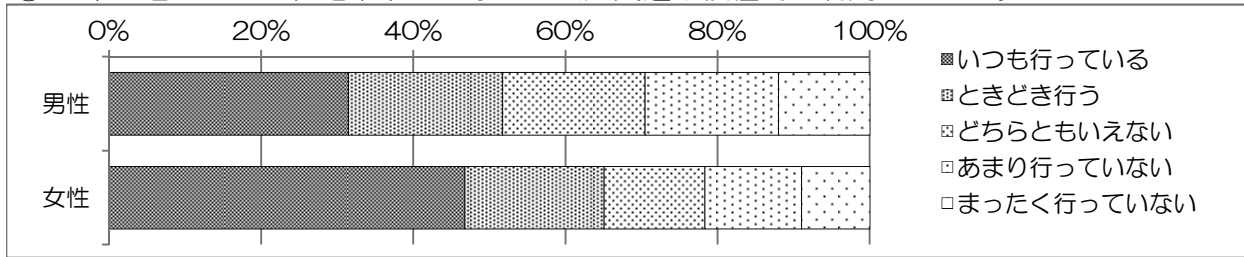
⑱ 環境問題に熱心に取り組んでいる生産者や販売店の商品を選ぶようにしている。



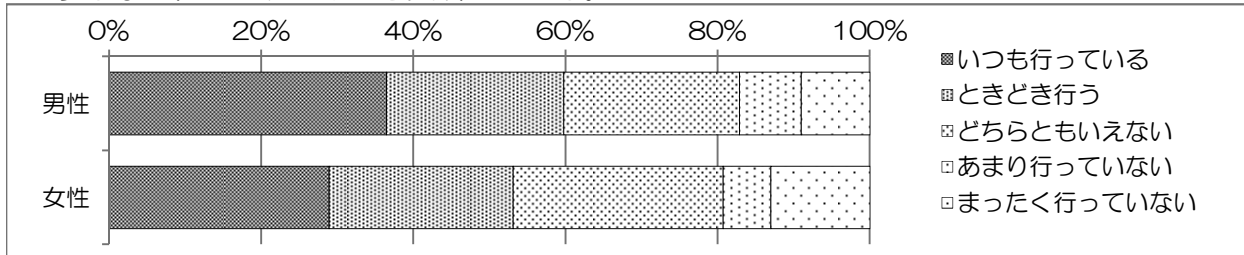
⑲ 徒歩や自転車で行ける範囲の移動は、自動車の利用をできるだけ控えている。



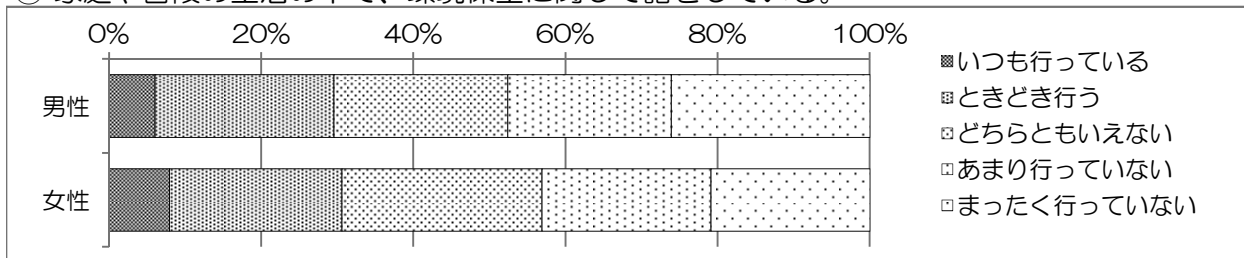
⑳ 日常生活において、電車やバスなどの公共交通を積極的に利用している。



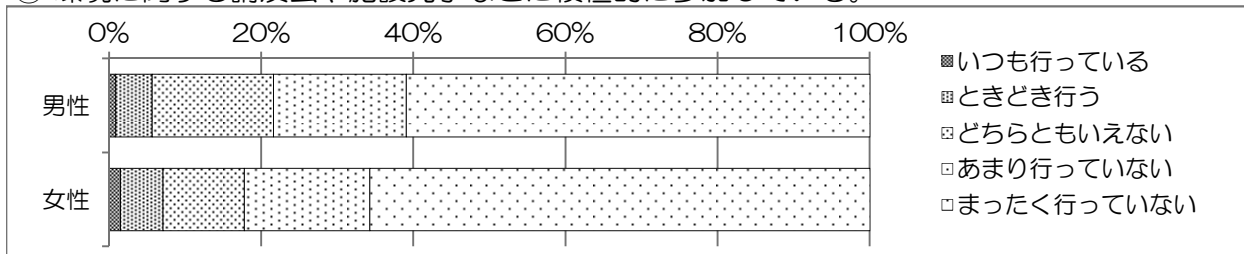
㉑ 自動車を運転する際は、アクセルをゆっくり踏んだり、アイドリングストップを行ったりするなど、エコドライブを実践している。



㉒ 家庭や普段の生活の中で、環境保全に関して話をしている。

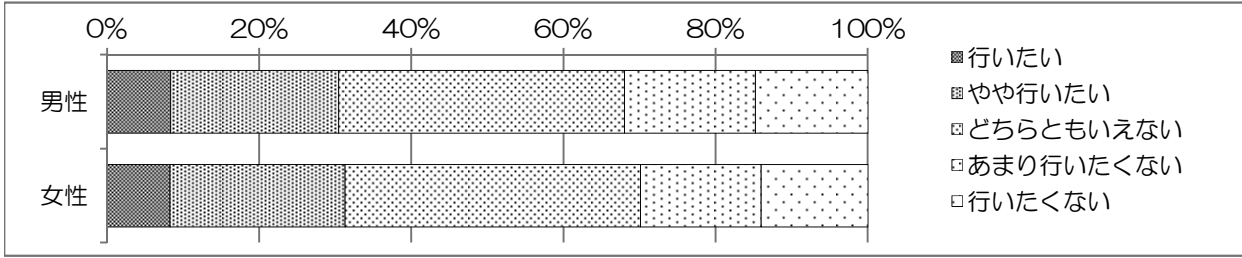


㉓ 環境に関する講演会や施設見学などに積極的に参加している。

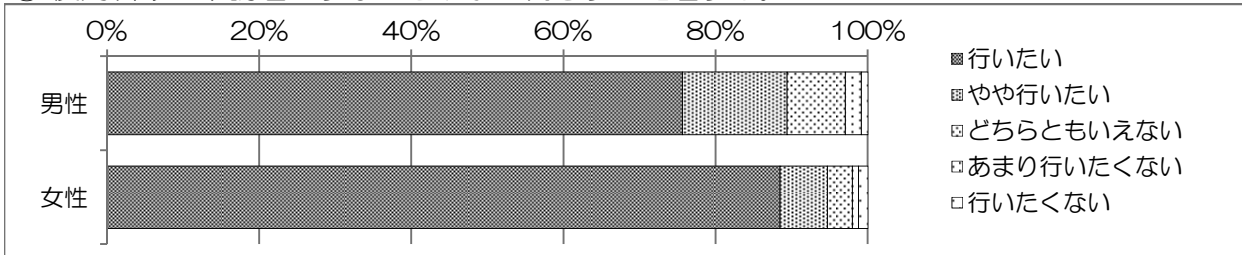


問3 行いたいと考えている環境保全行動について

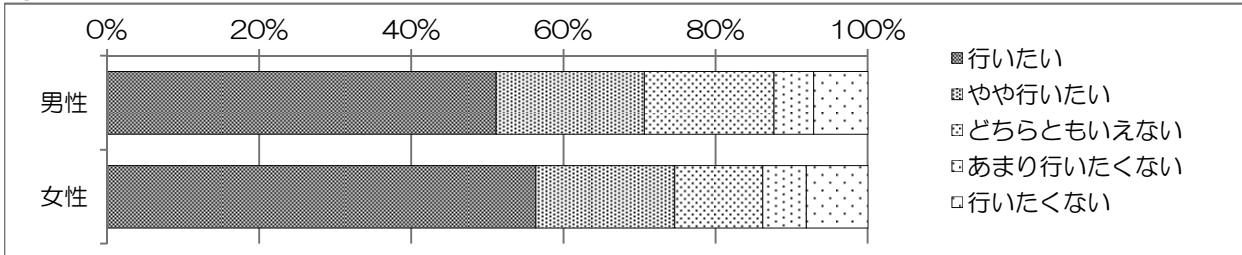
① 植樹活動や水辺の清掃活動など、自然環境を保全する活動に参加する。



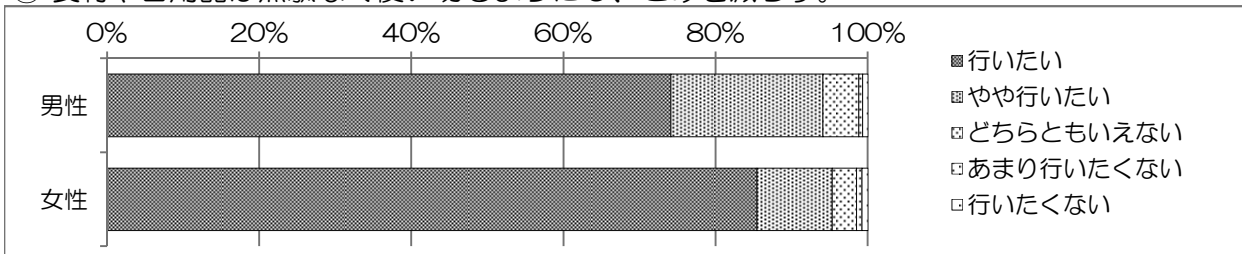
② 使用済み油や調理くずなどを下水に流さずに処理する。



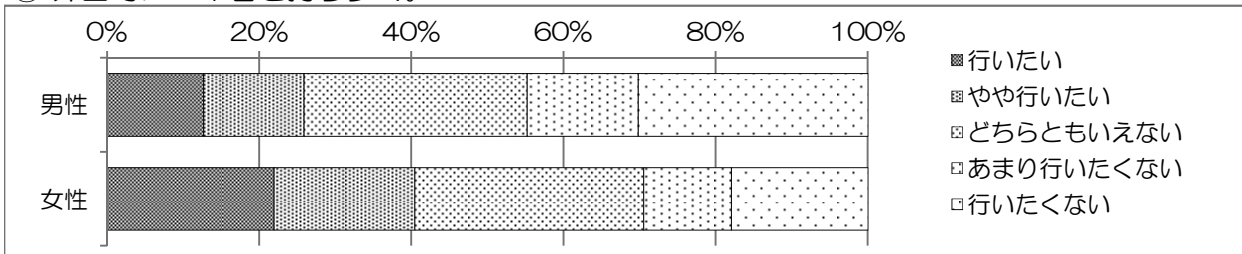
③ 家の庭やベランダなどで植物を育てる。(近隣の公園等での緑化活動を含む。)



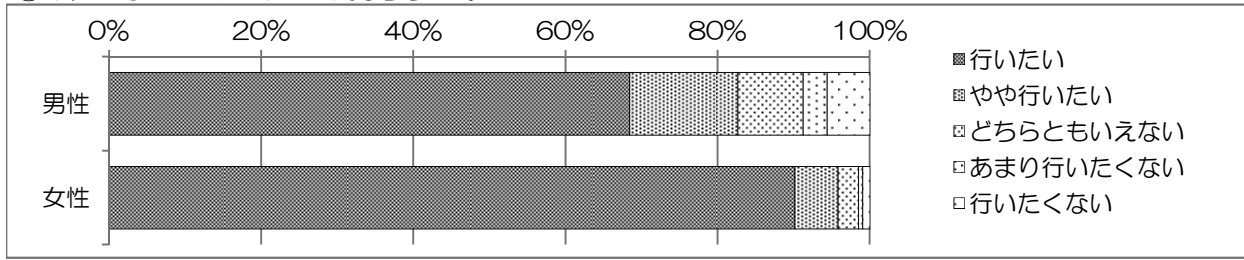
④ 食材や日用品は無駄なく使い切るようにし、ごみを減らす。



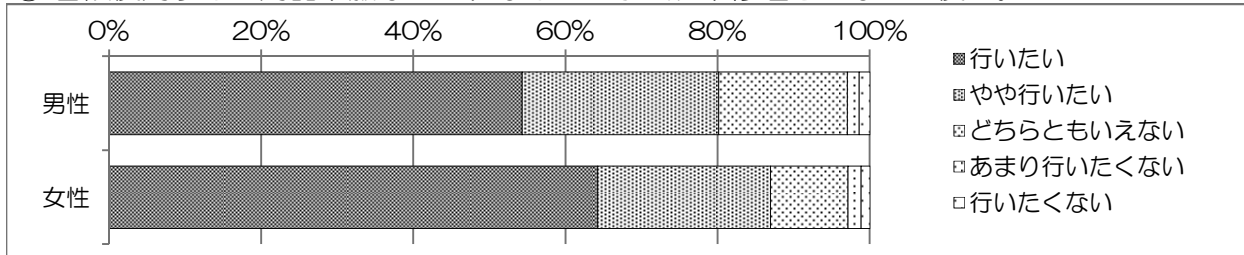
⑤ 外出時にマイ箸を持ち歩く。



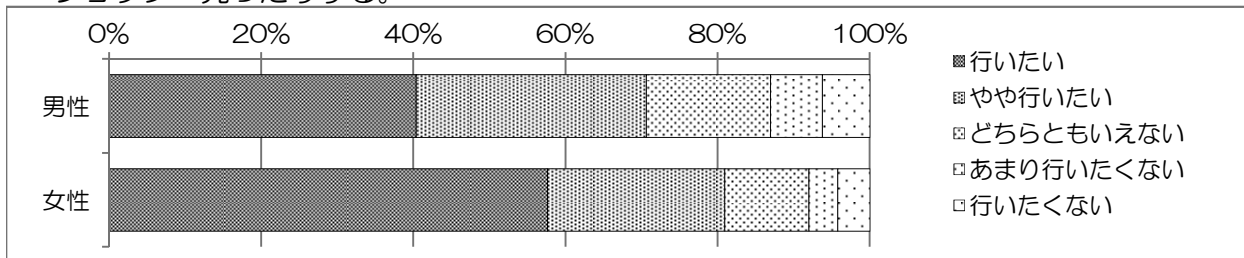
⑥ 外出時にマイバッグを持ち歩く。



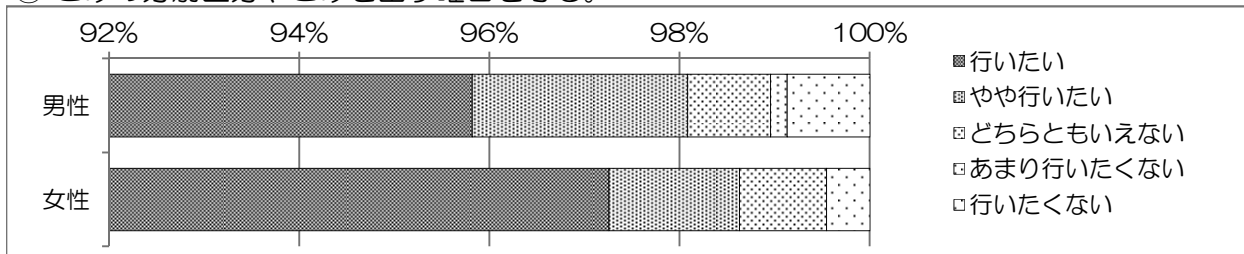
⑦ 普段使用する日用品や服などは、なるべく手入れや修理をしながら使う。



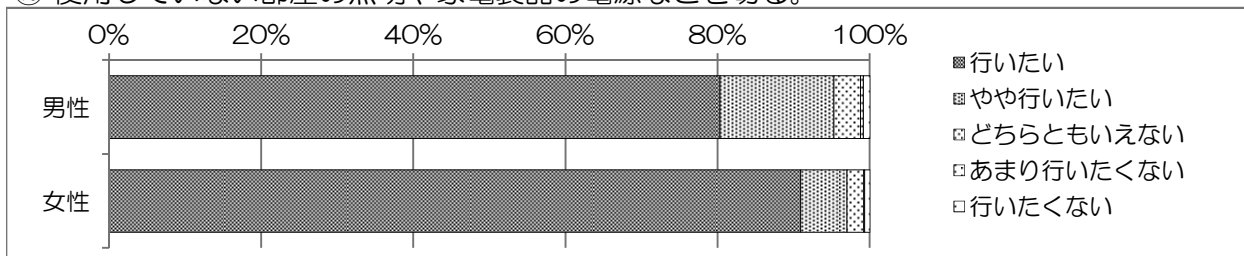
⑧ 使わなくなった日用品や服などで再利用できるものは、再利用したり、リサイクルショップへ売ったりする。



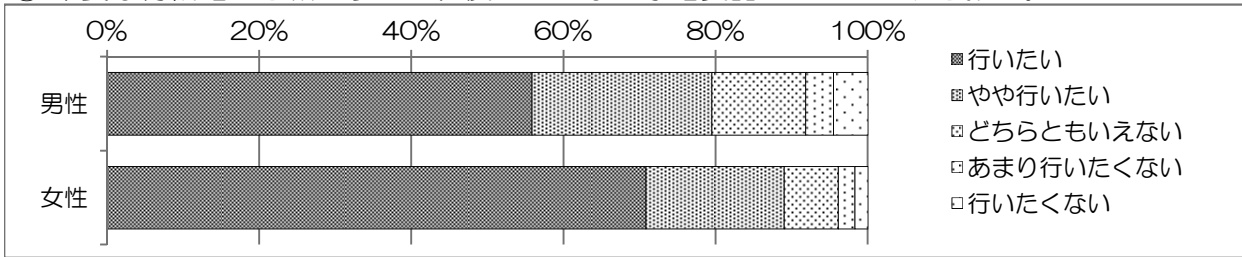
⑨ ごみの分別区分やごみを出す曜日を守る。



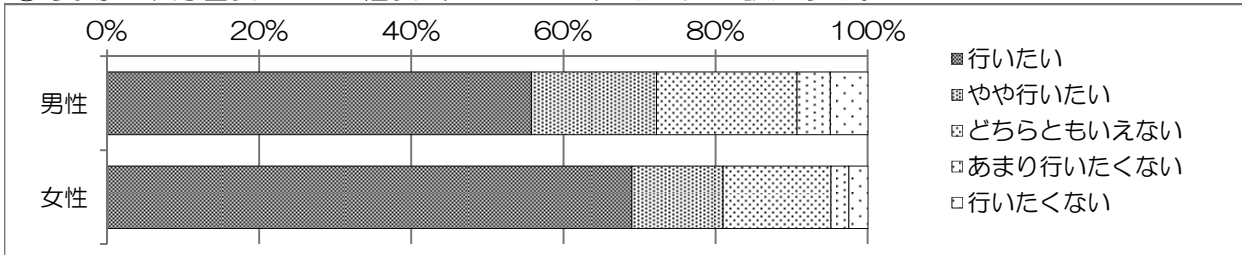
⑩ 使用していない部屋の照明や家電製品の電源などを切る。



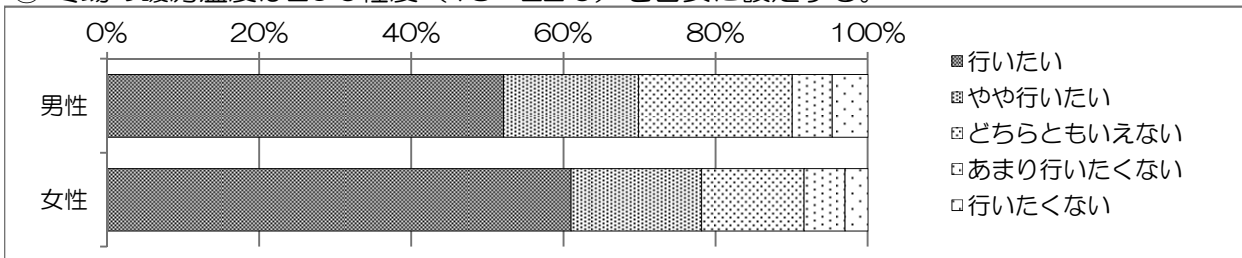
⑪ 不要な待機電力を減らすため、使っていない家電製品のコンセントを抜く。



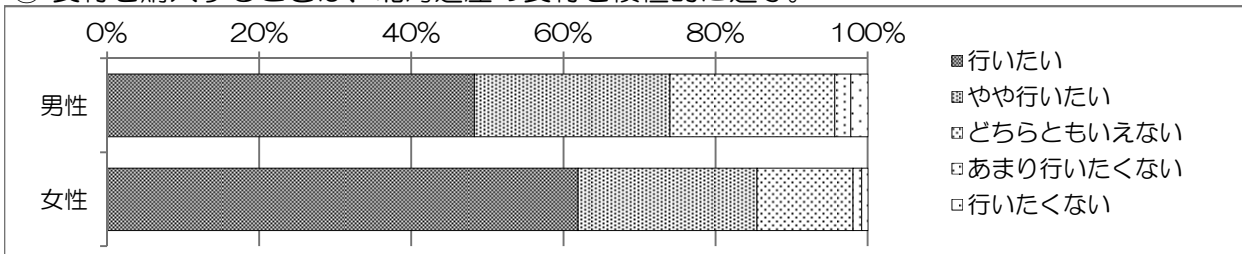
⑫ 夏場の冷房温度は28℃程度（26～30℃）を目安に設定する。



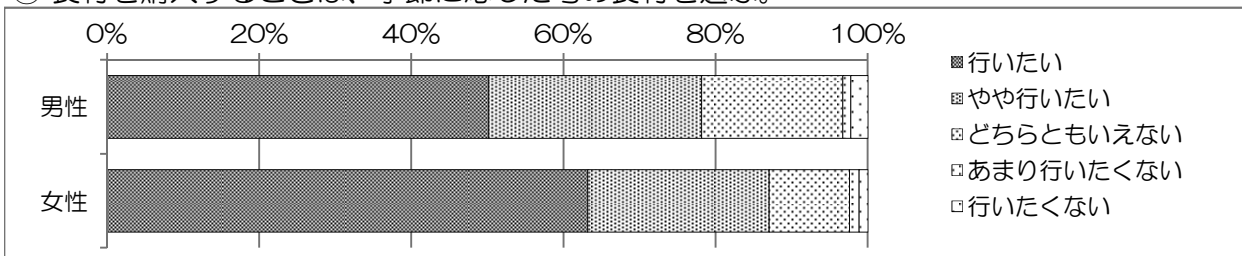
⑬ 冬場の暖房温度は20℃程度（18～22℃）を目安に設定する。



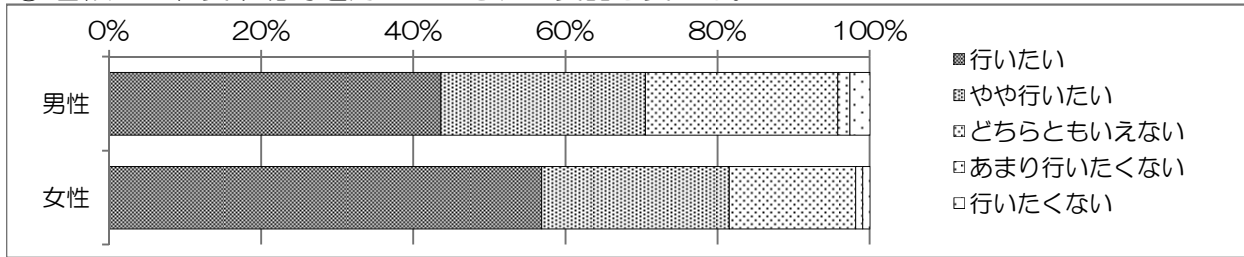
⑭ 食材を購入するときは、北海道産の食材を積極的に選ぶ。



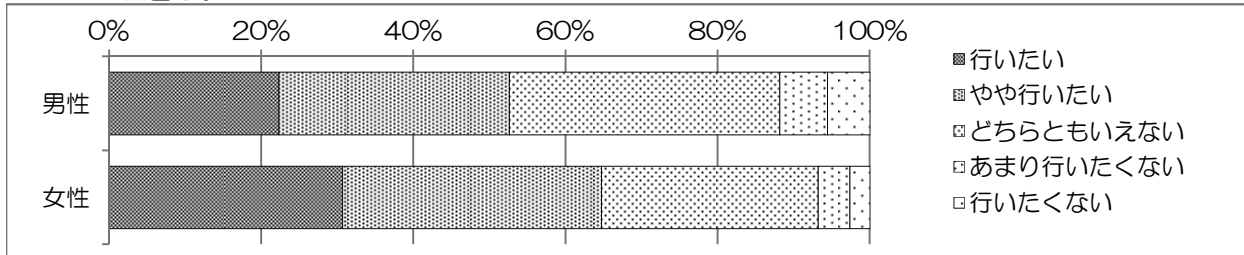
⑮ 食材を購入するときは、季節に応じた旬の食材を選ぶ。



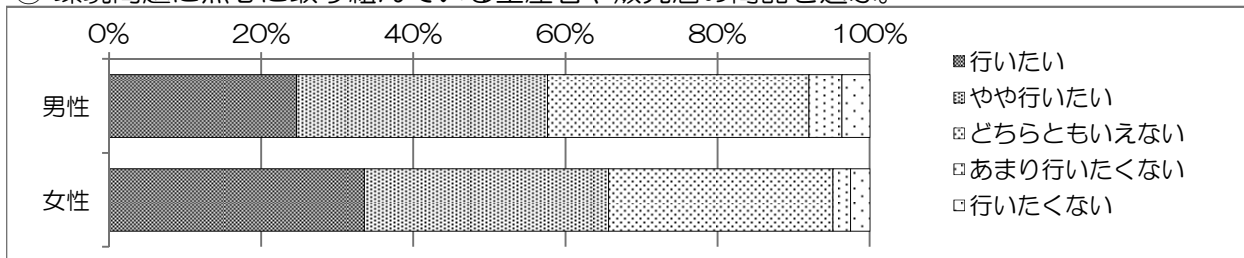
⑩ 普段から和食や北海道内で加工された食品を食べる。



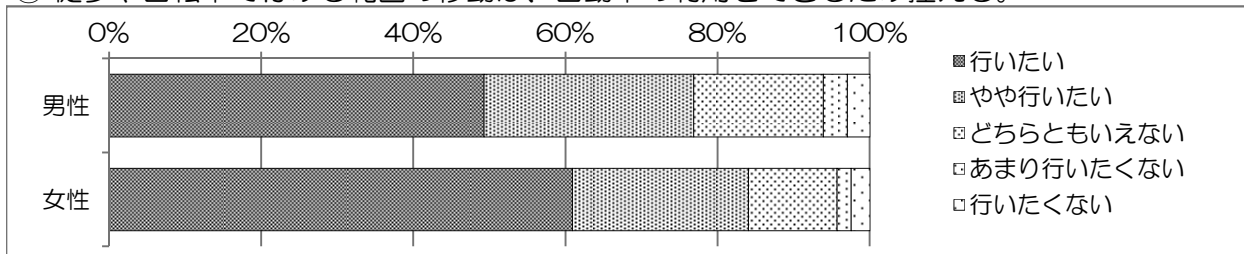
⑪ 文房具や洗剤などの日用品を購入する際は、エコマークなどの環境ラベルがついているものを選ぶ。



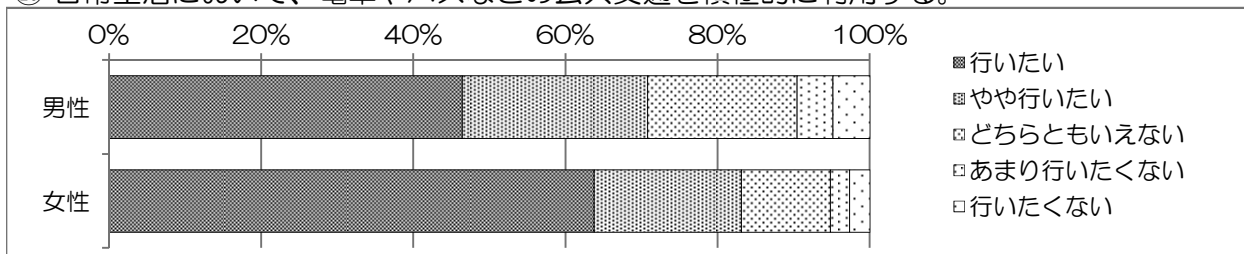
⑫ 環境問題に熱心に取り組んでいる生産者や販売店の商品を選ぶ。



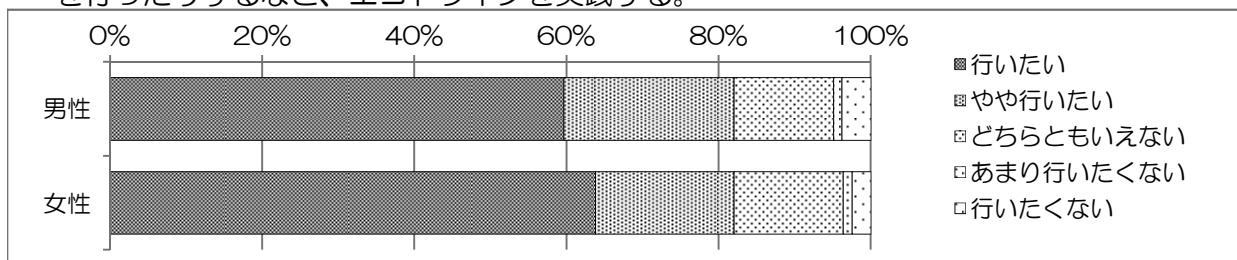
⑬ 徒歩や自転車で行ける範囲の移動は、自動車の利用をできるだけ控える。



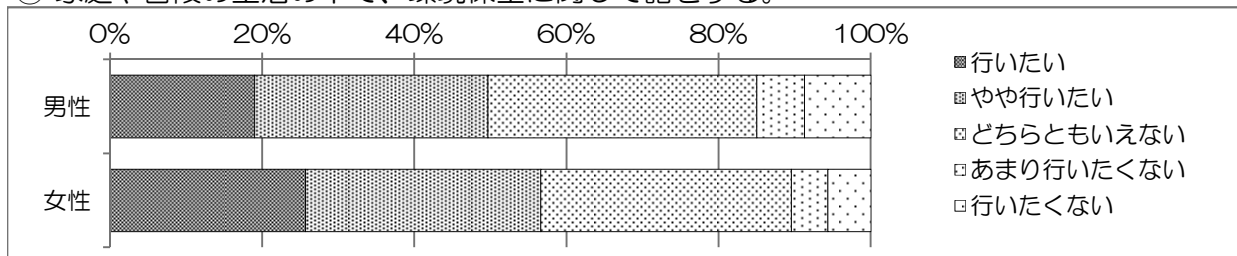
⑭ 日常生活において、電車やバスなどの公共交通を積極的に利用する。



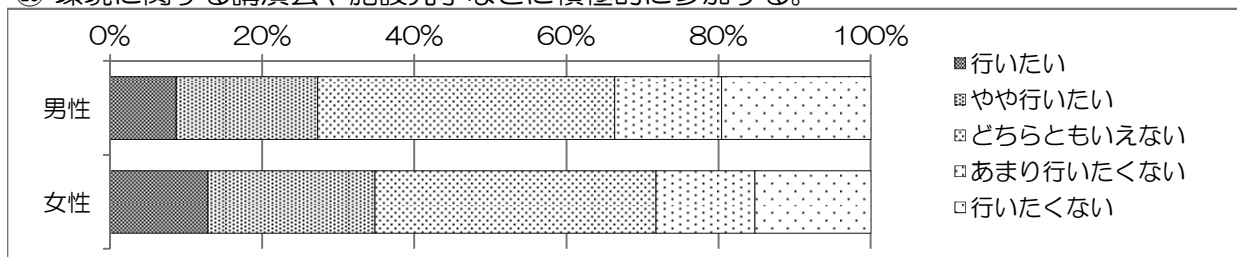
⑳ 自動車を運転する際は、アクセルをゆっくり踏んだり、アイドリングストップを行ったりするなど、エコドライブを実践する。



㉑ 家庭や普段の生活の中で、環境保全に関して話をする。

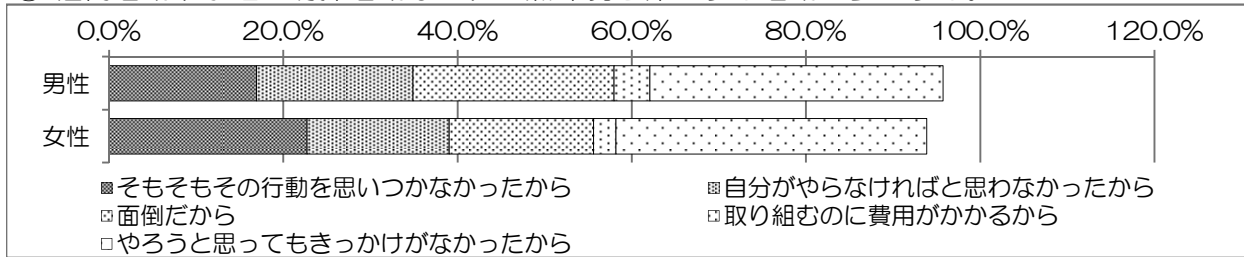


㉒ 環境に関する講演会や施設見学などに積極的に参加する。

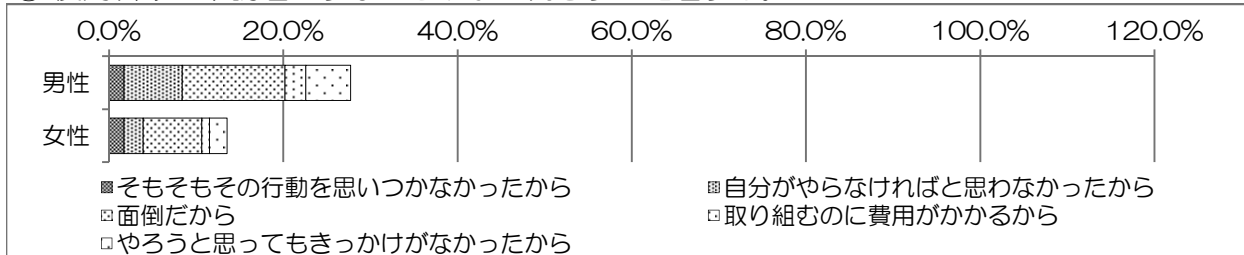


問4 環境保全行動ができない理由(複数回答)

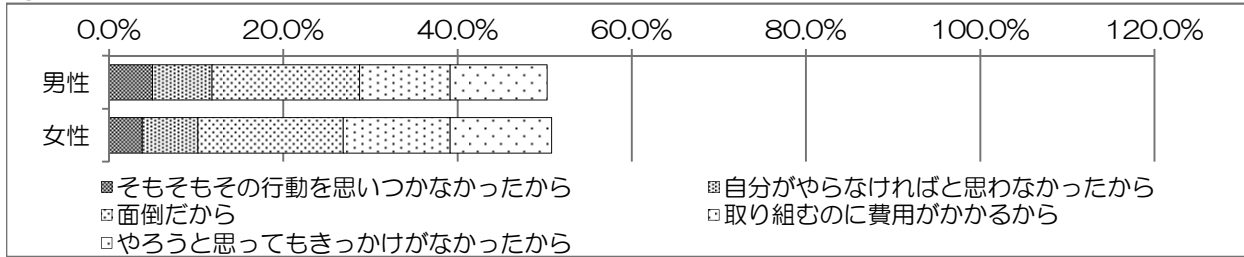
① 植樹活動や水辺の清掃活動など、自然環境を保全する活動に参加する。



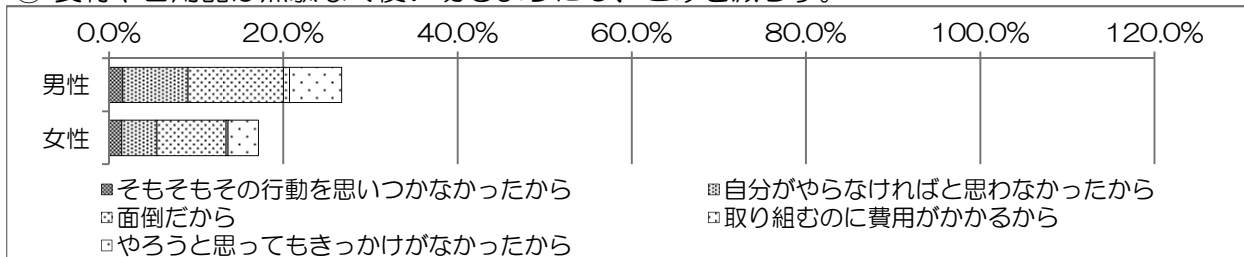
② 使用済み油や調理くずなどを下水に流さずに処理する。



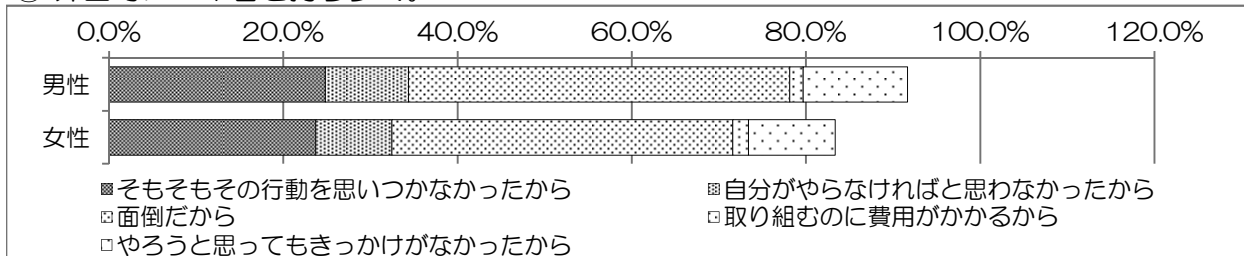
③ 家の庭やベランダなどで植物を育てる。(近隣の公園等での緑化活動を含む。)



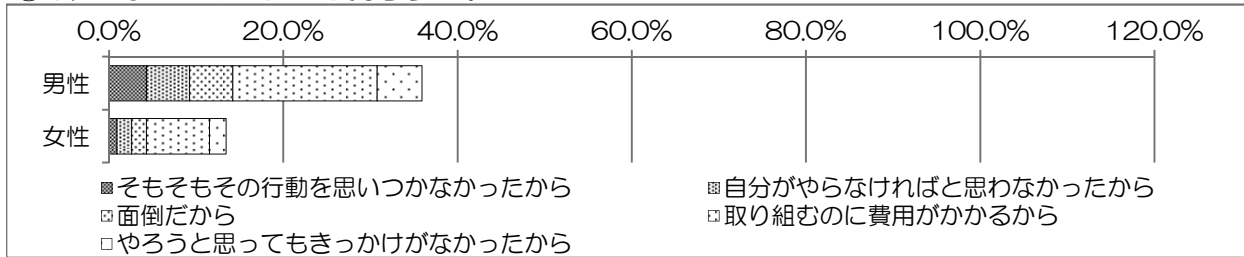
④ 食材や日用品は無駄なく使い切るようにし、ごみを減らす。



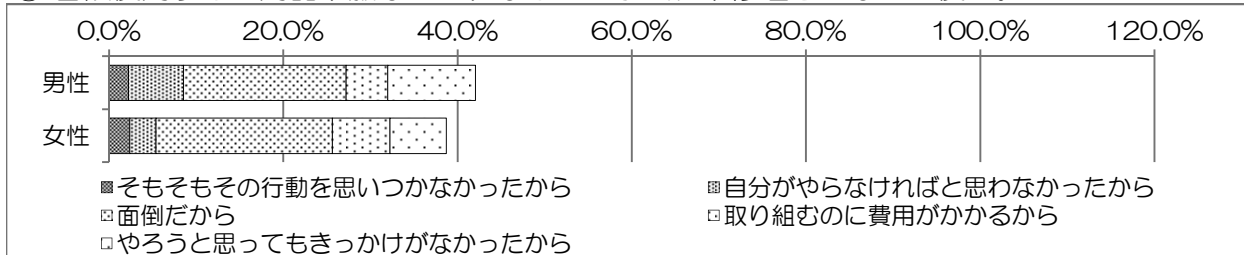
⑤ 外出時にマイ箸を持ち歩く。



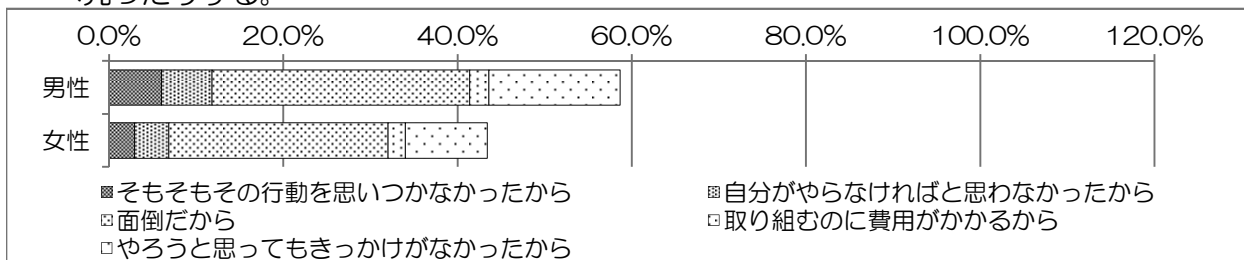
⑥ 外出時にマイバッグを持ち歩く。



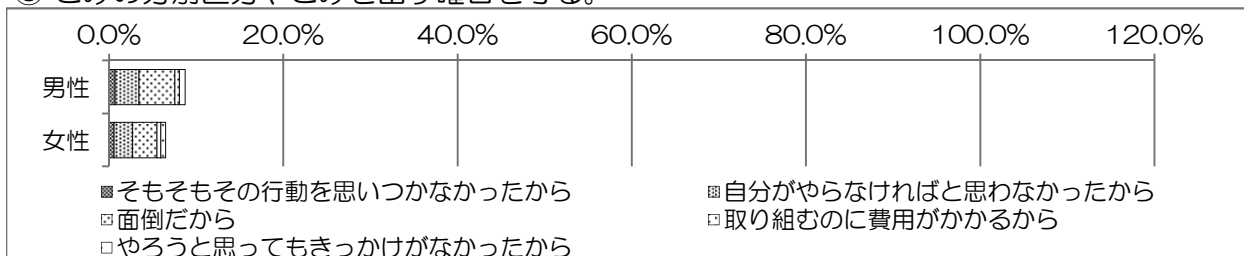
⑦ 普段使用する日用品や服などは、なるべく手入れや修理をしながら使う。



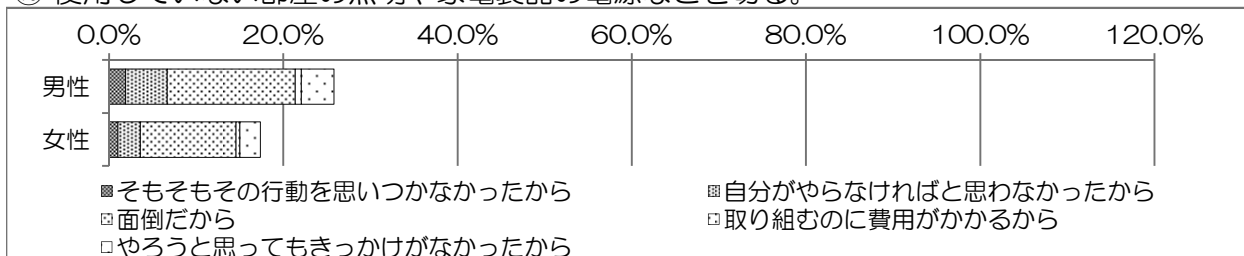
⑧ 使わなくなった日用品や服などで再利用できるものは、再利用したり、リサイクルショップへ売ったりする。



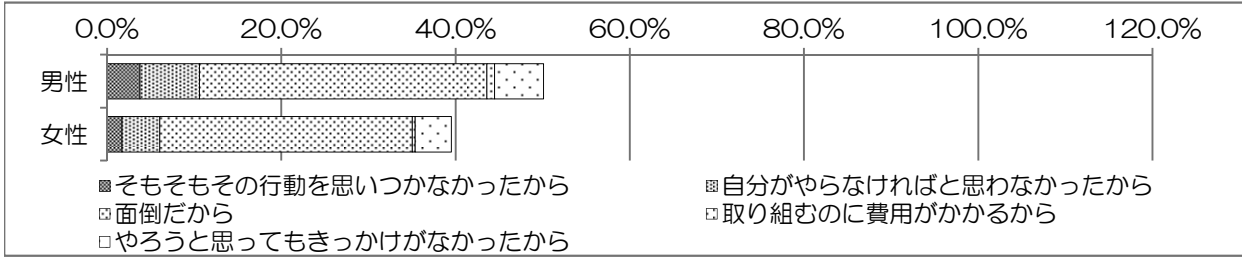
⑨ ごみの分別区分やごみを出す曜日を守る。



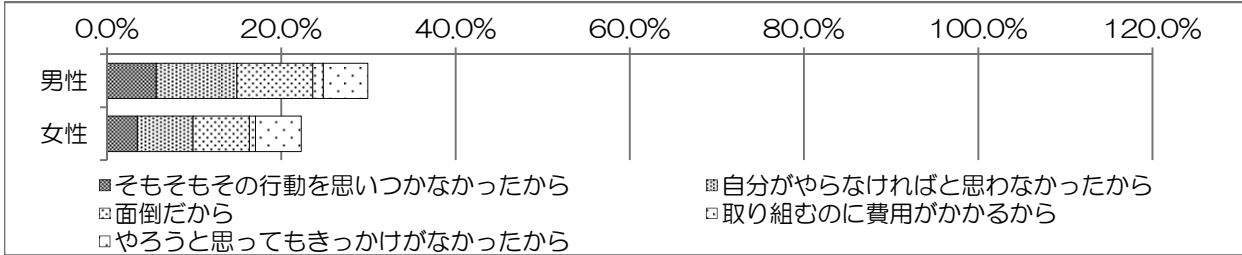
⑩ 使用していない部屋の照明や家電製品の電源などを切る。



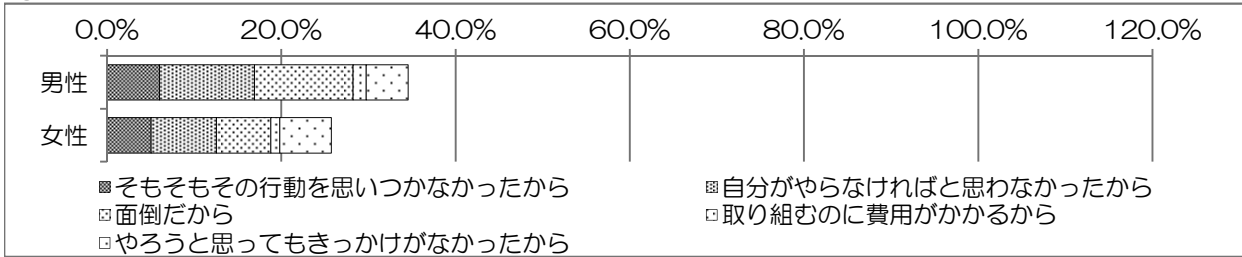
⑪ 不要な待機電力を減らすため、使っていない家電製品のコンセントを抜く。



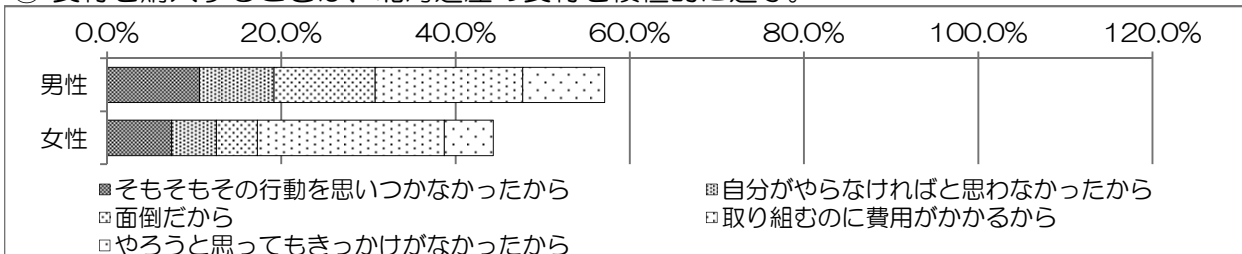
⑫ 夏場の冷房温度は28℃程度（26～30℃）を目安に設定する。



⑬ 冬場の暖房温度は20℃程度（18～22℃）を目安に設定する。



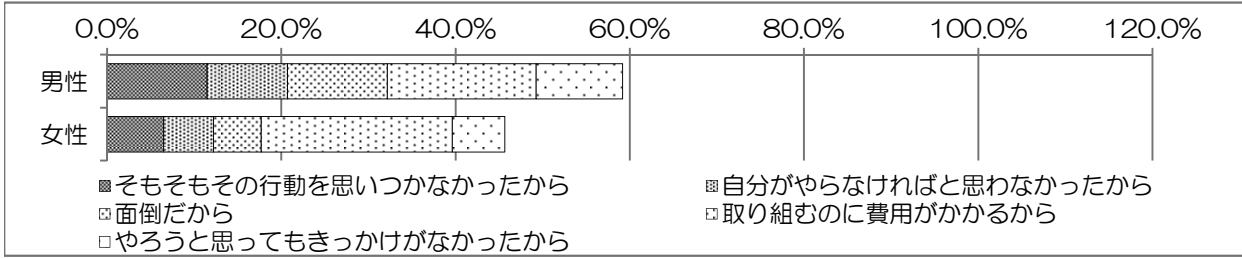
⑭ 食材を購入するときは、北海道産の食材を積極的に選ぶ。



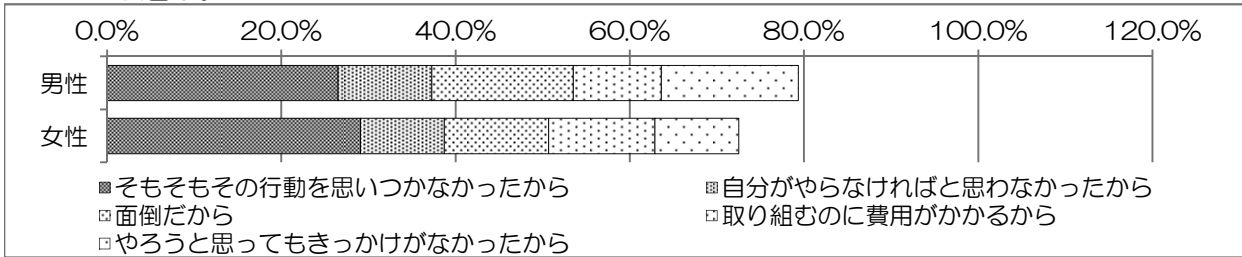
⑮ 食材を購入するときは、季節に応じた旬の食材を選ぶ。



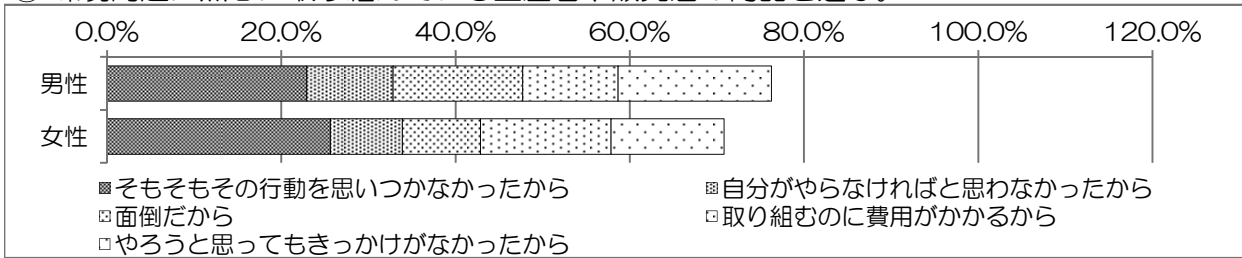
⑩ 普段から和食や北海道内で加工された食品を食べる。



⑪ 文房具や洗剤などの日用品を購入する際は、エコマークなどの環境ラベルがついているものを選ぶ。



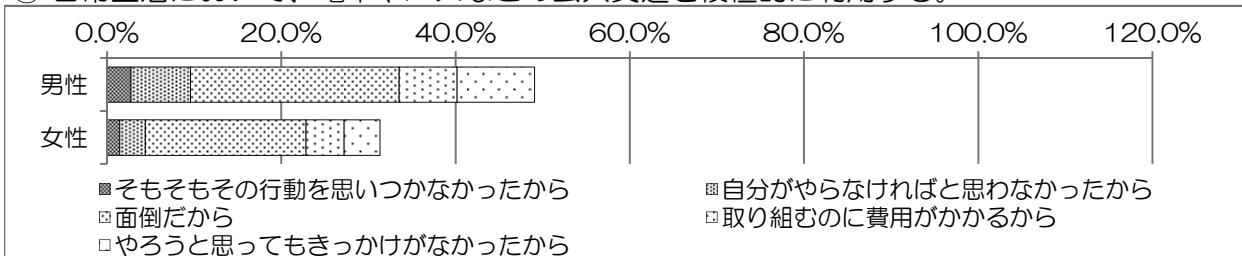
⑫ 環境問題に熱心に取り組んでいる生産者や販売店の商品を選ぶ。



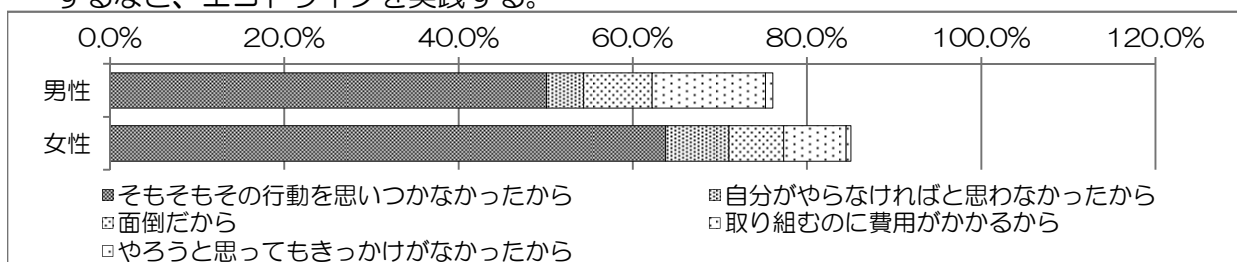
⑬ 徒歩や自転車で行ける範囲の移動は、自動車の利用をできるだけ控える。



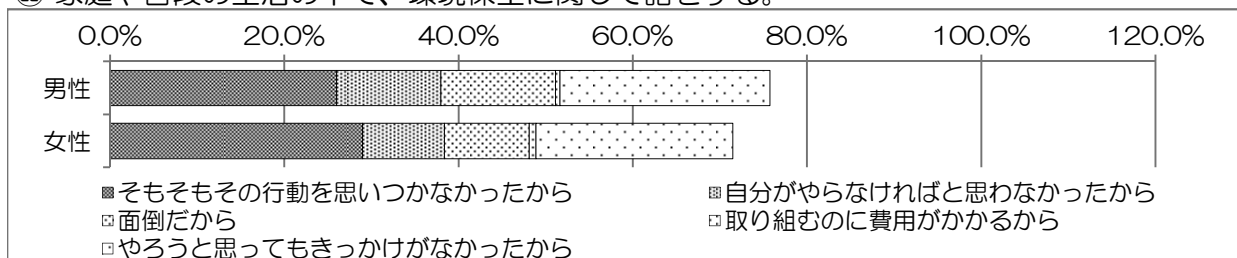
⑭ 日常生活において、電車やバスなどの公共交通を積極的に利用する。



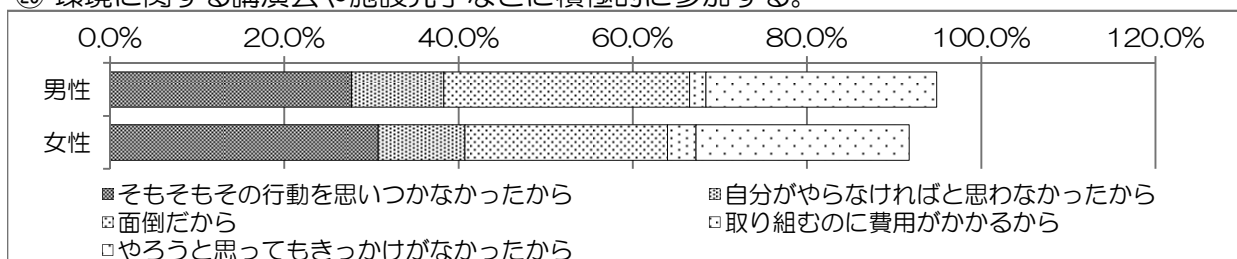
②① 自動車を運転する際は、アクセルをゆっくり踏んだり、アイドリングストップを行ったりするなど、エコドライブを実践する。



②② 家庭や普段の生活の中で、環境保全に関して話をする。

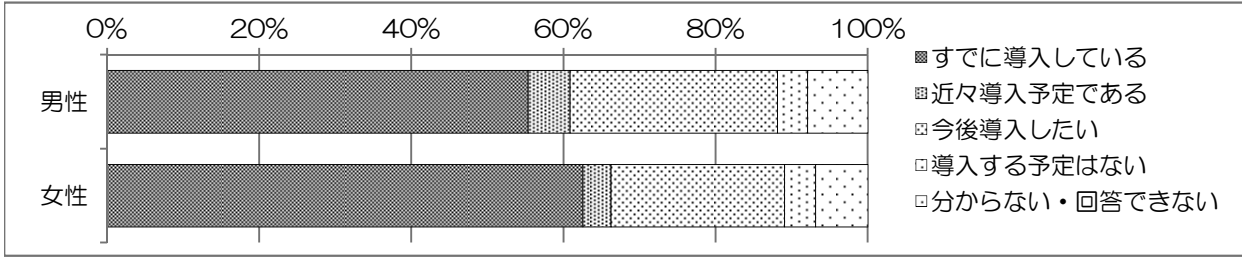


②③ 環境に関する講演会や施設見学などに積極的に参加する。

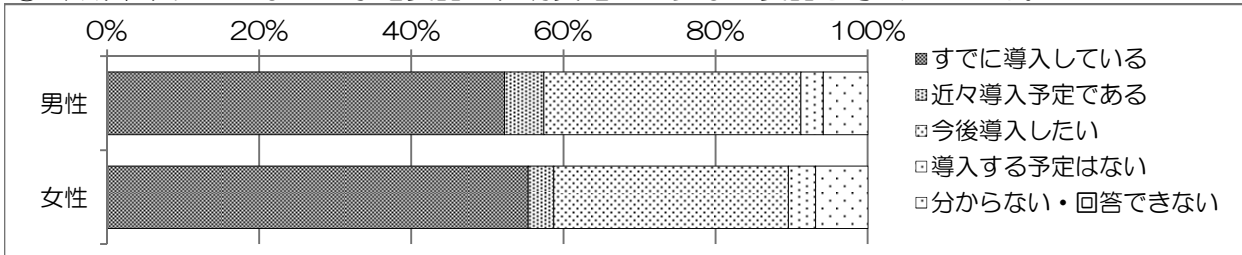


問5 製品等の導入についての状況

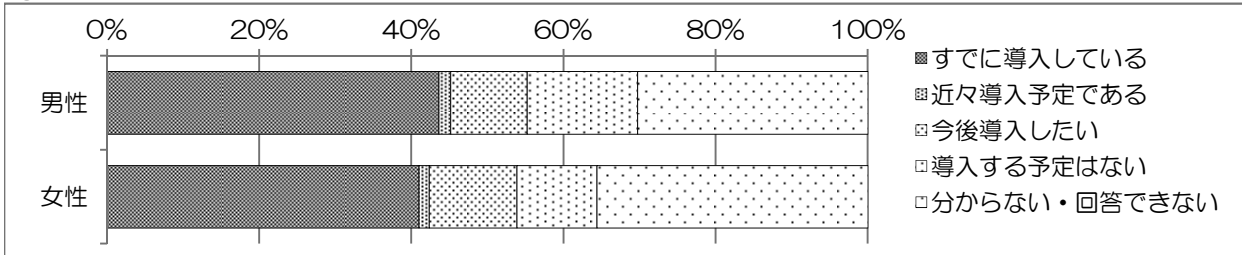
① 照明器具は、LEDや蛍光灯型など、省エネルギーの製品を導入している。



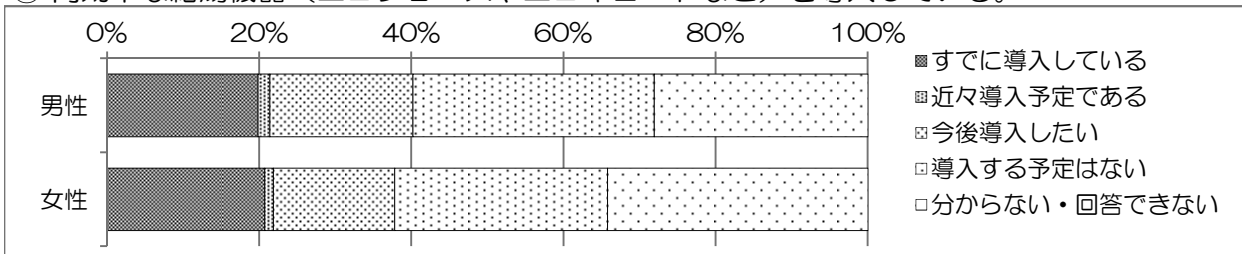
② 冷蔵庫やテレビなどの家電製品は、消費電力の少ない製品を導入している。



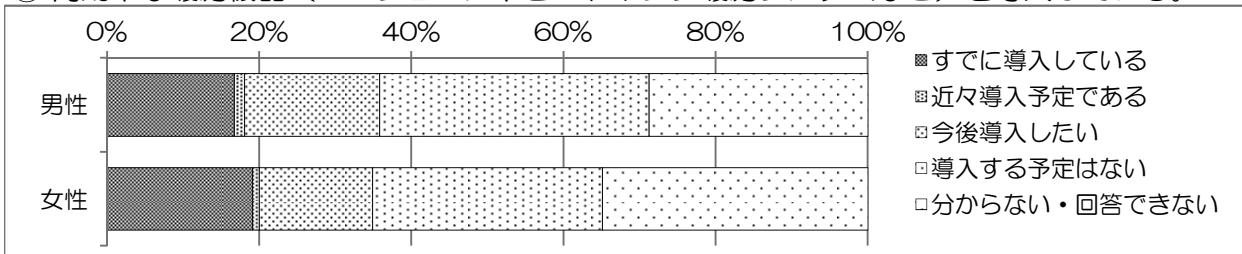
③ 住宅は断熱・気密性能の高い住宅を導入している。



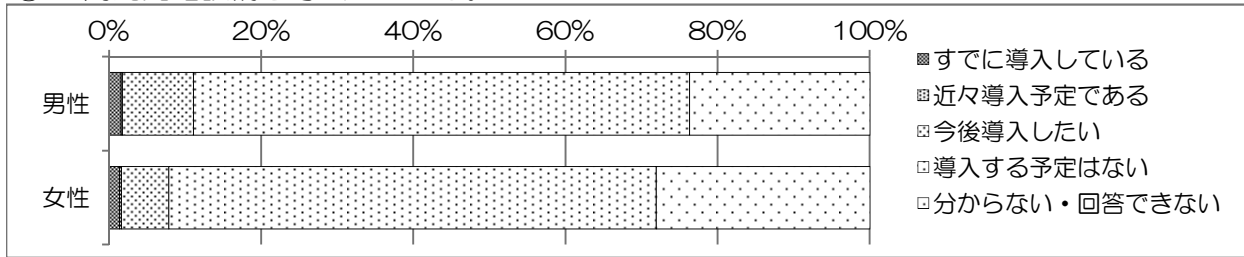
④ 高効率な給湯機器（エコジョーズやエコキュートなど）を導入している。



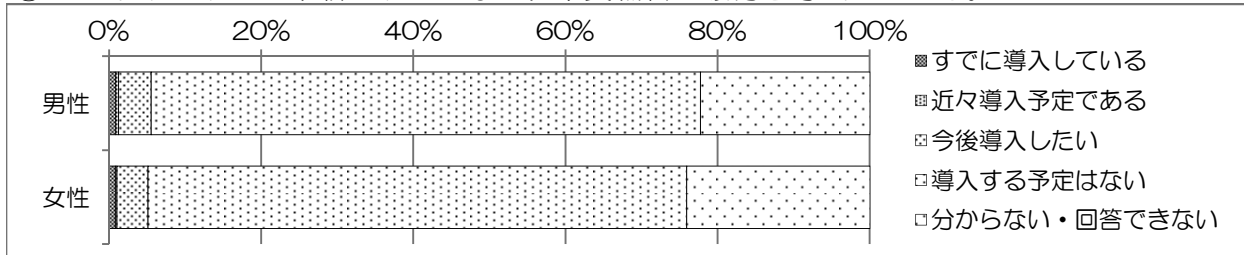
⑤ 高効率な暖房機器（エコジョーズやヒートポンプ暖房システムなど）を導入している。



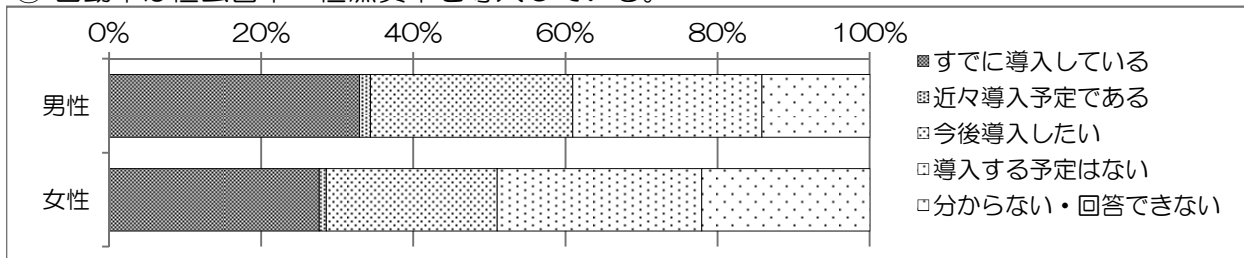
⑥ 太陽光発電設備を導入している。



⑦ ペレットストーブや薪ストーブなど、木質燃料の暖房を導入している。

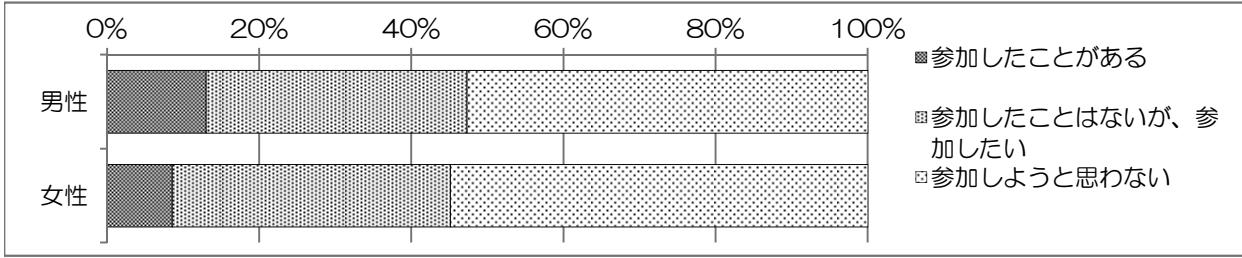


⑧ 自動車は低公害車・低燃費車を導入している。

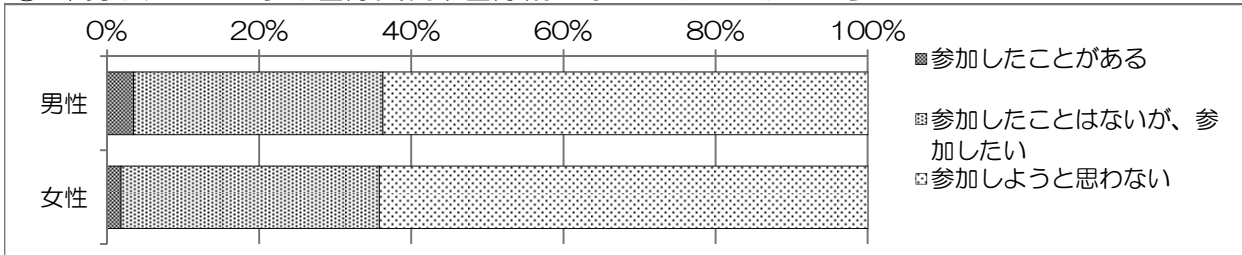


問6 イベント等への参加状況

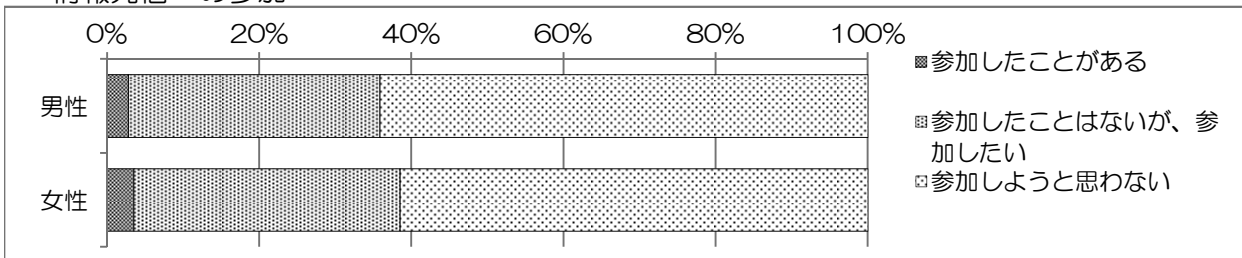
① 地域で行われている環境保全活動に関するイベントへの参加



② 環境をテーマとする国際交流や国際協力などのイベントへの参加

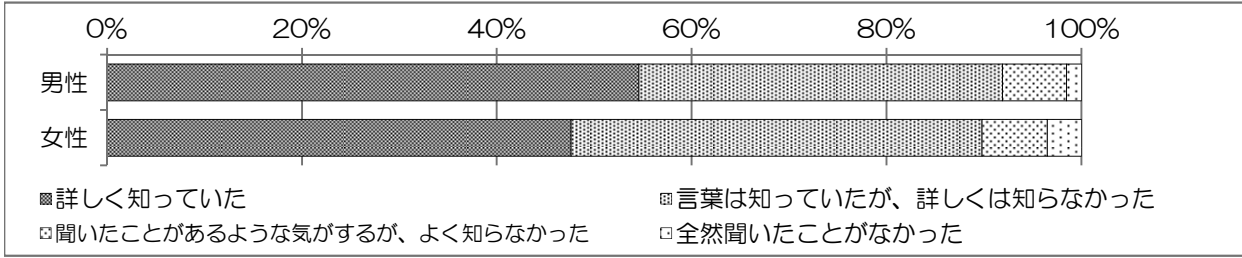


③ “さっぽろ雪まつり”などの札幌市で行われているイベントでの環境対策の情報発信への参加

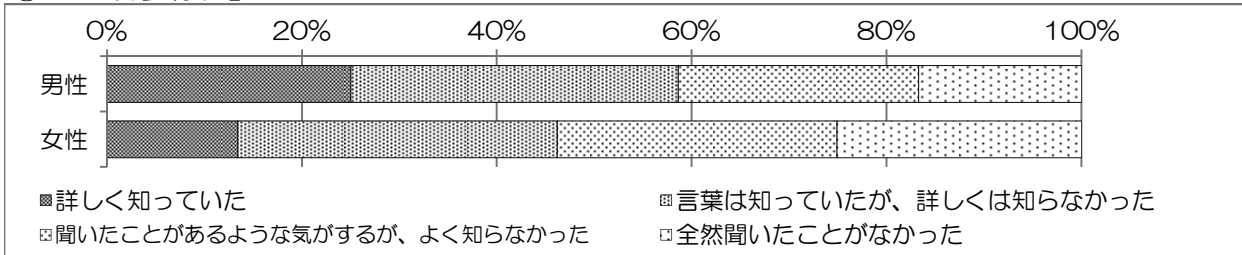


問7 新たな環境問題に対する認知度

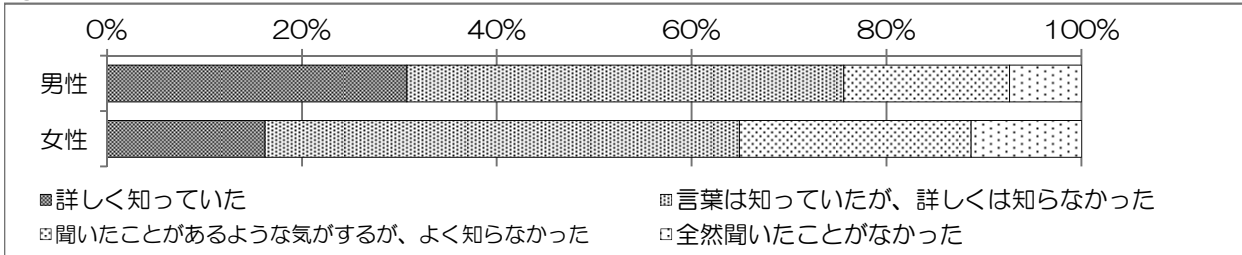
① 「PM2.5」



② 「生物多様性」

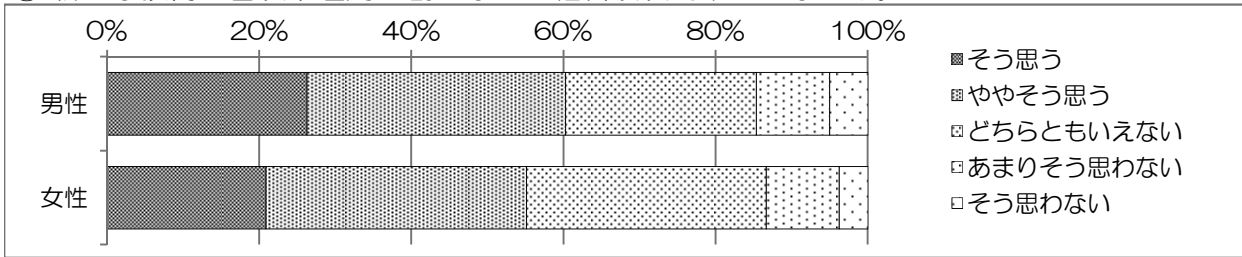


③ 「気候変動（地球温暖化など）に対する適応対策」

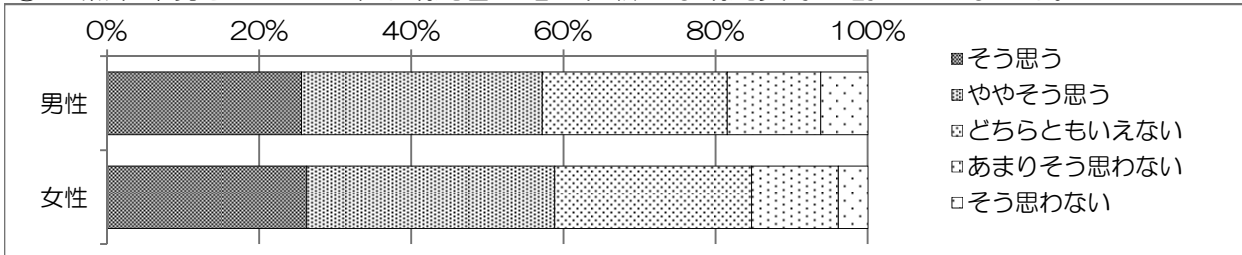


問8 札幌市と市民が一体となって環境問題の解決に取り組むことによる波及効果について

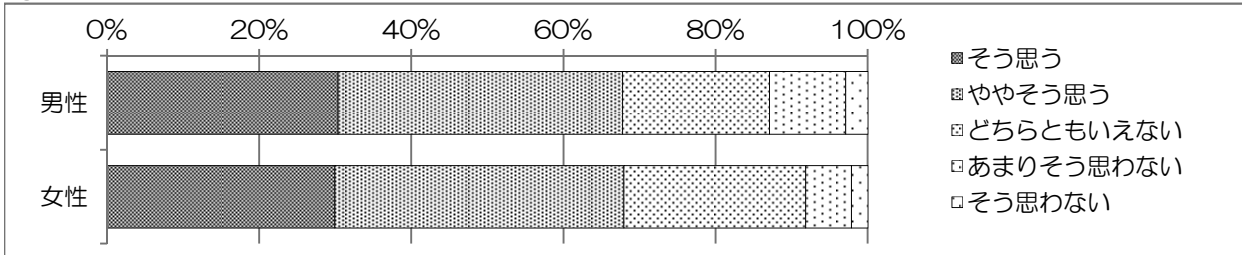
① 新たな技術の普及や雇用の創出などの経済波及効果につながる。



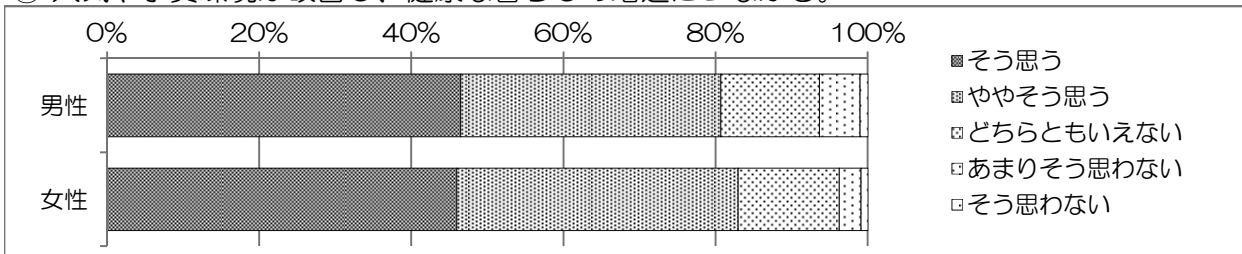
② 自然や環境を目当てに来る観光客が増え、新たな観光資源の創出につながる。



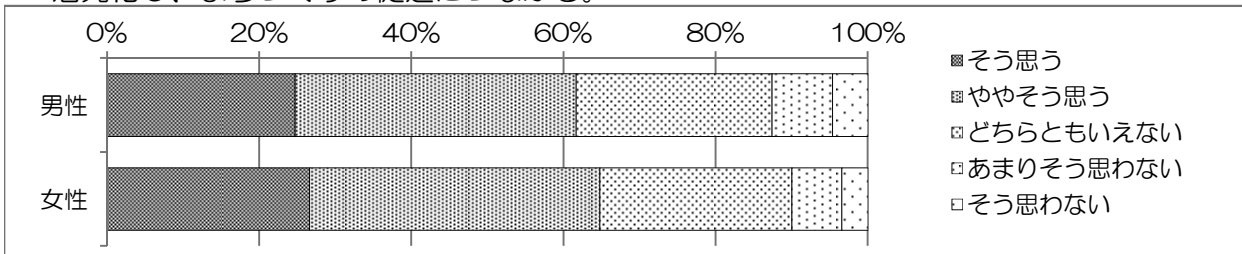
③ 住宅や居住施設等における生活環境が改善され、健康の増進や福祉の向上につながる。



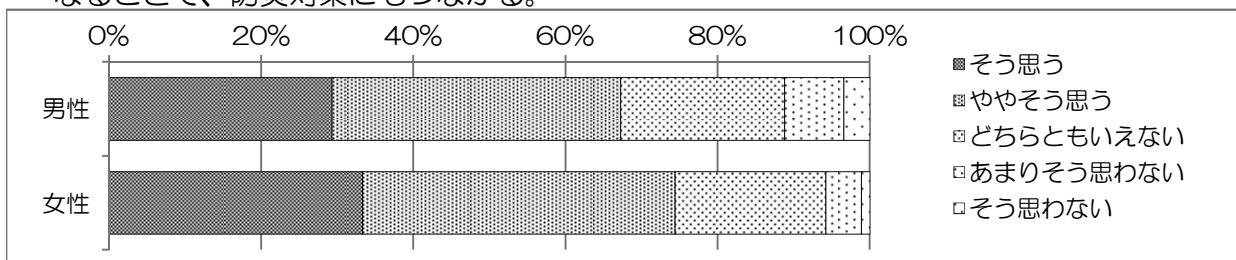
④ 大気や水質環境が改善し、健康な暮らしの増進につながる。



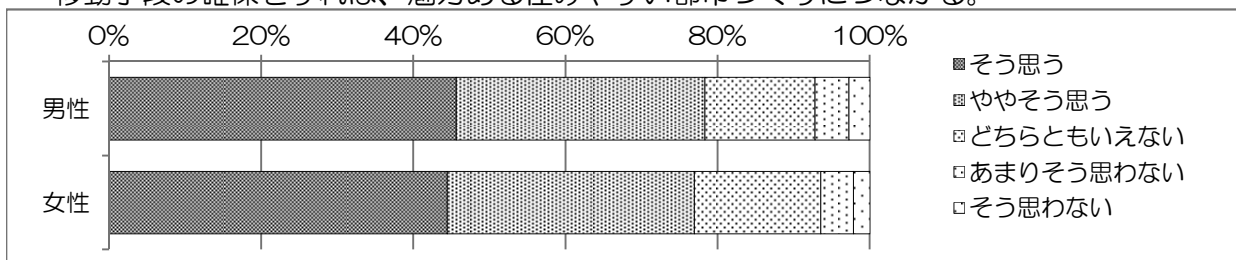
⑤ 町内会や市民団体と地域住民との関わりが増えることで、地域コミュニティの活動が活発化し、まちづくりの促進につながる。



⑥ 太陽光発電やコージェネレーション設備などの導入が進み、災害時の電源確保になることで、防災対策にもつながる。

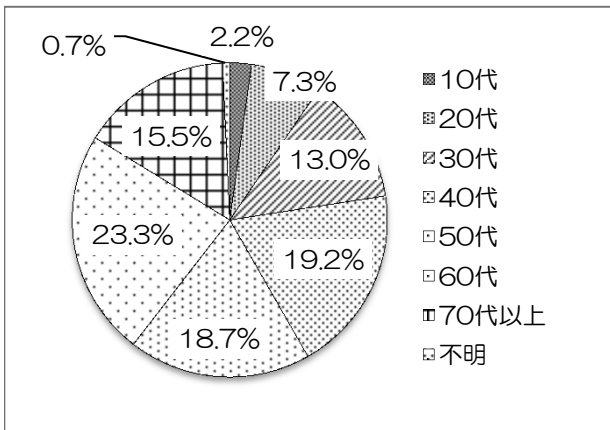


⑦ 自動車利用を減らすために公共交通網が整備され、高齢者や子どもなど誰もが使いやすい移動手段の確保をすれば、魅力ある住みやすい都市づくりにつながる。



環境基本計画に関するアンケート結果【市民向け、クロス集計（年代）】

◎年代別の割合



n=1495

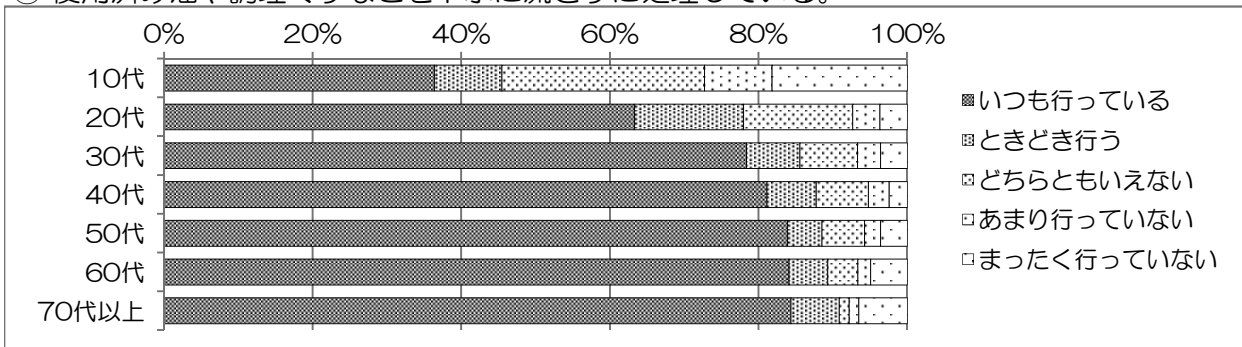
※「不明(n=11)」は
クロス集計表からは除外

問2 普段から取り組んでいる環境保全行動について

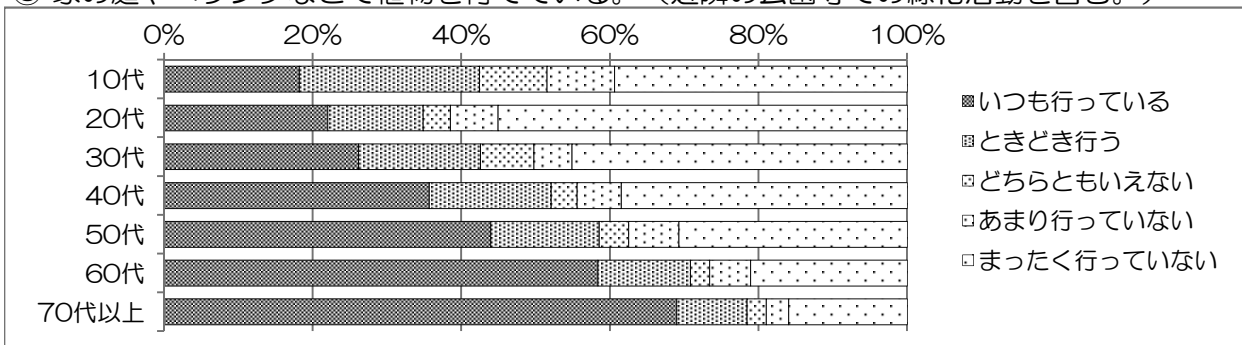
① 植樹活動や水辺の清掃など、自然環境を保全する活動に参加している。



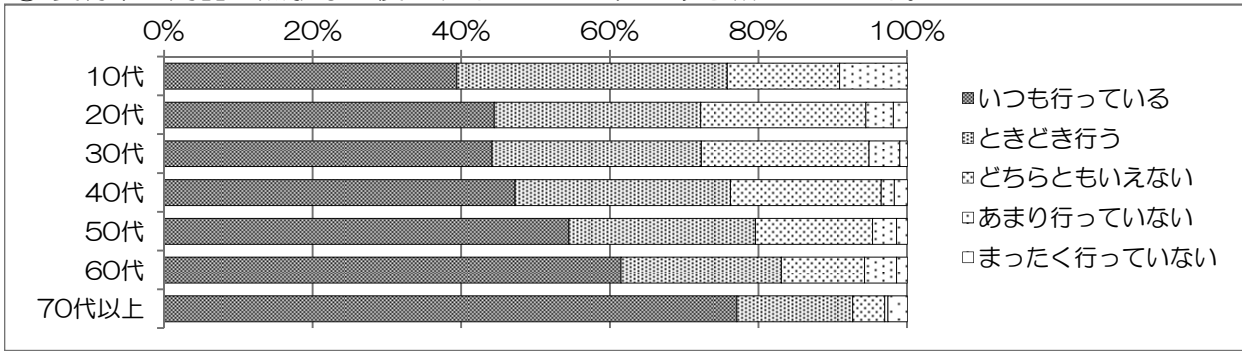
② 使用済み油や調理くずなどを下水に流さずに処理している。



③ 家の庭やベランダなどで植物を育てている。（近隣の公園等での緑化活動を含む。）



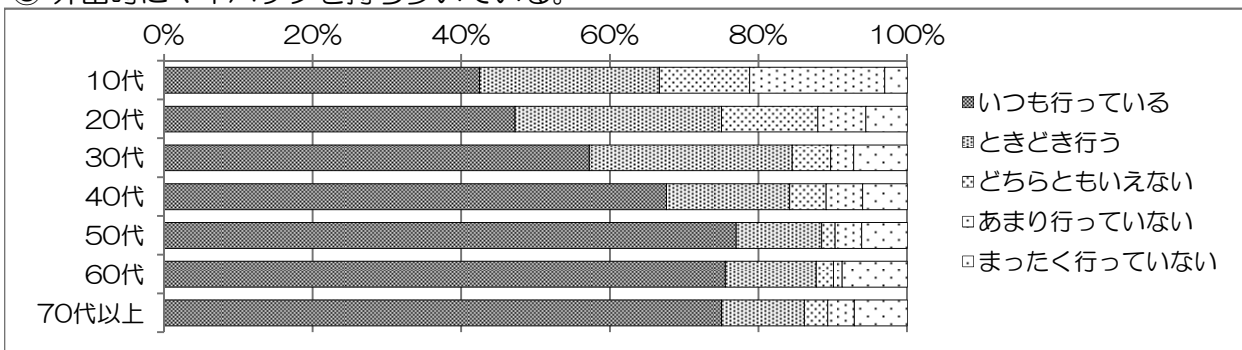
④ 食材や日用品は無駄なく使い切るようにし、ごみを減らしている。



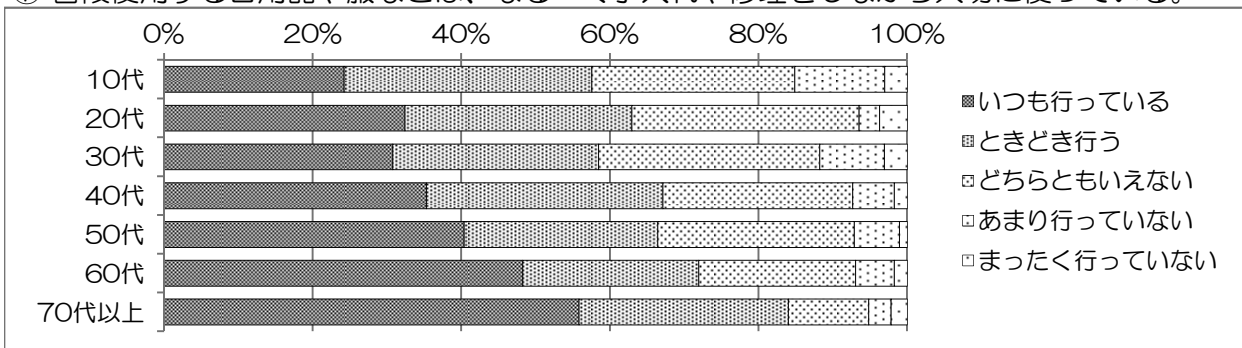
⑤ 外出時にマイ箸を持ち歩いている。



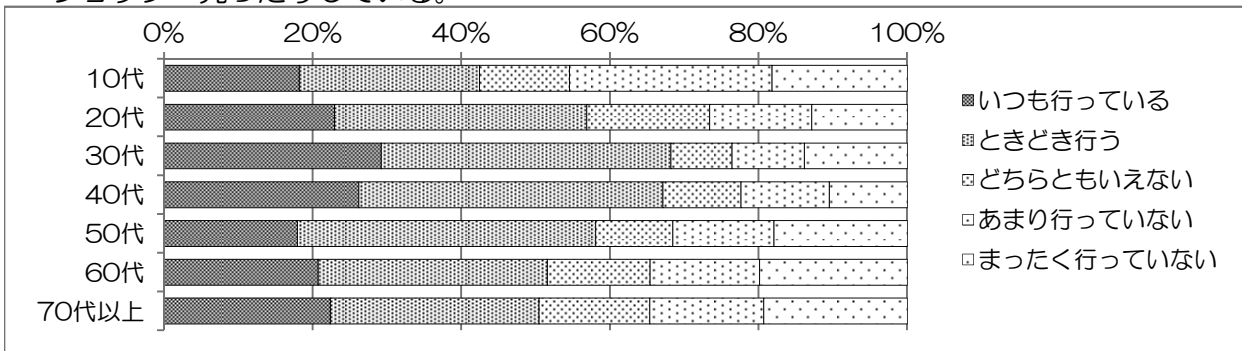
⑥ 外出時にマイバッグを持ち歩いている。



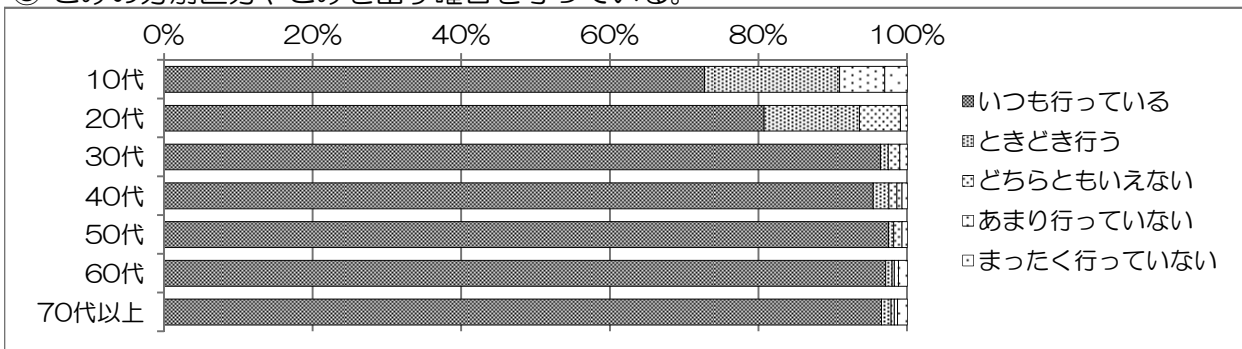
⑦ 普段使用する日用品や服などは、なるべく手入れや修理をしながら大切に使っている。



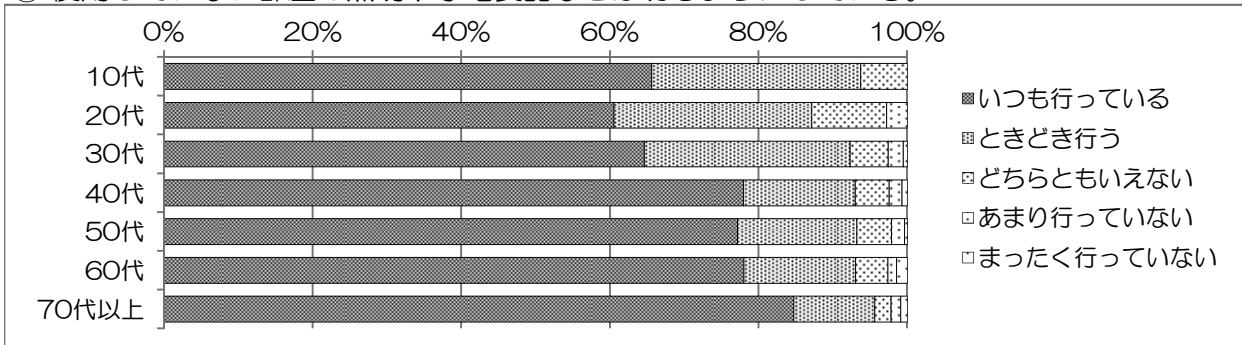
⑧ 使わなくなった日用品や服などで再利用できるものは、再利用したり、リサイクルショップへ売ったりしている。



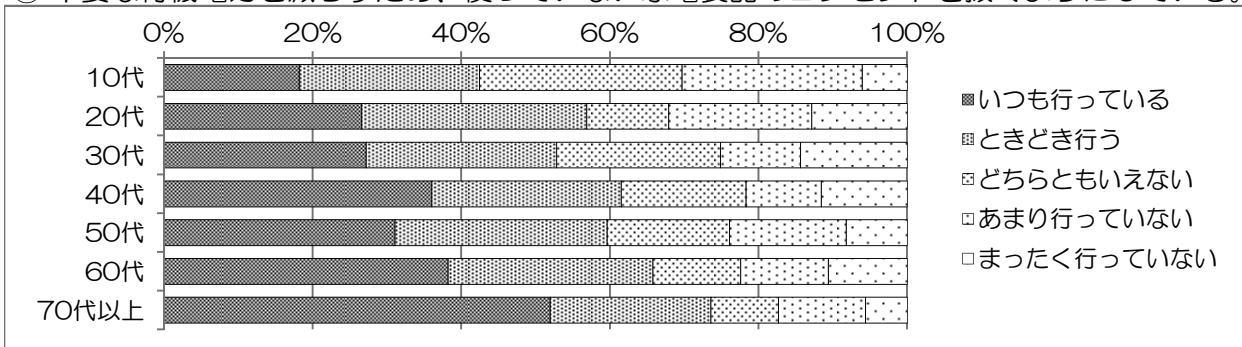
⑨ ごみの分別区分やごみを出す曜日を守っている。



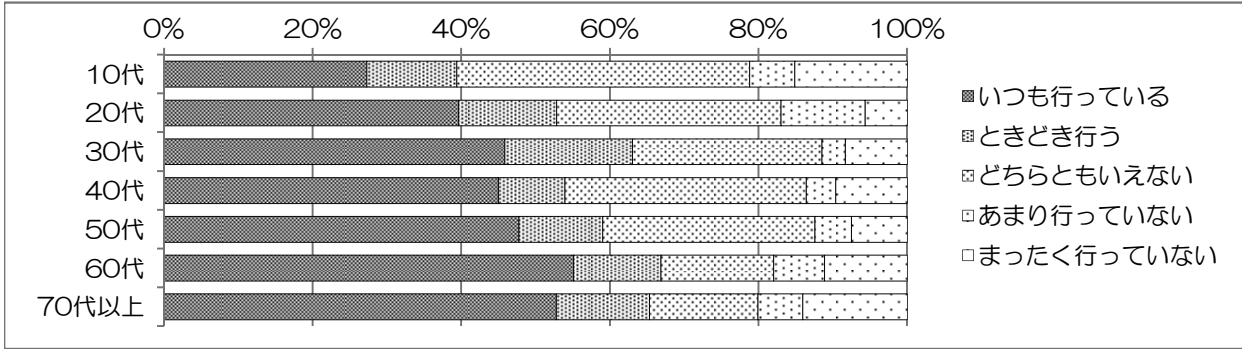
⑩ 使用していない部屋の照明や家電製品などは切るようにしている。



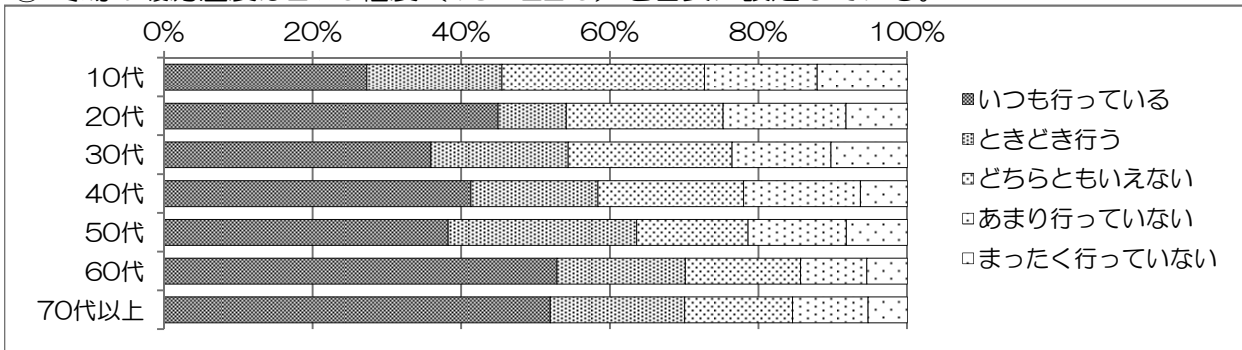
⑪ 不要な待機電力を減らすため、使っていない家電製品のコンセントを抜くようにしている。



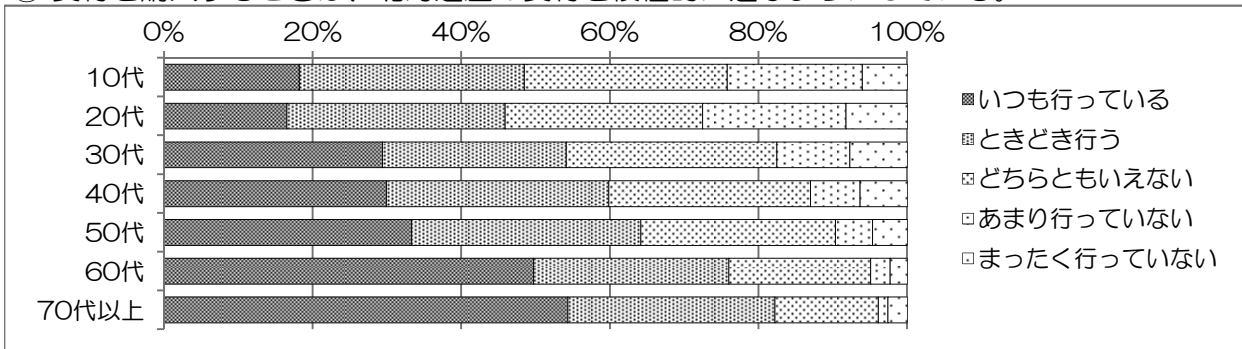
⑫ 夏場の冷房温度は28℃程度（26～30℃）を目安に設定している。



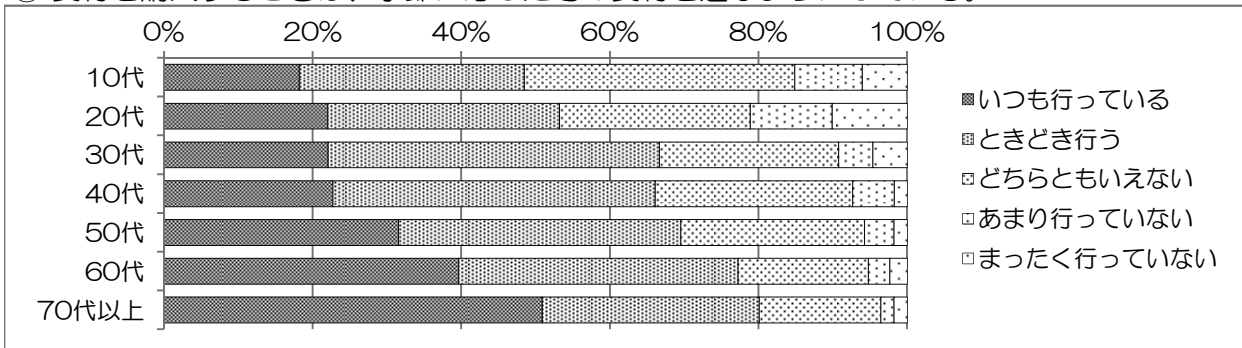
⑬ 冬場の暖房温度は20℃程度（18～22℃）を目安に設定している。



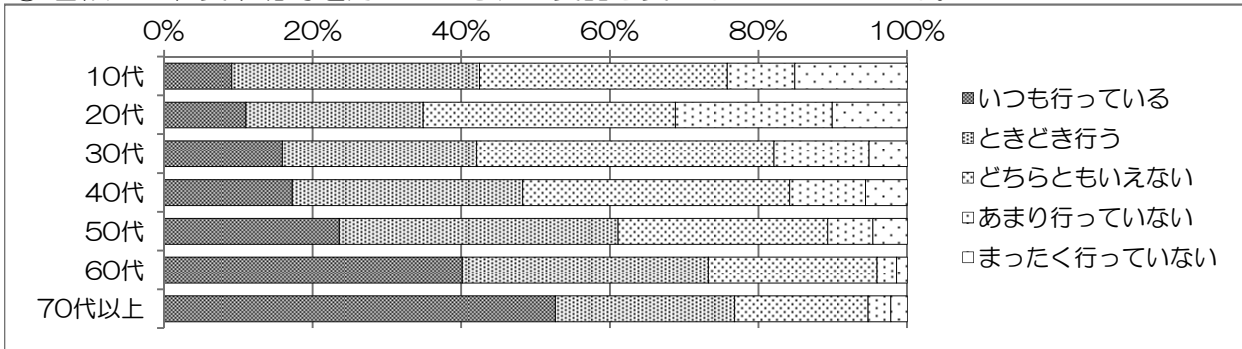
⑭ 食材を購入するときは、北海道産の食材を積極的に選ぶようにしている。



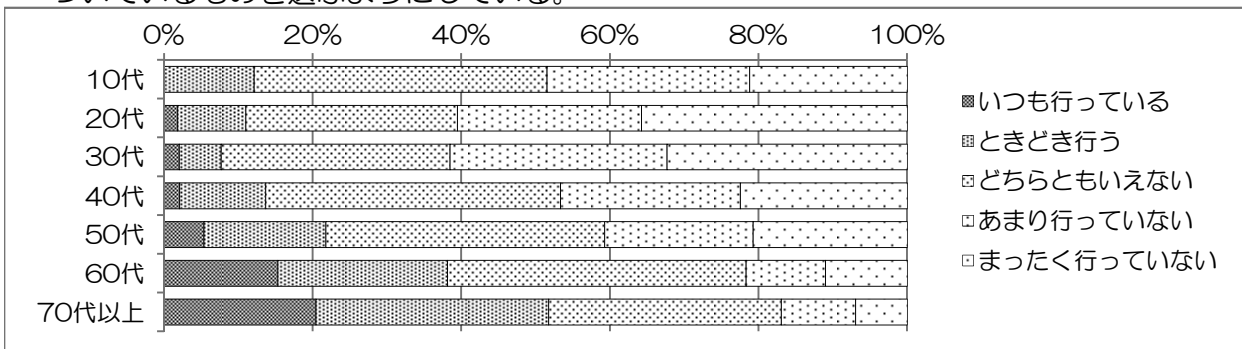
⑮ 食材を購入するときは、季節に応じた旬の食材を選ぶようにしている。



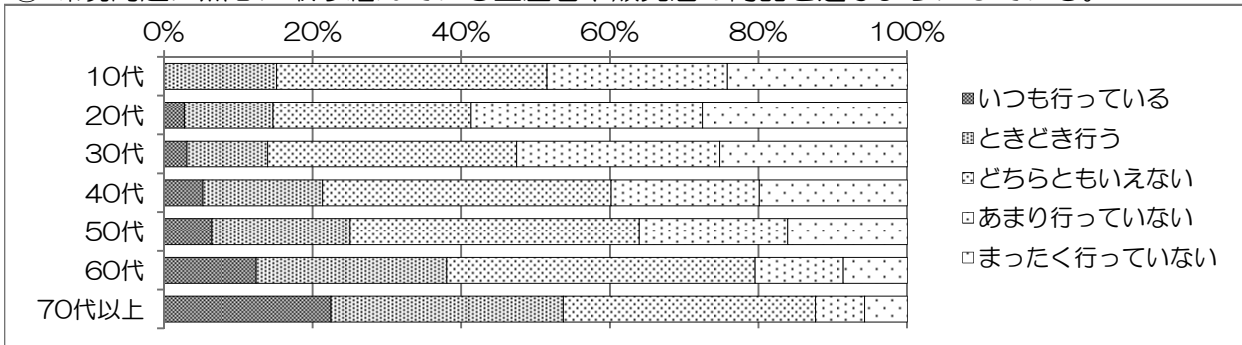
⑩ 普段から和食や北海道内で加工された食品を食べるようにしている。



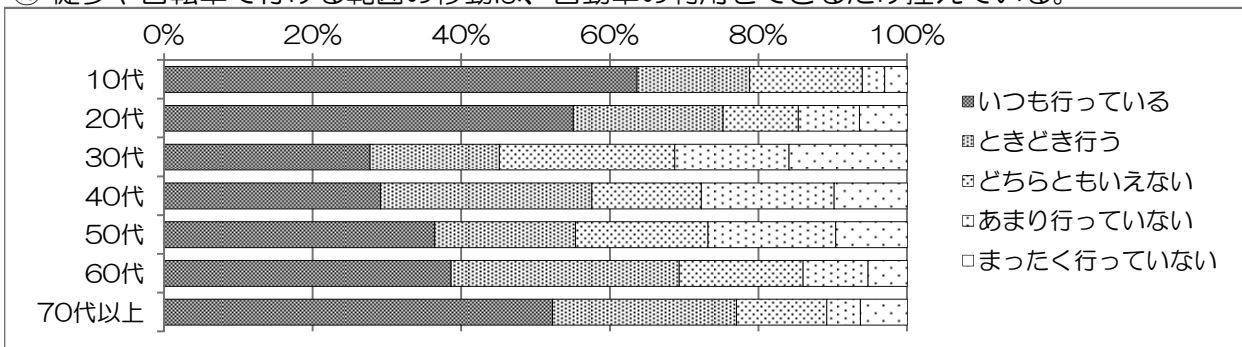
⑪ 文房具や洗剤などの日用品を購入する際は、エコマークなどの環境ラベルがついているものを選ぶようにしている。



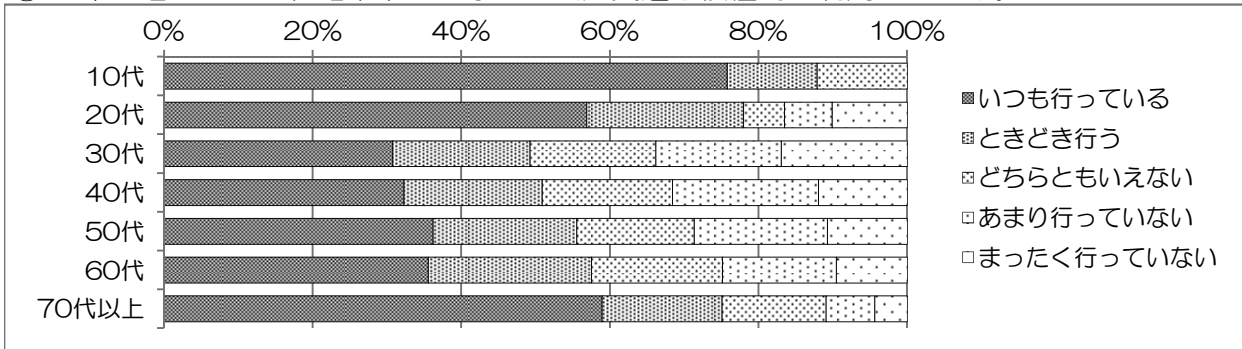
⑫ 環境問題に熱心に取り組んでいる生産者や販売店の商品を選ぶようにしている。



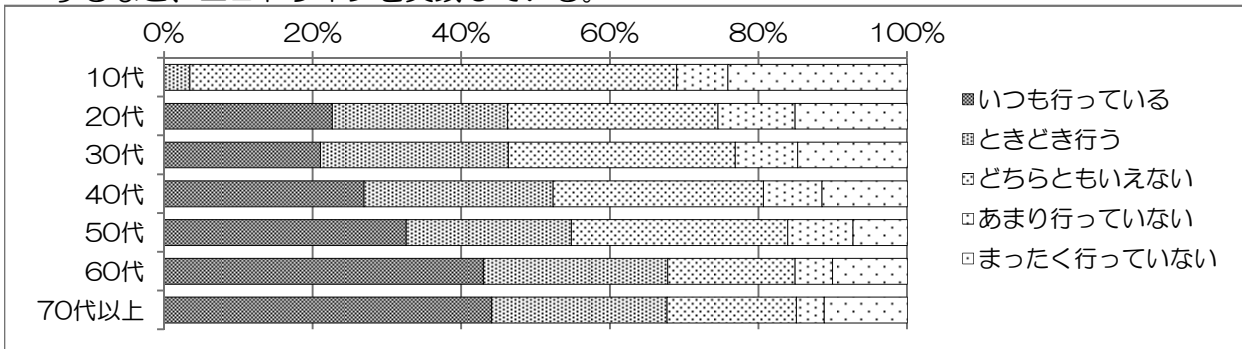
⑬ 徒歩や自転車で行ける範囲の移動は、自動車の利用をできるだけ控えている。



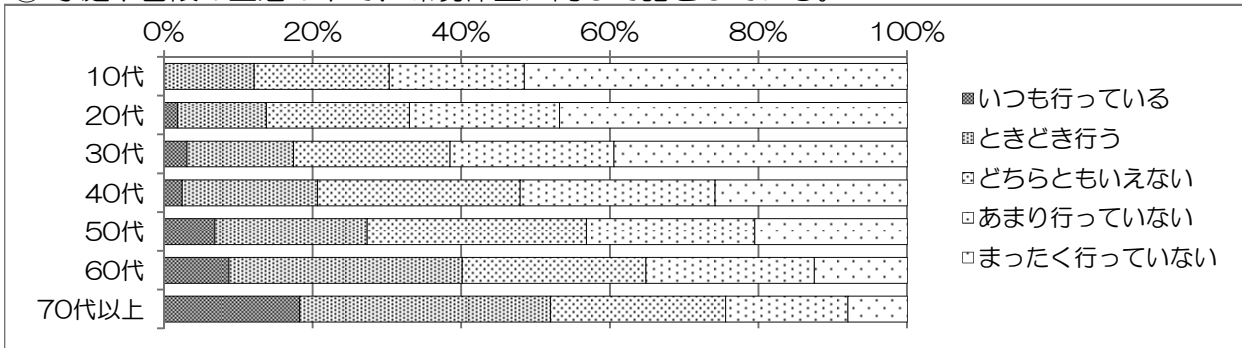
⑳ 日常生活において、電車やバスなどの公共交通を積極的に利用している。



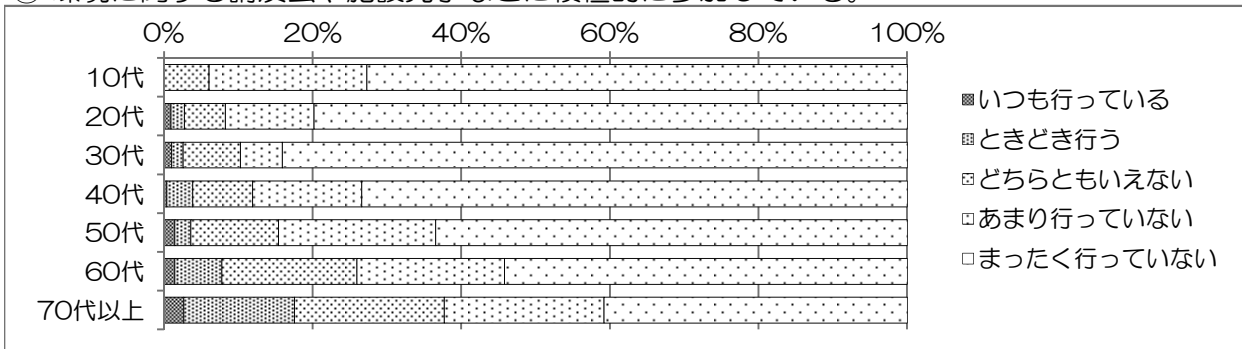
㉑ 自動車を運転する際は、アクセルをゆっくり踏んだり、アイドリングストップを行ったりするなど、エコドライブを実践している。



㉒ 家庭や普段の生活の中で、環境保全に関して話をしている。

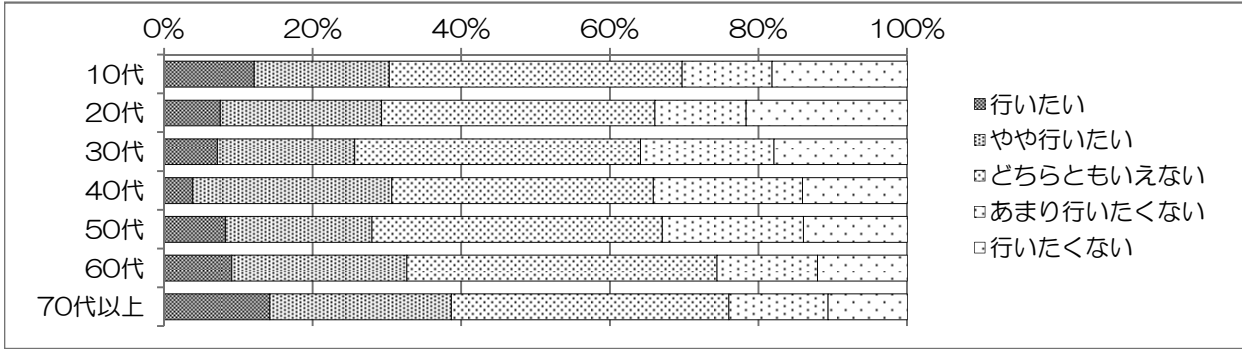


㉓ 環境に関する講演会や施設見学などに積極的に参加している。

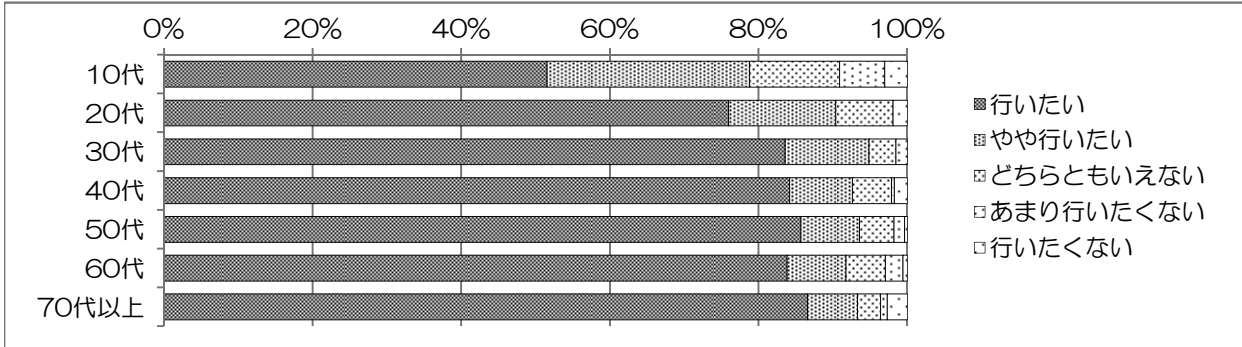


問3 行いたいと考えている環境保全行動について

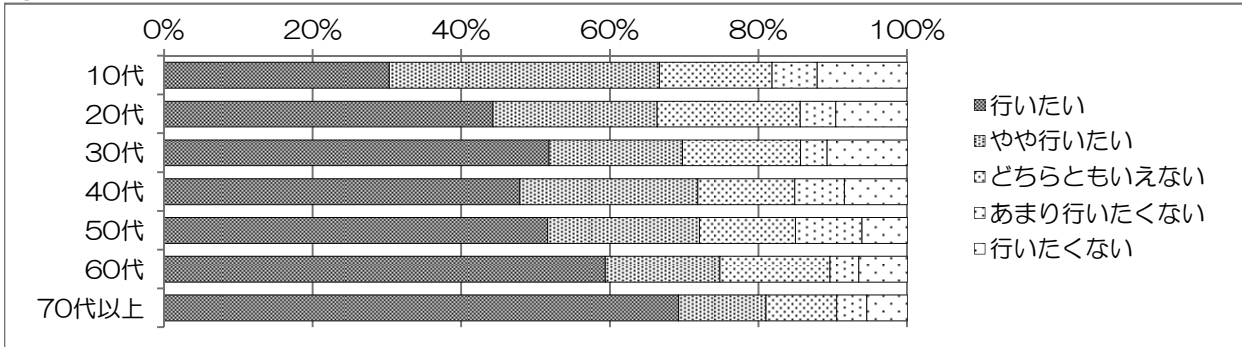
① 植樹活動や水辺の清掃活動など、自然環境を保全する活動に参加する。



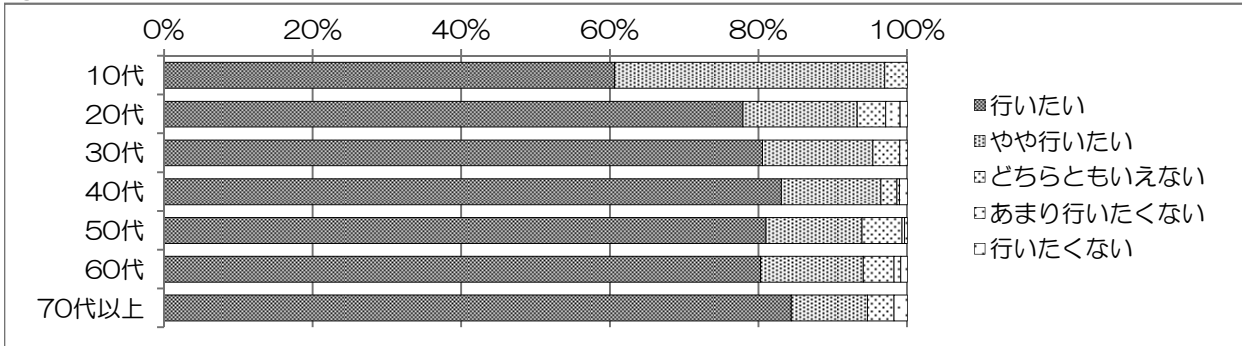
② 使用済み油や調理くずなどを下水に流さずに処理する。



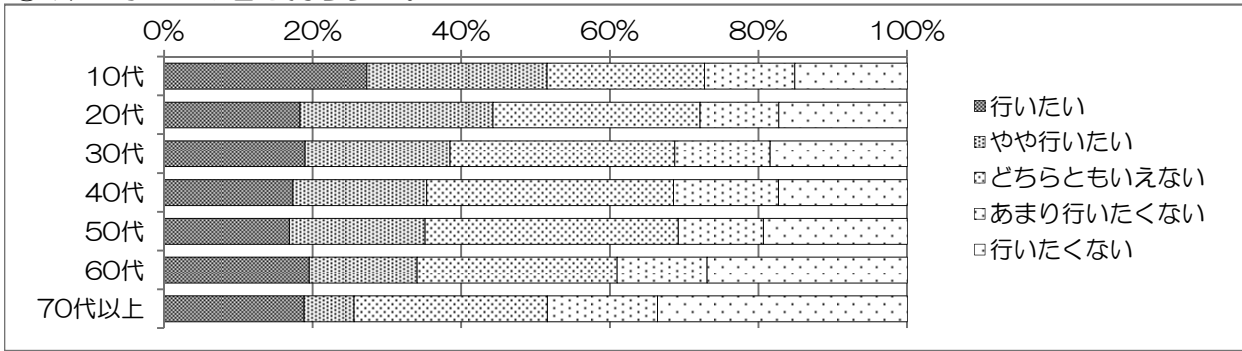
③ 家の庭やベランダなどで植物を育てる。(近隣の公園等での緑化活動を含む。)



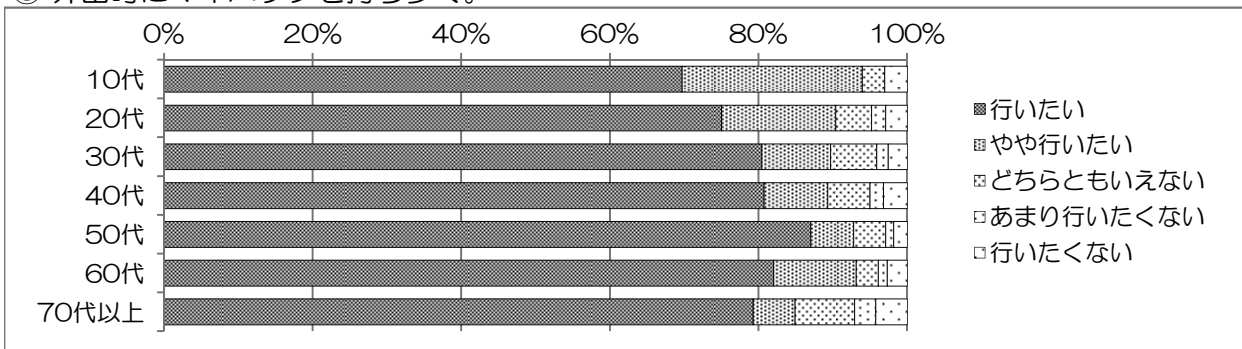
④ 食材や日用品は無駄なく使い切るようにし、ごみを減らす。



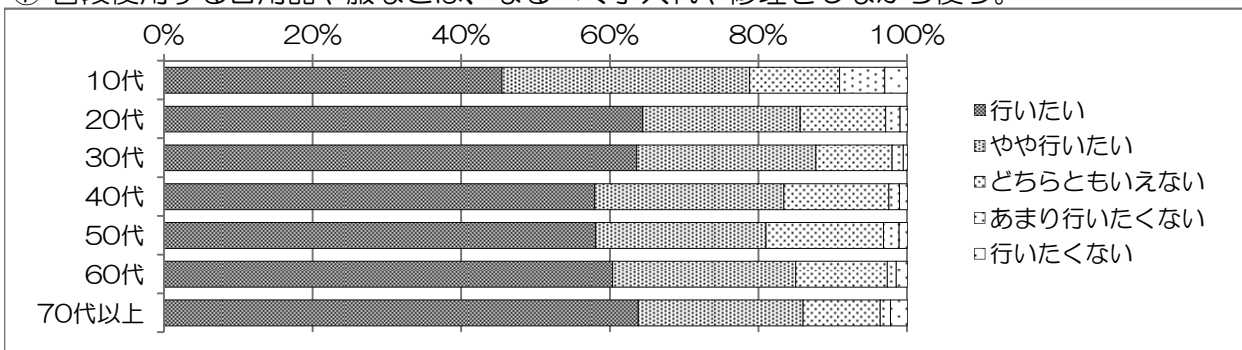
⑤ 外出時にマイ箸を持ち歩く。



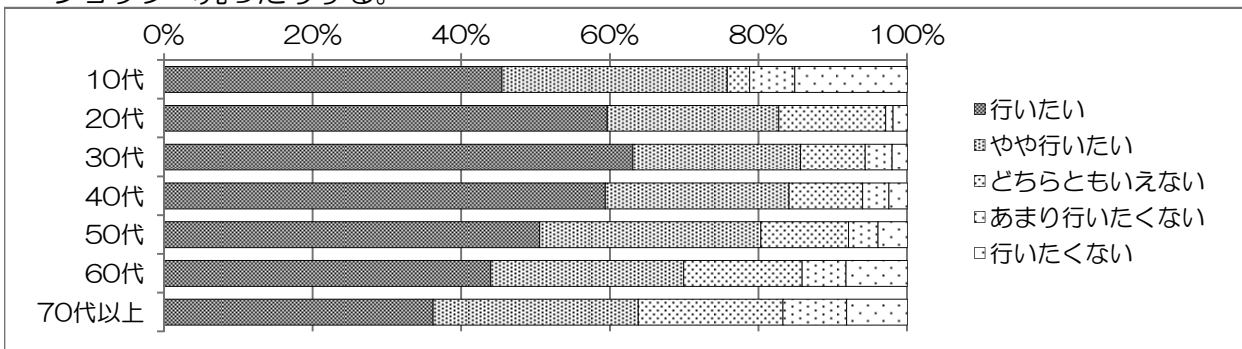
⑥ 外出時にマイバッグを持ち歩く。



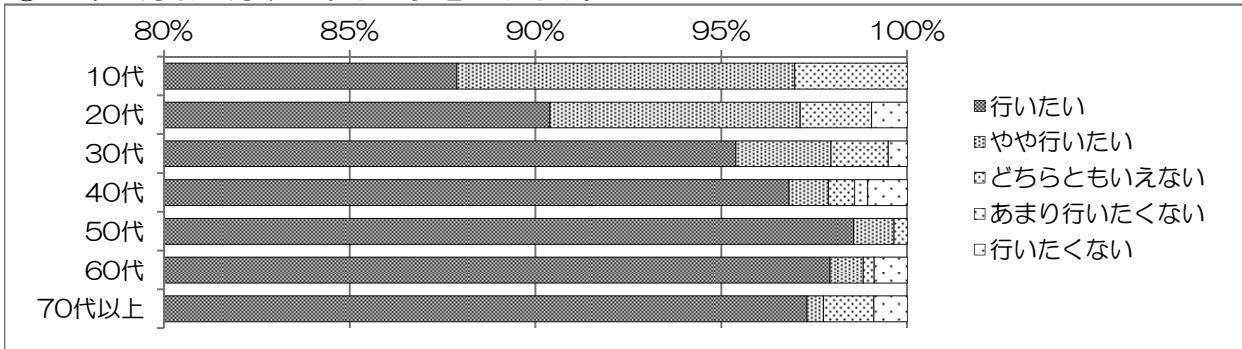
⑦ 普段使用する日用品や服などは、なるべく手入れや修理をしながら使う。



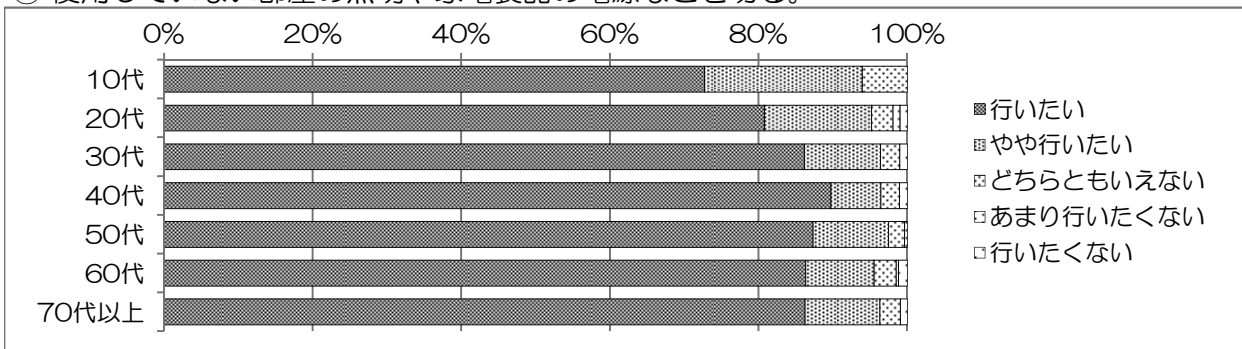
⑧ 使わなくなった日用品や服などで再利用できるものは、再利用したり、リサイクルショップへ売ったりする。



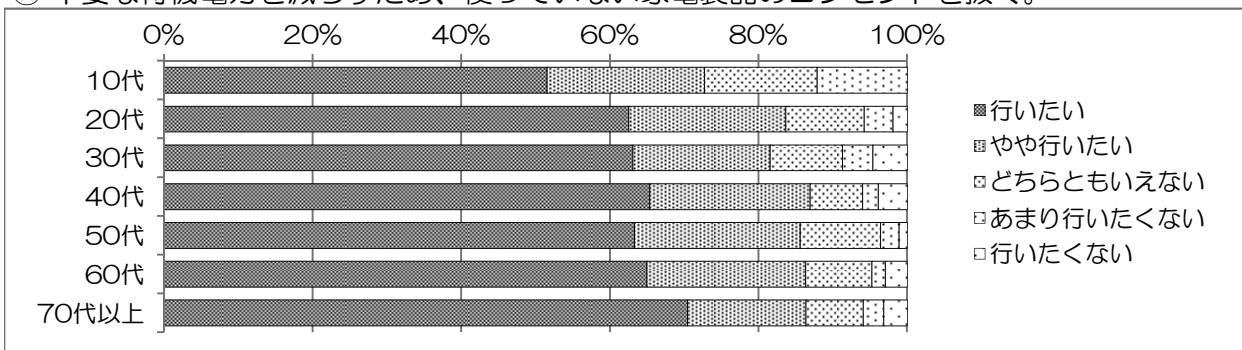
⑨ ごみの分別区分やごみを出す曜日を守る。



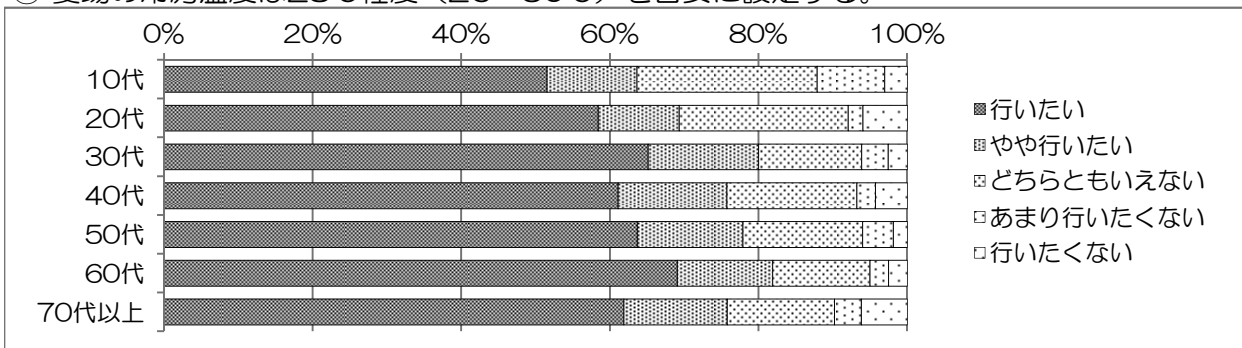
⑩ 使用していない部屋の照明や家電製品の電源などを切る。



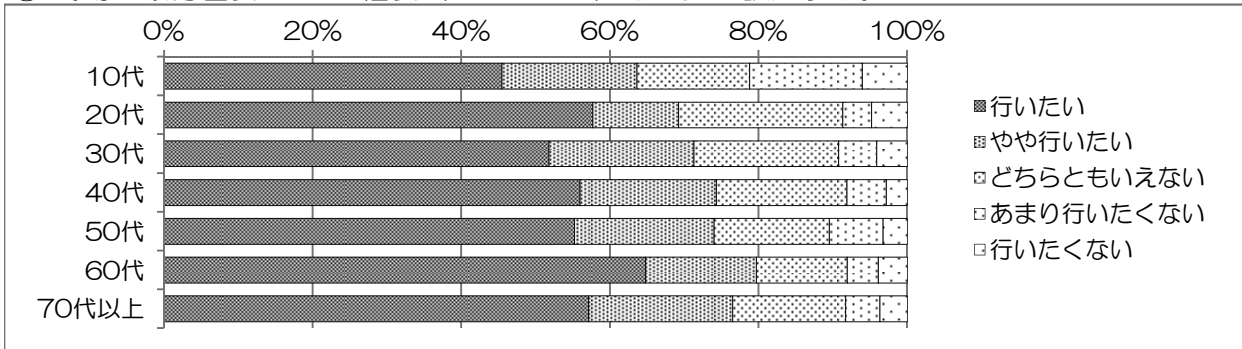
⑪ 不要な待機電力を減らすため、使っていない家電製品のコンセントを抜く。



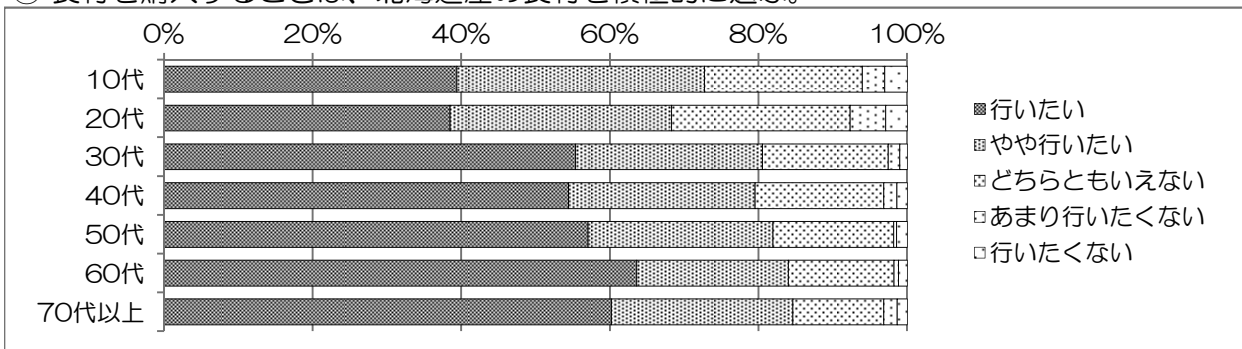
⑫ 夏場の冷房温度は28℃程度（26～30℃）を目安に設定する。



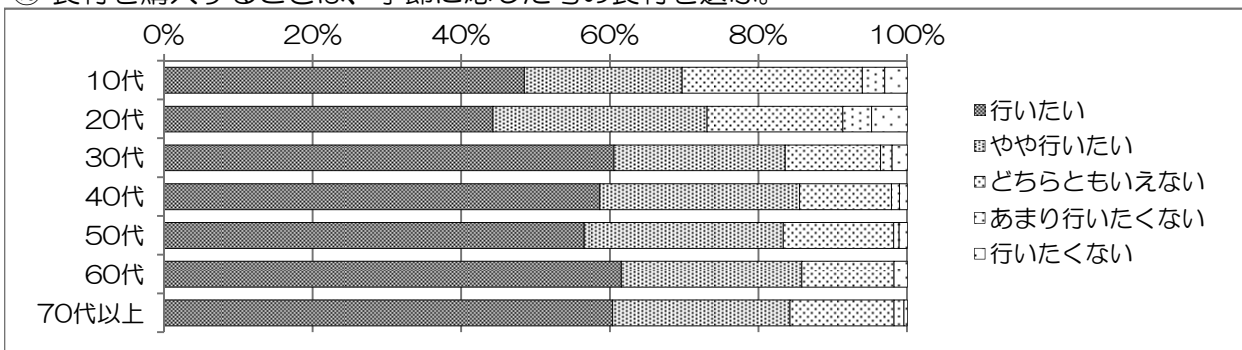
⑬ 冬場の暖房温度は20℃程度（18～22℃）を目安に設定する。



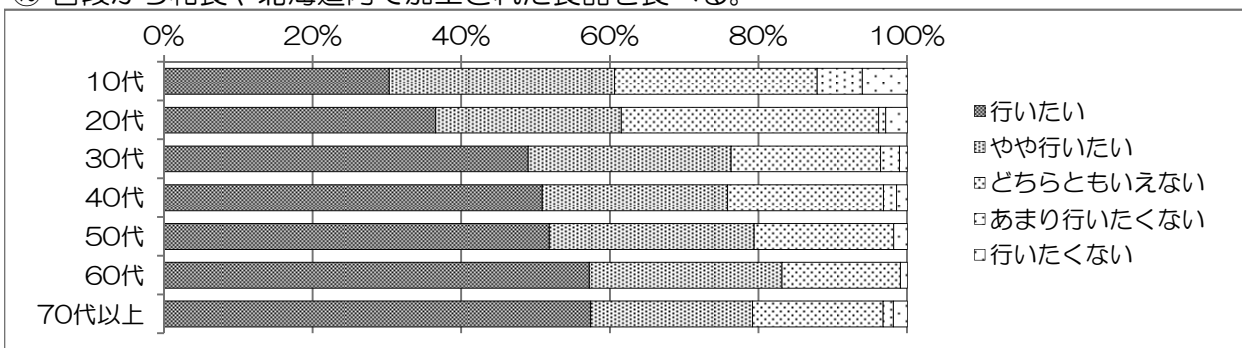
⑭ 食材を購入するときは、北海道産の食材を積極的に選ぶ。



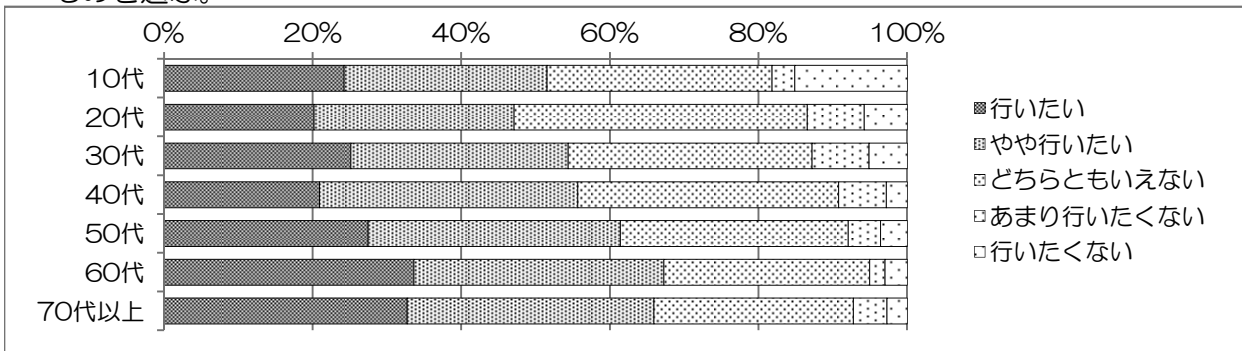
⑮ 食材を購入するときは、季節に応じた旬の食材を選ぶ。



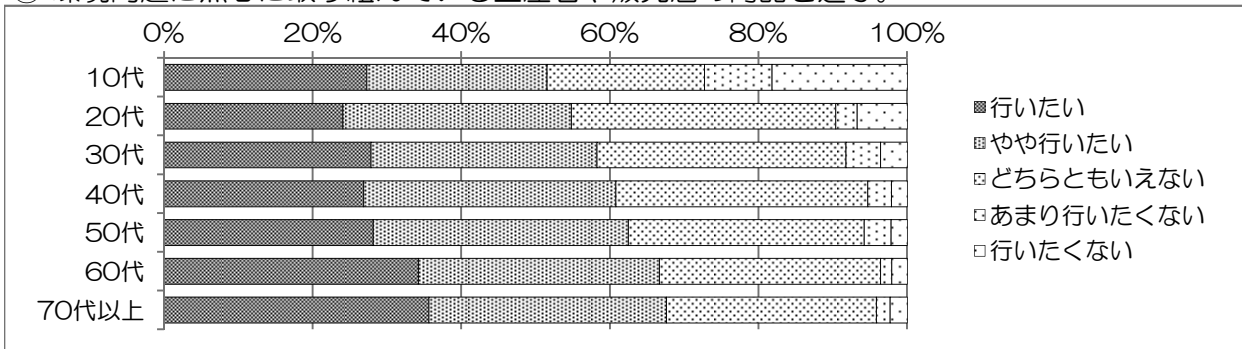
⑯ 普段から和食や北海道内で加工された食品を食べる。



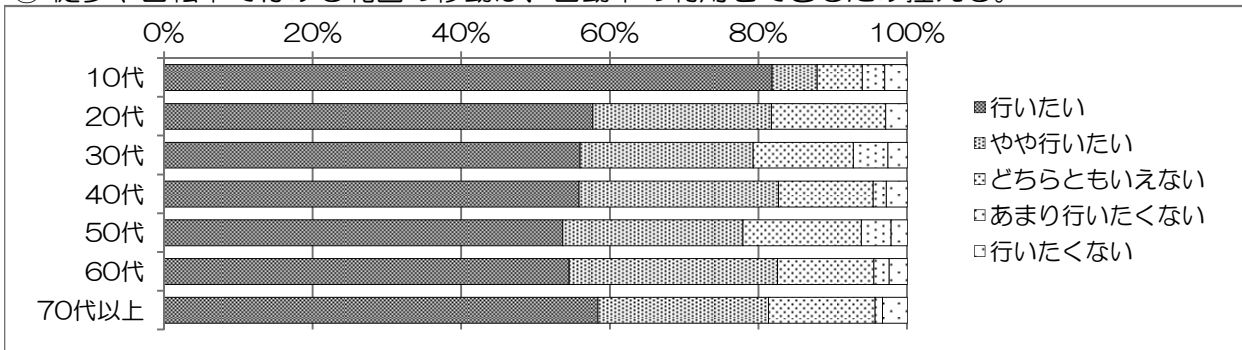
⑰ 文房具や洗剤などの日用品を購入する際は、エコマークなどの環境ラベルがついているものを選ぶ。



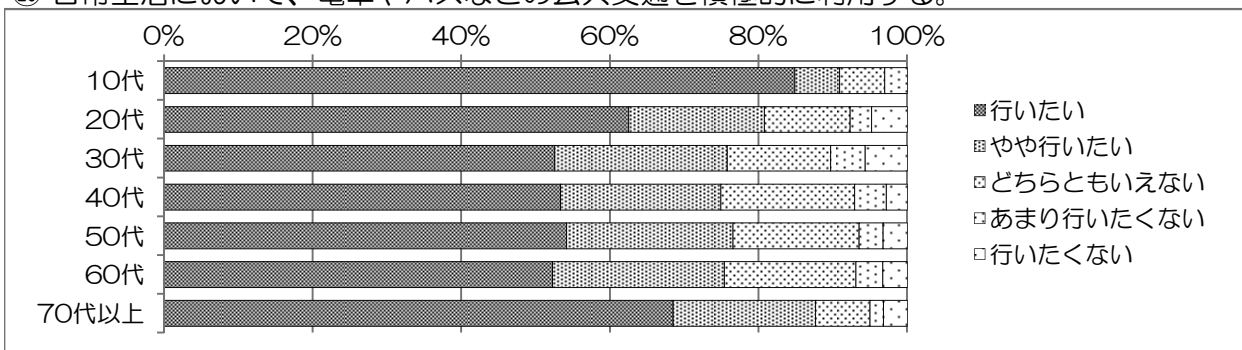
⑱ 環境問題に熱心に取り組んでいる生産者や販売店の商品を選ぶ。



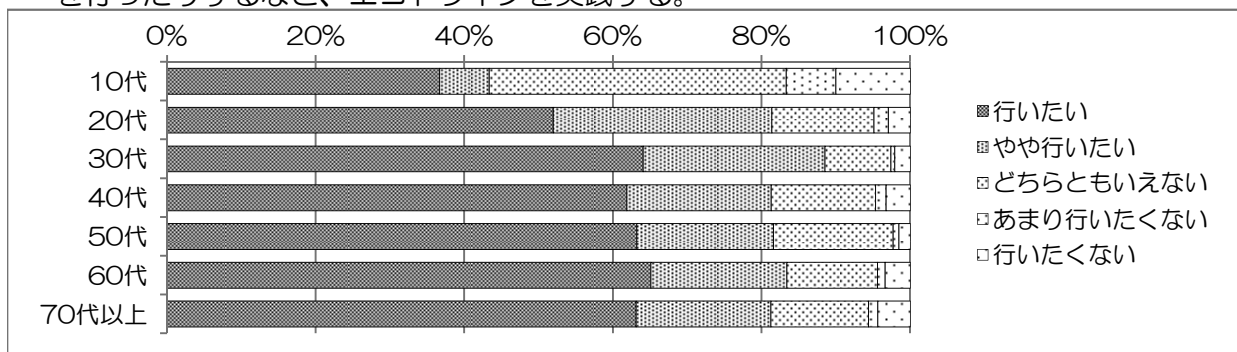
⑲ 徒歩や自転車で行ける範囲の移動は、自動車の利用をできるだけ控える。



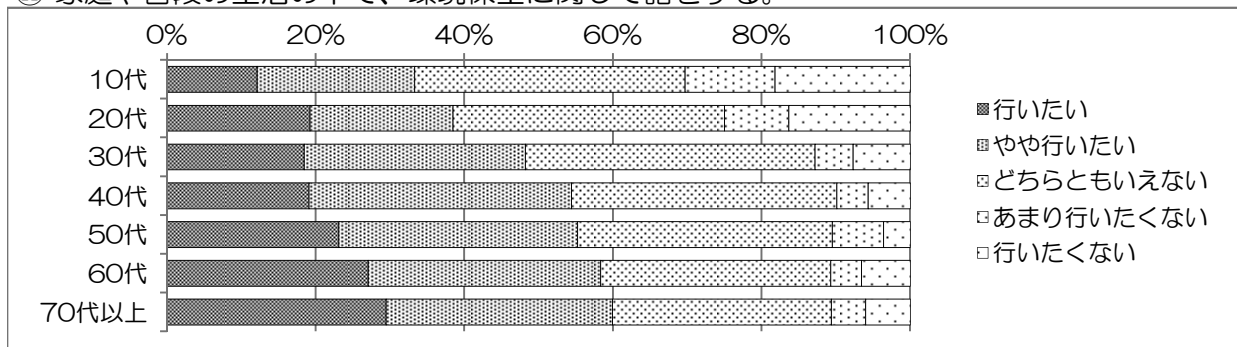
⑳ 日常生活において、電車やバスなどの公共交通を積極的に利用する。



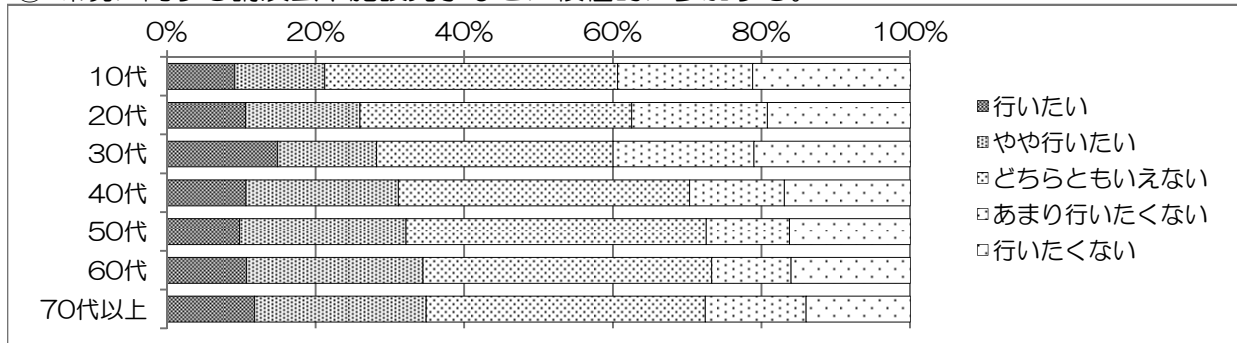
⑳ 自動車を運転する際は、アクセルをゆっくり踏んだり、アイドリングストップを行ったりするなど、エコドライブを実践する。



㉑ 家庭や普段の生活の中で、環境保全に関して話をする。

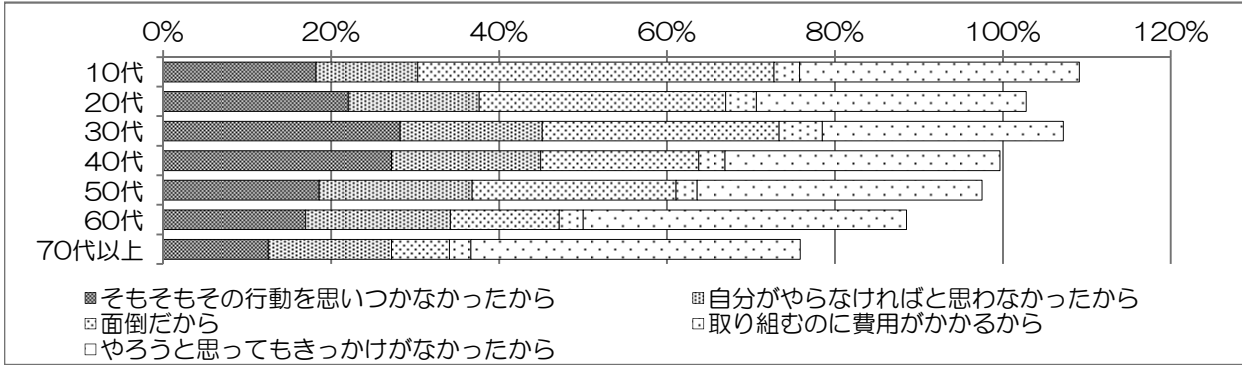


㉒ 環境に関する講演会や施設見学などに積極的に参加する。

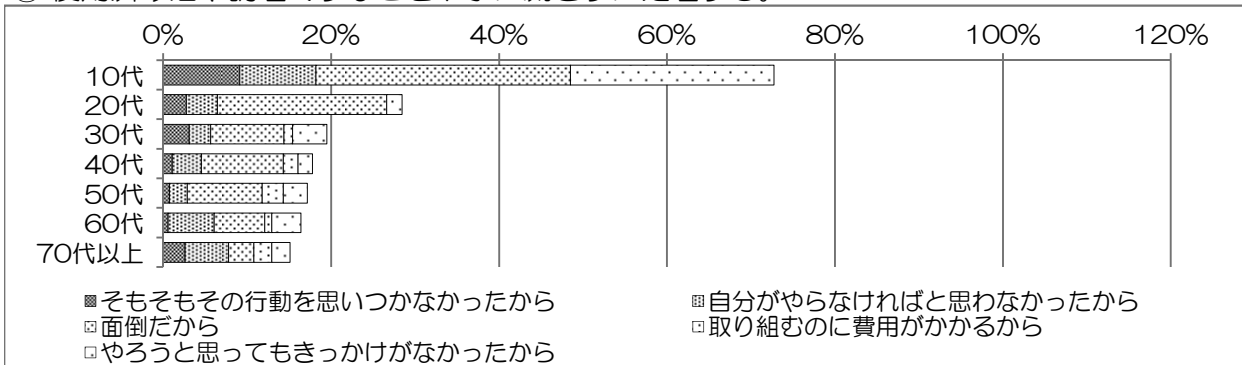


問4 環境保全行動ができない理由(複数回答)

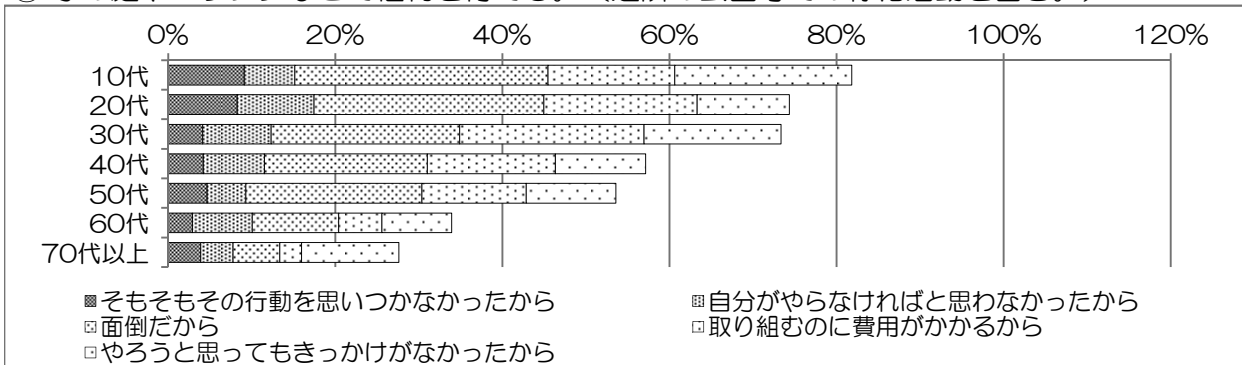
① 植樹活動や水辺の清掃活動など、自然環境を保全する活動に参加する。



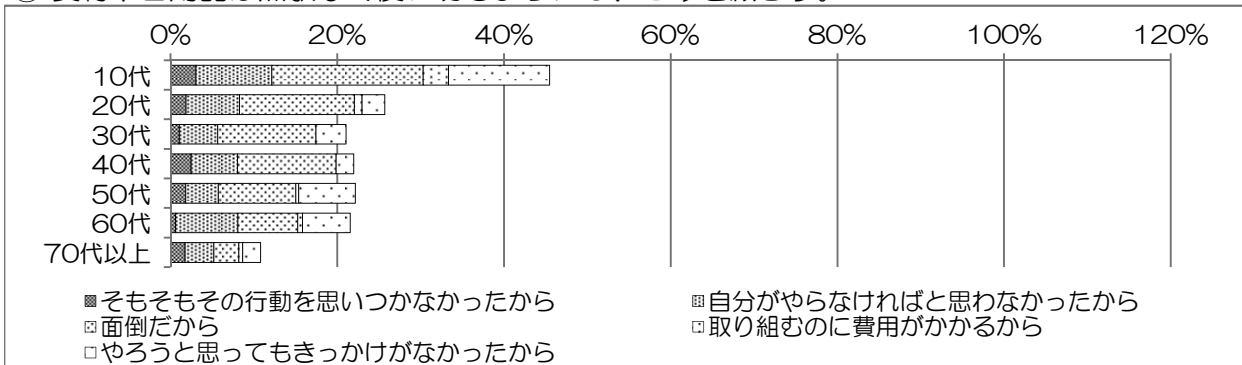
② 使用済み油や調理くずなどを下水に流さずに処理する。



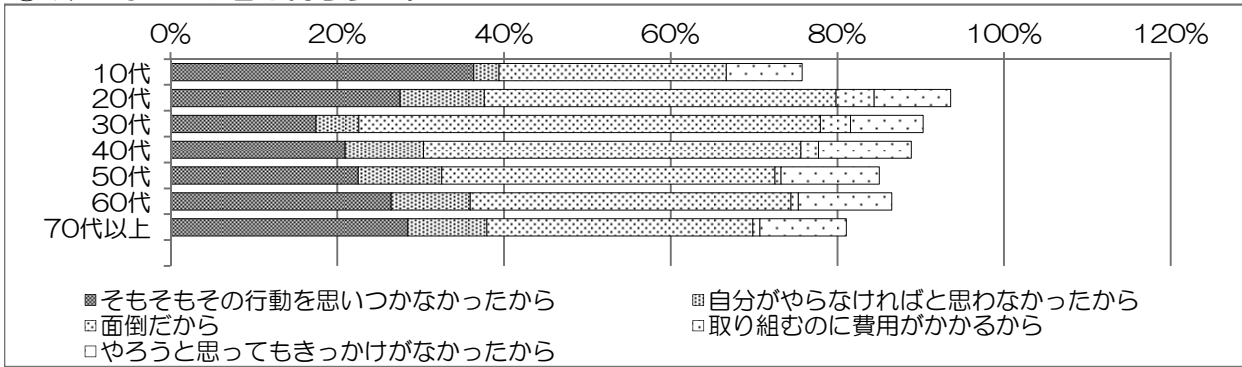
③ 家の庭やベランダなどで植物を育てる。(近隣の公園等での緑化活動を含む。)



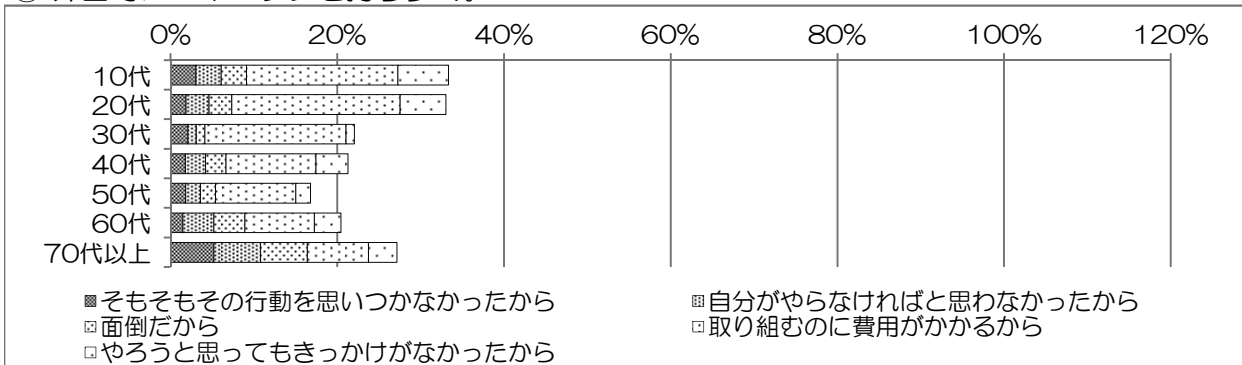
④ 食材や日用品は無駄なく使い切るようにし、ごみを減らす。



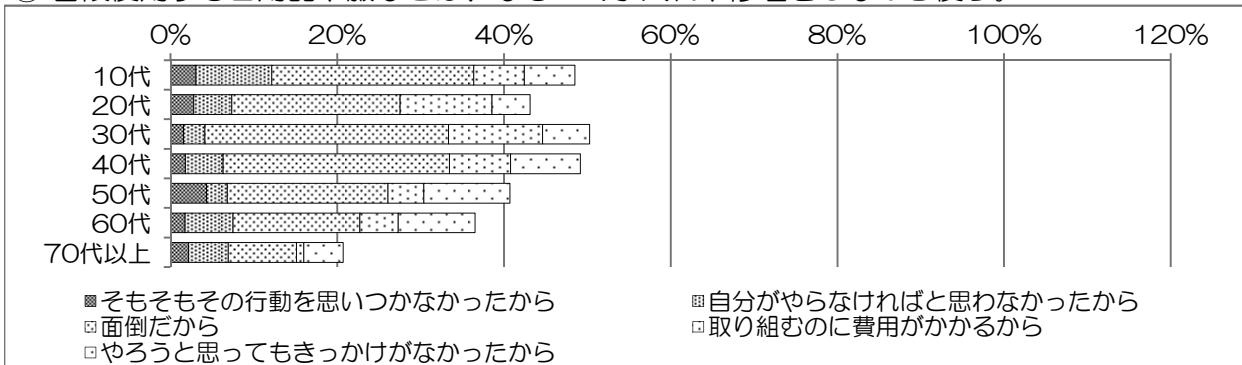
⑤ 外出時にマイ箸を持ち歩く。



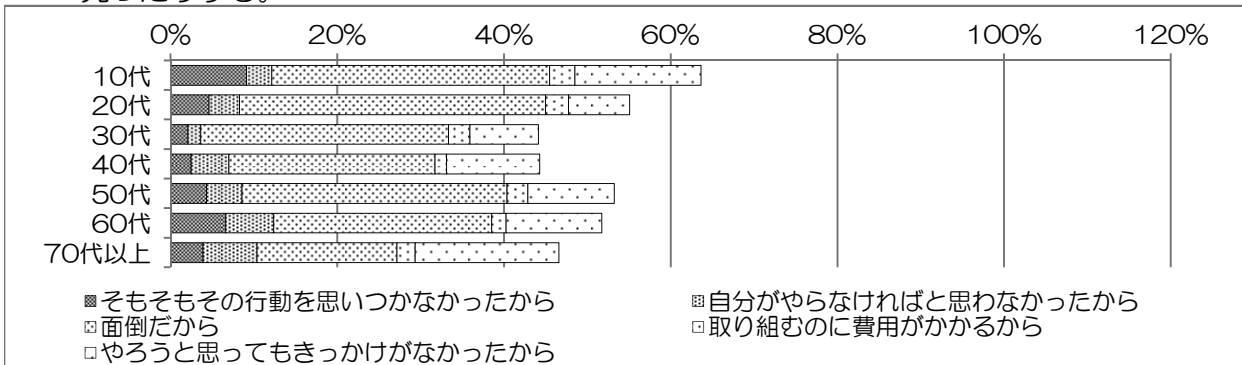
⑥ 外出時にマイバッグを持ち歩く。



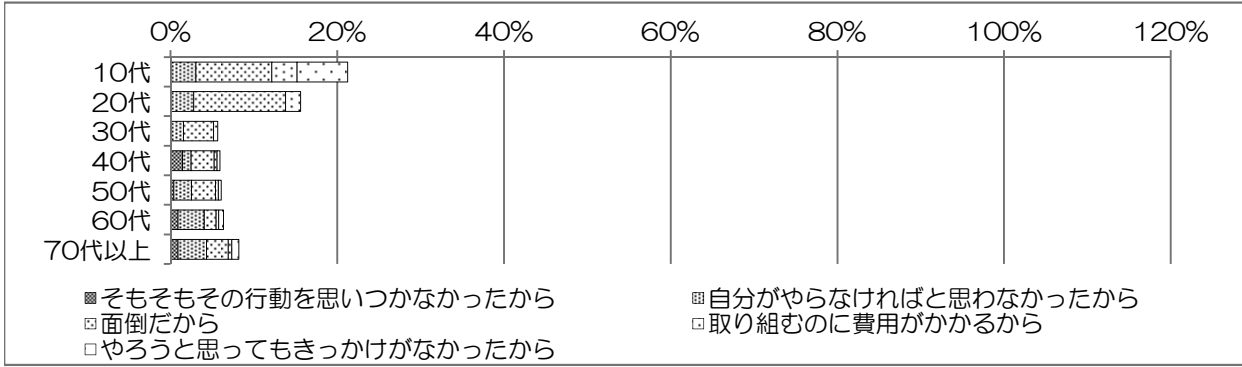
⑦ 普段使用する日用品や服などは、なるべく手入れや修理をしながら使う。



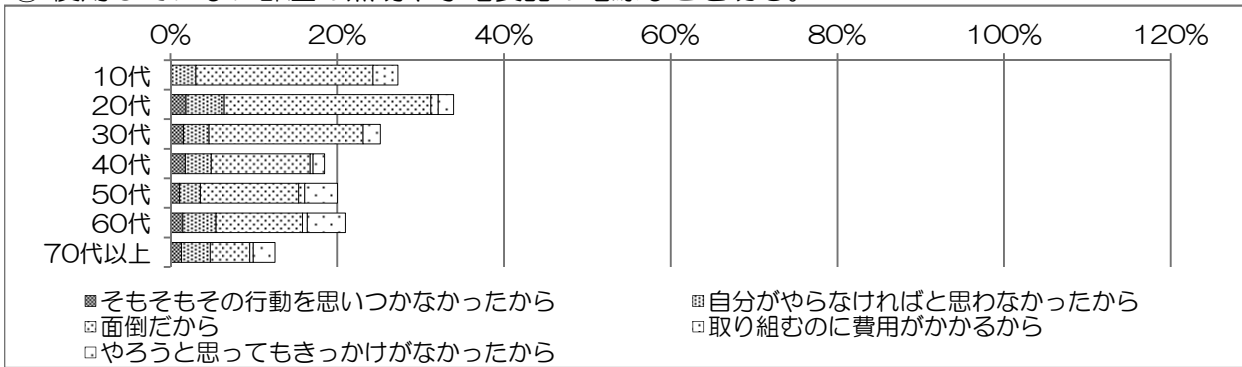
⑧ 使わなくなった日用品や服などで再利用できるものは、再利用したり、リサイクルショップへ売ったりする。



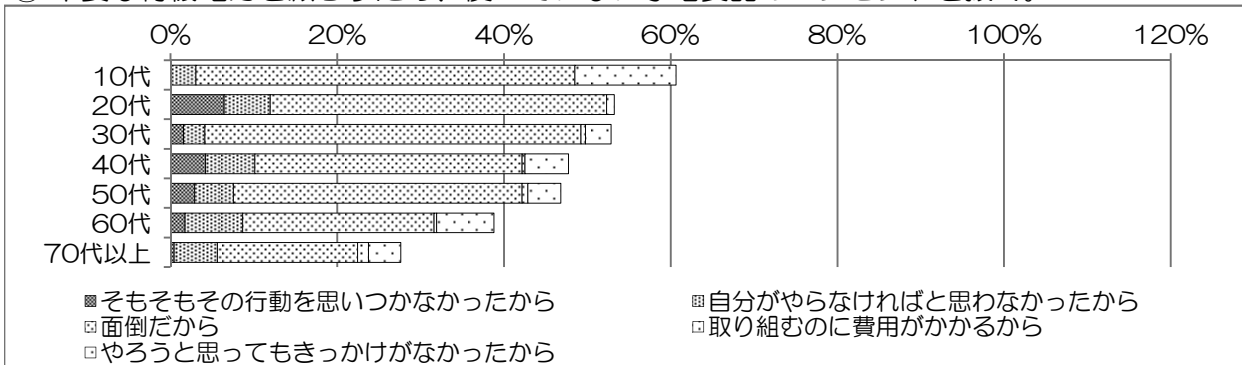
⑨ ごみの分別区分やごみを出す曜日を守る。



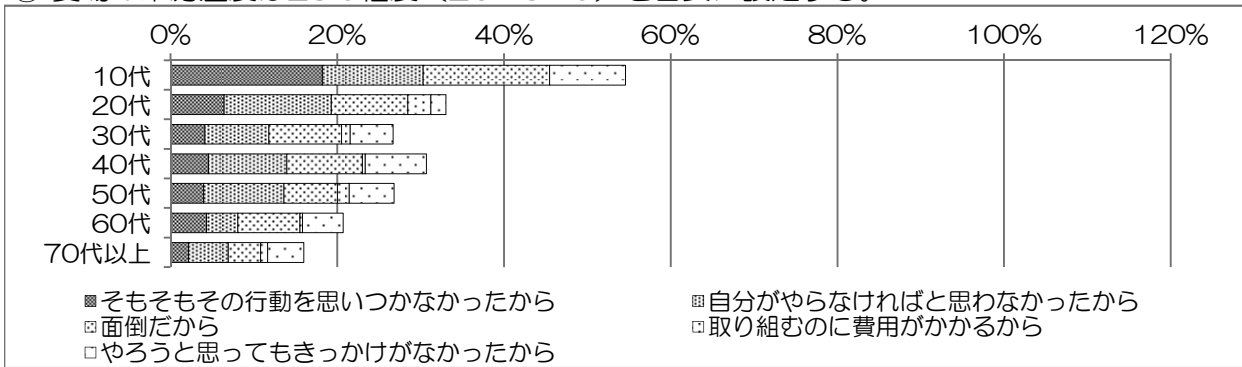
⑩ 使用していない部屋の照明や家電製品の電源などを切る。



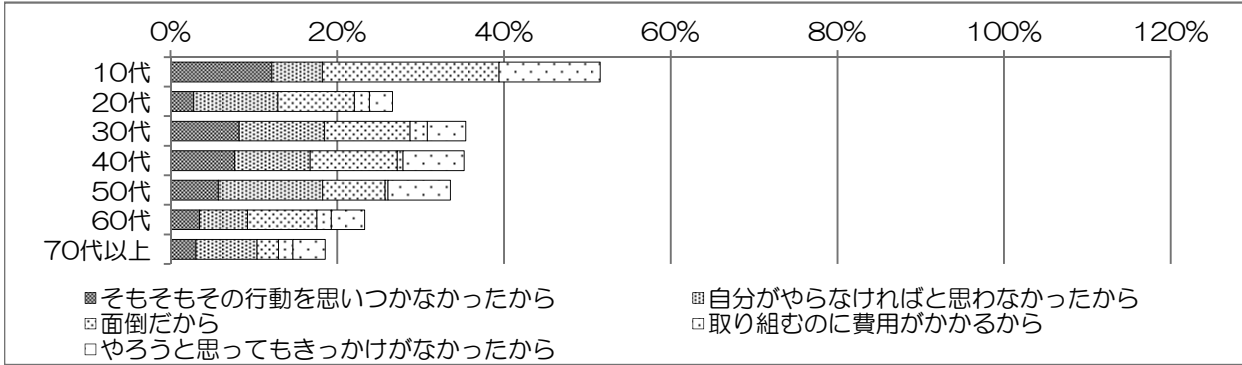
⑪ 不要な待機電力を減らすため、使っていない家電製品のコンセントを抜く。



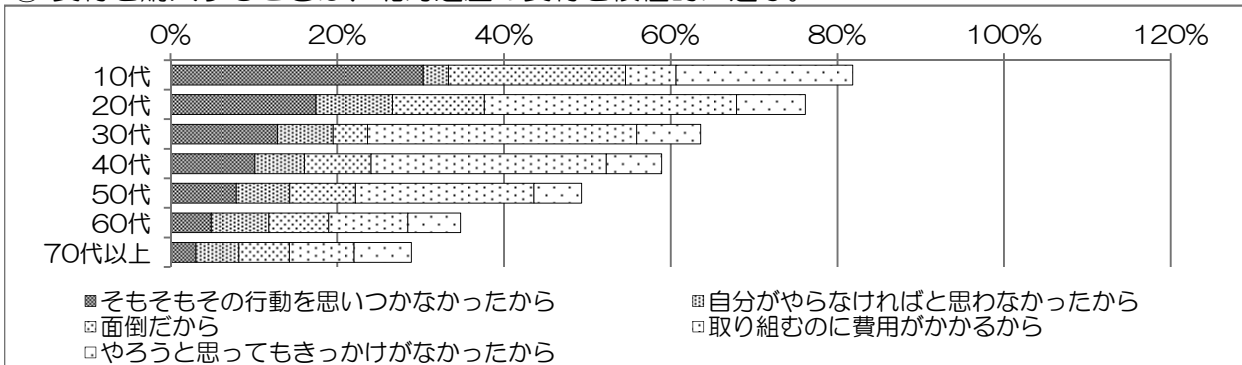
⑫ 夏場の冷房温度は28℃程度（26～30℃）を目安に設定する。



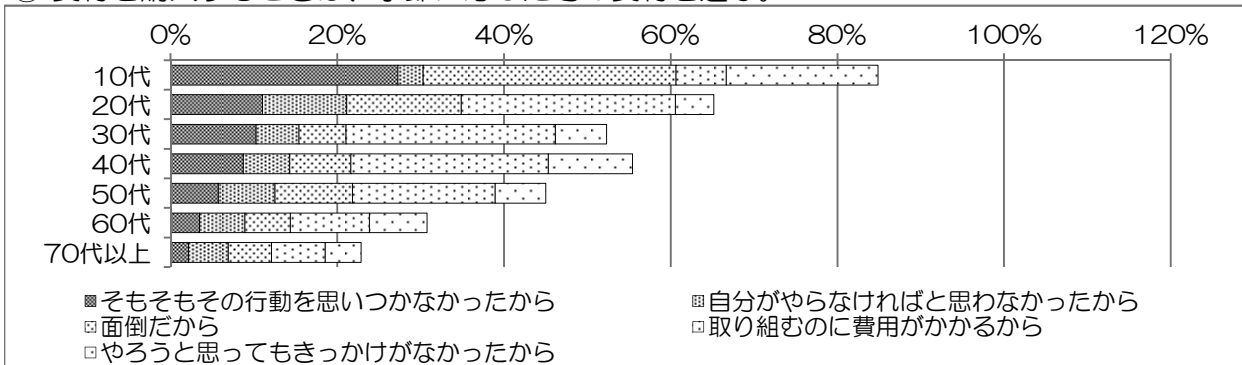
⑬ 冬場の暖房温度は20℃程度（18～22℃）を目安に設定する。



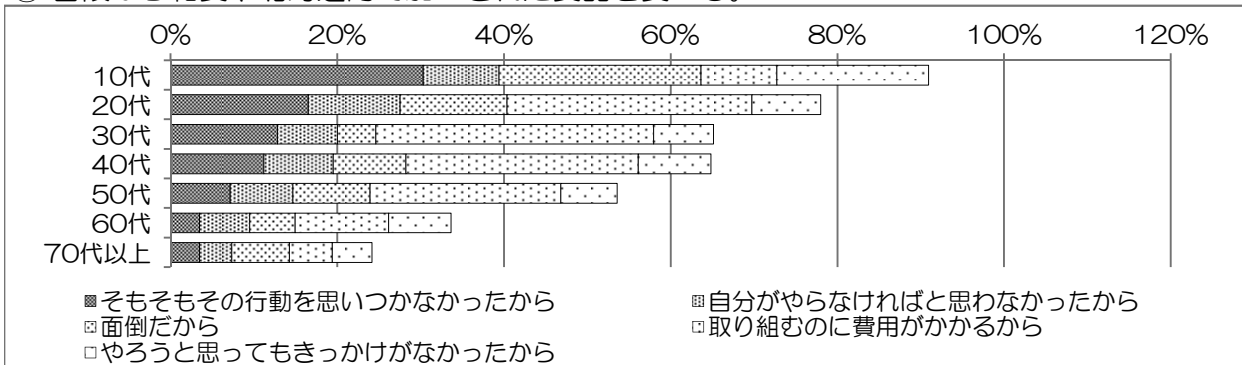
⑭ 食材を購入するときは、北海道産の食材を積極的に選ぶ。



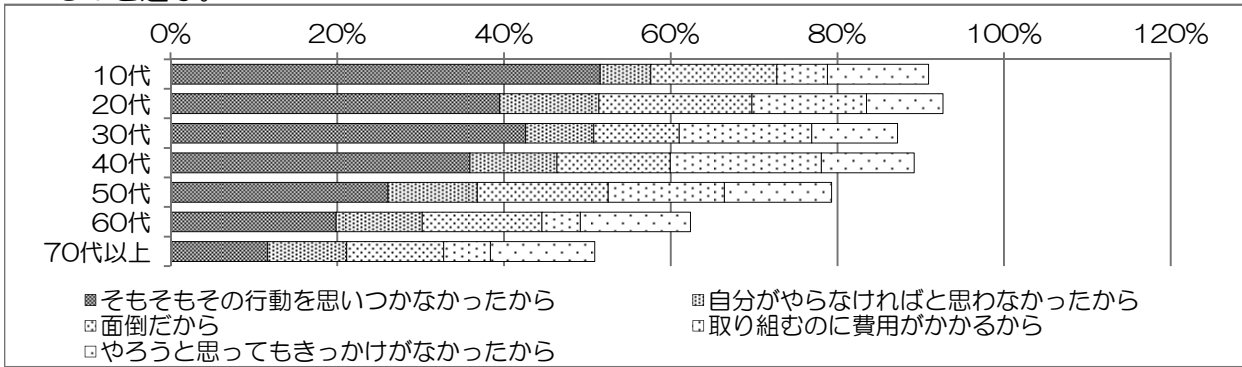
⑮ 食材を購入するときは、季節に応じた旬の食材を選ぶ。



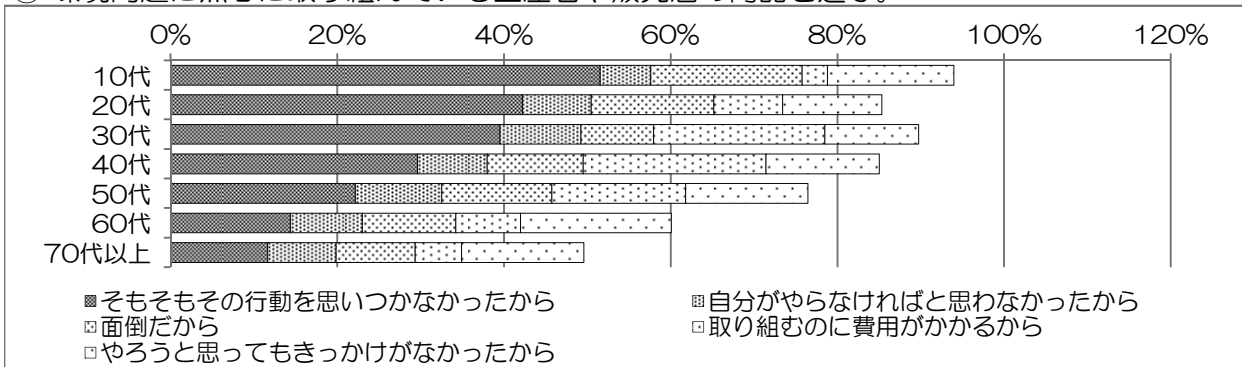
⑯ 普段から和食や北海道内で加工された食品を食べる。



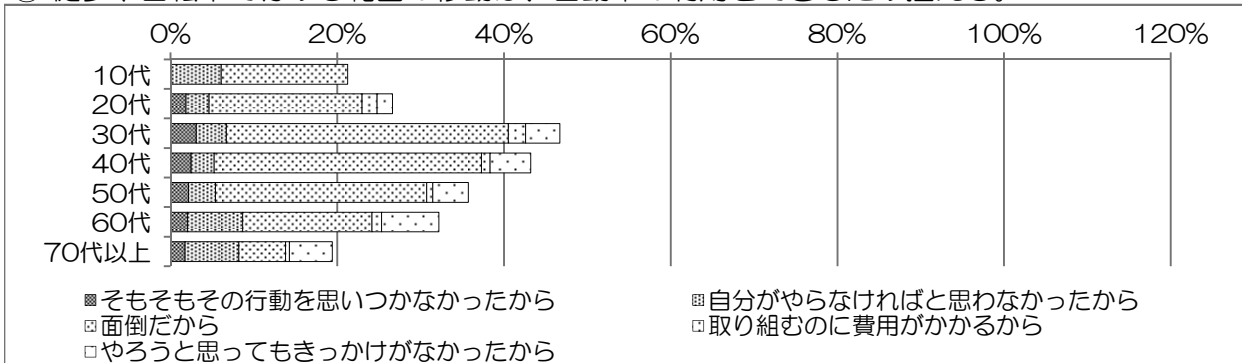
⑰ 文房具や洗剤などの日用品を購入する際は、エコマークなどの環境ラベルがついているものを選ぶ。



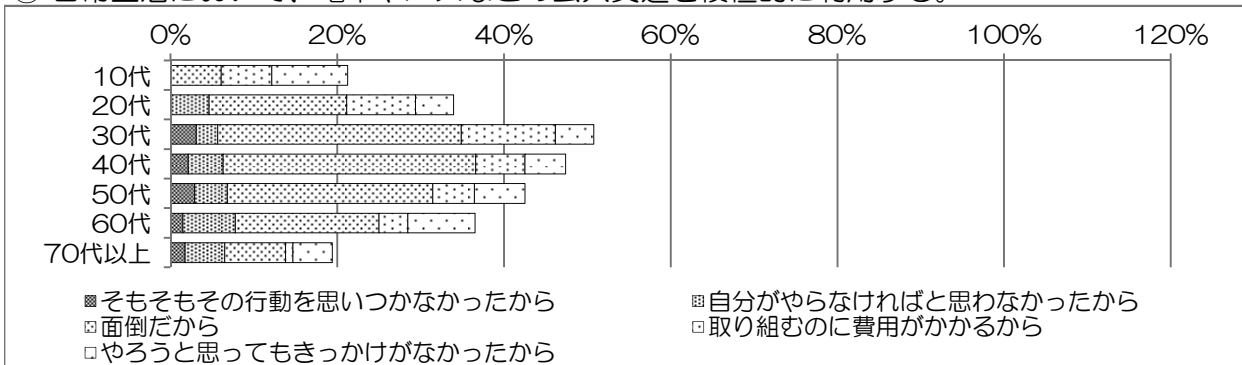
⑱ 環境問題に熱心に取り組んでいる生産者や販売店の商品を選ぶ。



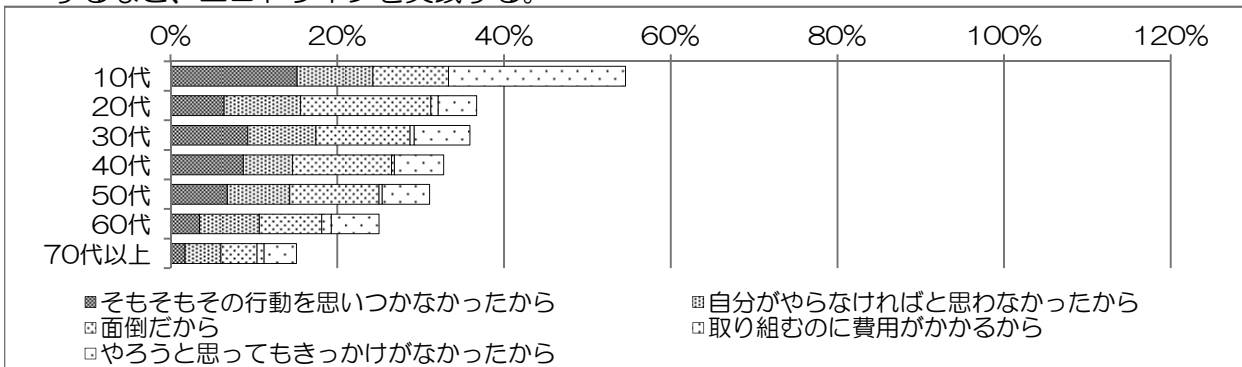
⑲ 徒歩や自転車で行ける範囲の移動は、自動車の利用をできるだけ控える。



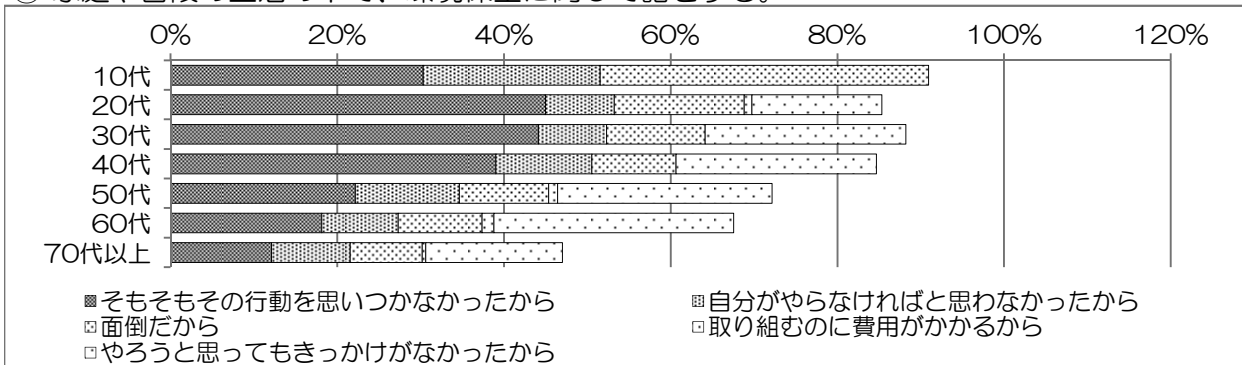
⑳ 日常生活において、電車やバスなどの公共交通を積極的に利用する。



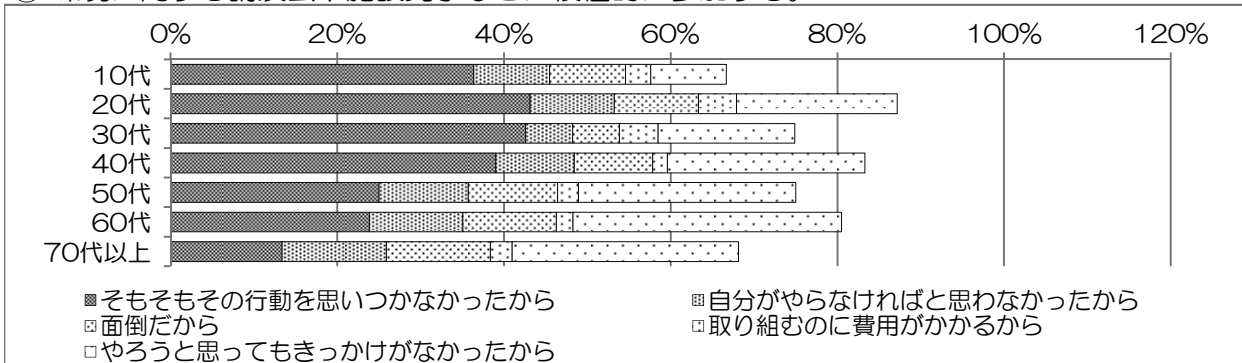
②① 自動車を運転する際は、アクセルをゆっくり踏んだり、アイドリングストップを行ったりするなど、エコドライブを実践する。



②② 家庭や普段の生活の中で、環境保全に関して話をする。

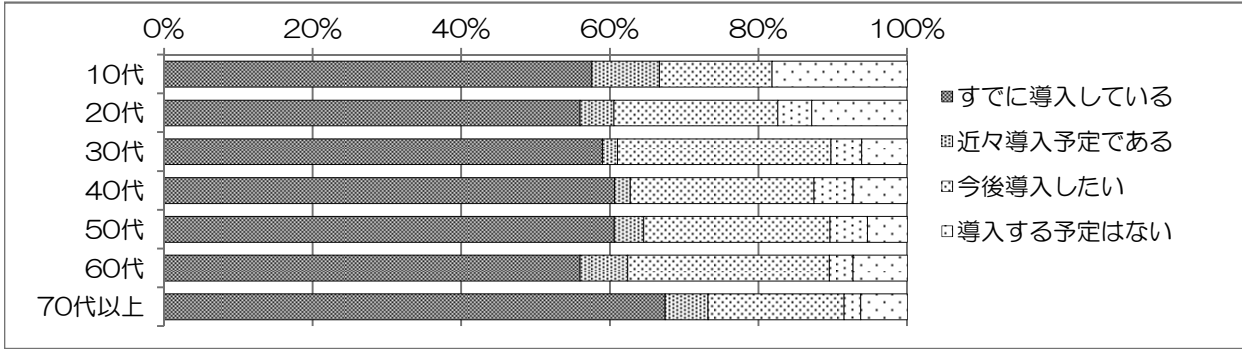


②③ 環境に関する講演会や施設見学などに積極的に参加する。

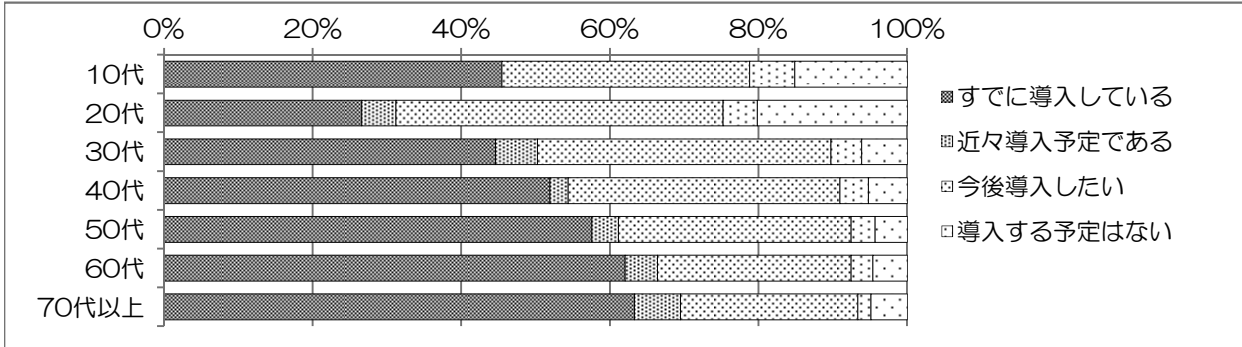


問5 製品等の導入についての状況

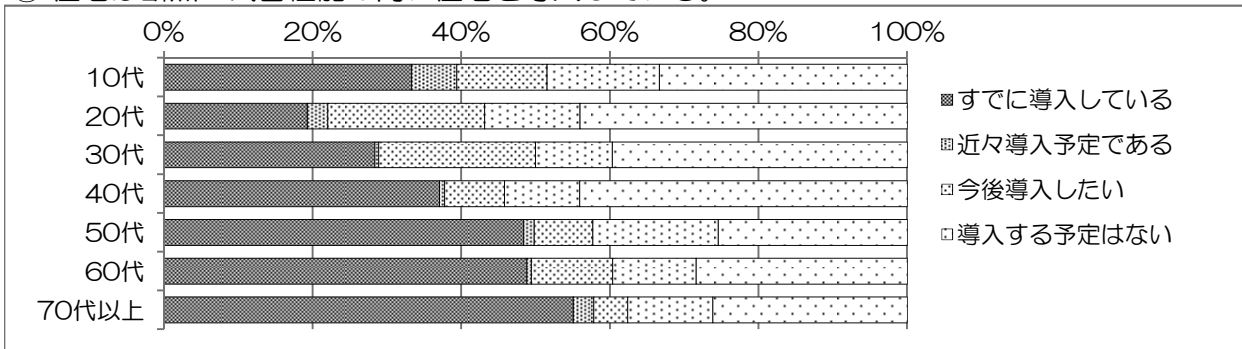
① 照明器具は、LEDや蛍光灯型など、省エネルギーの製品を導入している。



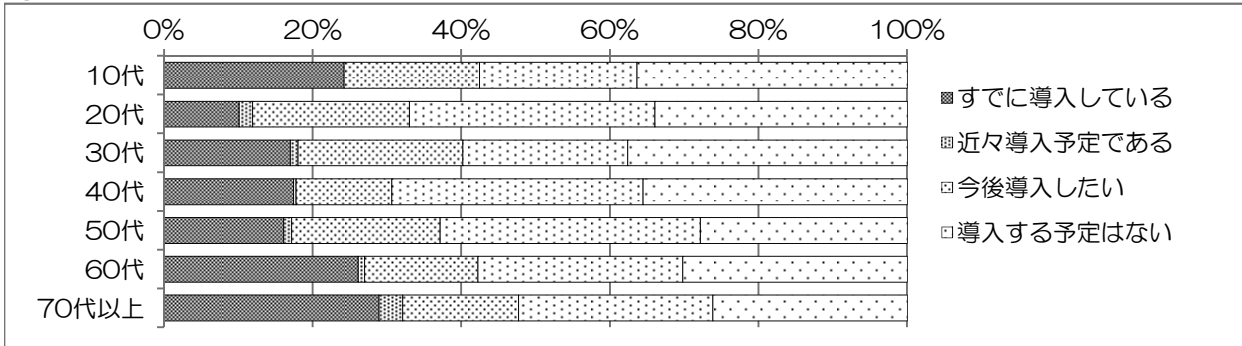
② 冷蔵庫やテレビなどの家電製品は、消費電力の少ない製品を導入している。



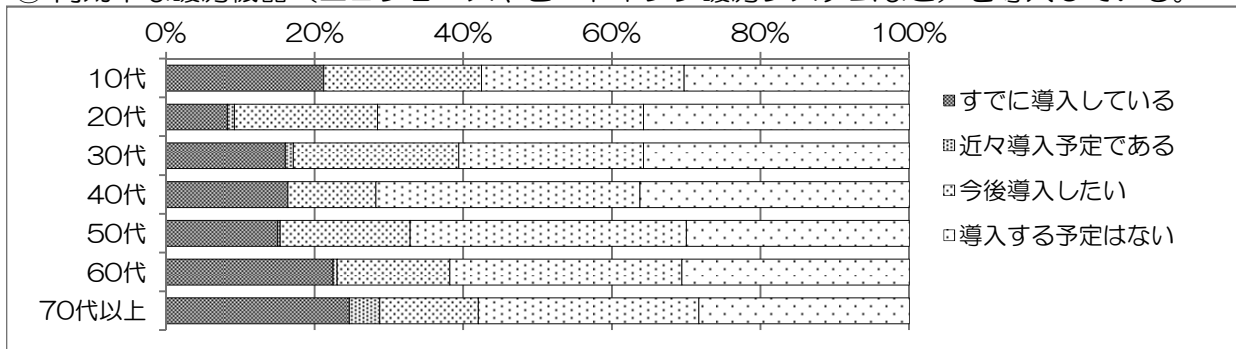
③ 住宅は断熱・気密性能の高い住宅を導入している。



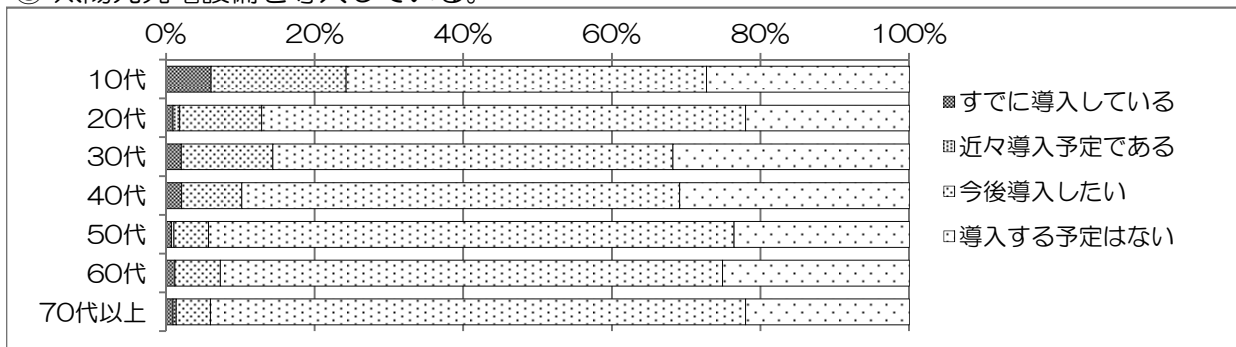
④ 高効率な給湯機器（エコジョーズやエコキュートなど）を導入している。



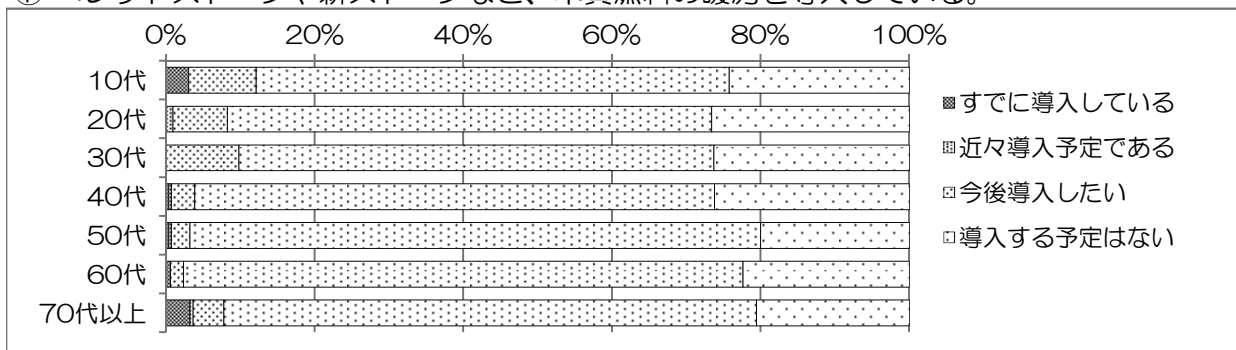
⑤ 高効率な暖房機器（エコジョーズやヒートポンプ暖房システムなど）を導入している。



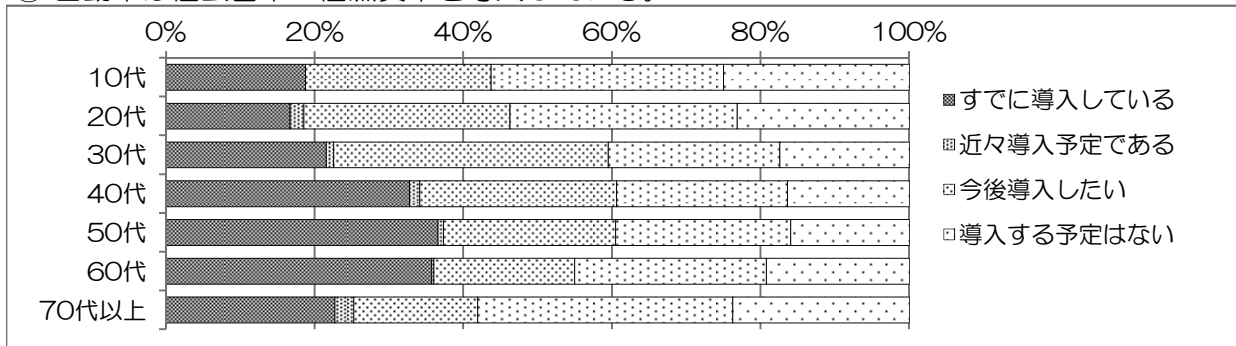
⑥ 太陽光発電設備を導入している。



⑦ ペレットストーブや薪ストーブなど、木質燃料の暖房を導入している。

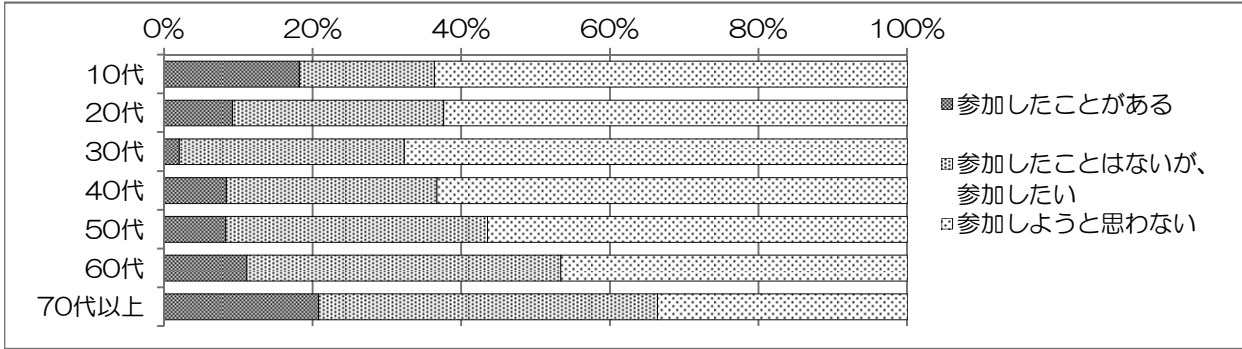


⑧ 自動車は低公害車・低燃費車を導入している。

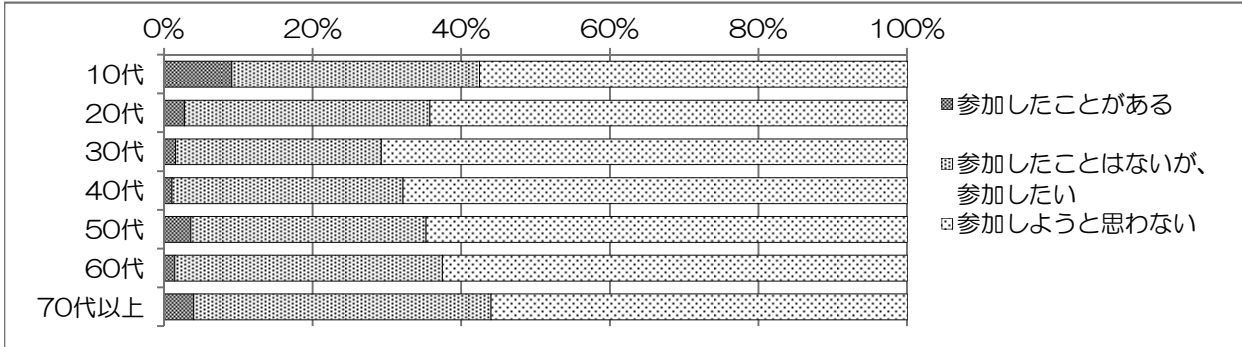


問6 イベント等への参加状況

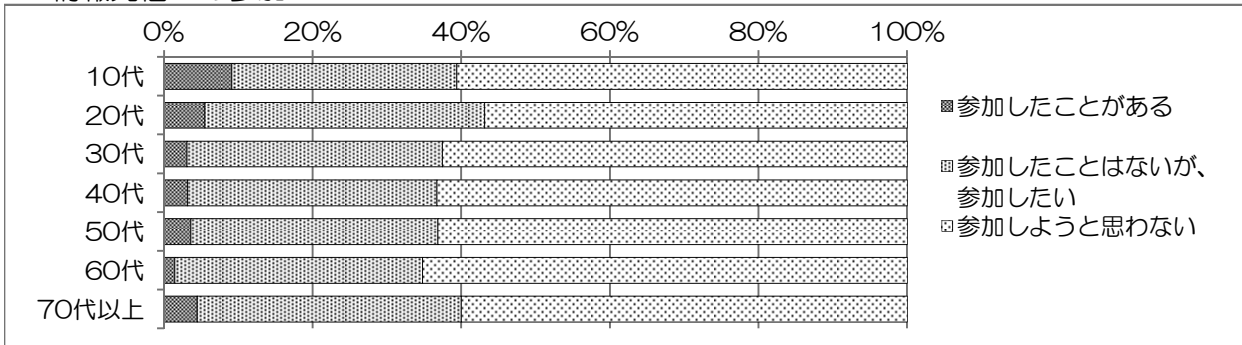
① 地域で行われている環境保全活動に関するイベントへの参加



② 環境をテーマとする国際交流や国際協力などのイベントへの参加

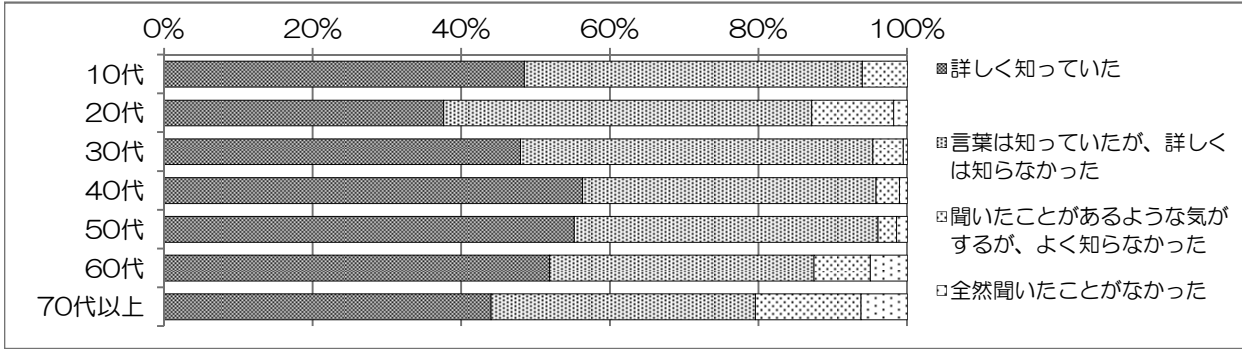


③ “さっぽろ雪まつり”などの札幌市で行われているイベントでの環境対策の情報発信への参加

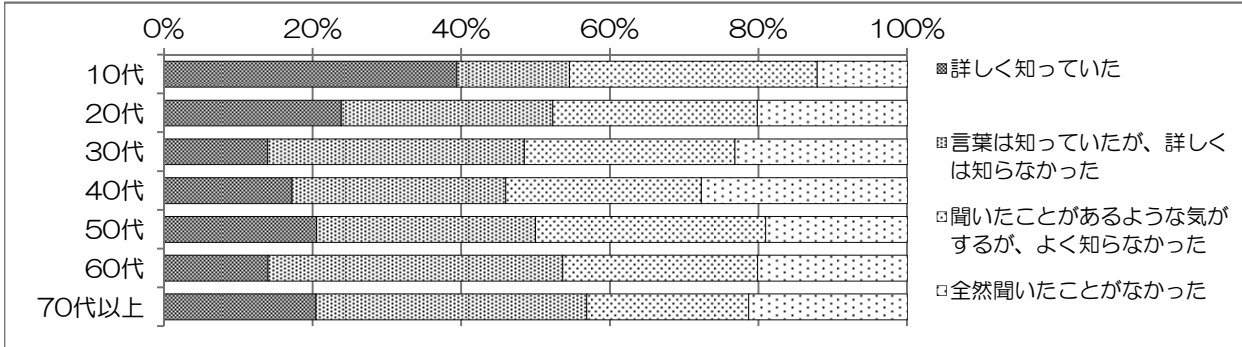


問7 新たな環境問題に対する認知度

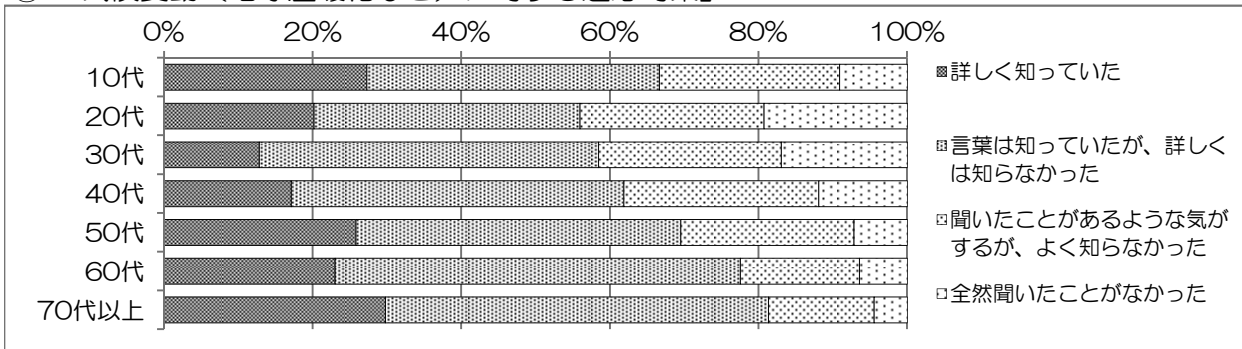
① 「PM2.5」



② 「生物多様性」

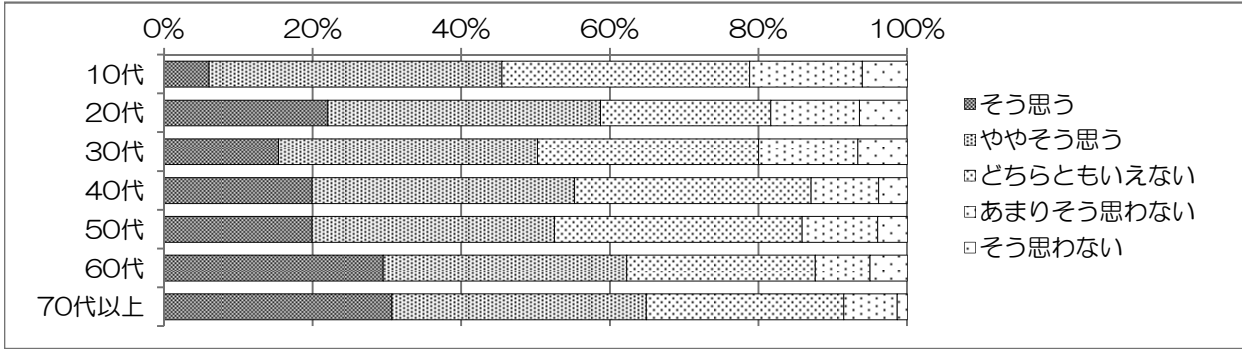


③ 「気候変動（地球温暖化など）に対する適応対策」

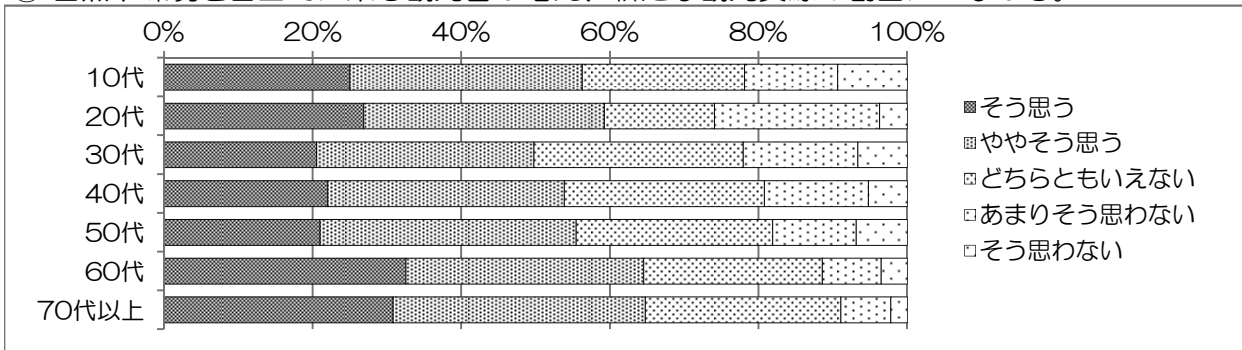


問8 札幌市と市民が一体となって環境問題の解決に取り組むことによる波及効果について

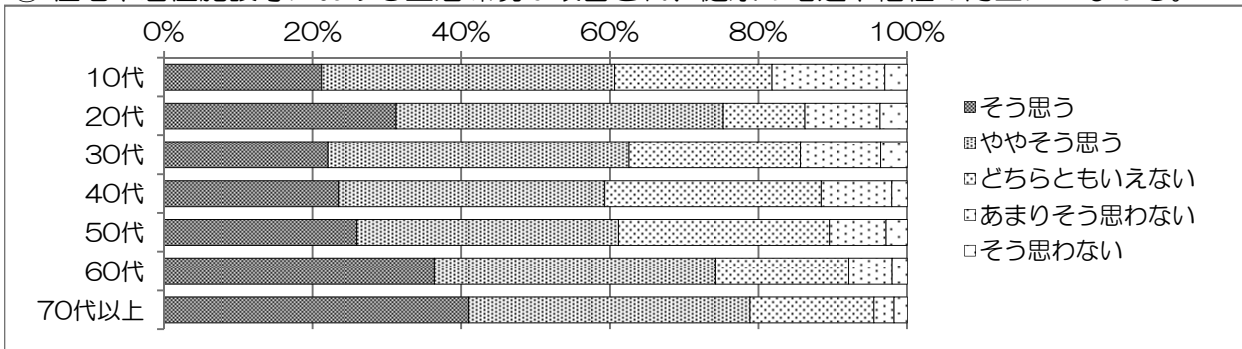
① 新たな技術の普及や雇用の創出などの経済波及効果につながる。



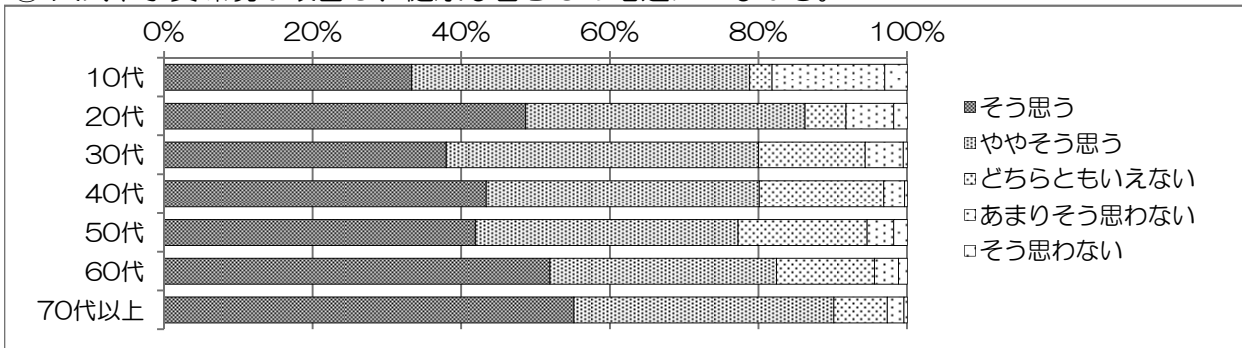
② 自然や環境を目当てに来る観光客が増え、新たな観光資源の創出につながる。



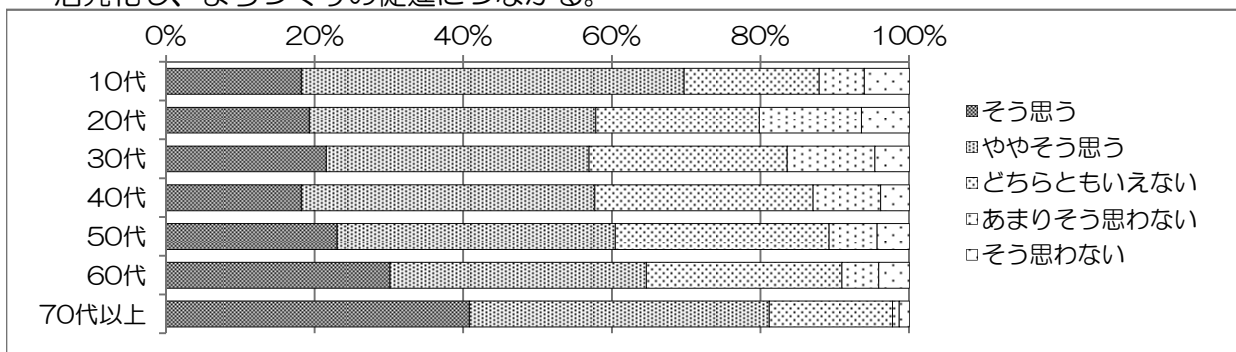
③ 住宅や居住施設等における生活環境が改善され、健康の増進や福祉の向上につながる。



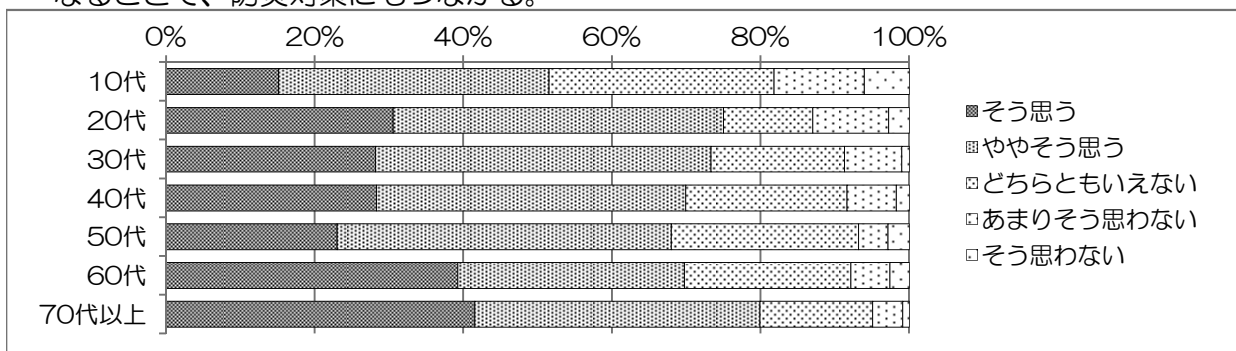
④ 大気や水質環境が改善し、健康な暮らしの増進につながる。



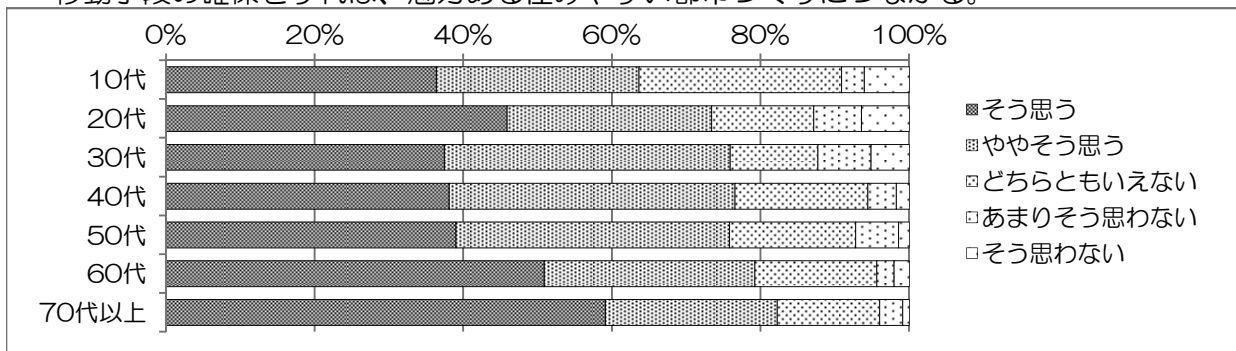
⑤ 町内会や市民団体と地域住民との関わりが増えることで、地域コミュニティの活動が活発化し、まちづくりの促進につながる。



⑥ 太陽光発電やコージェネレーション設備などの導入が進み、災害時の電源確保になることで、防災対策にもつながる。



⑦ 自動車利用を減らすために公共交通網が整備され、高齢者や子どもなど誰もが使いやすい移動手段の確保をすれば、魅力ある住みやすい都市づくりにつながる。



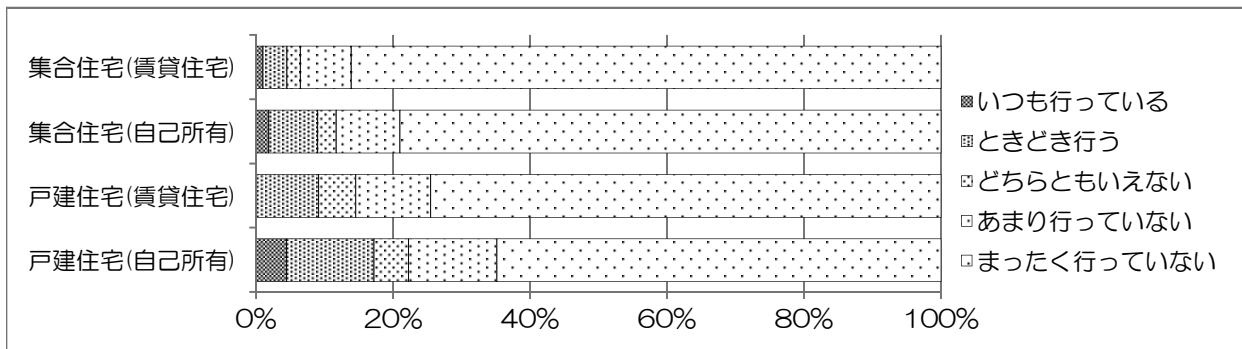
環境基本計画に関するアンケート結果【市民向け、クロス集計（住居形態）】

◎住居形態別の割合

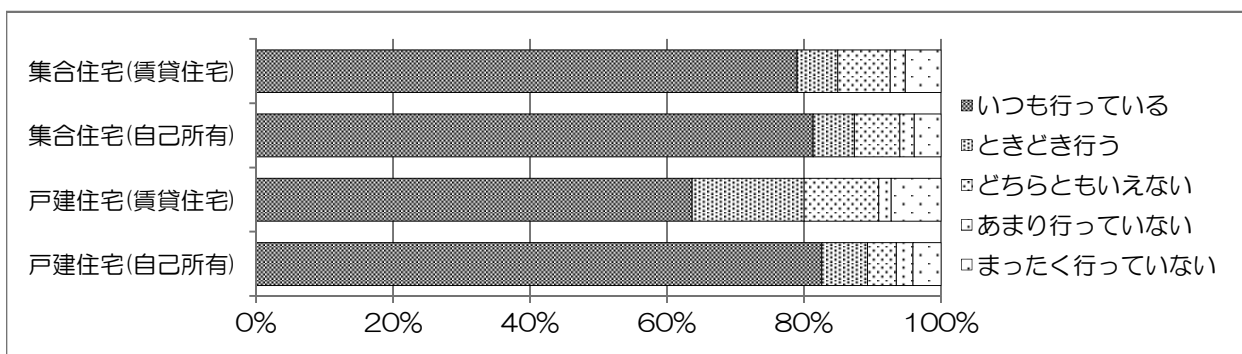


問2 普段から取り組んでいる環境保全行動について

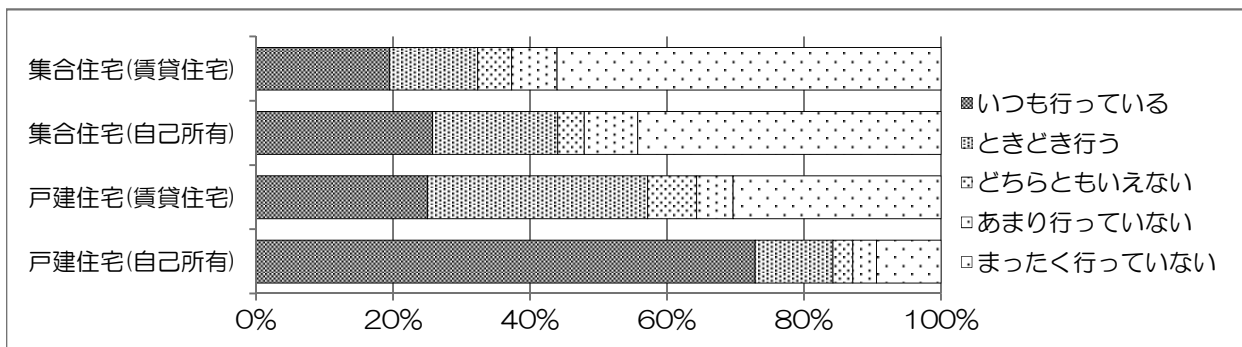
① 植樹活動や水辺の清掃など、自然環境を保全する活動に参加している。



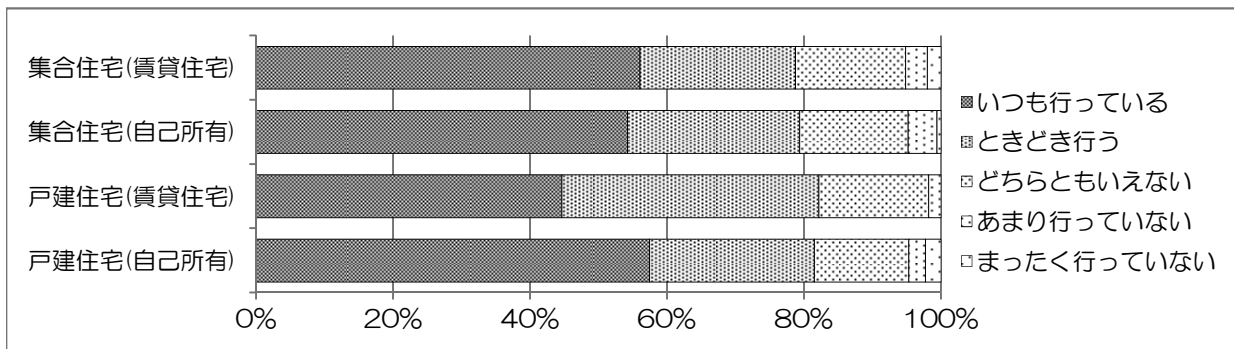
② 使用済み油や調理くずなどを下水に流さずに処理している。



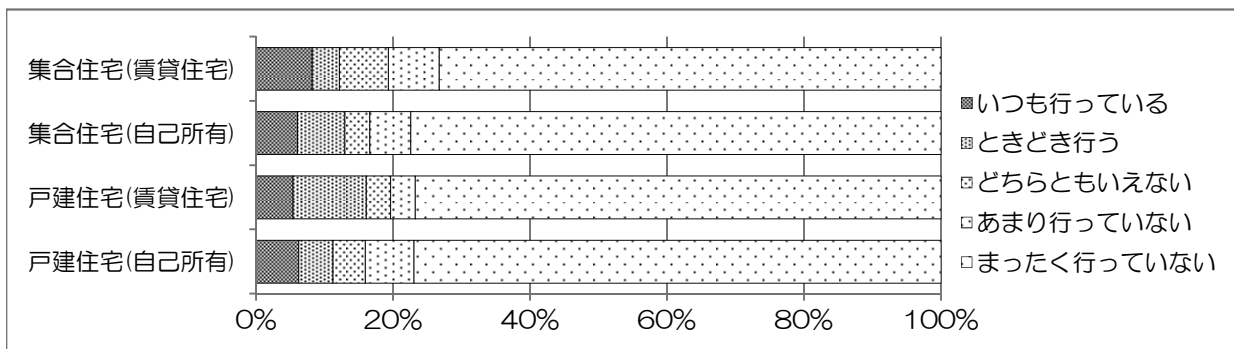
③ 家の庭やベランダなどで植物を育てている。(近隣の公園等での緑化活動を含む。)



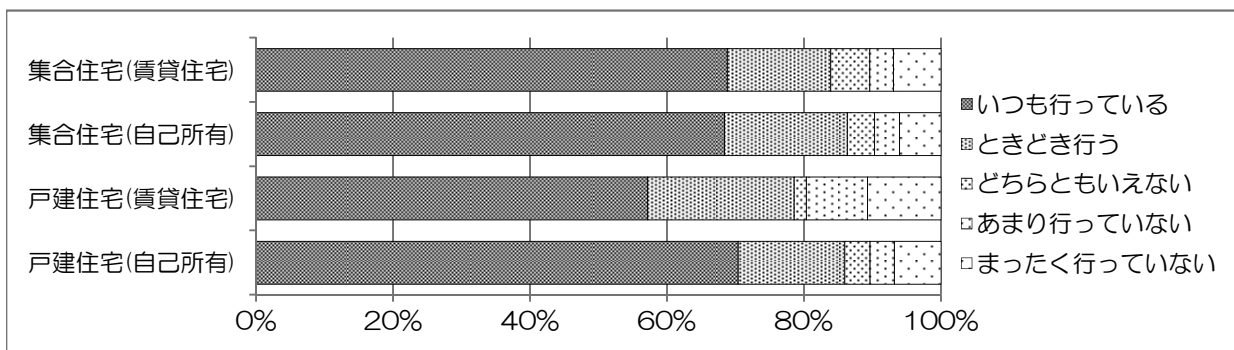
④ 食材や日用品は無駄なく使い切るようにし、ごみを減らしている。



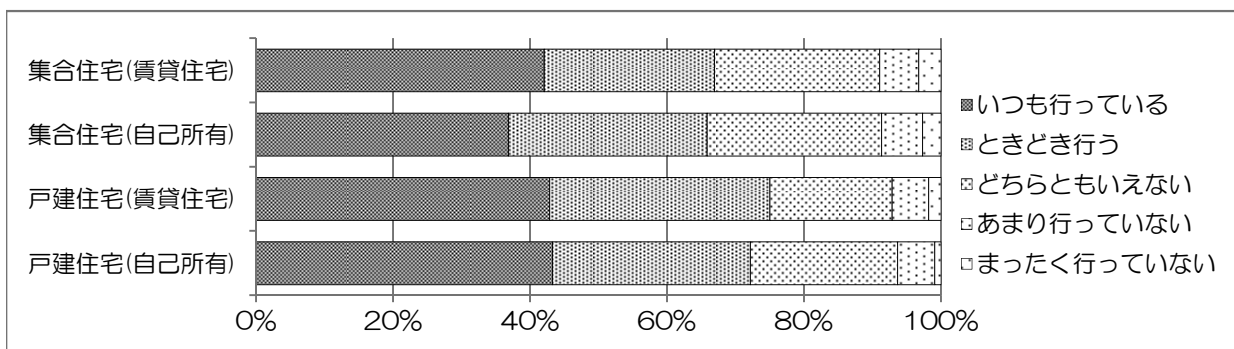
⑤ 外出時にマイ箸を持ち歩いている。



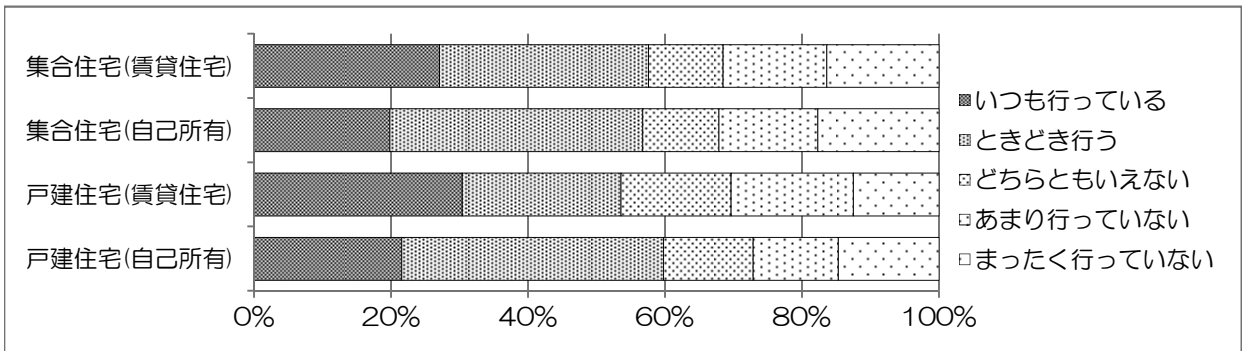
⑥ 外出時にマイバッグを持ち歩いている。



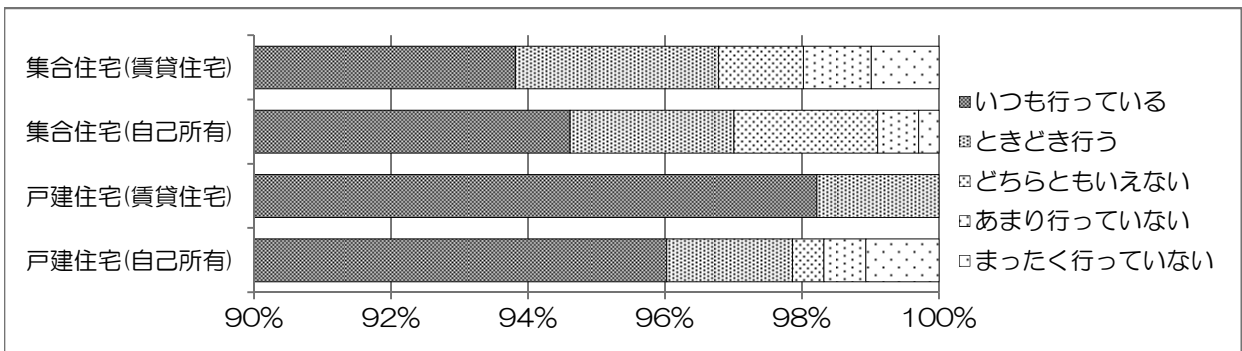
⑦ 普段使用する日用品や服などは、なるべく手入れや修理をしながら大切に使っている。



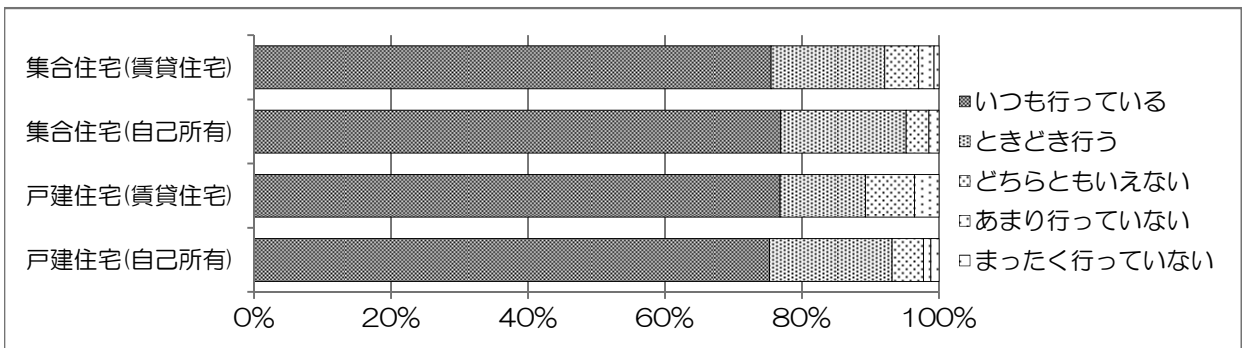
⑧ 使わなくなった日用品や服などで再利用できるものは、再利用したり、リサイクルショップへ売ったりしている。



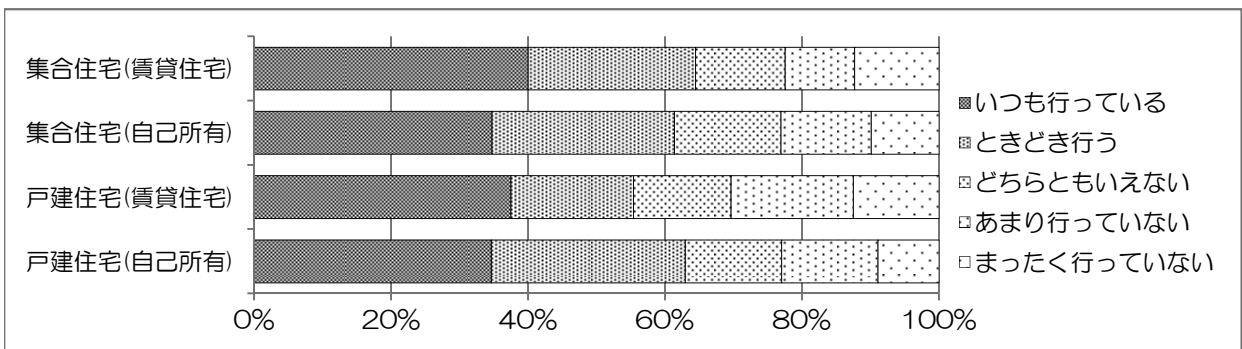
⑨ ごみの分別区分やごみを出す曜日を守っている。



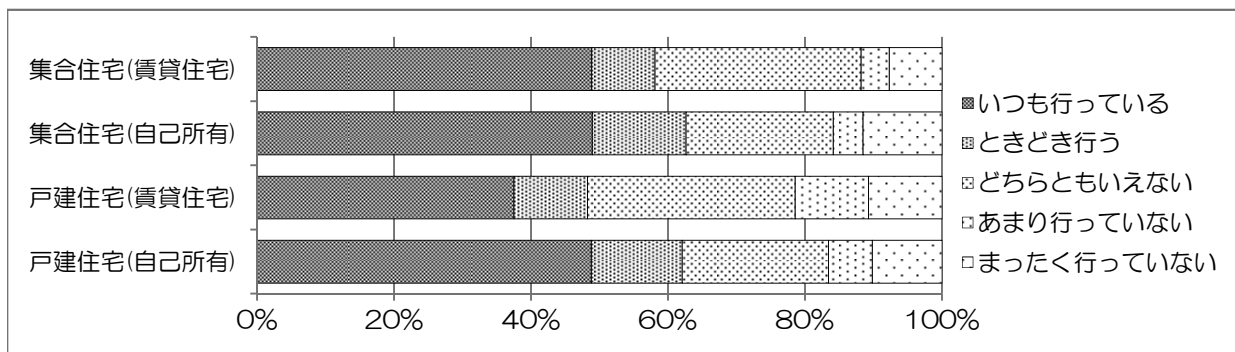
⑩ 使用していない部屋の照明や家電製品などは切るようにしている。



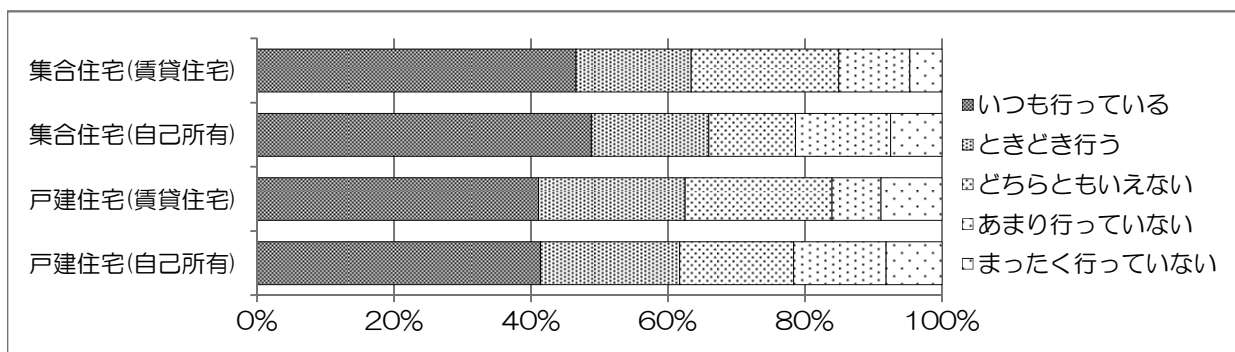
⑪ 不要な待機電力を減らすため、使っていない家電製品のコンセントを抜くようにしている。



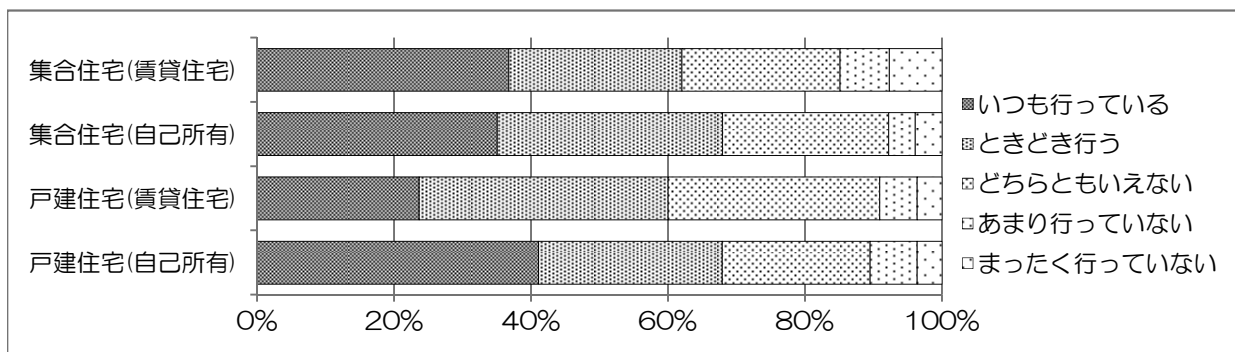
⑫ 夏場の冷房温度は28℃程度（26～30℃）を目安に設定している。



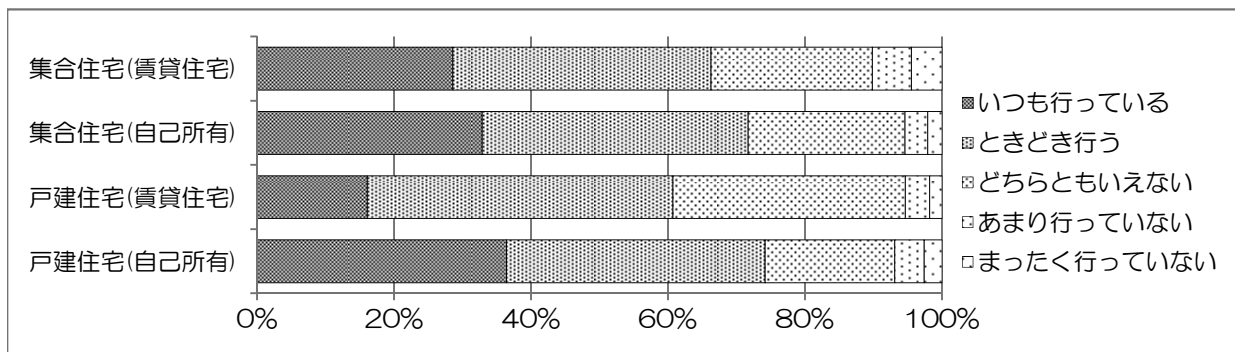
⑬ 冬場の暖房温度は20℃程度（18～22℃）を目安に設定している。



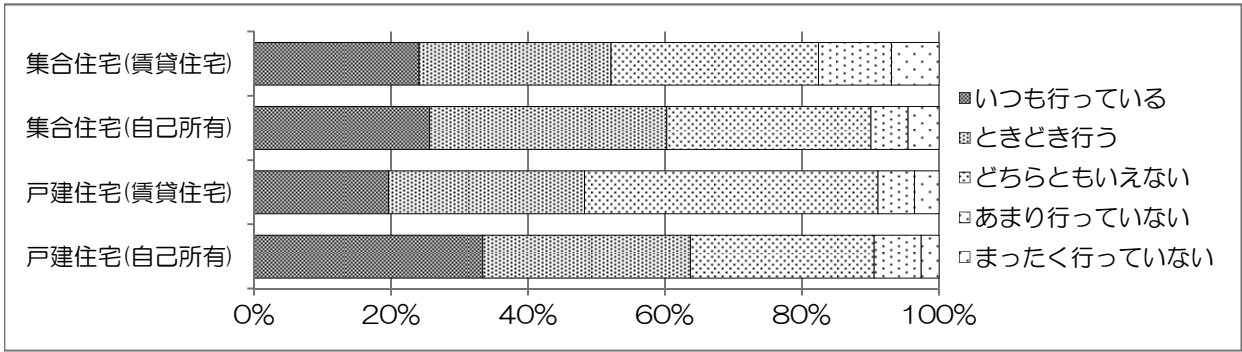
⑭ 食材を購入するときは、北海道産の食材を積極的に選ぶようにしている。



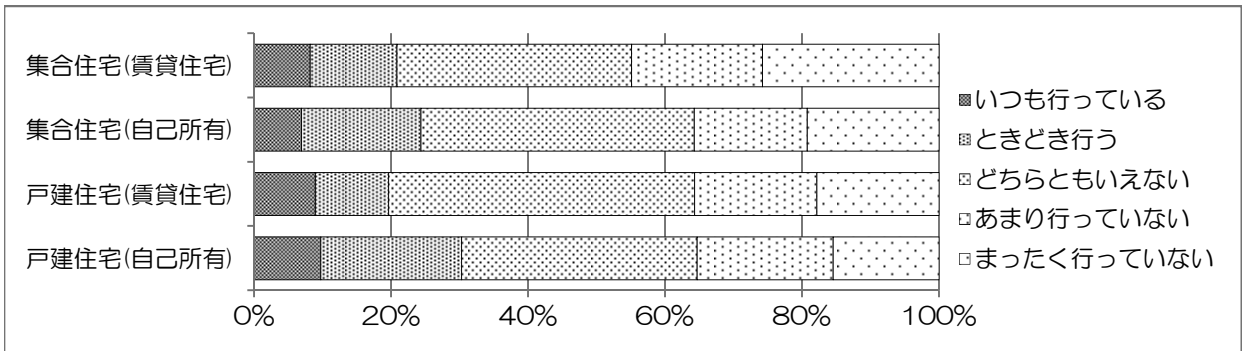
⑮ 食材を購入するときは、季節に応じた旬の食材を選ぶようにしている。



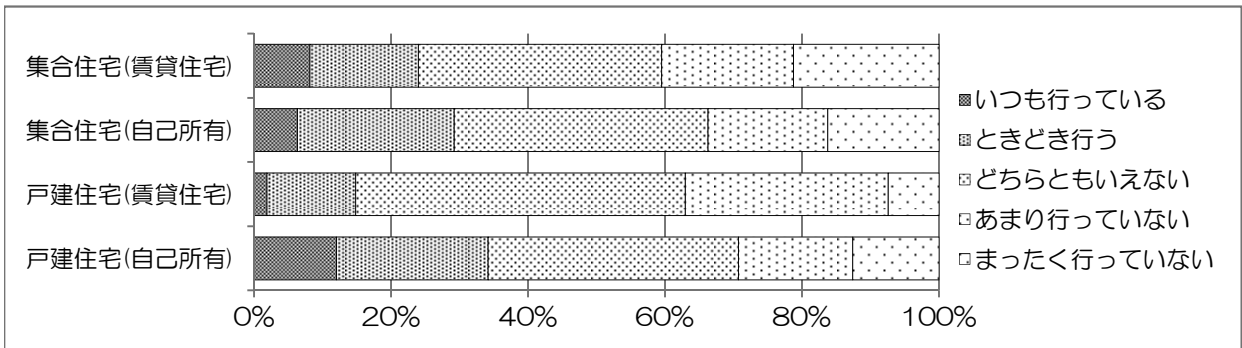
⑩ 普段から和食や北海道内で加工された食品を食べるようにしている。



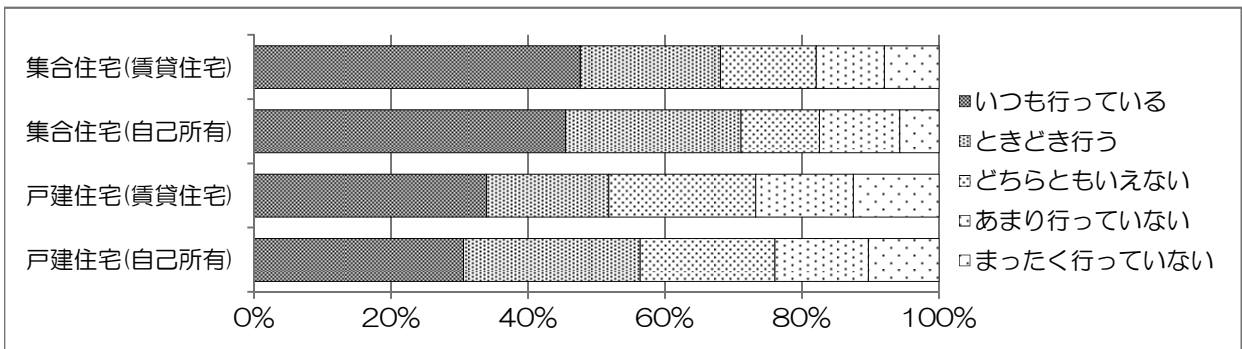
⑪ 文房具や洗剤などの日用品を購入する際は、エコマークなどの環境ラベルがついているものを選ぶようにしている。



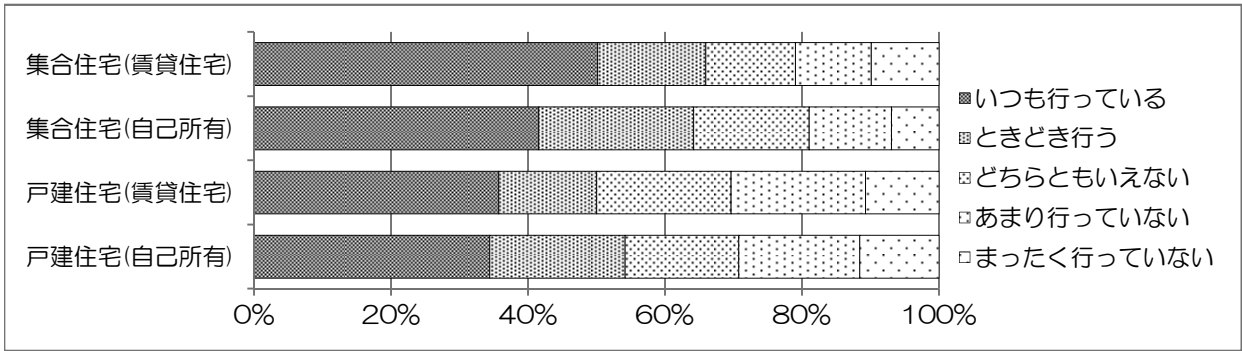
⑫ 環境問題に熱心に取り組んでいる生産者や販売店の商品を選ぶようにしている。



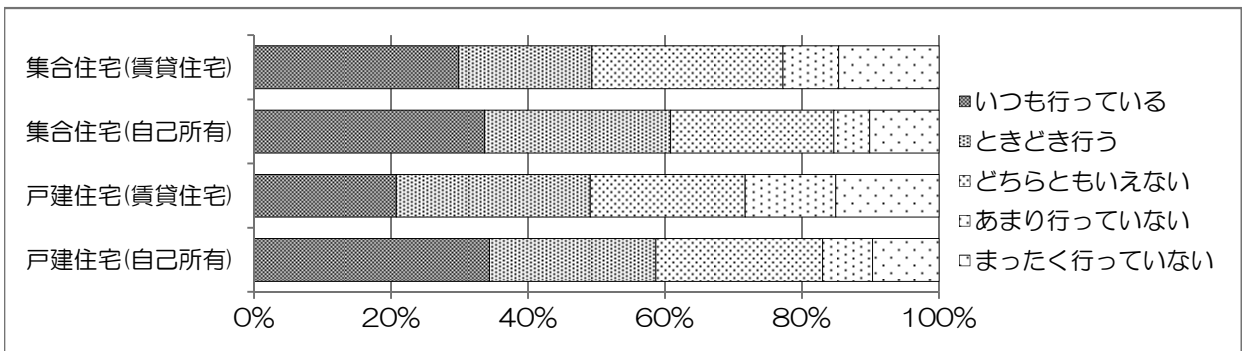
⑬ 徒歩や自転車で行ける範囲の移動は、自動車の利用をできるだけ控えている。



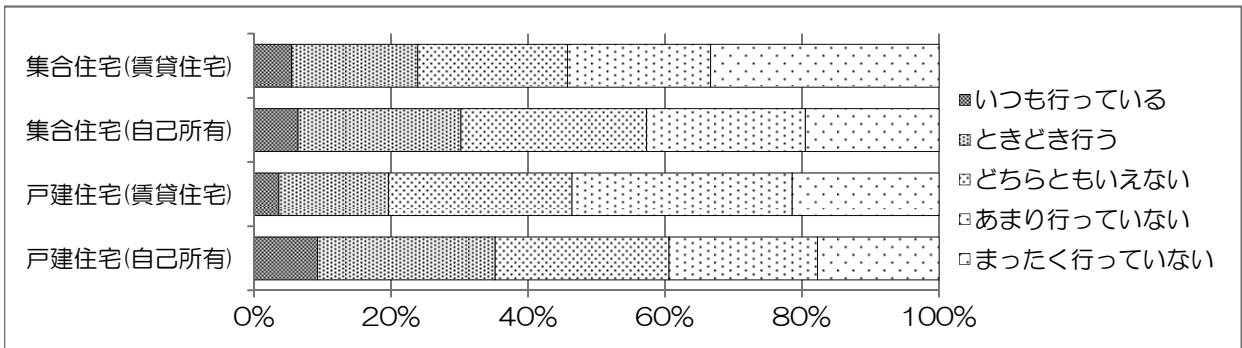
⑳ 日常生活において、電車やバスなどの公共交通を積極的に利用している。



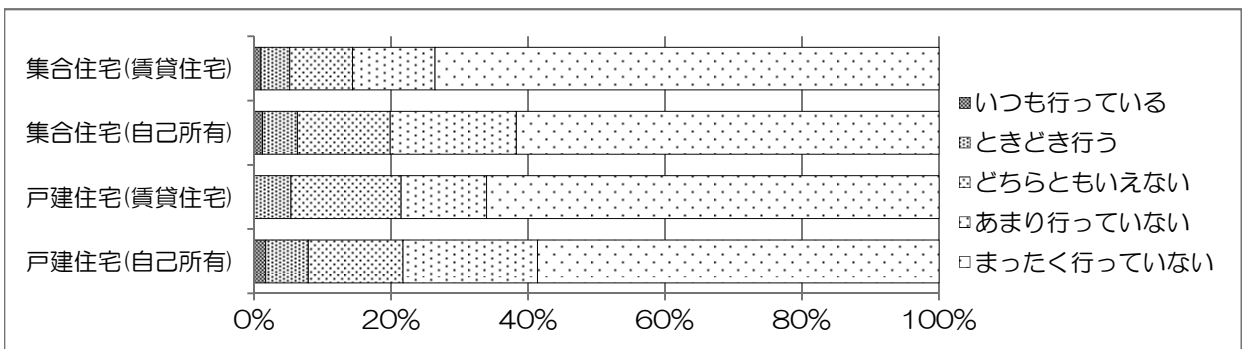
㉑ 自動車を運転する際は、アクセルをゆっくり踏んだり、アイドリングストップを行ったりするなど、エコドライブを実践している。



㉒ 家庭や普段の生活の中で、環境保全に関して話をしている。

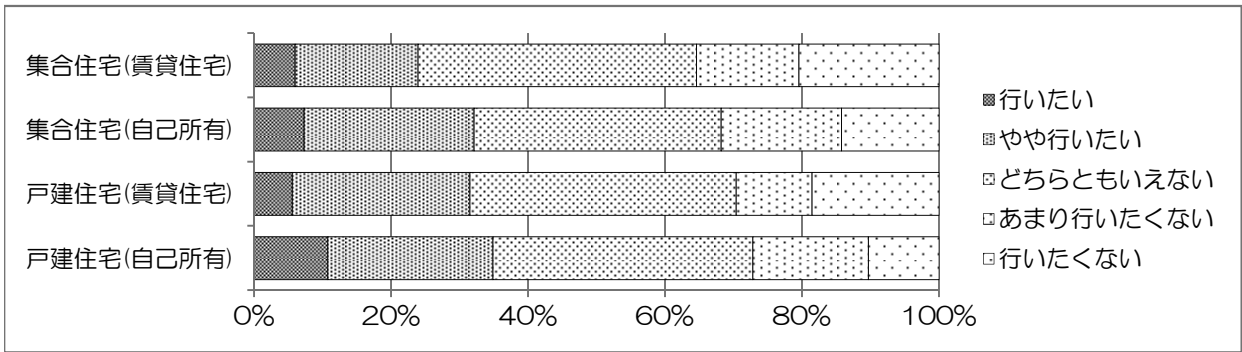


㉓ 環境に関する講演会や施設見学などに積極的に参加している。

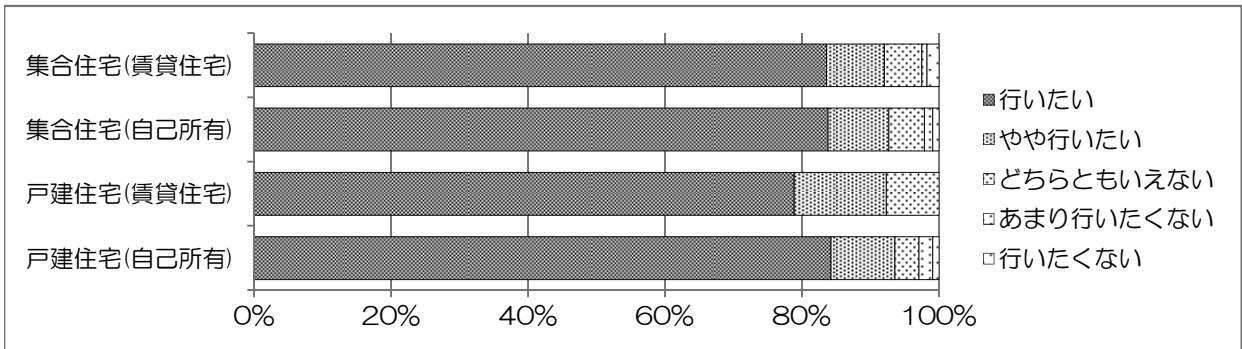


問3 行いたいと考えている環境保全行動について

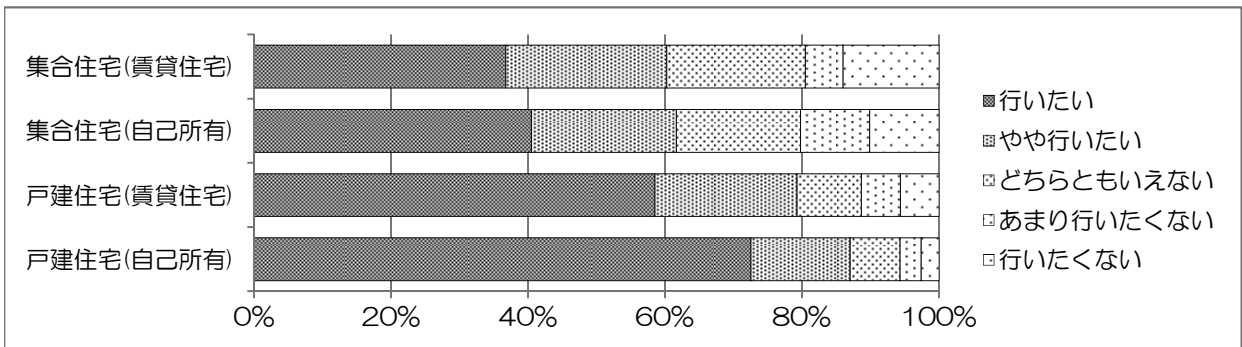
① 植樹活動や水辺の清掃活動など、自然環境を保全する活動に参加する。



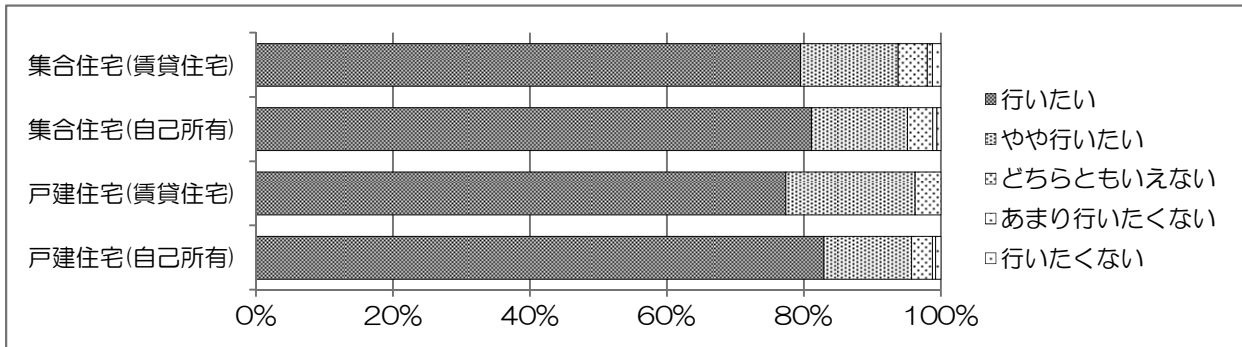
② 使用済み油や調理くずなどを下水に流さずに処理する。



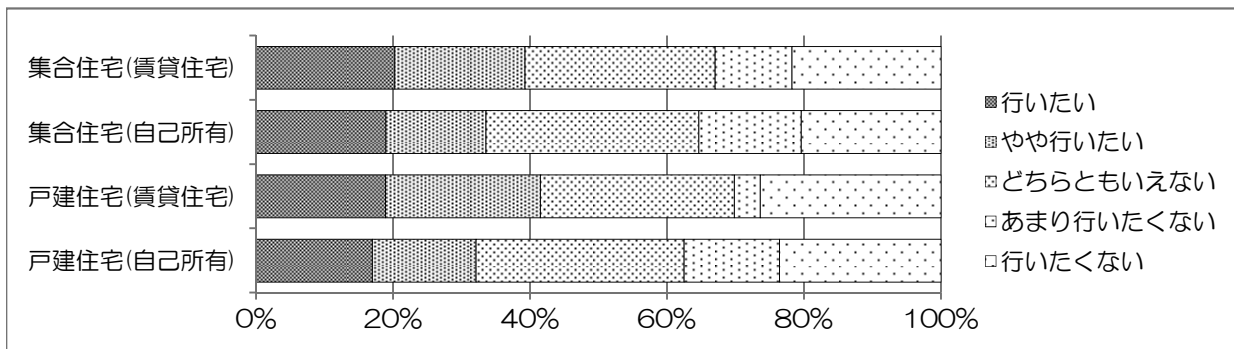
③ 家の庭やベランダなどで植物を育てる。(近隣の公園等での緑化活動を含む。)



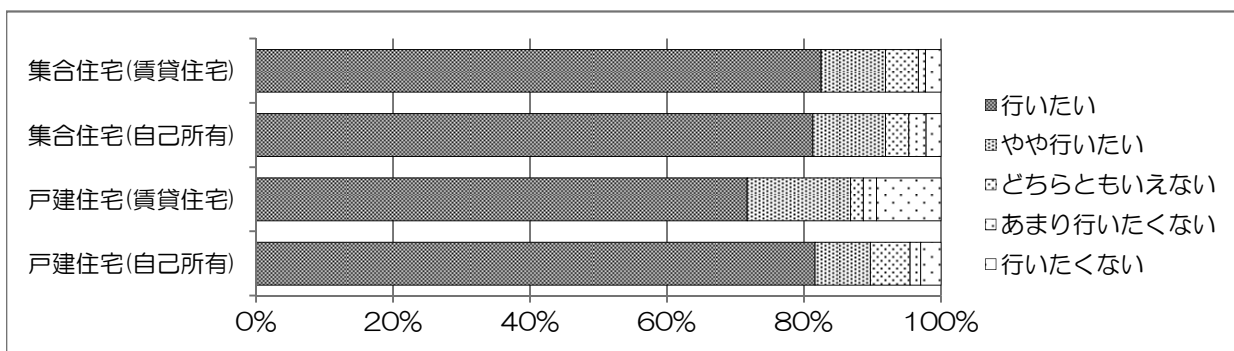
④ 食材や日用品は無駄なく使い切るようにし、ごみを減らす。



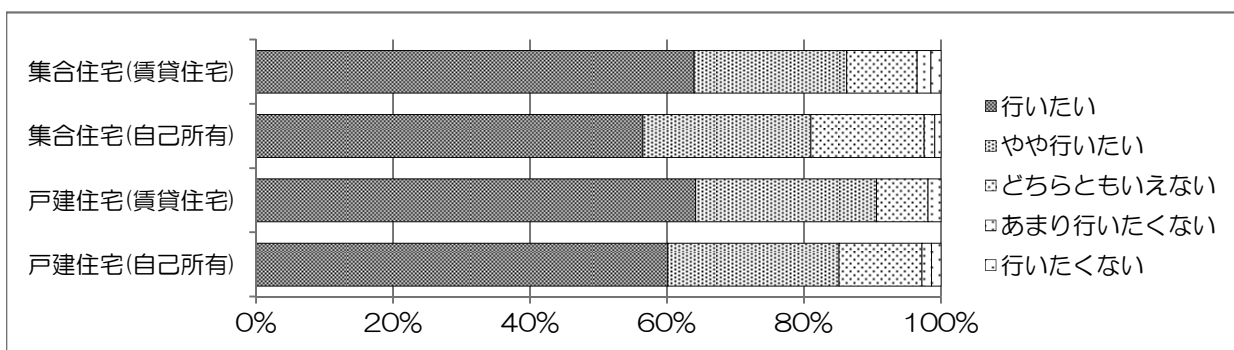
⑤ 外出時にマイ箸を持ち歩く。



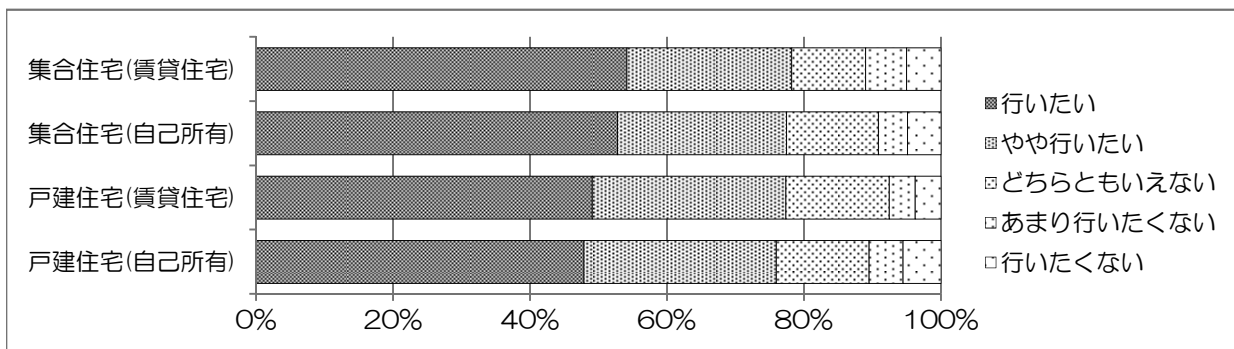
⑥ 外出時にマイバッグを持ち歩く。



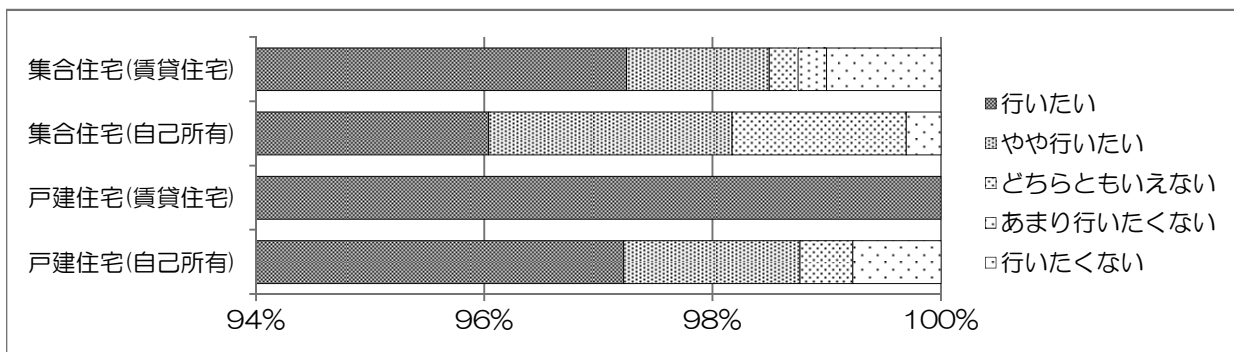
⑦ 普段使用する日用品や服などは、なるべく手入れや修理をしながら使う。



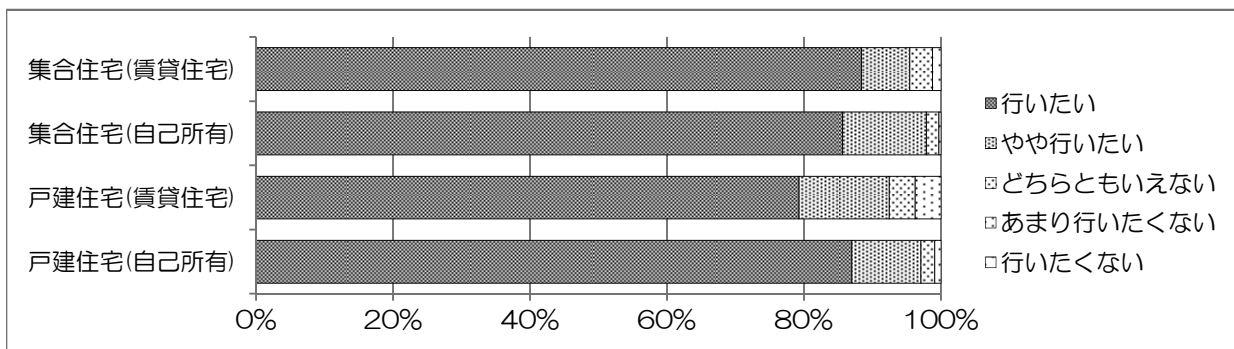
⑧ 使わなくなった日用品や服などで再利用できるものは、再利用したり、リサイクルショップへ売ったりする。



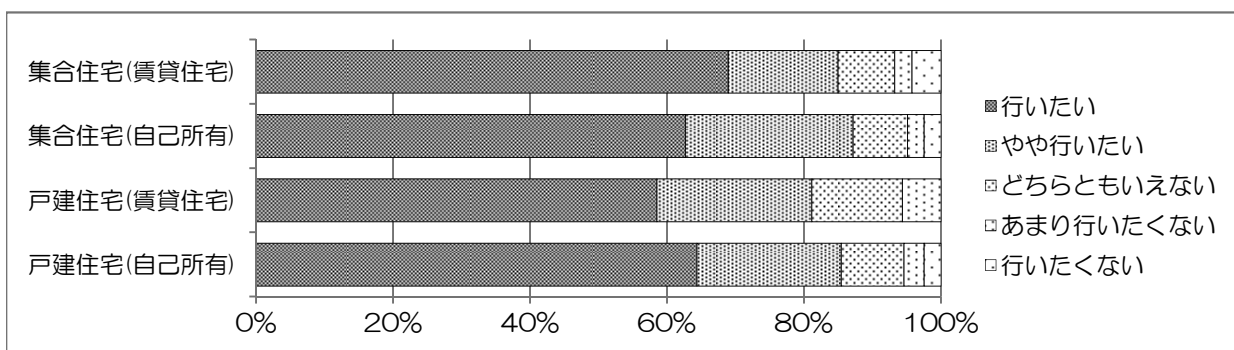
⑨ ごみの分別区分やごみを出す曜日を守る。



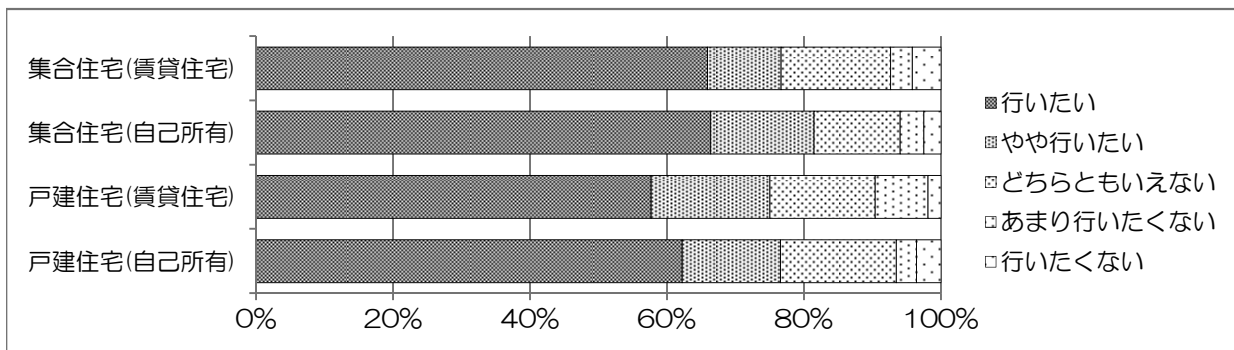
⑩ 使用していない部屋の照明や家電製品の電源などを切る。



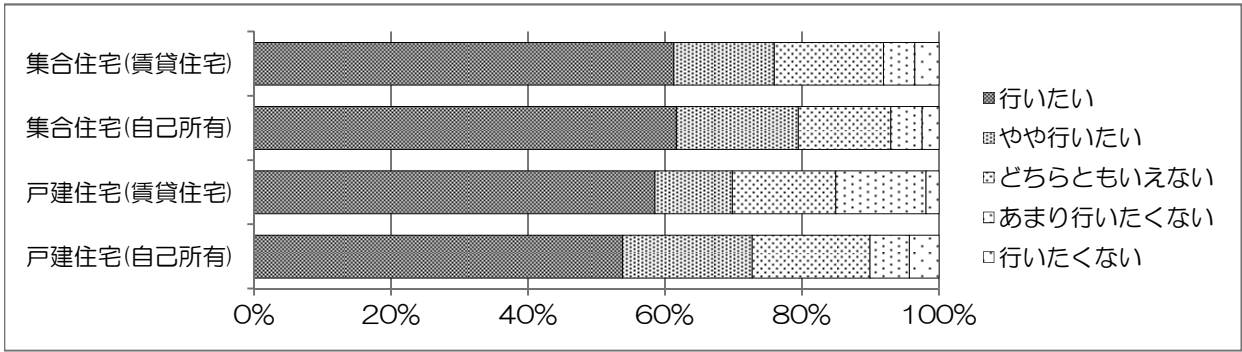
⑪ 不要な待機電力を減らすため、使っていない家電製品のコンセントを抜く。



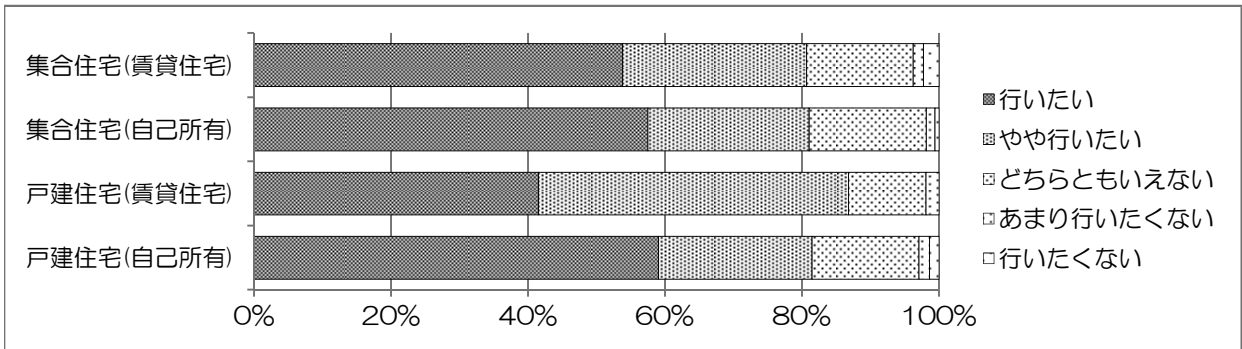
⑫ 夏場の冷房温度は28℃程度(26~30℃)を目安に設定する。



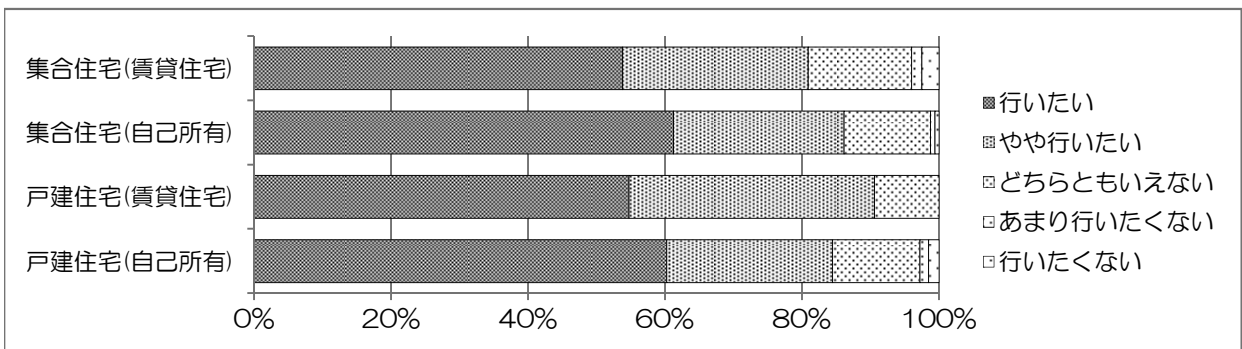
⑬ 冬の暖房温度は20℃程度（18～22℃）を目安に設定する。



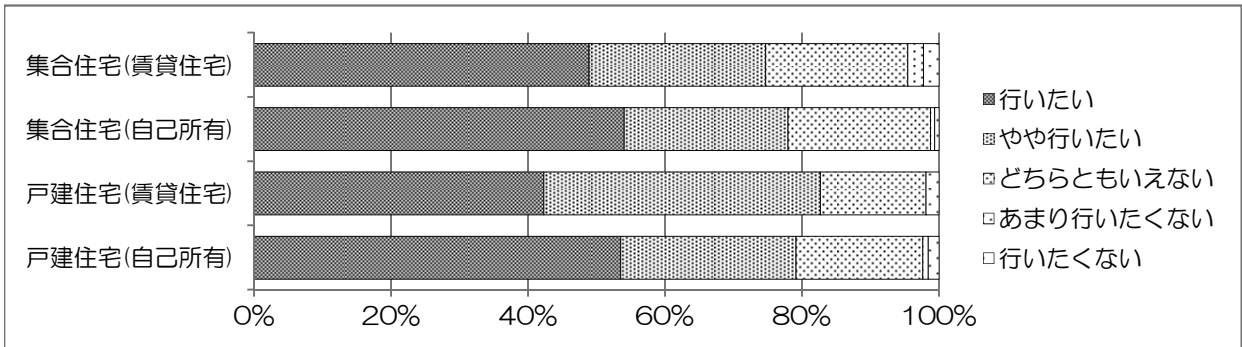
⑭ 食材を購入するときは、北海道産の食材を積極的に選ぶ。



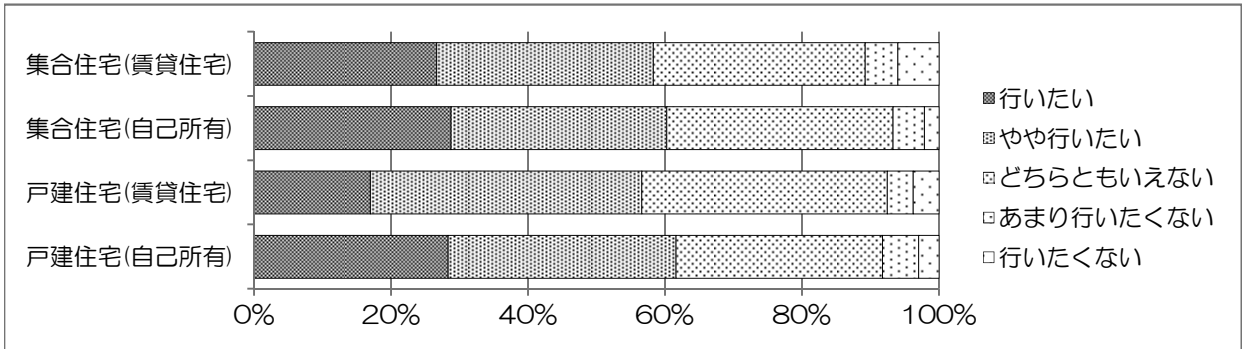
⑮ 食材を購入するときは、季節に応じた旬の食材を選ぶ。



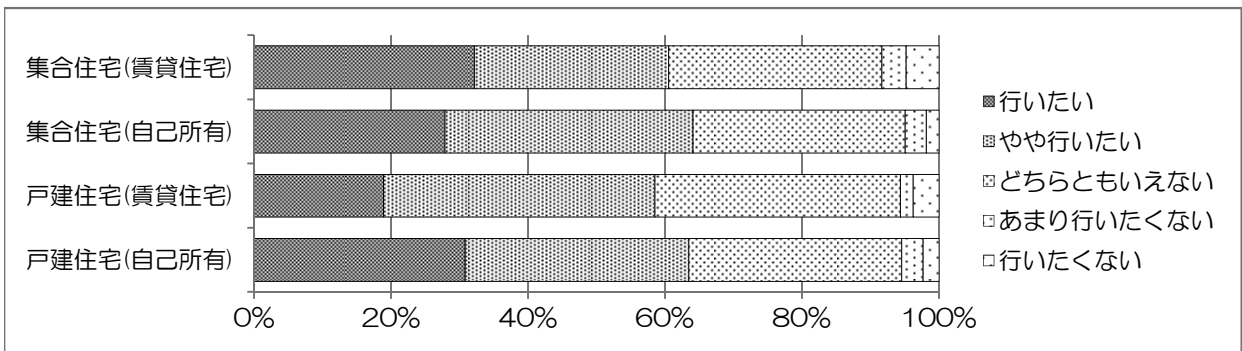
⑯ 普段から和食や北海道内で加工された食品を食べる。



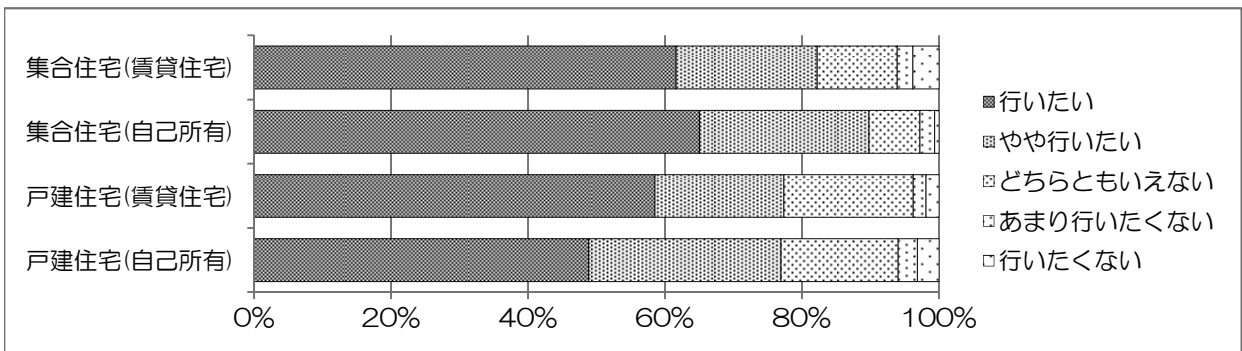
⑰ 文房具や洗剤などの日用品を購入する際は、エコマークなどの環境ラベルがついているものを選ぶ。



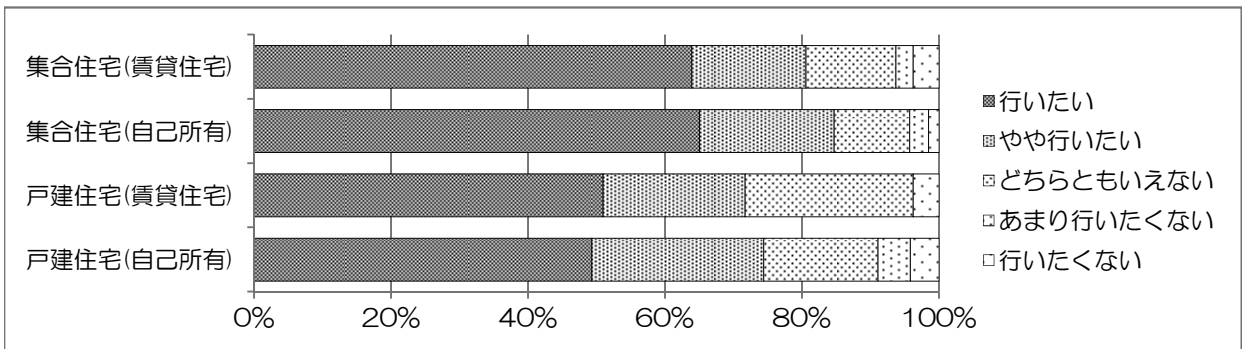
⑱ 環境問題に熱心に取り組んでいる生産者や販売店の商品を選ぶ。



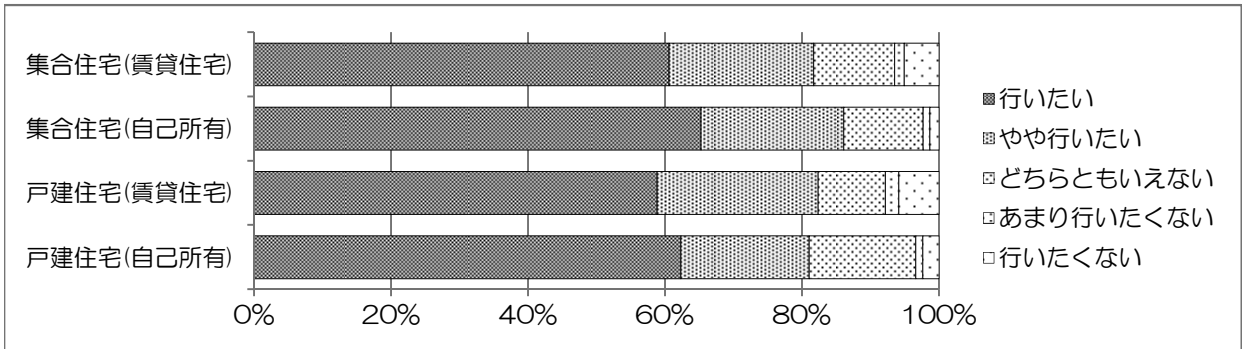
⑲ 徒歩や自転車で行ける範囲の移動は、自動車の利用をできるだけ控える。



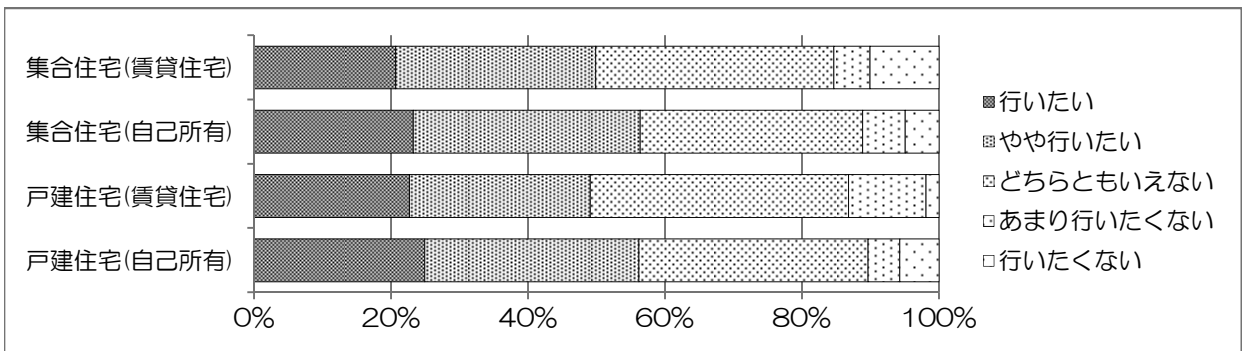
⑳ 日常生活において、電車やバスなどの公共交通を積極的に利用する。



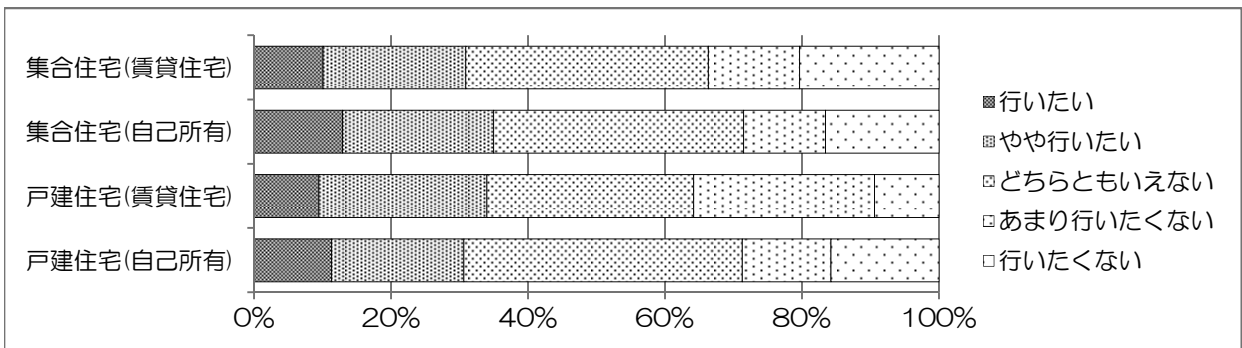
⑳ 自動車を運転する際は、アクセルをゆっくり踏んだり、アイドリングストップを行ったりするなど、エコドライブを実践する。



㉑ 家庭や普段の生活の中で、環境保全に関して話をする。

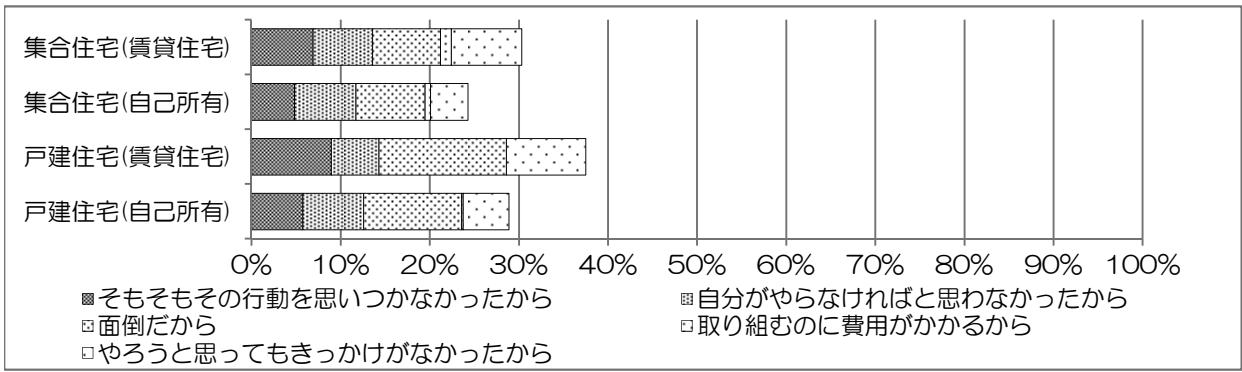


㉒ 環境に関する講演会や施設見学などに積極的に参加する。

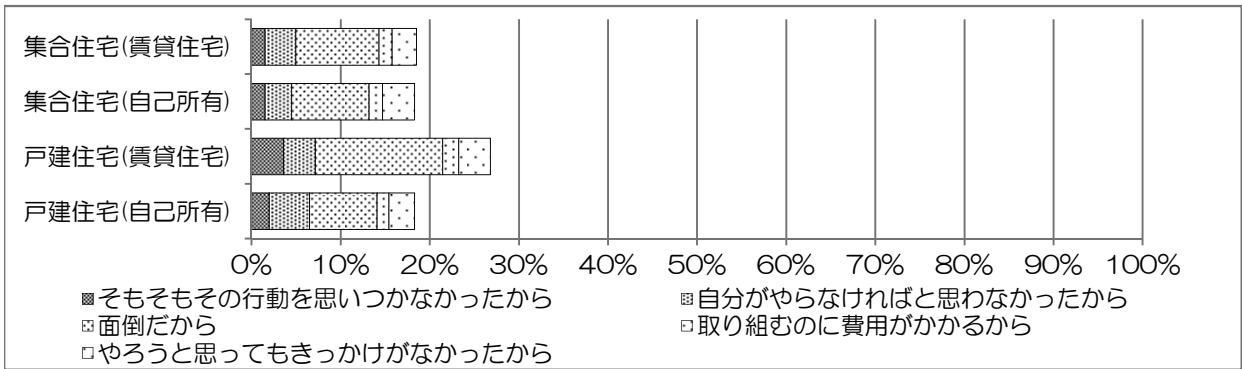


問4 環境保全行動ができない理由(複数回答)

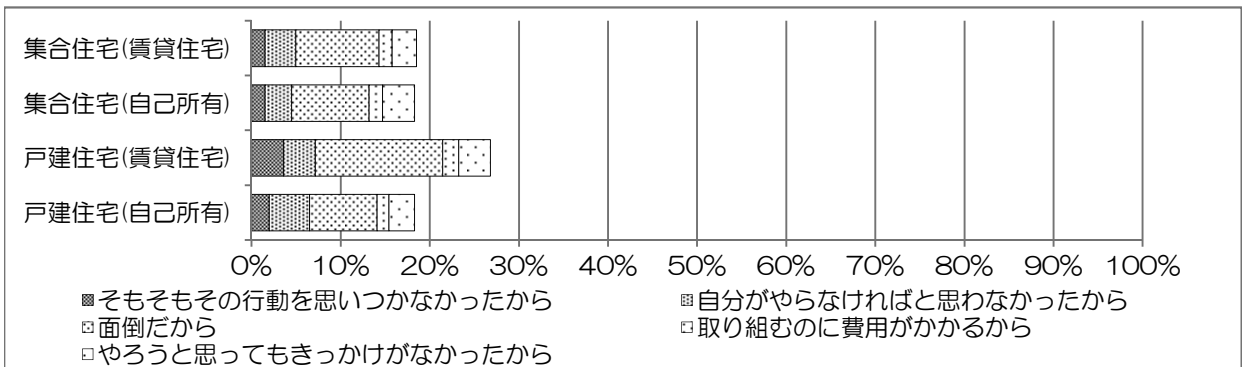
① 植樹活動や水辺の清掃活動など、自然環境を保全する活動に参加する。



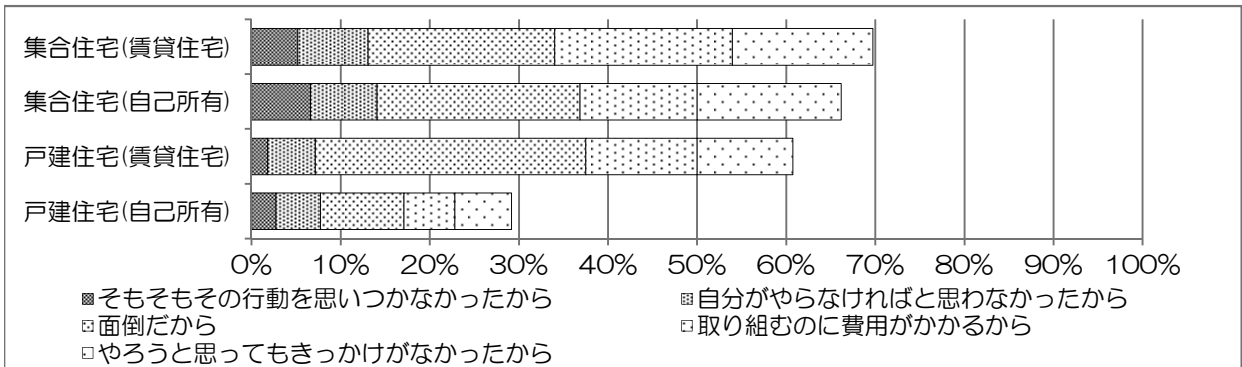
② 使用済み油や調理くずなどを下水に流さずに処理する。



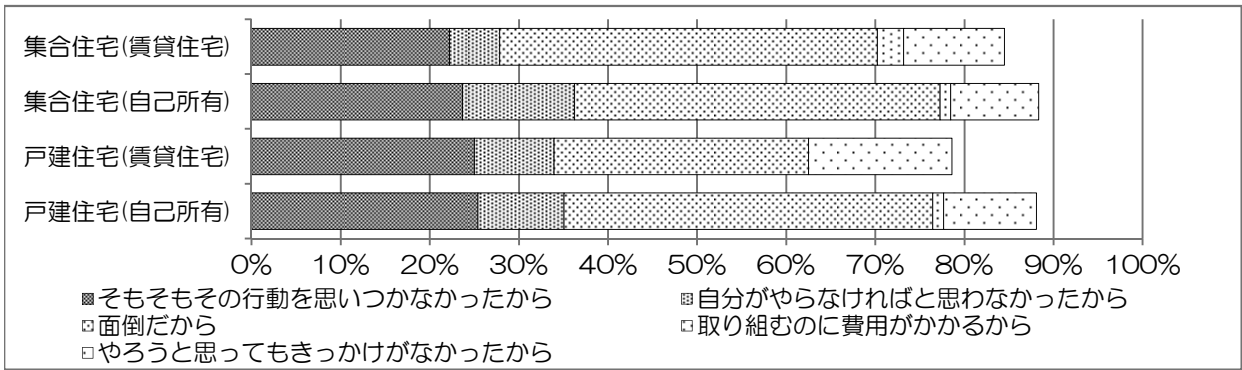
③ 家の庭やベランダなどで植物を育てる。(近隣の公園等での緑化活動を含む。)



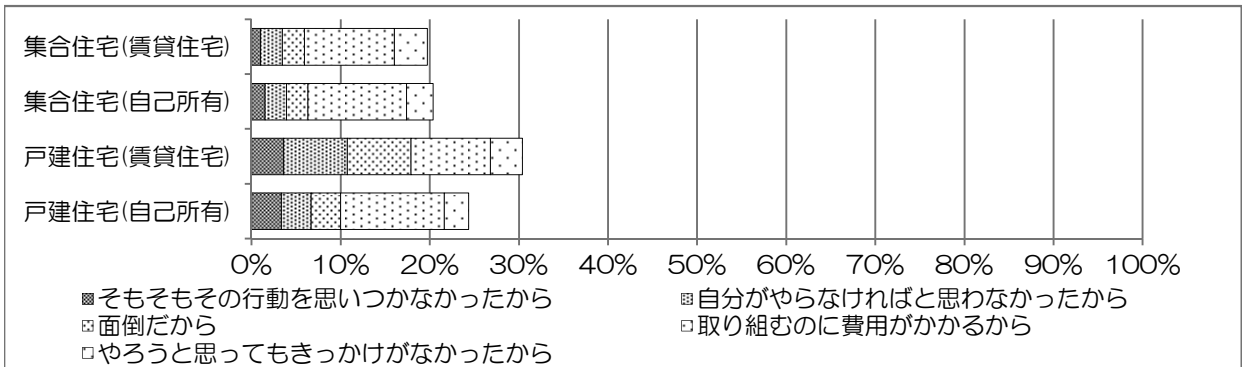
④ 食材や日用品は無駄なく使い切るようにし、ごみを減らす。



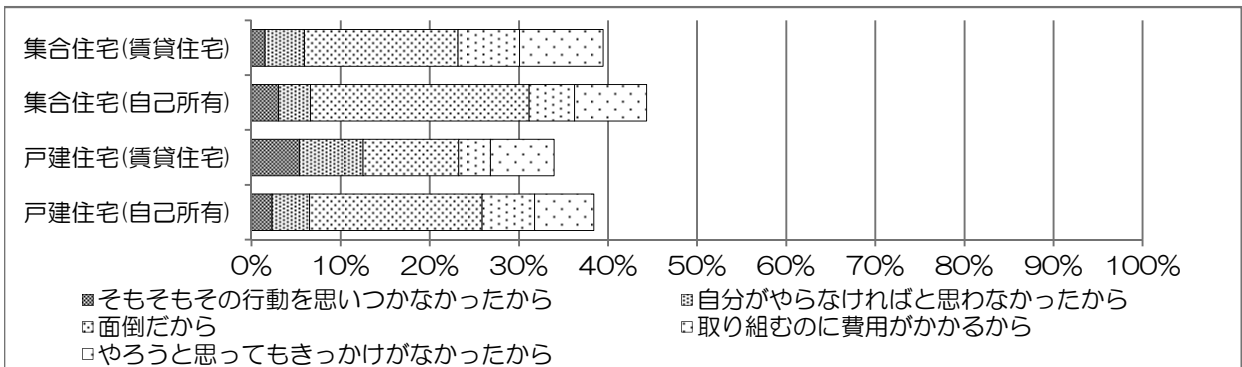
⑤ 外出時にマイ箸を持ち歩く。



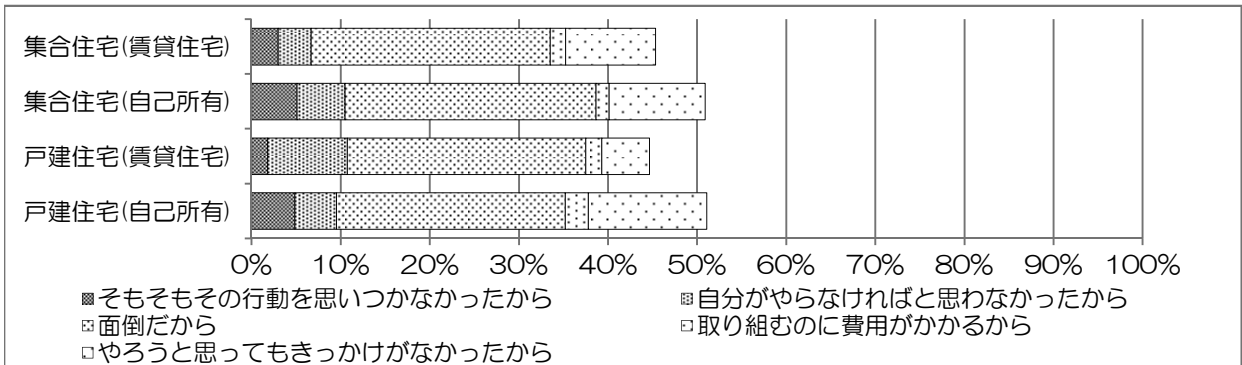
⑥ 外出時にマイバッグを持ち歩く。



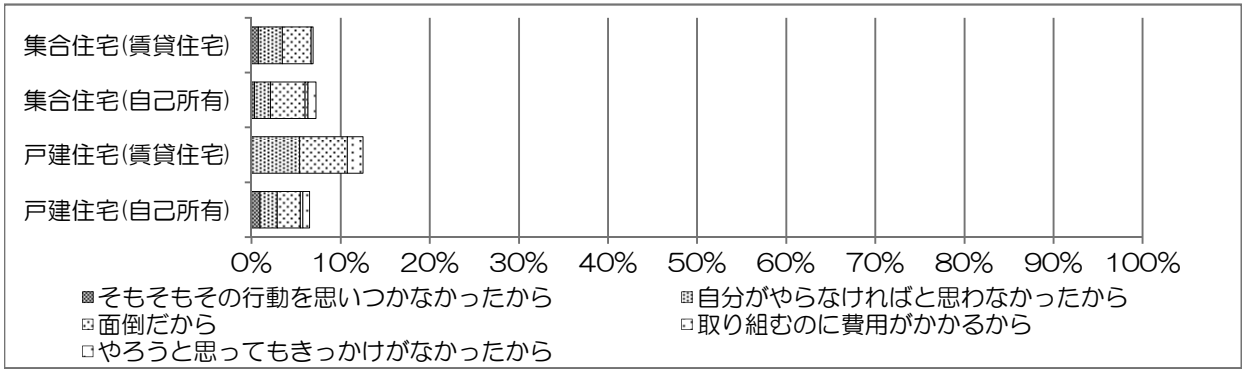
⑦ 普段使用する日用品や服などは、なるべく手入れや修理をしながら使う。



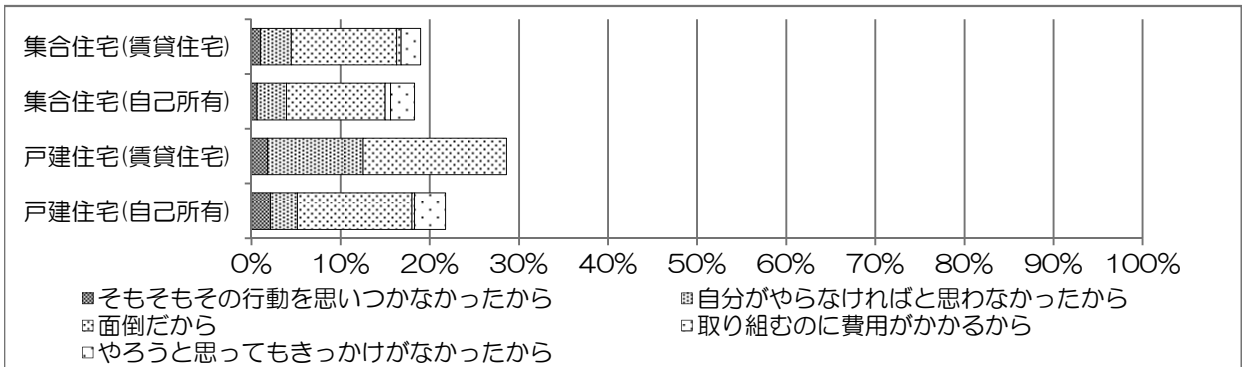
⑧ 使わなくなった日用品や服などで再利用できるものは、再利用したり、リサイクルショップへ売ったりする。



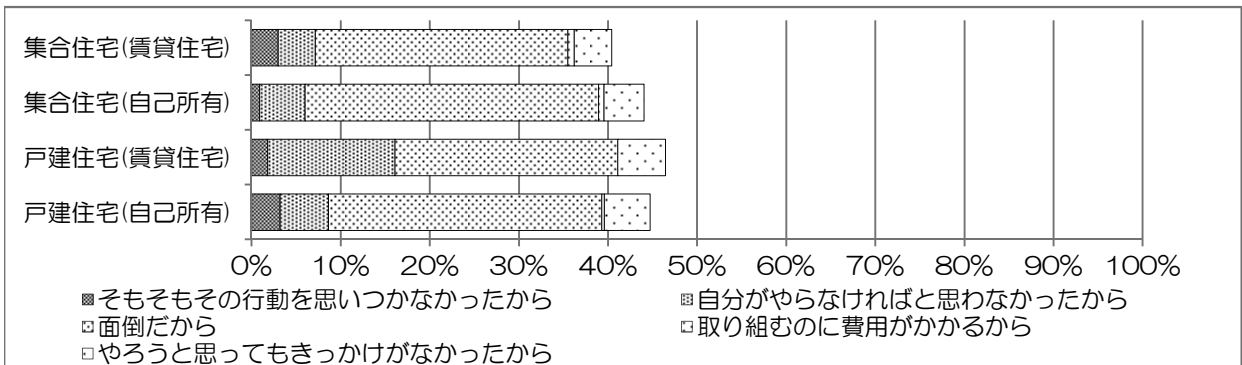
⑨ ごみの分別区分やごみを出す曜日を守る。



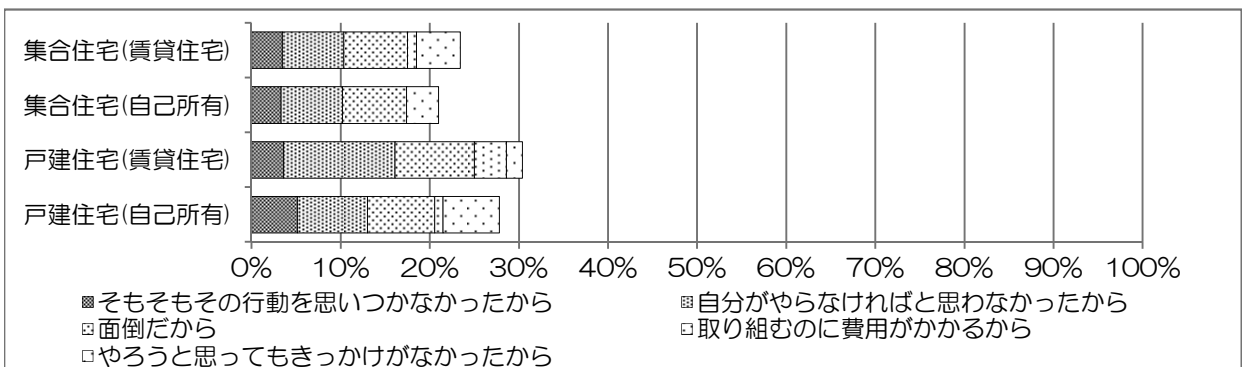
⑩ 使用していない部屋の照明や家電製品の電源などを切る。



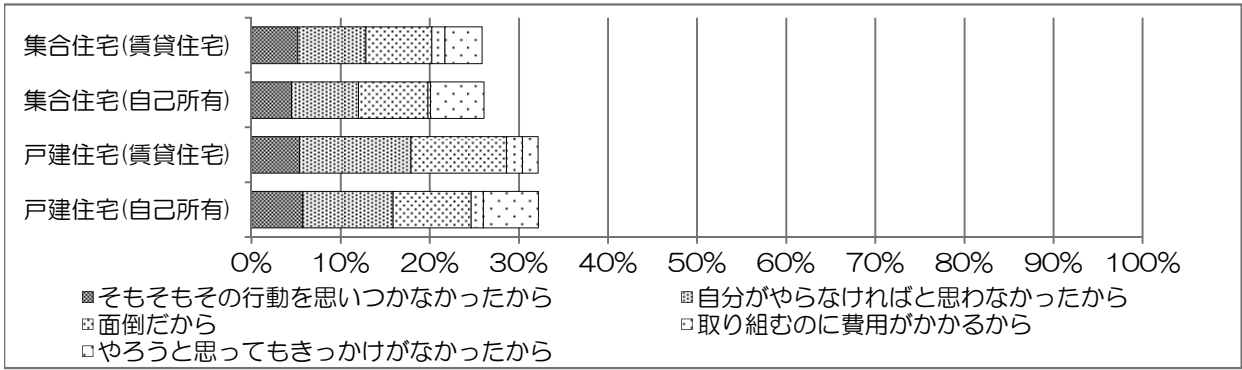
⑪ 不要な待機電力を減らすため、使っていない家電製品のコンセントを抜く。



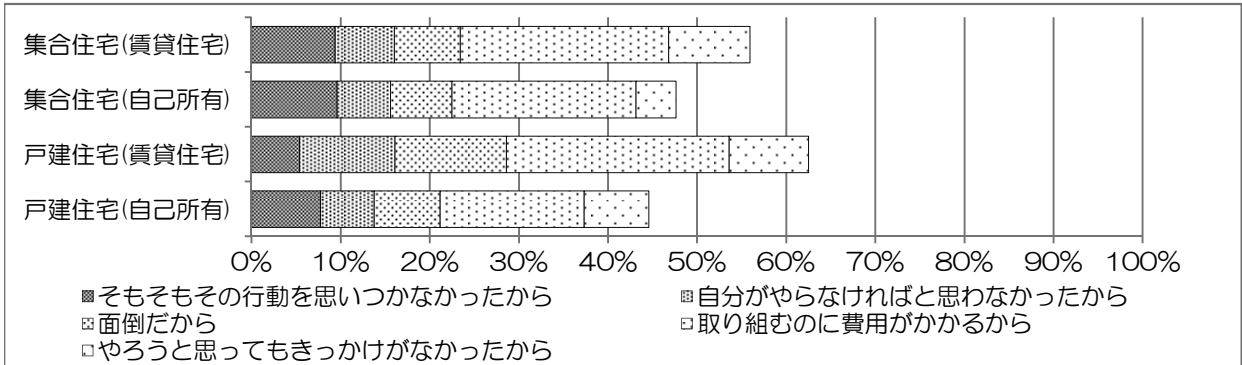
⑫ 夏場の冷房温度は28℃程度(26~30℃)を目安に設定する。



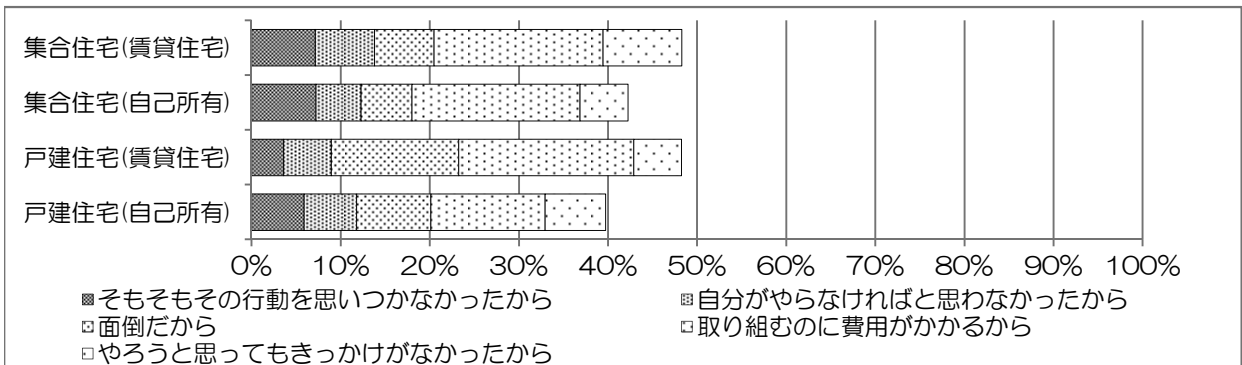
⑬ 冬場の暖房温度は20℃程度（18～22℃）を目安に設定する。



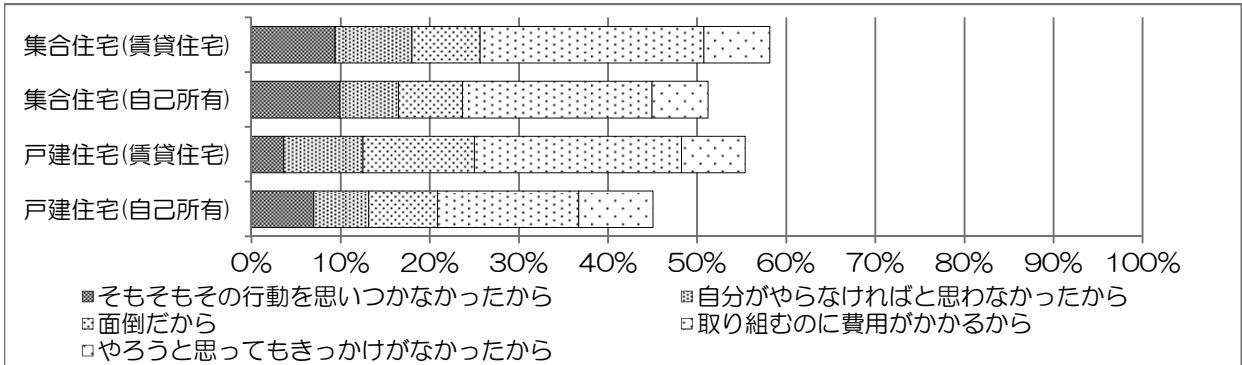
⑭ 食材を購入するときは、北海道産の食材を積極的に選ぶ。



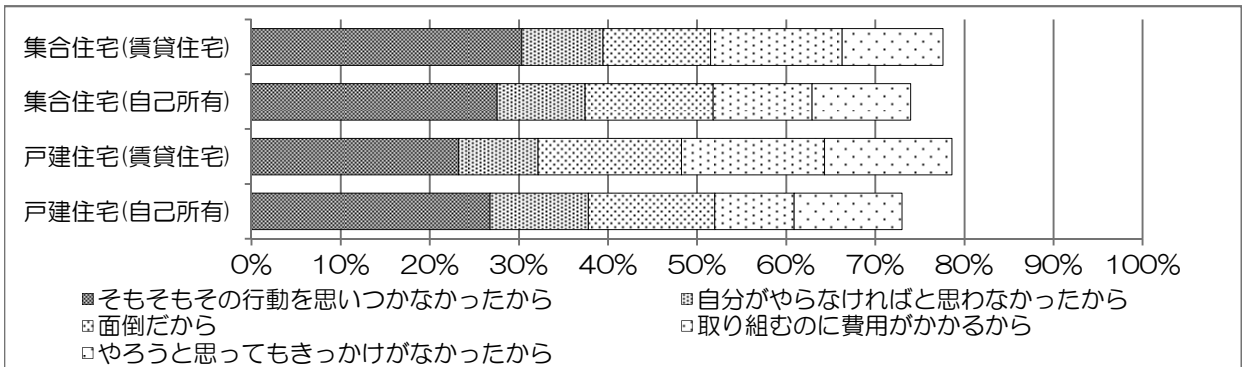
⑮ 食材を購入するときは、季節に応じた旬の食材を選ぶ。



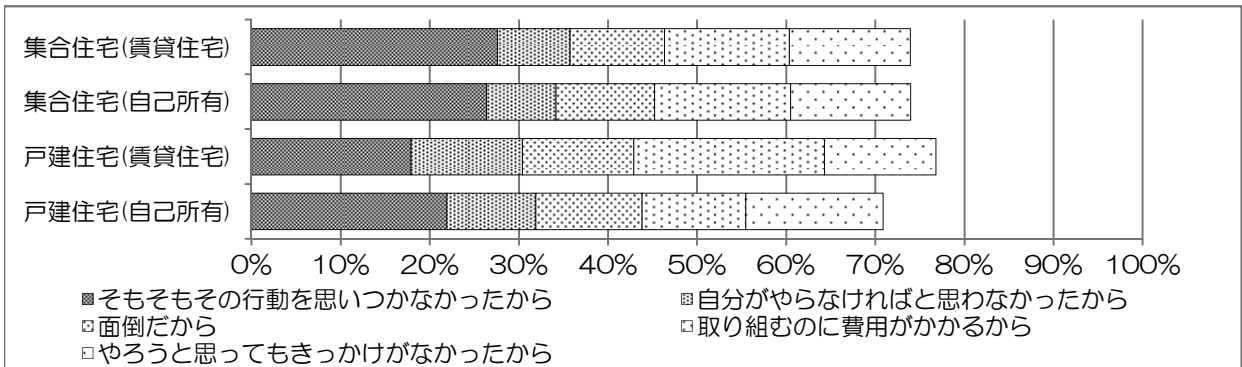
⑯ 普段から和食や北海道内で加工された食品を食べる。



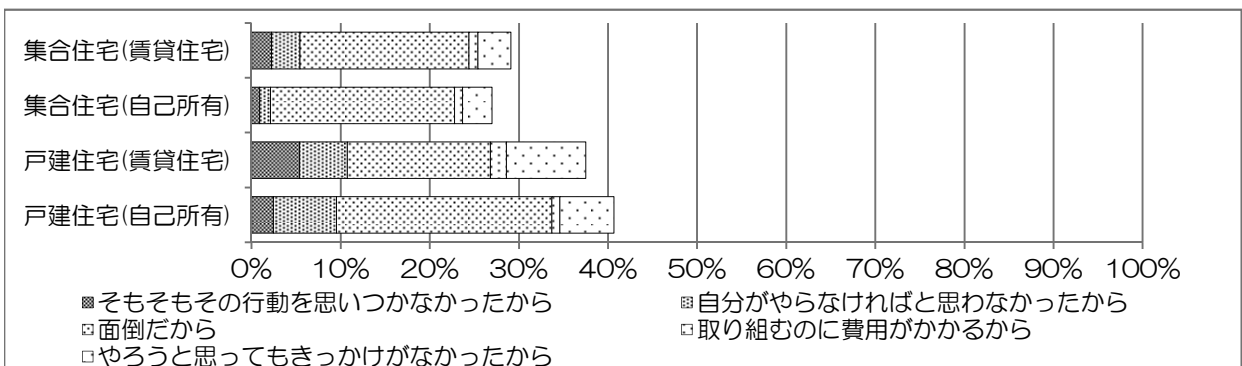
⑰ 文房具や洗剤などの日用品を購入する際は、エコマークなどの環境ラベルがついているものを選ぶ。



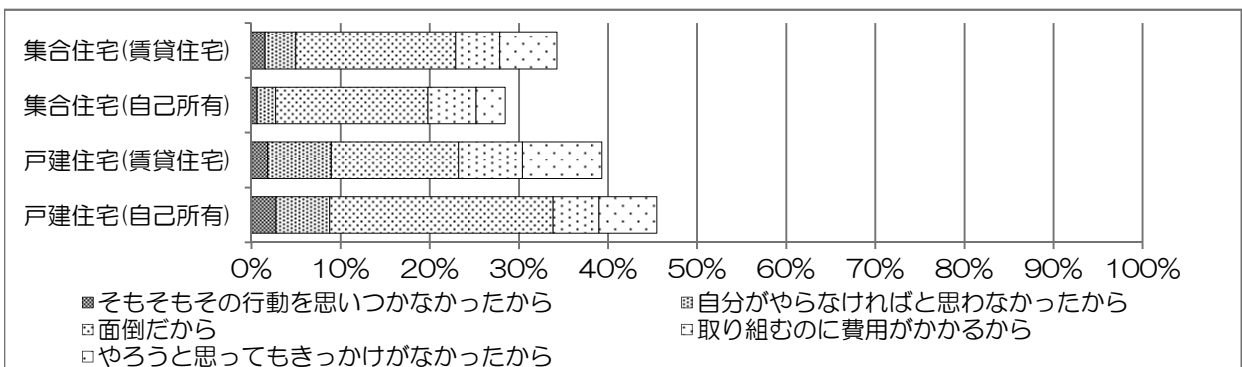
⑱ 環境問題に熱心に取り組んでいる生産者や販売店の商品を選ぶ。



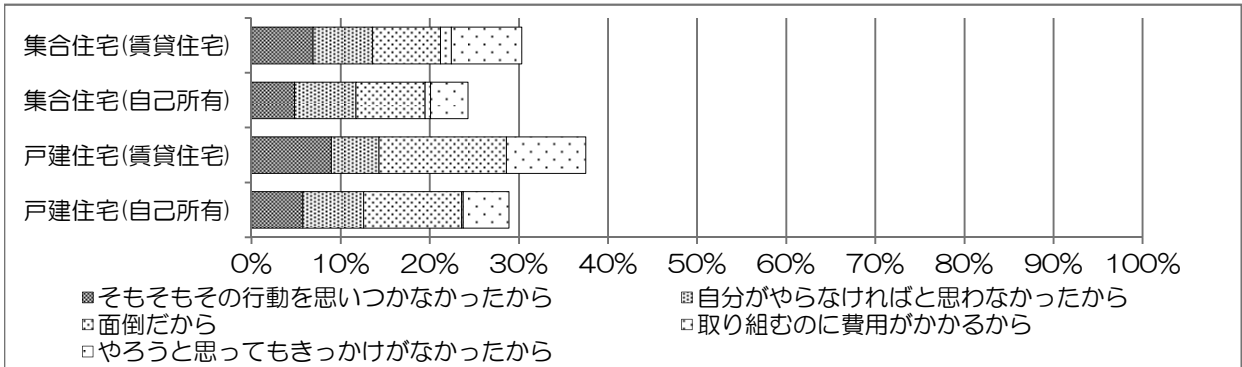
⑲ 徒歩や自転車で行ける範囲の移動は、自動車の利用をできるだけ控える。



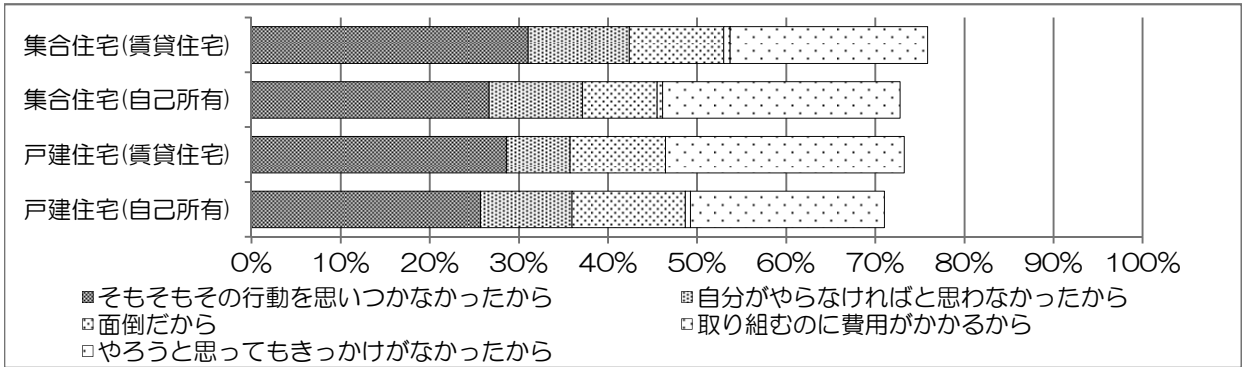
⑳ 日常生活において、電車やバスなどの公共交通を積極的に利用する。



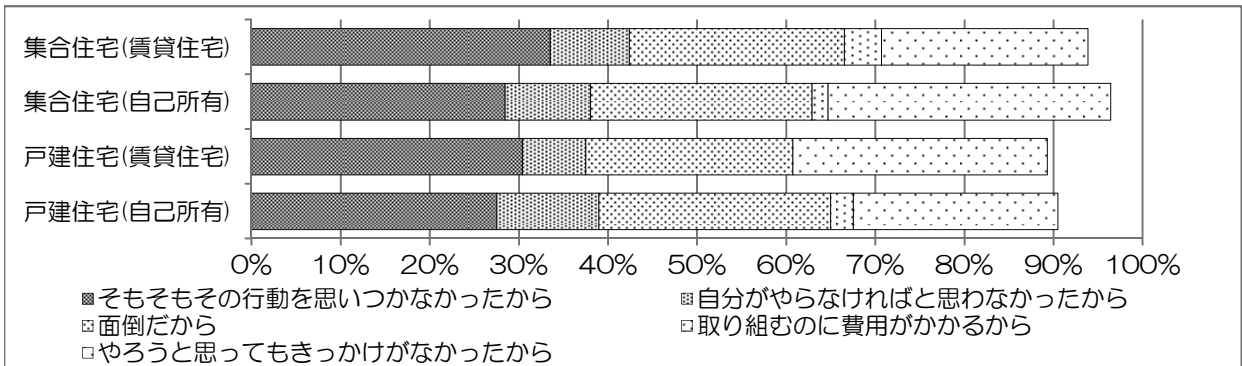
②① 自動車を運転する際は、アクセルをゆっくり踏んだり、アイドリングストップを行ったりするなど、エコドライブを実践する。



②② 家庭や普段の生活の中で、環境保全に関して話をする。

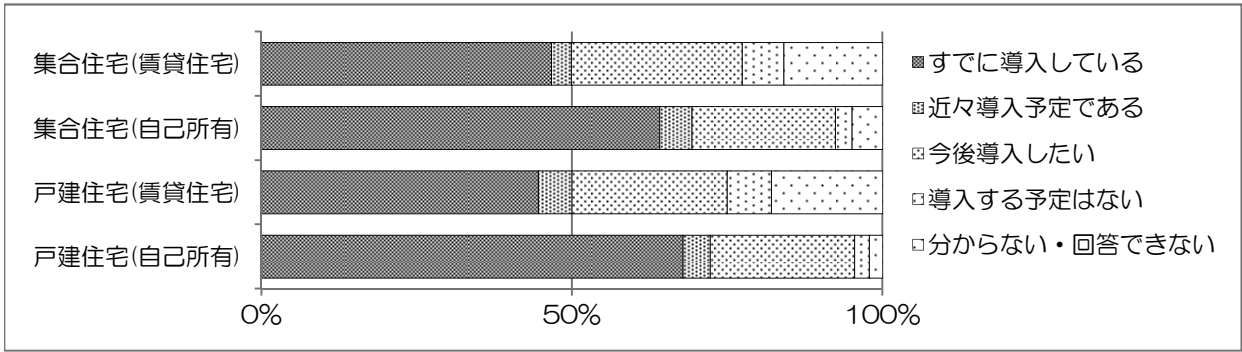


②③ 環境に関する講演会や施設見学などに積極的に参加する。

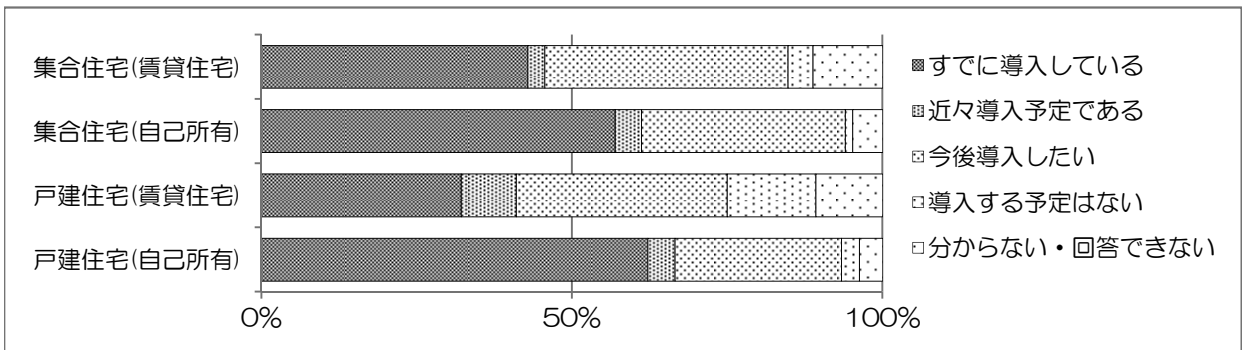


問5 製品等の導入についての状況

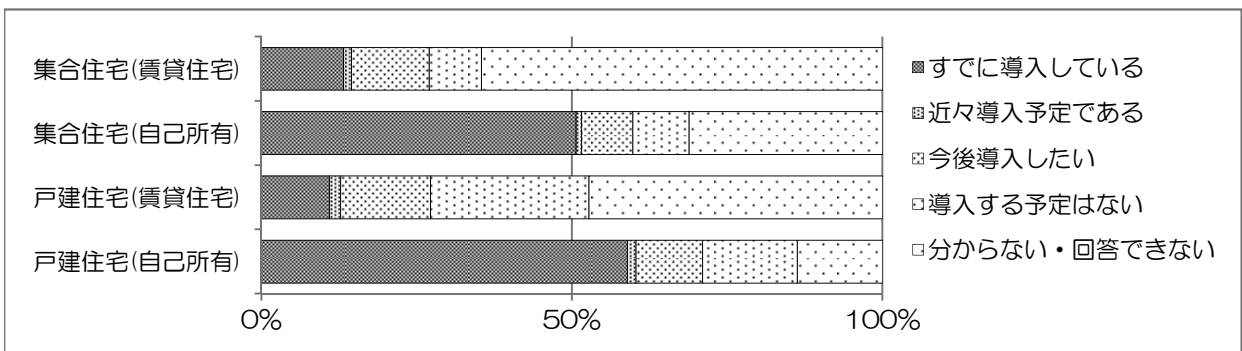
① 照明器具は、LEDや蛍光灯型など、省エネルギーの製品を導入している。



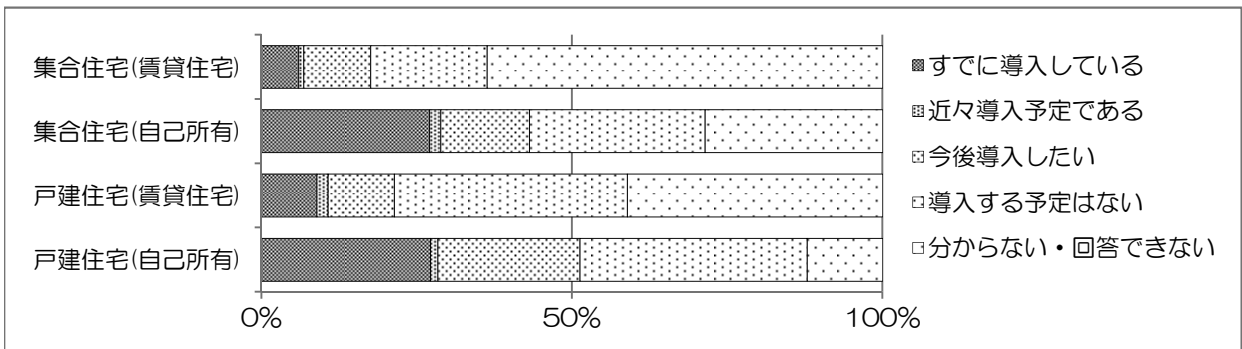
② 冷蔵庫やテレビなどの家電製品は、消費電力の少ない製品を導入している。



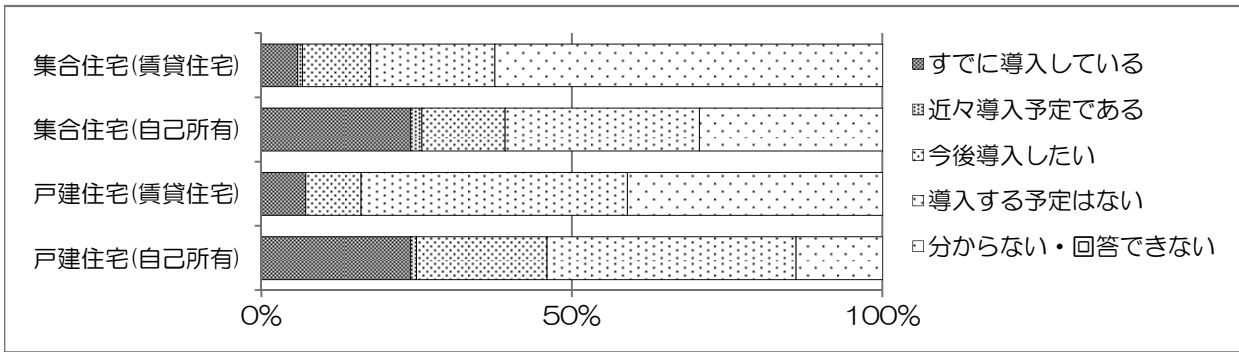
③ 住宅は断熱・気密性能の高い住宅を導入している。



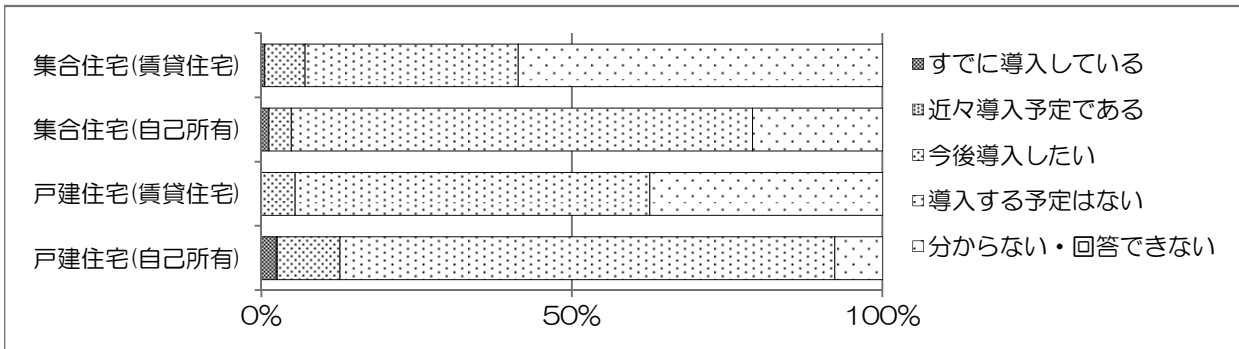
④ 高効率な給湯機器（エコジョーズやエコキュートなど）を導入している。



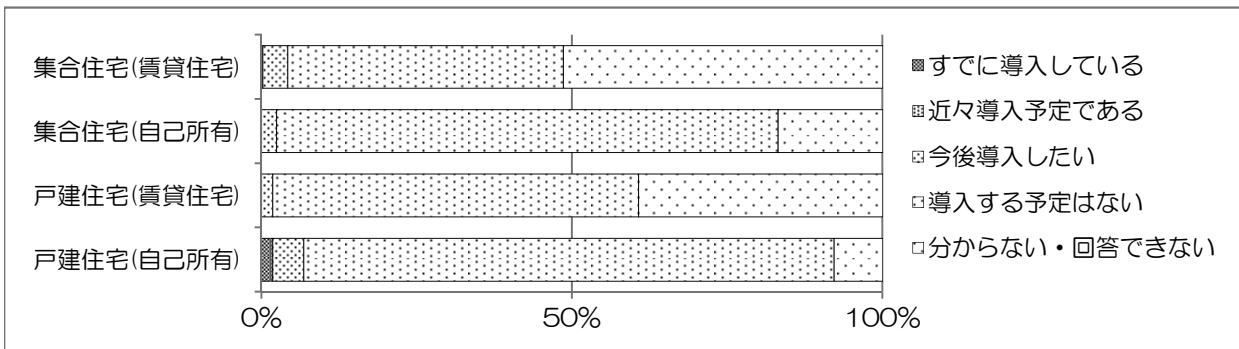
⑤ 高効率な暖房機器（エコジョーズやヒートポンプ暖房システムなど）を導入している。



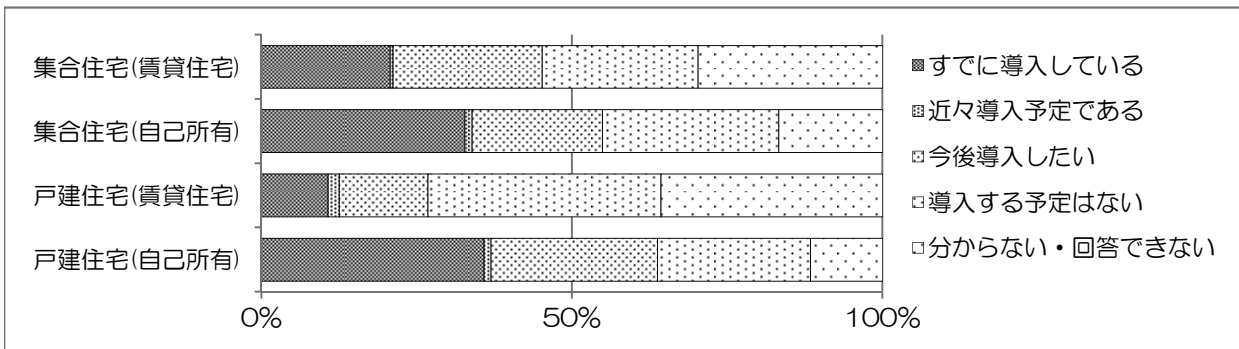
⑥ 太陽光発電設備を導入している。



⑦ ペレットストーブや薪ストーブなど、木質燃料の暖房を導入している。

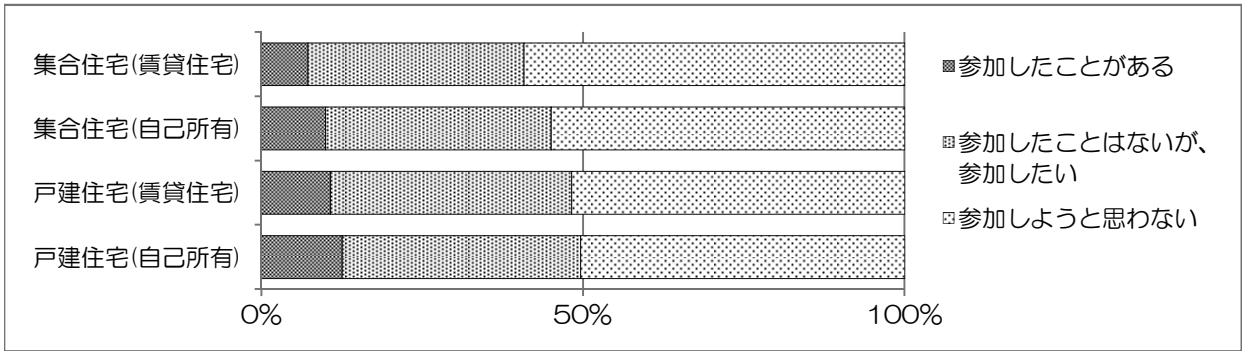


⑧ 自動車は低公害車・低燃費車を導入している。

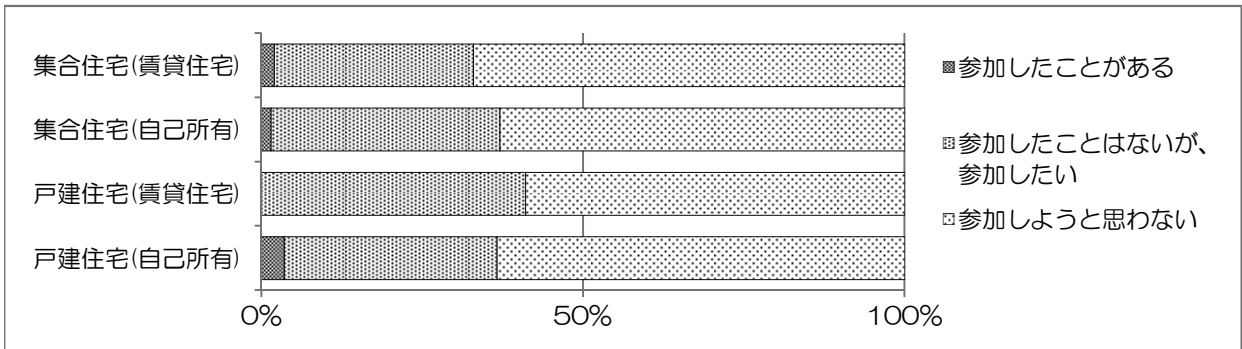


問6 イベント等への参加状況

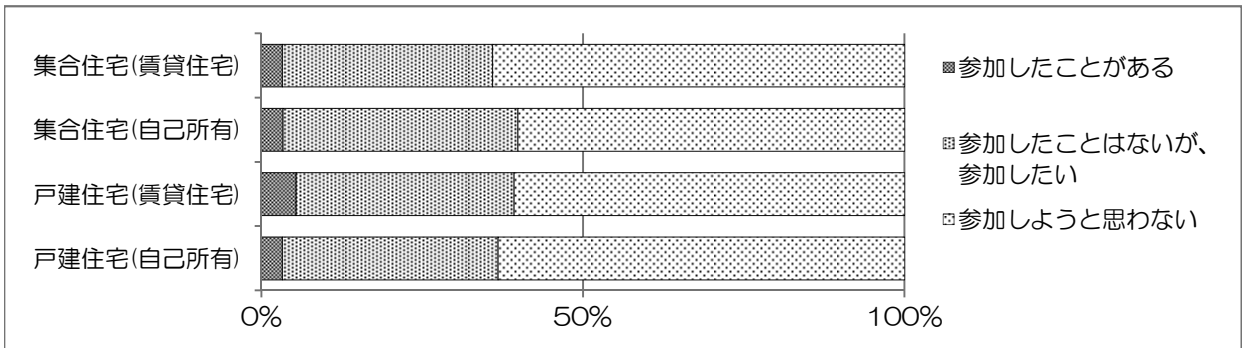
① 地域で行われている環境保全活動に関するイベントへの参加



② 環境をテーマとする国際交流や国際協力などのイベントへの参加

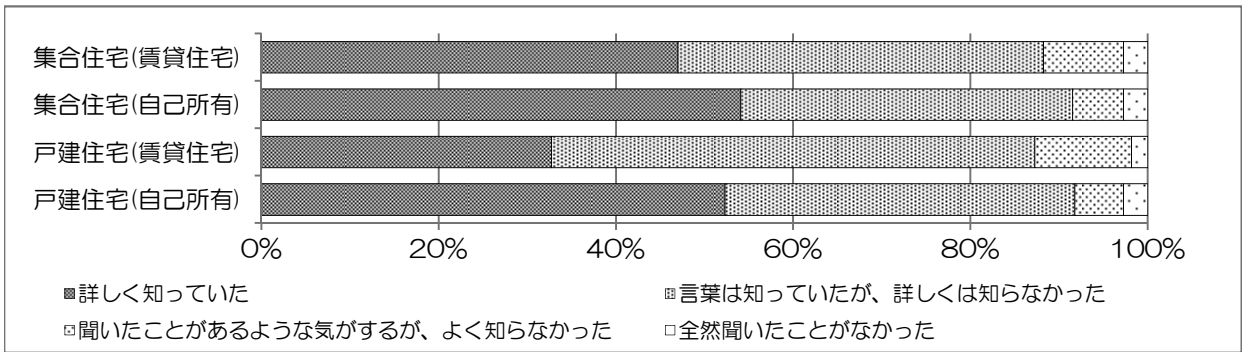


③ “さっぽろ雪まつり”などの札幌市で行われているイベントでの環境対策の情報発信への参加

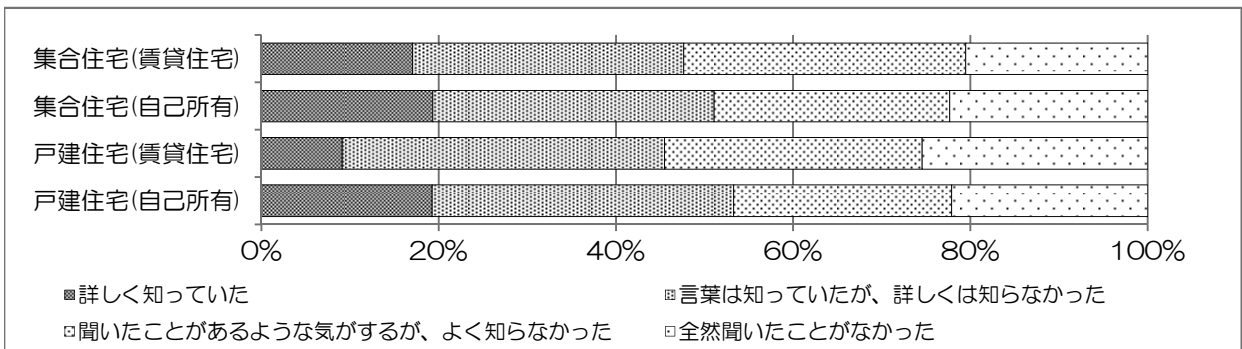


問7 新たな環境問題に対する認知度

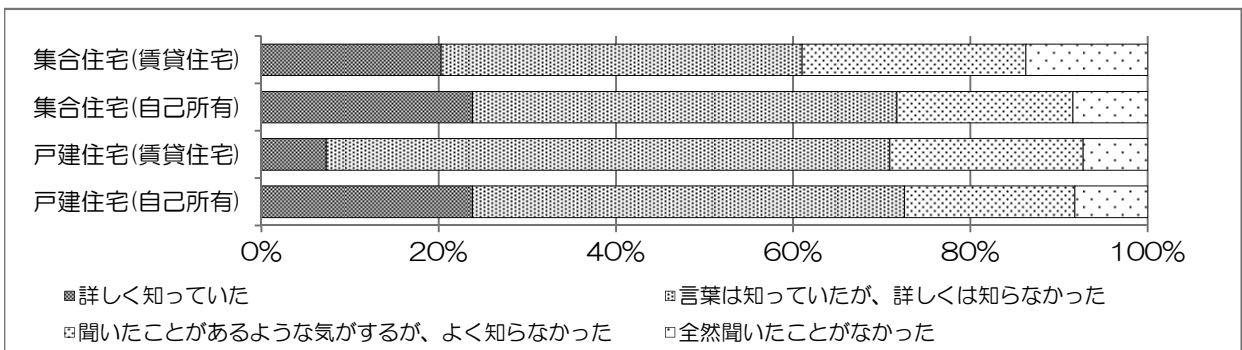
① 「PM2.5」



② 「生物多様性」

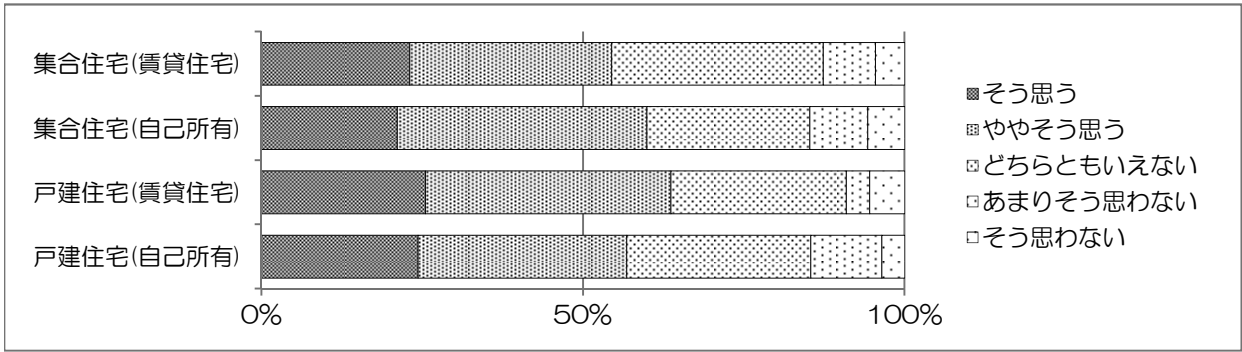


③ 「気候変動(地球温暖化など)に対する適応対策」

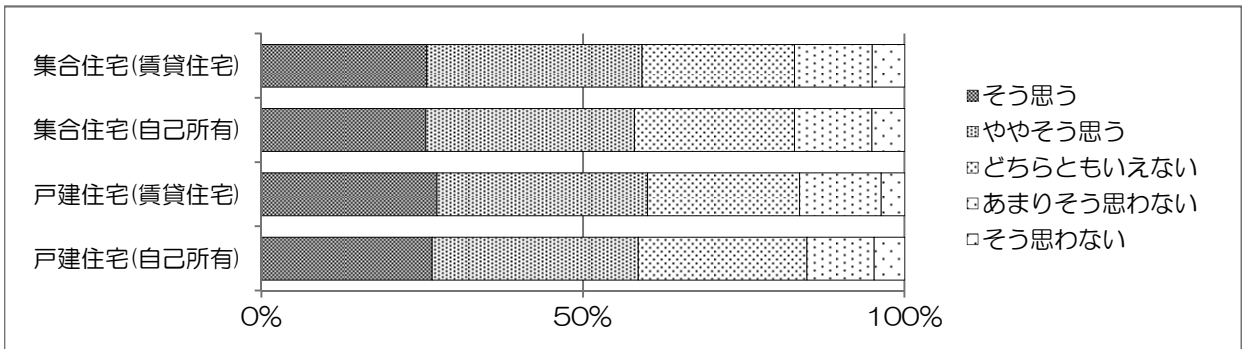


問8 札幌市と市民が一体となって環境問題の解決に取り組むことによる波及効果について

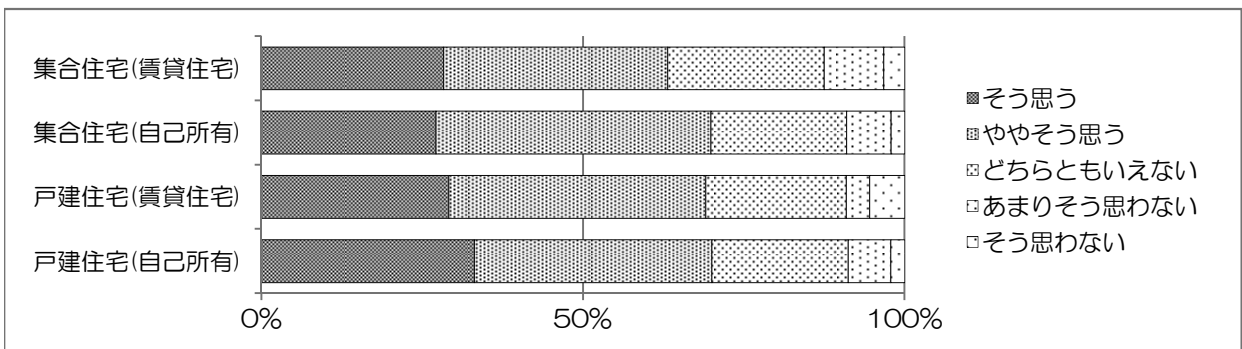
① 新たな技術の普及や雇用の創出などの経済波及効果につながる。



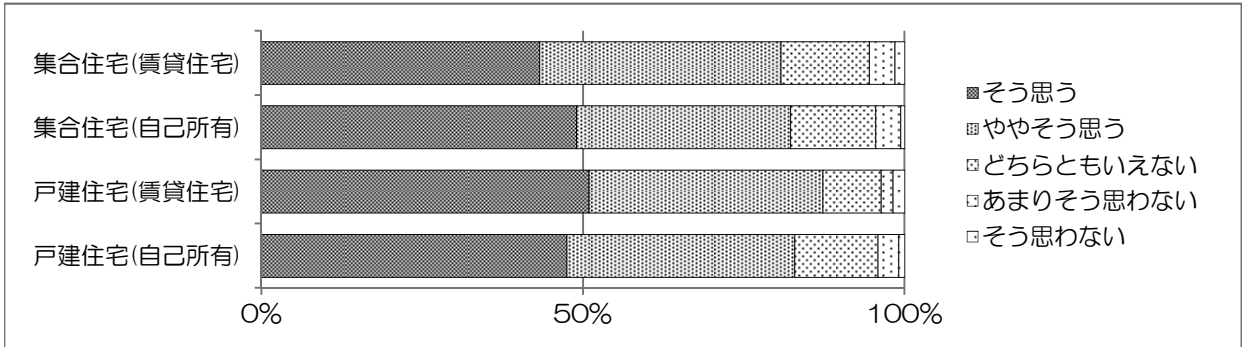
② 自然や環境を目当てに来る観光客が増え、新たな観光資源の創出につながる。



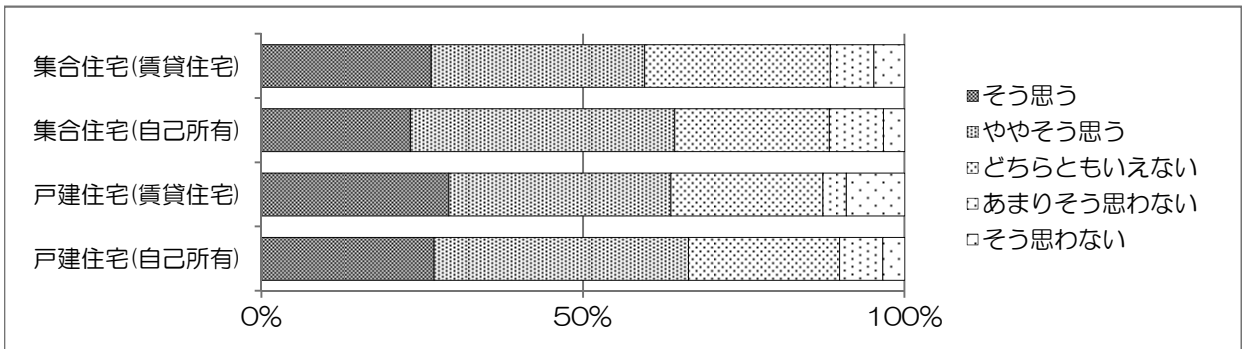
③ 住宅や居住施設等における生活環境が改善され、健康の増進や福祉の向上につながる。



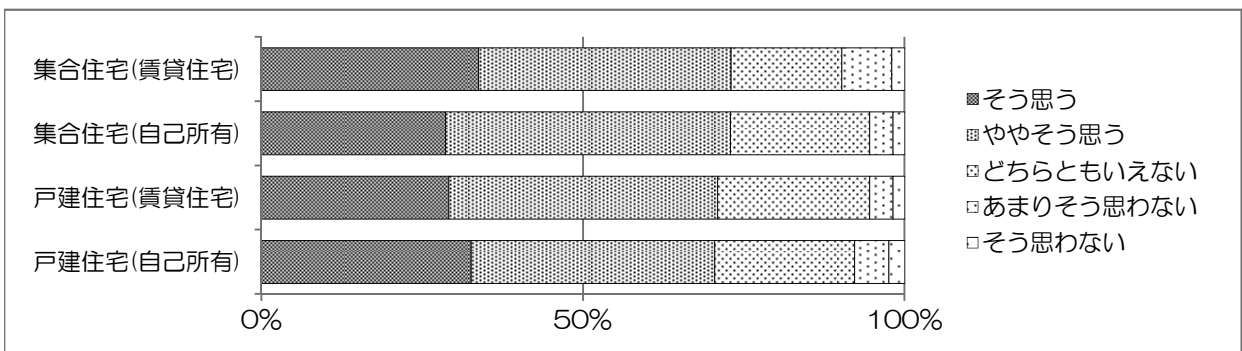
④ 大気や水質環境が改善し、健康な暮らしの増進につながる。



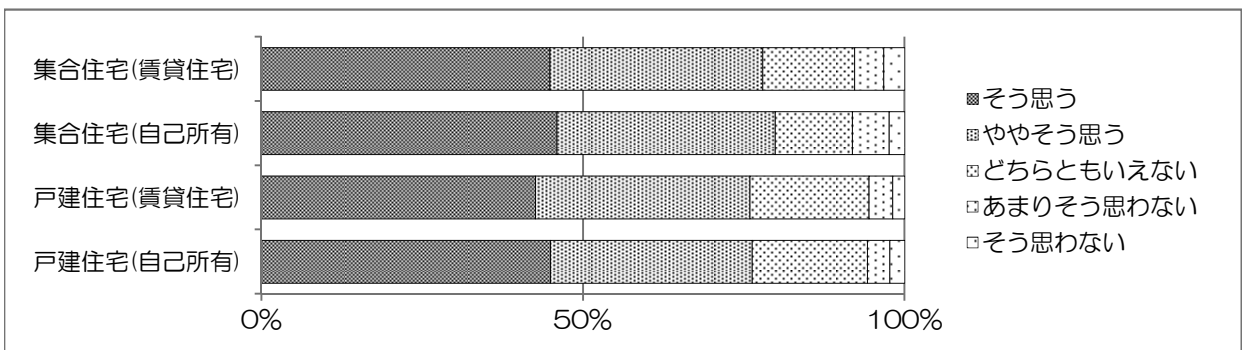
⑤ 町内会や市民団体と地域住民との関わりが増えることで、地域コミュニティの活動が活発化し、まちづくりの促進につながる。



⑥ 太陽光発電やコージェネレーション設備などの導入が進み、災害時の電源確保になることで、防災対策にもつながる。

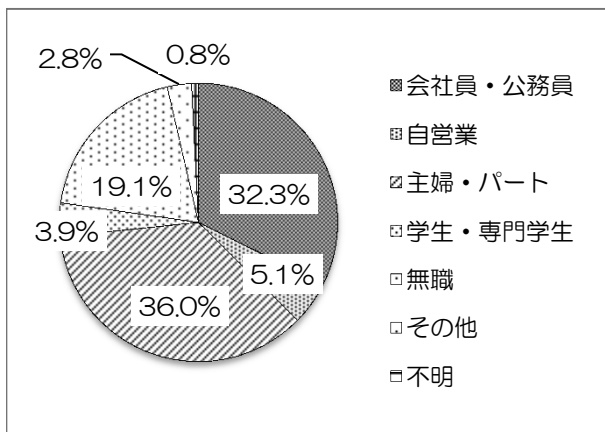


⑦ 自動車利用を減らすために公共交通網が整備され、高齢者や子どもなど誰もが使いやすい移動手段の確保をすれば、魅力ある住みやすい都市づくりにつながる。



環境基本計画に関するアンケート結果【市民向け、クロス集計（職業）】

◎職業別の割合

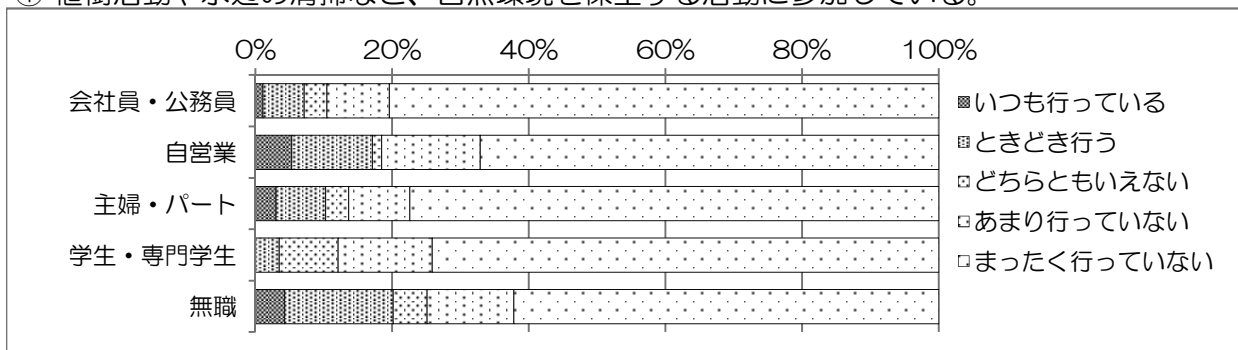


n=1495

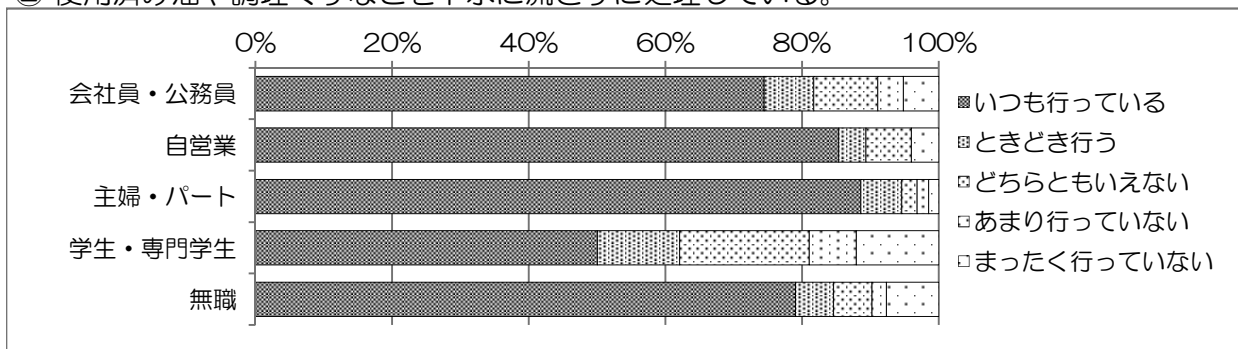
※「その他(n=42)」「不明(n=12)」はクロス集計表からは除外

問2 普段から取り組んでいる環境保全行動について

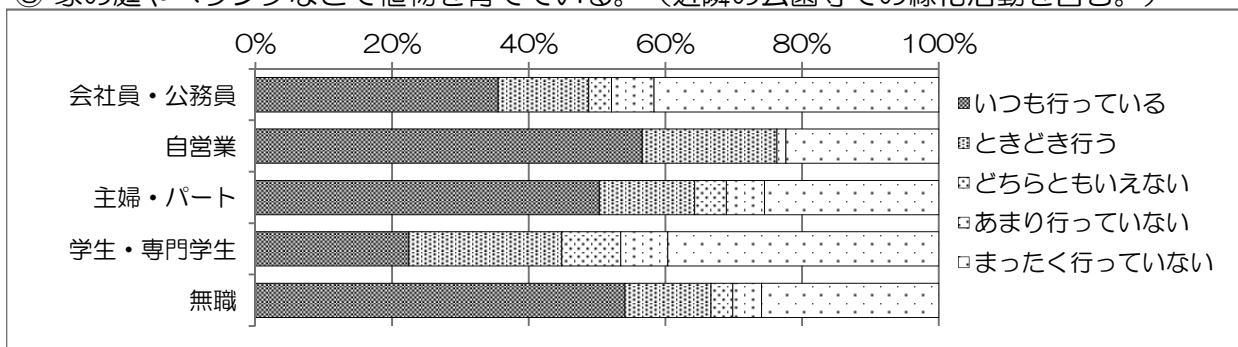
① 植樹活動や水辺の清掃など、自然環境を保全する活動に参加している。



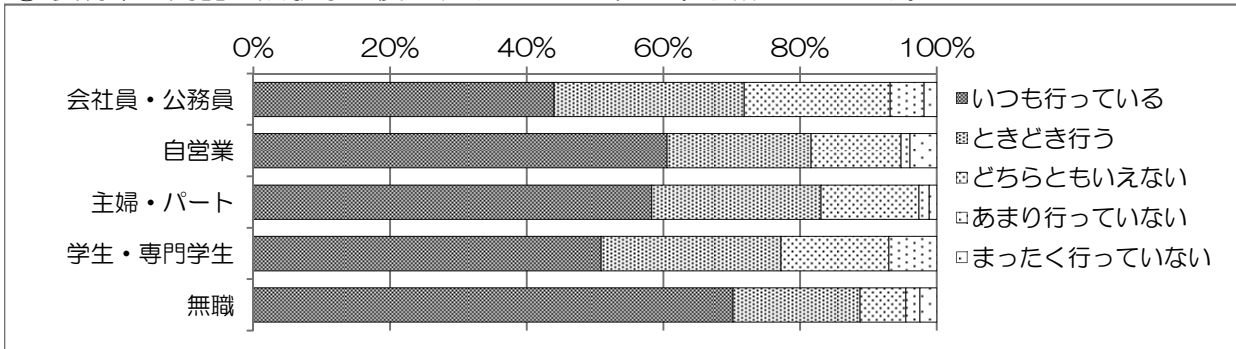
② 使用済み油や調理くずなどを下水に流さずに処理している。



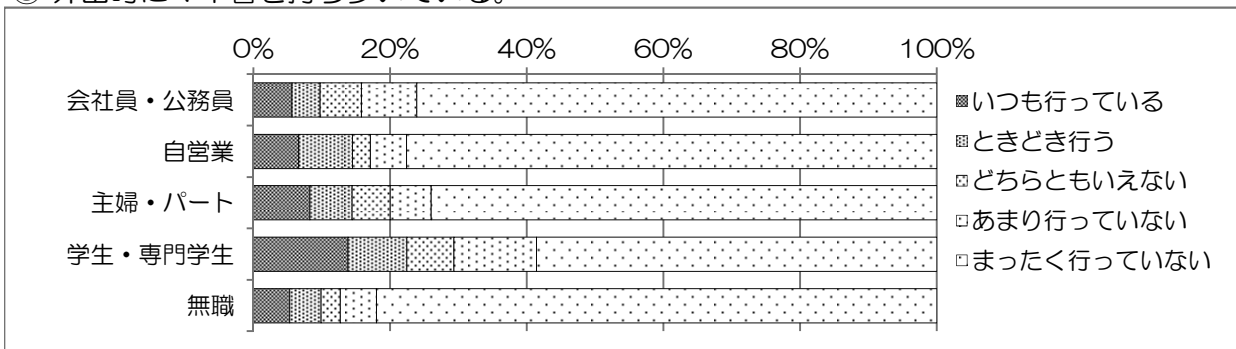
③ 家の庭やベランダなどで植物を育てている。（近隣の公園等での緑化活動を含む。）



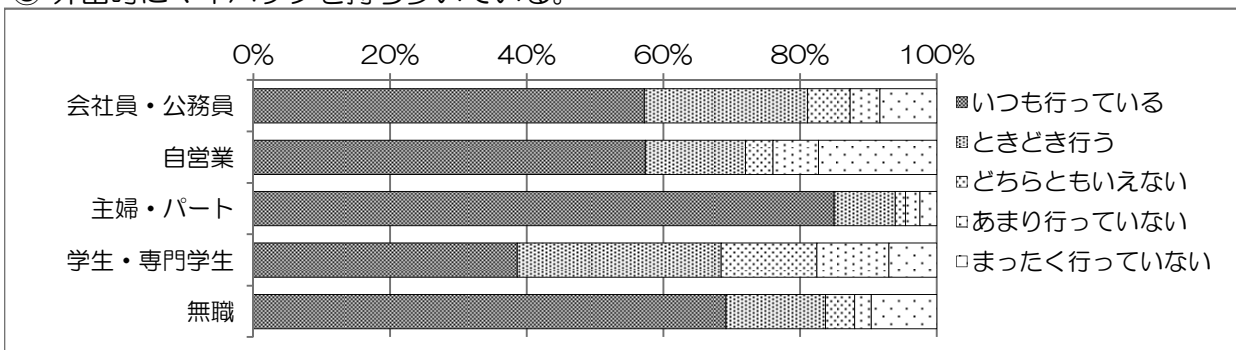
④ 食材や日用品は無駄なく使い切るようにし、ごみを減らしている。



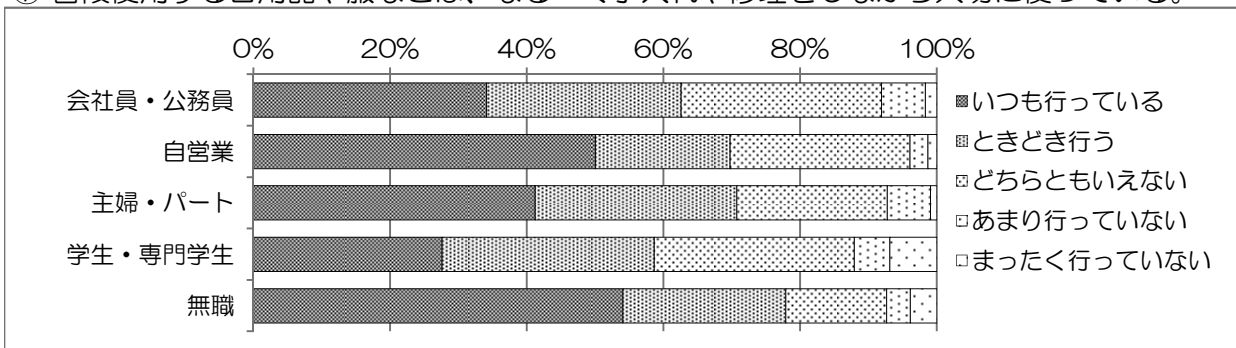
⑤ 外出時にマイ箸を持ち歩いている。



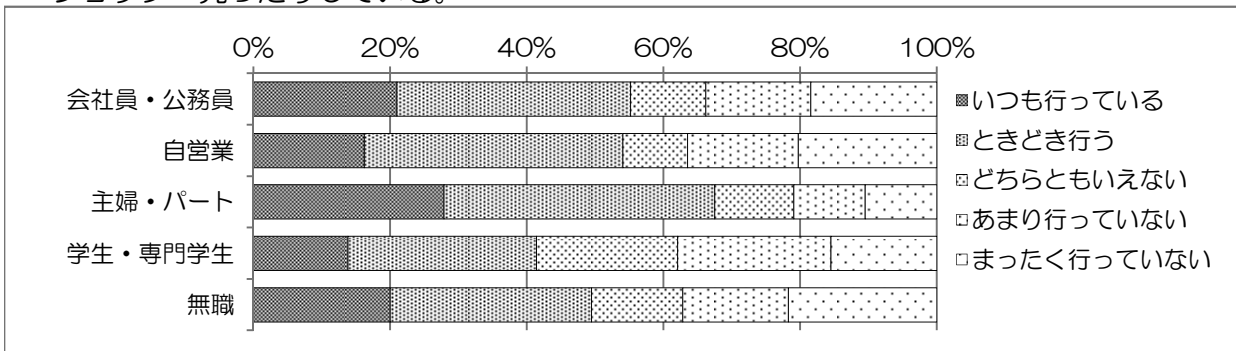
⑥ 外出時にマイバッグを持ち歩いている。



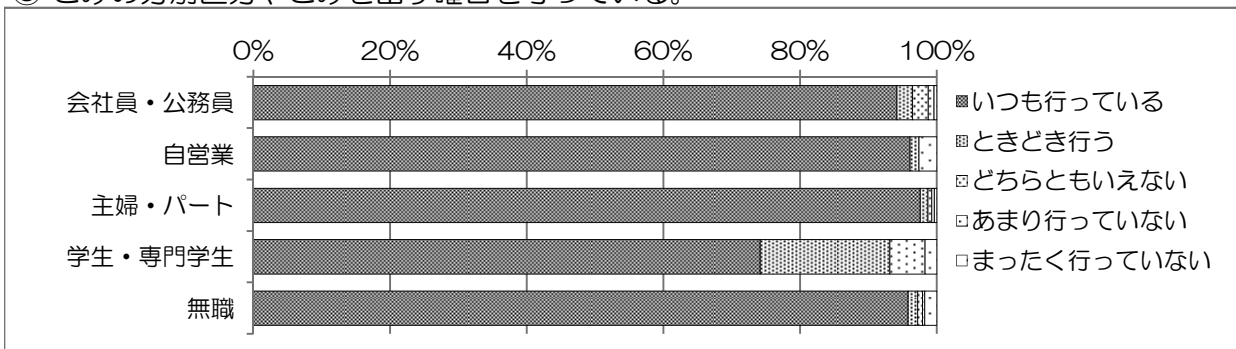
⑦ 普段使用する日用品や服などは、なるべく手入れや修理をしながら大切に使っている。



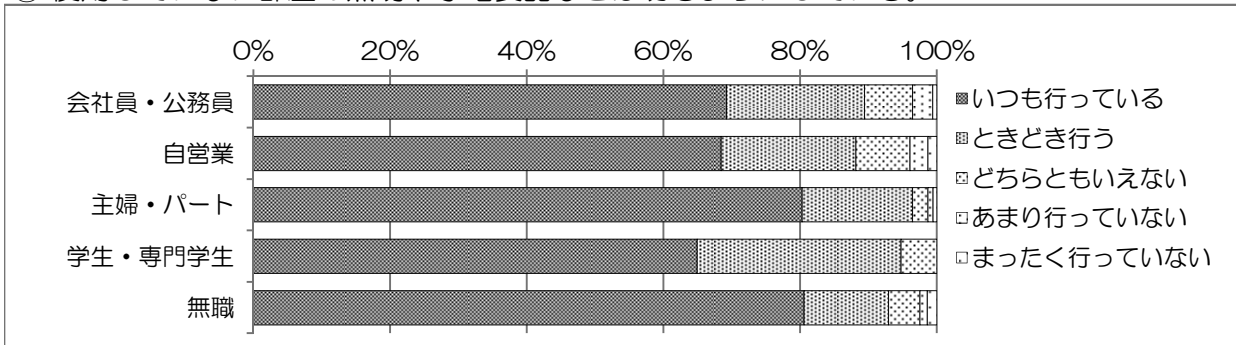
⑧ 使わなくなった日用品や服などで再利用できるものは、再利用したり、リサイクルショップへ売ったりしている。



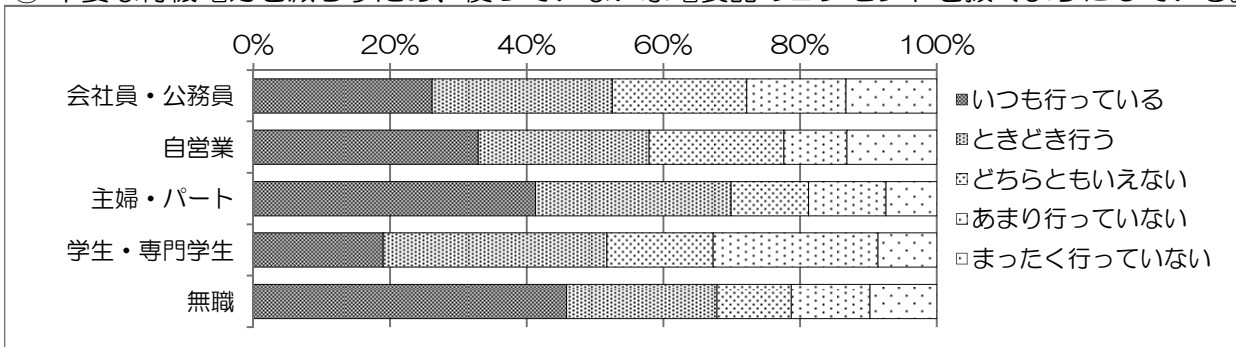
⑨ ごみの分別区分やごみを出す曜日を守っている。



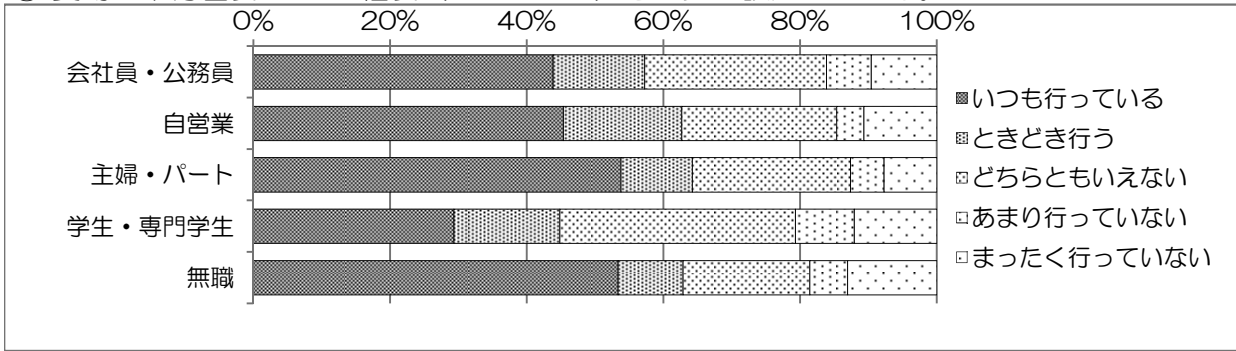
⑩ 使用していない部屋の照明や家電製品などは切るようにしている。



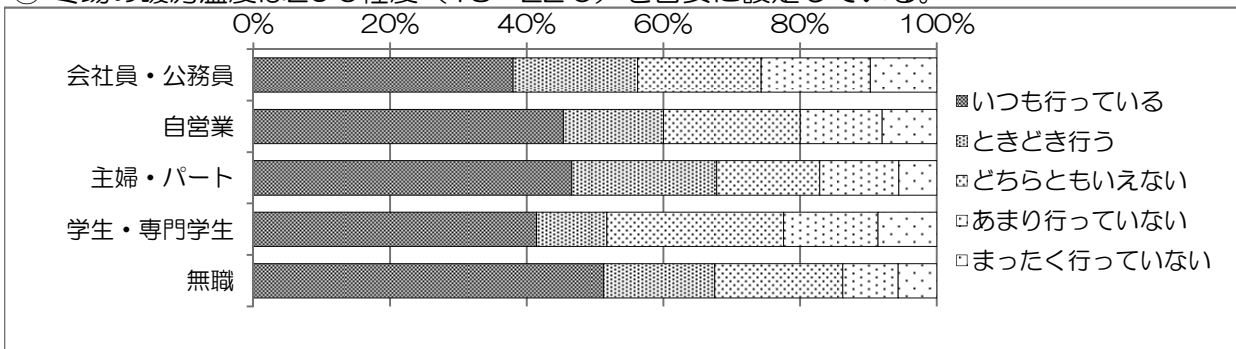
⑪ 不要な待機電力を減らすため、使っていない家電製品のコンセントを抜くようにしている。



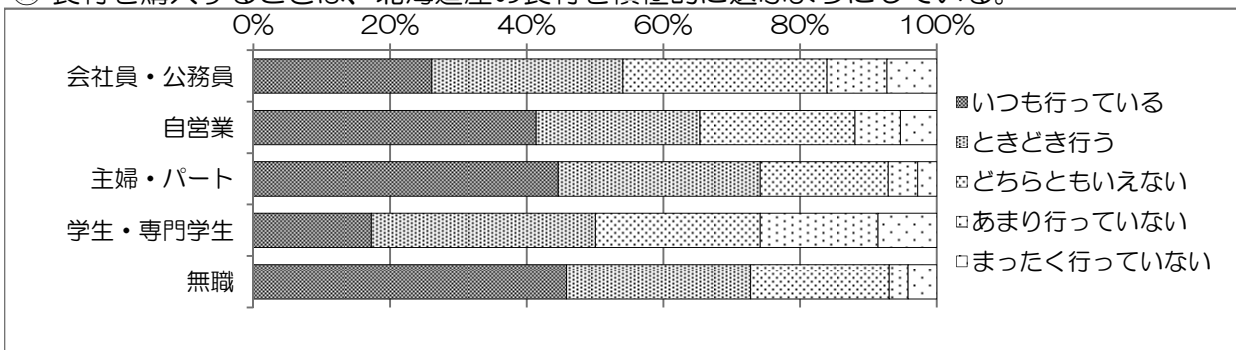
⑫ 夏場の冷房温度は28℃程度（26～30℃）を目安に設定している。



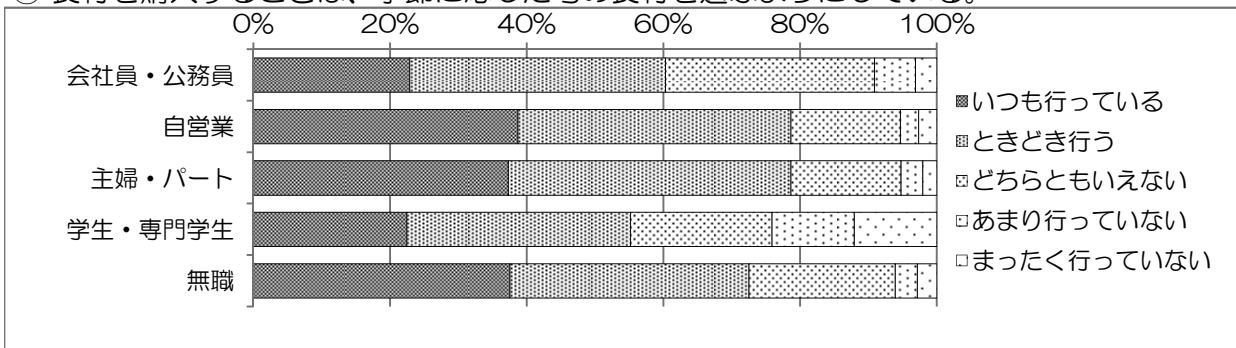
⑬ 冬場の暖房温度は20℃程度（18～22℃）を目安に設定している。



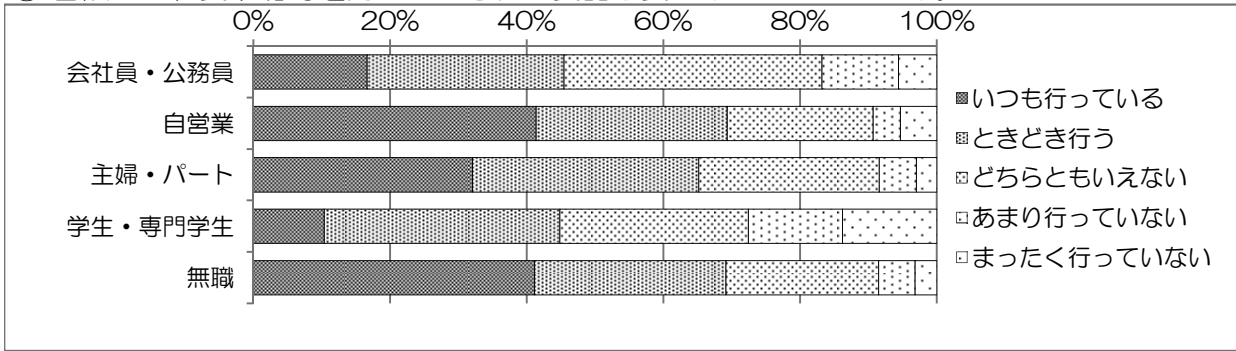
⑭ 食材を購入するときは、北海道産の食材を積極的に選ぶようにしている。



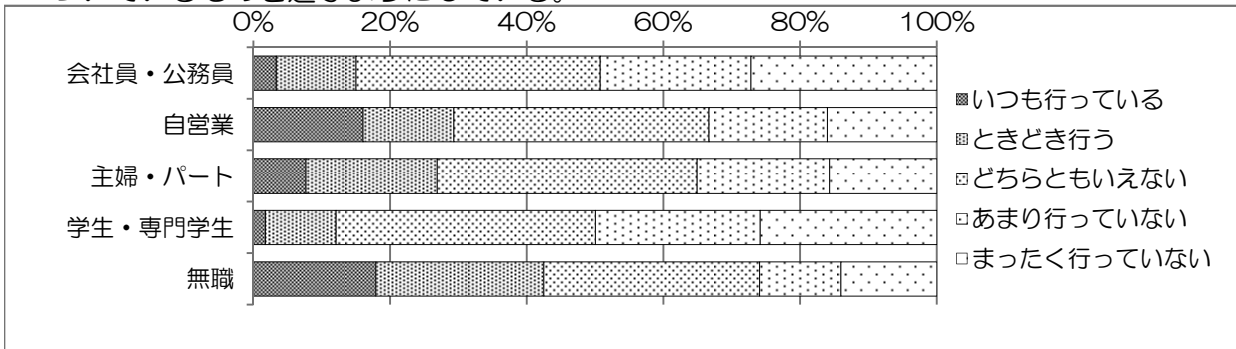
⑮ 食材を購入するときは、季節に応じた旬の食材を選ぶようにしている。



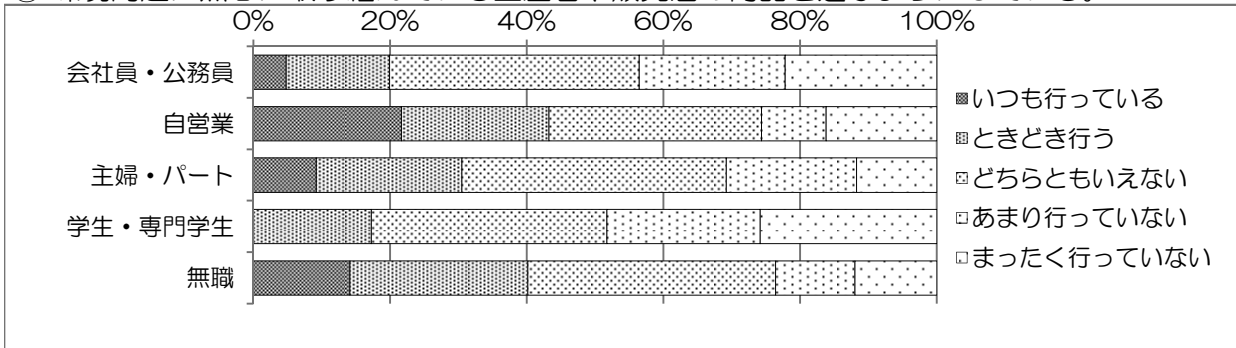
⑩ 普段から和食や北海道内で加工された食品を食べるようにしている。



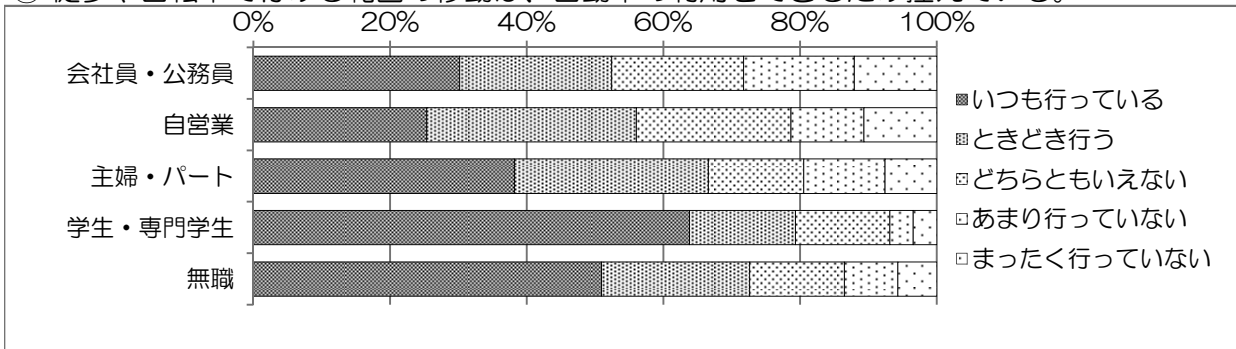
⑪ 文房具や洗剤などの日用品を購入する際は、エコマークなどの環境ラベルがついているものを選ぶようにしている。



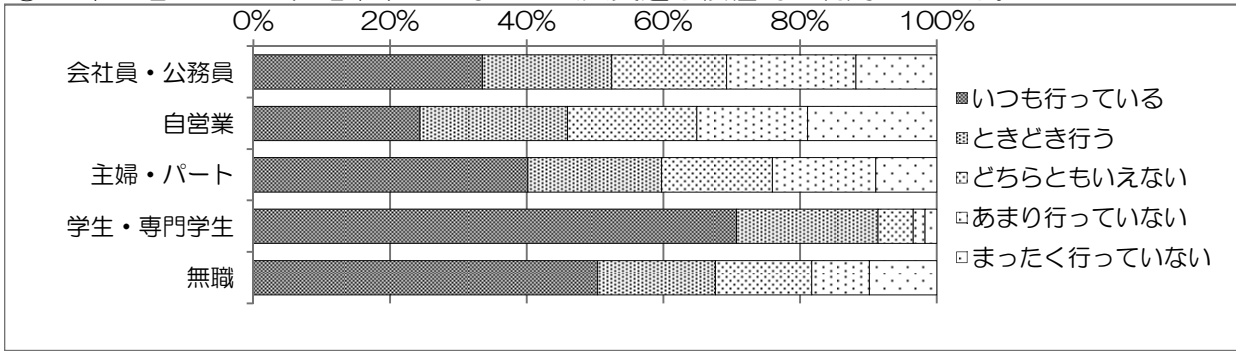
⑫ 環境問題に熱心に取り組んでいる生産者や販売店の商品を選ぶようにしている。



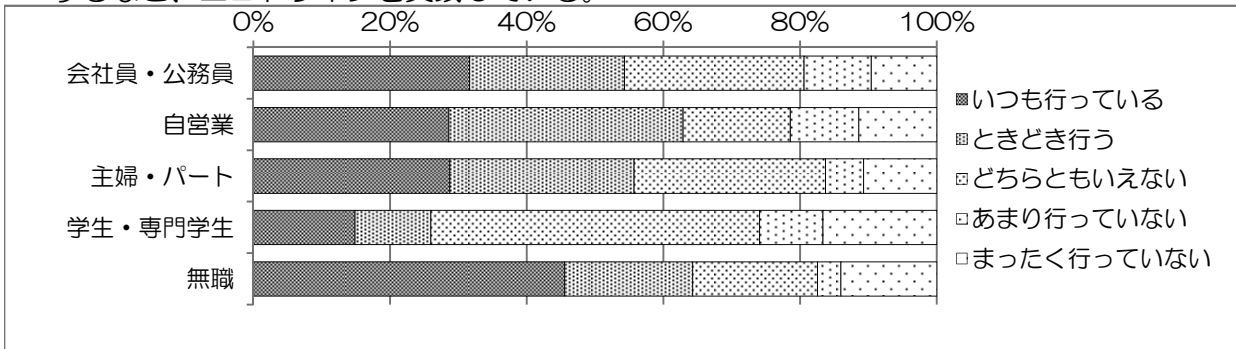
⑬ 徒歩や自転車で行ける範囲の移動は、自動車の利用をできるだけ控えている。



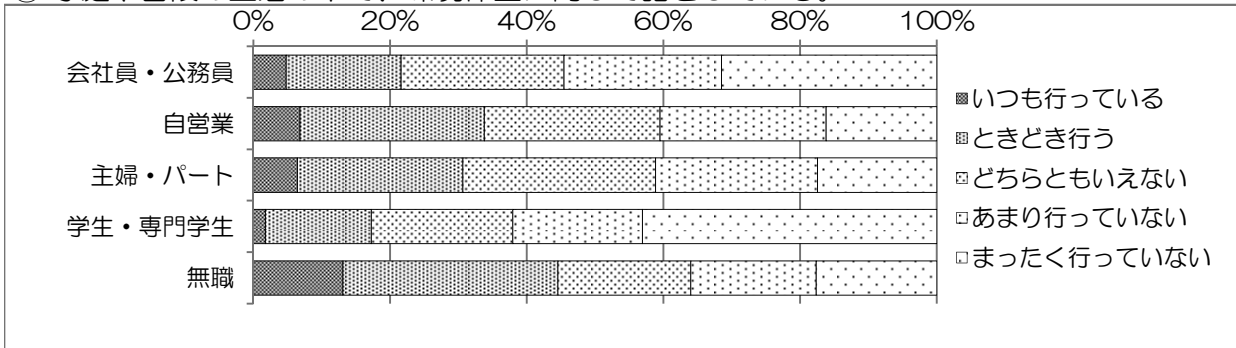
⑳ 日常生活において、電車やバスなどの公共交通を積極的に利用している。



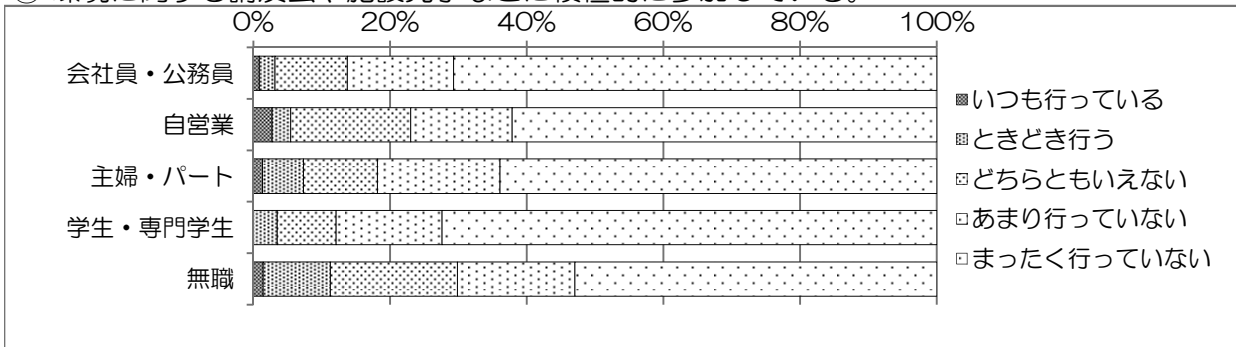
㉑ 自動車を運転する際は、アクセルをゆっくり踏んだり、アイドリングストップを行ったりするなど、エコドライブを実践している。



㉒ 家庭や普段の生活の中で、環境保全に関して話をしている。

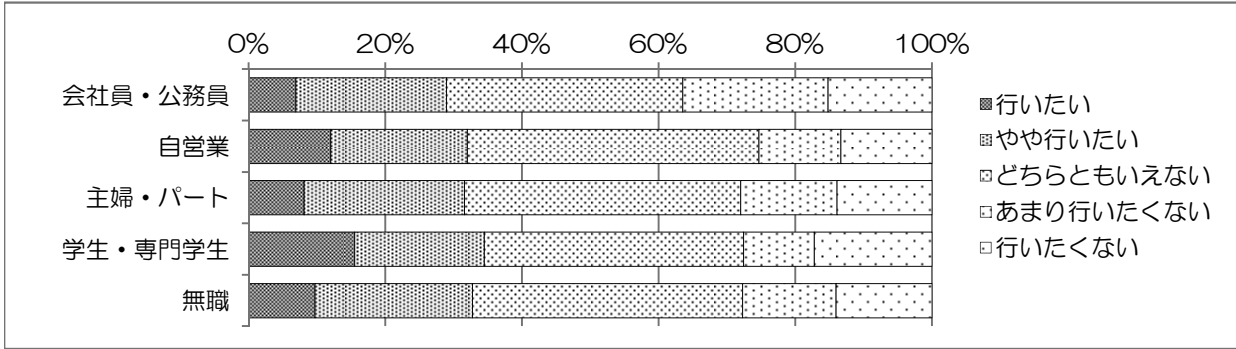


㉓ 環境に関する講演会や施設見学などに積極的に参加している。

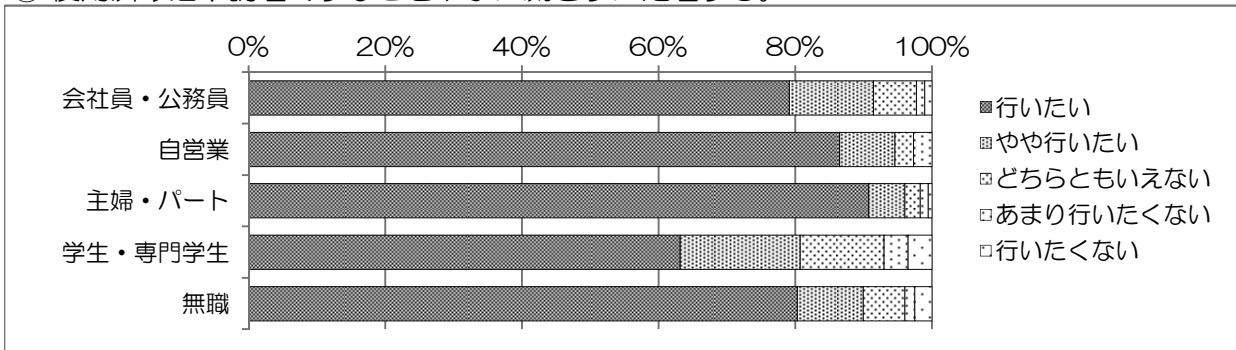


問3 行いたいと考えている環境保全行動について

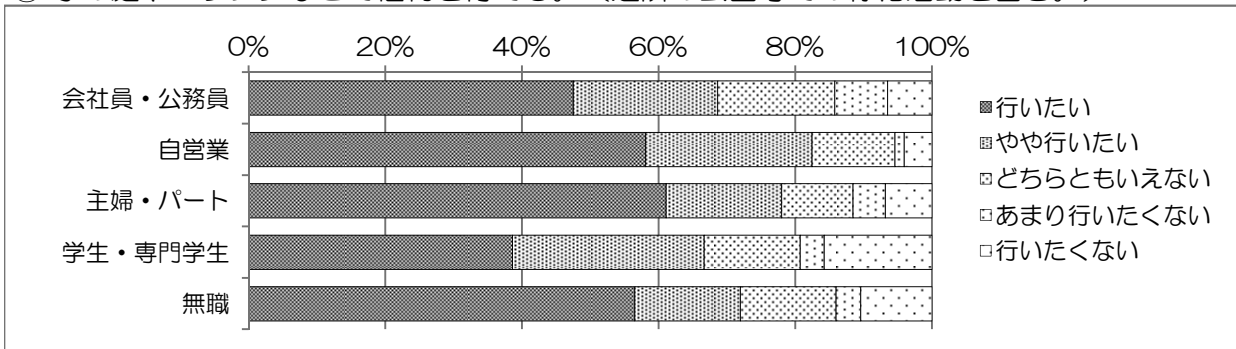
① 植樹活動や水辺の清掃活動など、自然環境を保全する活動に参加する。



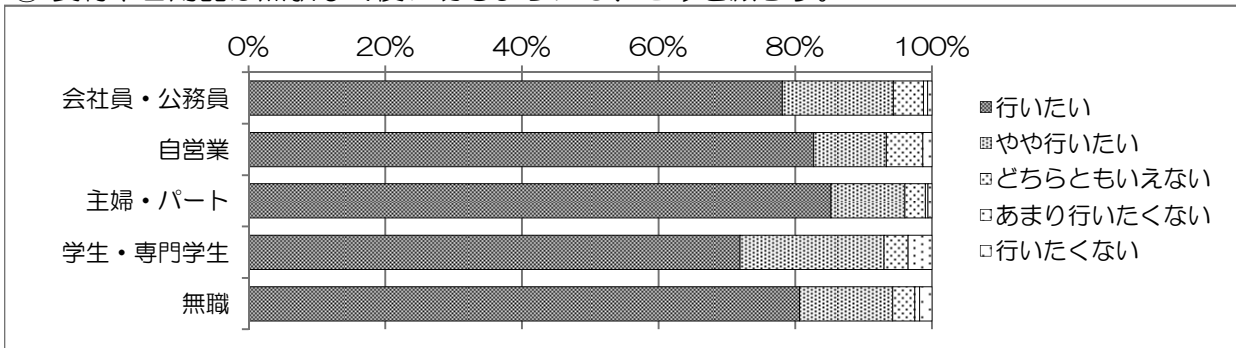
② 使用済み油や調理くずなどを下水に流さずに処理する。



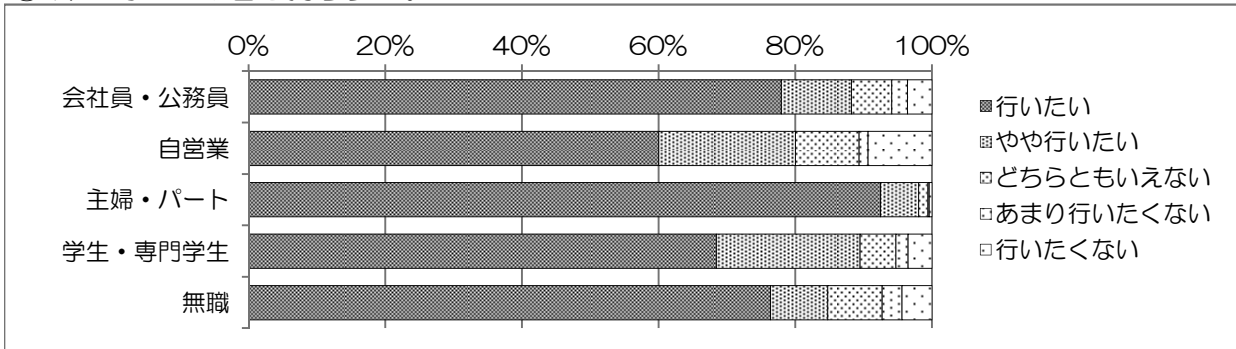
③ 家の庭やベランダなどで植物を育てる。(近隣の公園等での緑化活動を含む。)



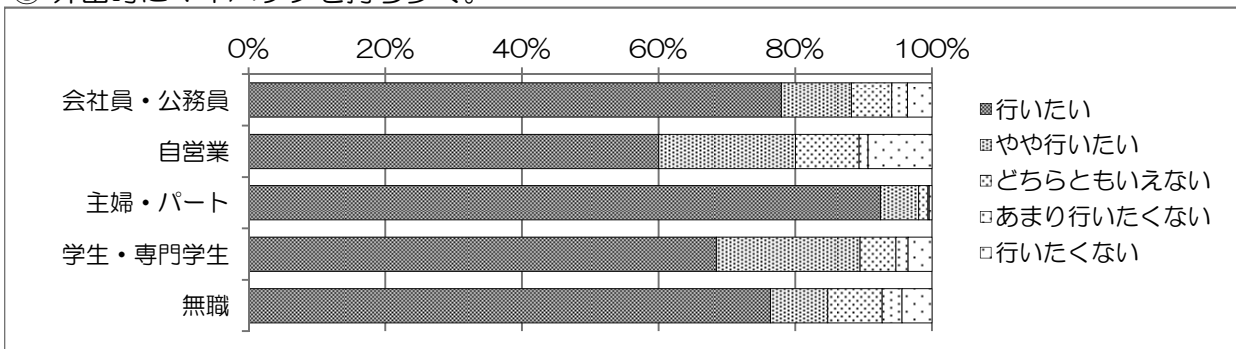
④ 食材や日用品は無駄なく使い切るようにし、ごみを減らす。



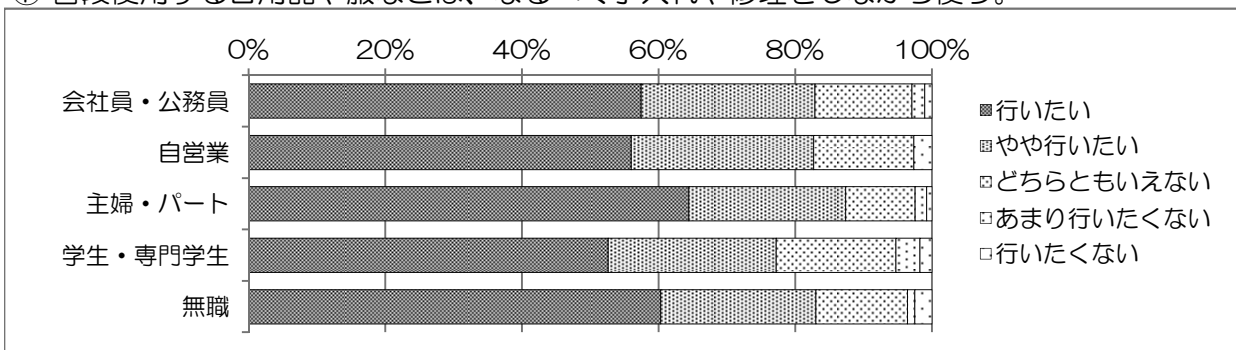
⑤ 外出時にマイ箸を持ち歩く。



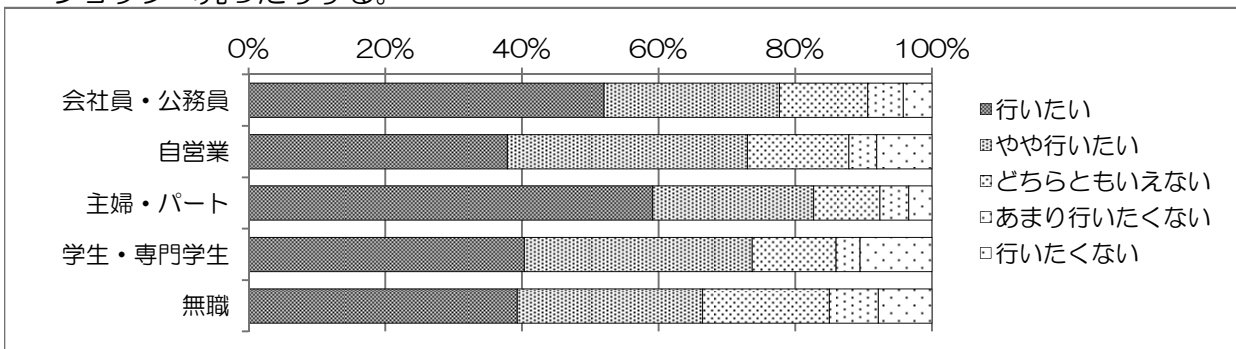
⑥ 外出時にマイバッグを持ち歩く。



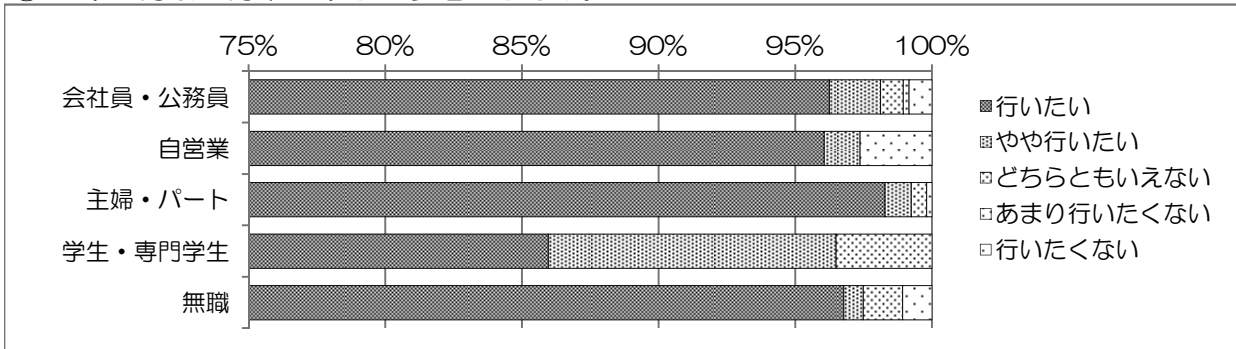
⑦ 普段使用する日用品や服などは、なるべく手入れや修理をしながら使う。



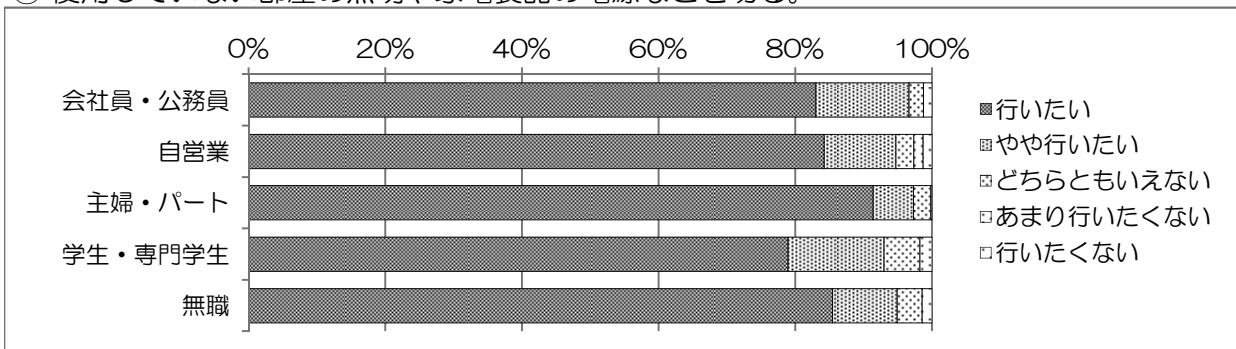
⑧ 使わなくなった日用品や服などで再利用できるものは、再利用したり、リサイクルショップへ売ったりする。



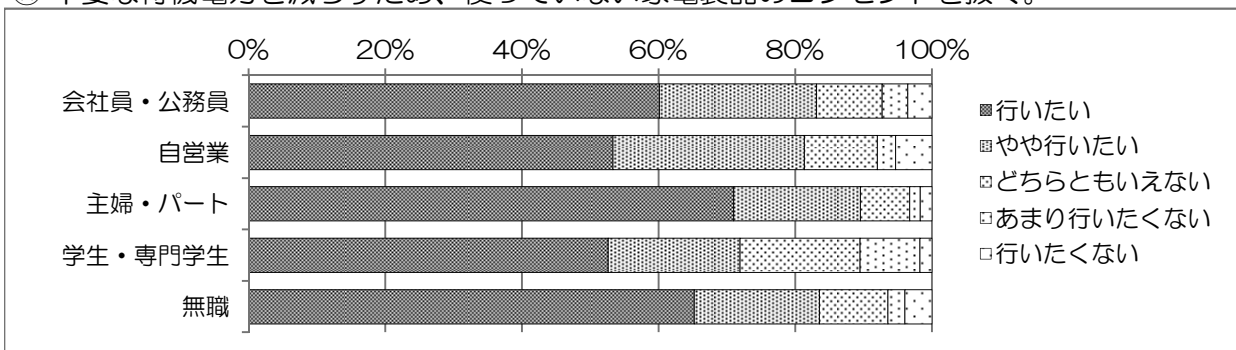
⑨ ごみの分別区分やごみを出す曜日を守る。



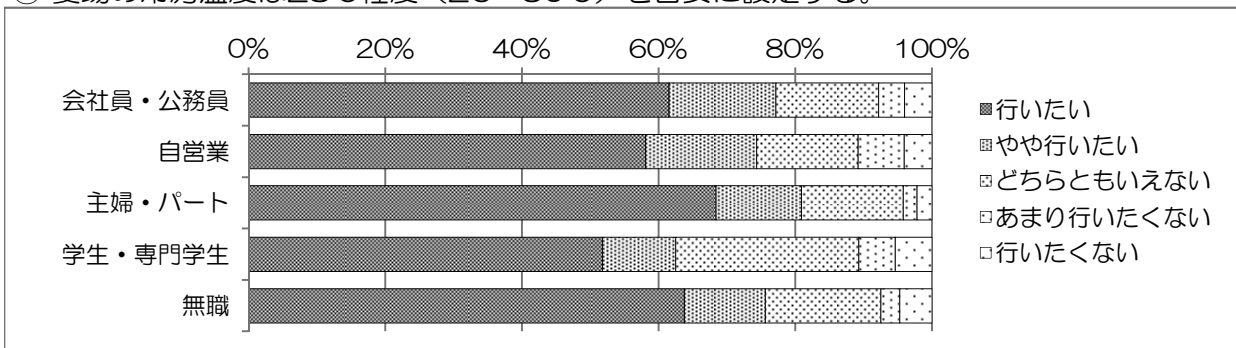
⑩ 使用していない部屋の照明や家電製品の電源などを切る。



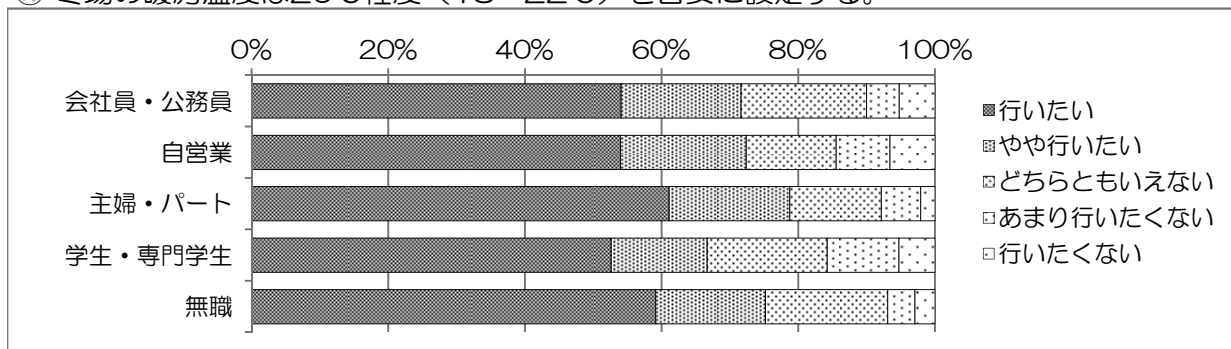
⑪ 不要な待機電力を減らすため、使っていない家電製品のコンセントを抜く。



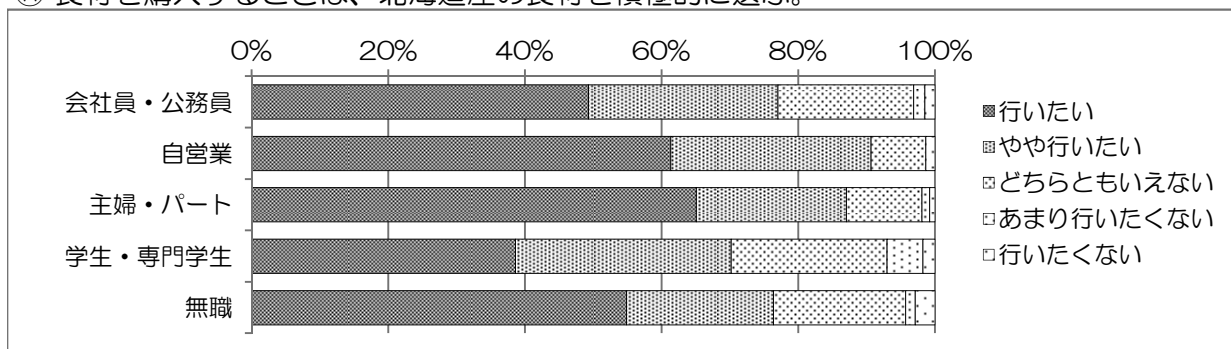
⑫ 夏場の冷房温度は28℃程度（26～30℃）を目安に設定する。



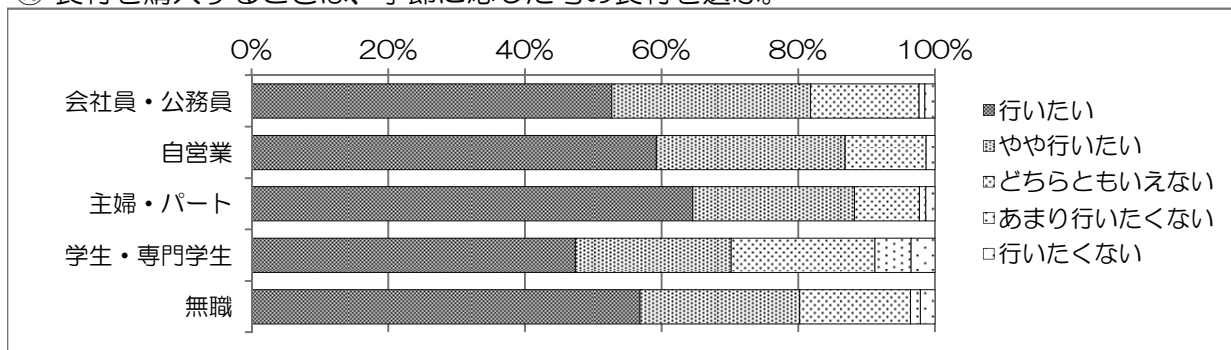
⑬ 冬場の暖房温度は20℃程度（18～22℃）を目安に設定する。



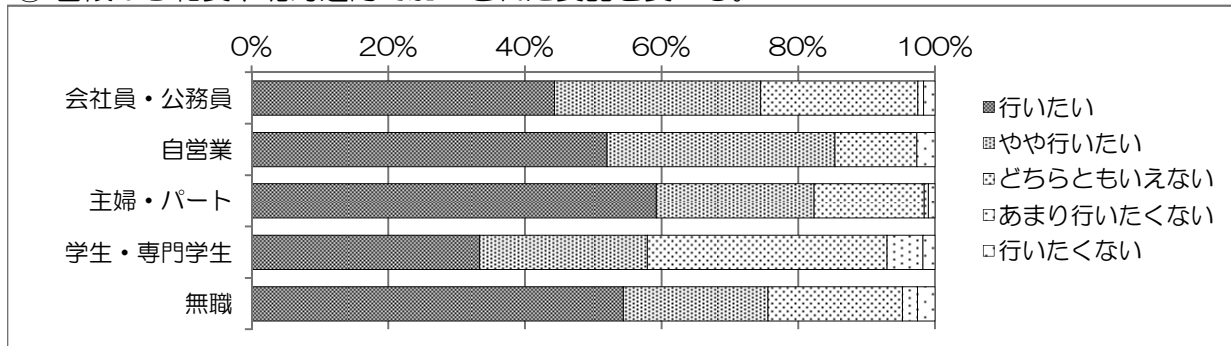
⑭ 食材を購入するときは、北海道産の食材を積極的に選ぶ。



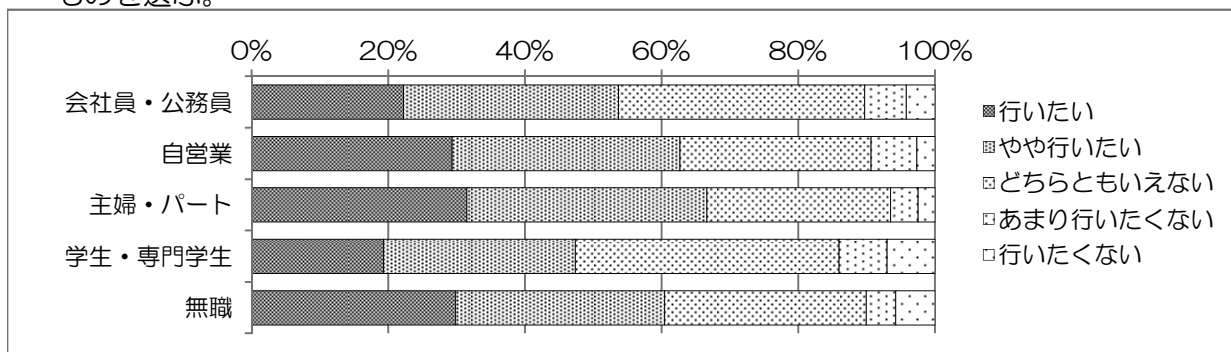
⑮ 食材を購入するときは、季節に応じた旬の食材を選ぶ。



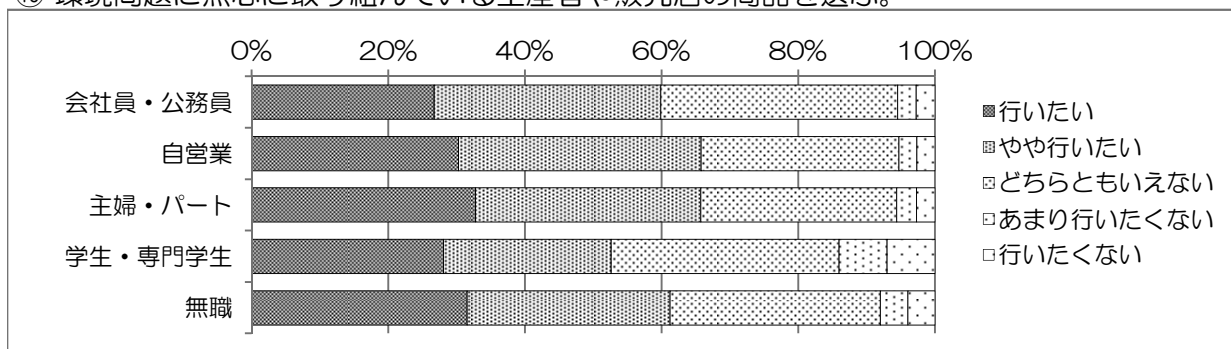
⑯ 普段から和食や北海道内で加工された食品を食べる。



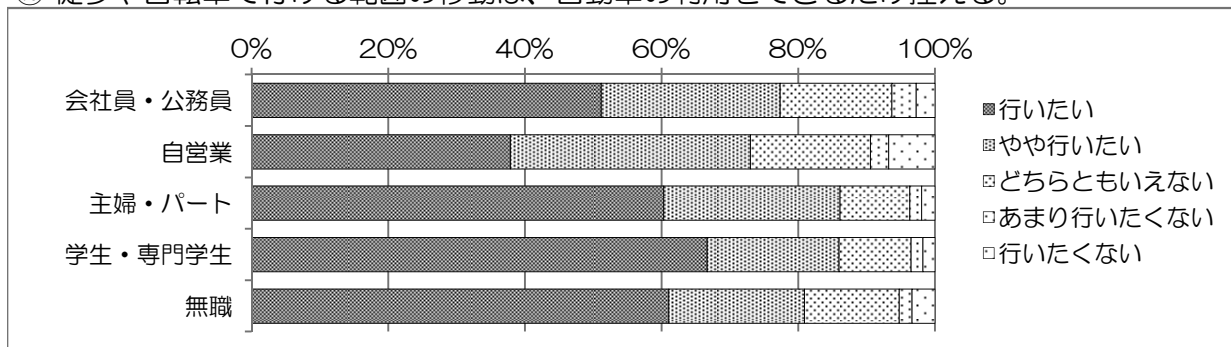
⑰ 文房具や洗剤などの日用品を購入する際は、エコマークなどの環境ラベルがついているものを選ぶ。



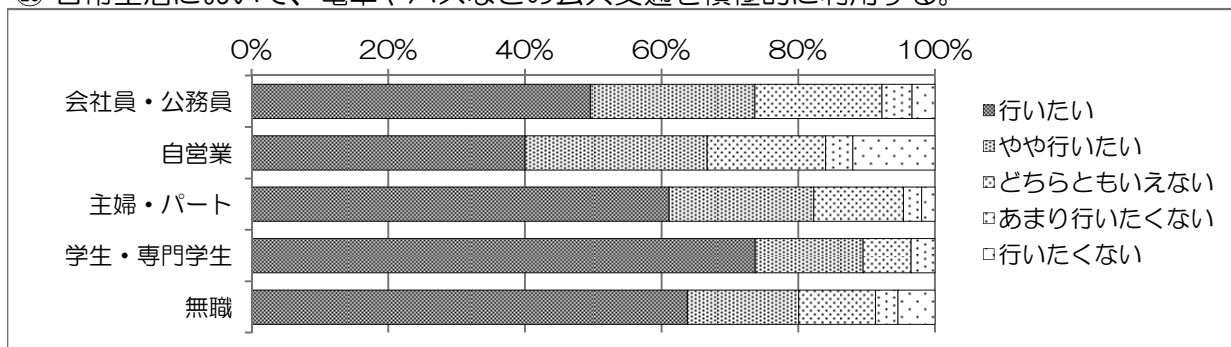
⑱ 環境問題に熱心に取り組んでいる生産者や販売店の商品を選ぶ。



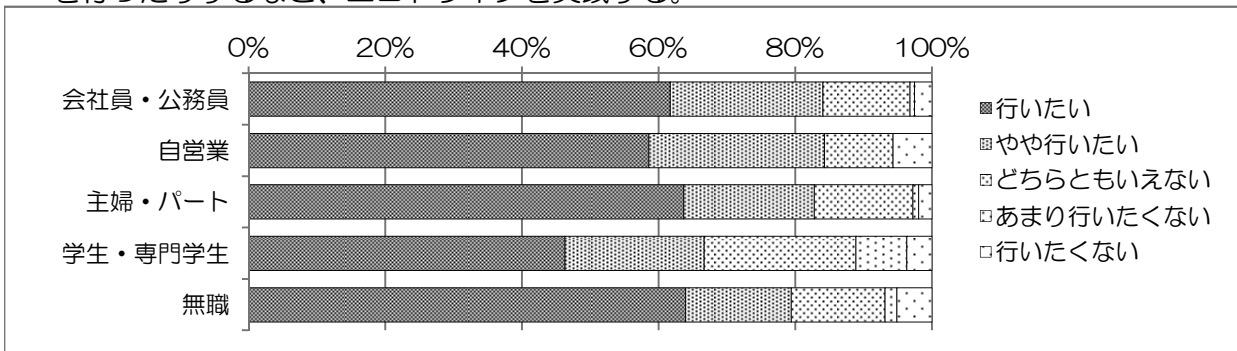
⑲ 徒歩や自転車で行ける範囲の移動は、自動車の利用をできるだけ控える。



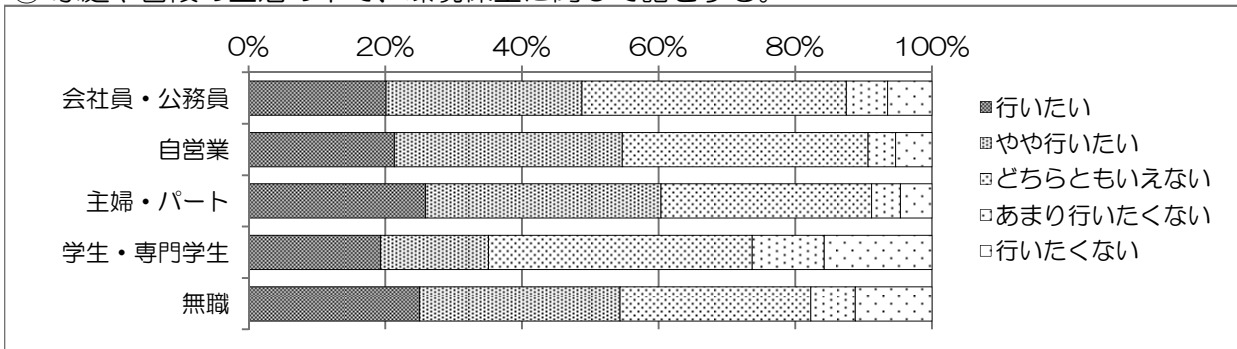
⑳ 日常生活において、電車やバスなどの公共交通を積極的に利用する。



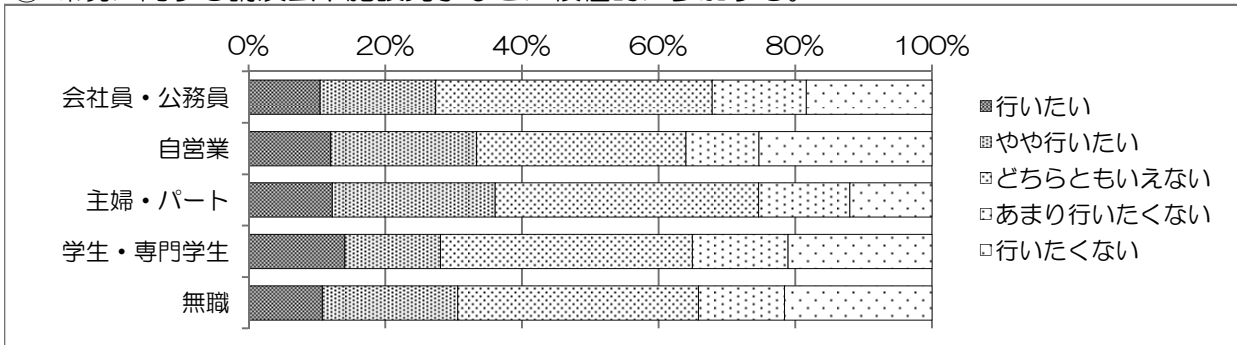
⑳ 自動車を運転する際は、アクセルをゆっくり踏んだり、アイドリングストップを行ったりするなど、エコドライブを実践する。



㉑ 家庭や普段の生活の中で、環境保全に関して話をする。

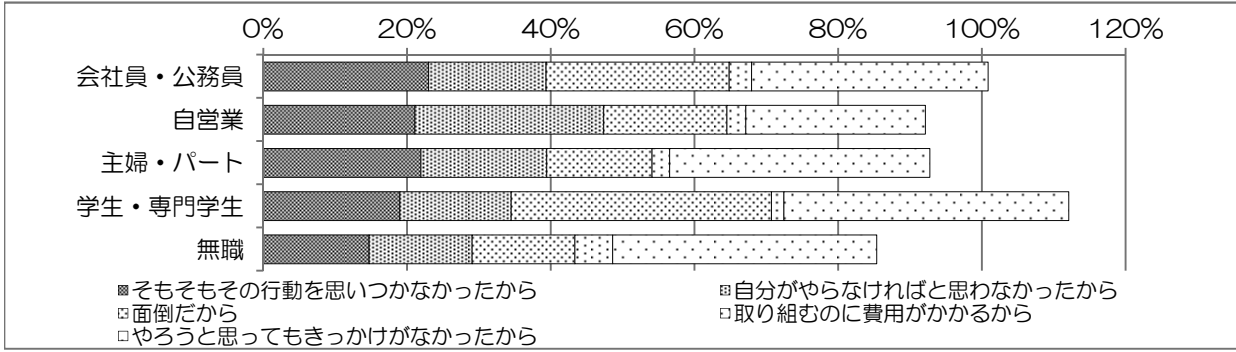


㉒ 環境に関する講演会や施設見学などに積極的に参加する。

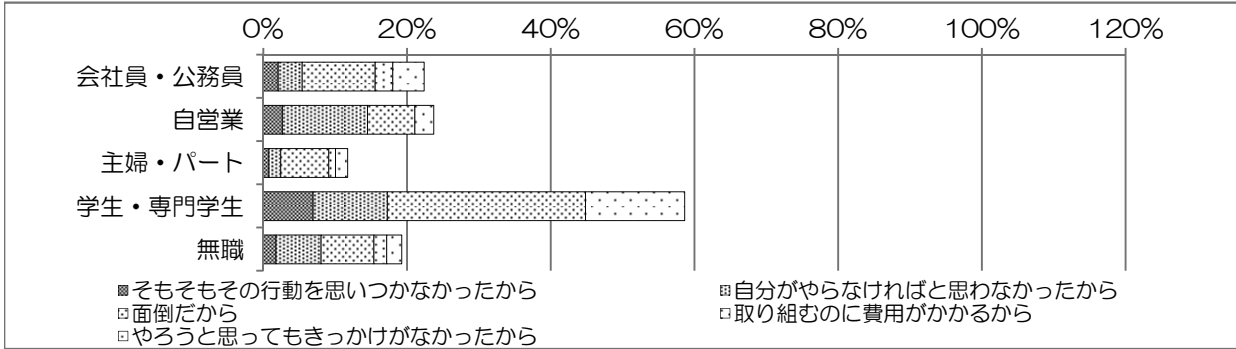


問4 環境保全行動ができない理由(複数回答)

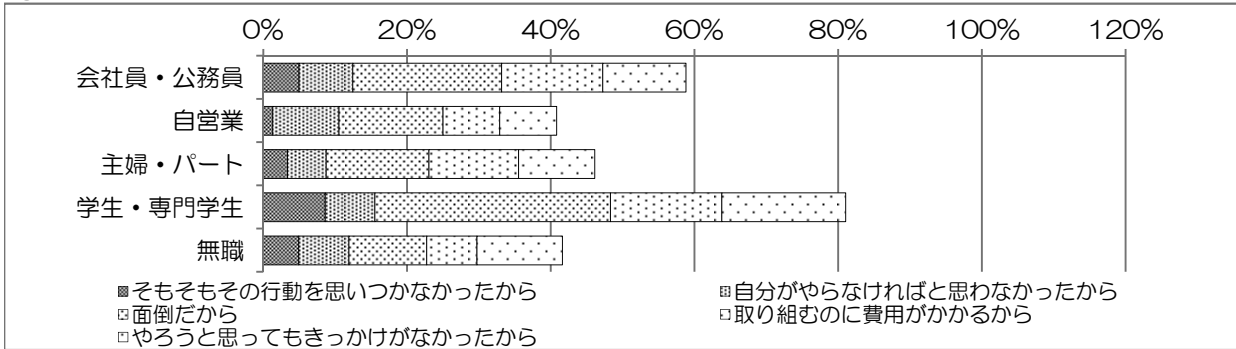
① 植樹活動や水辺の清掃活動など、自然環境を保全する活動に参加する。



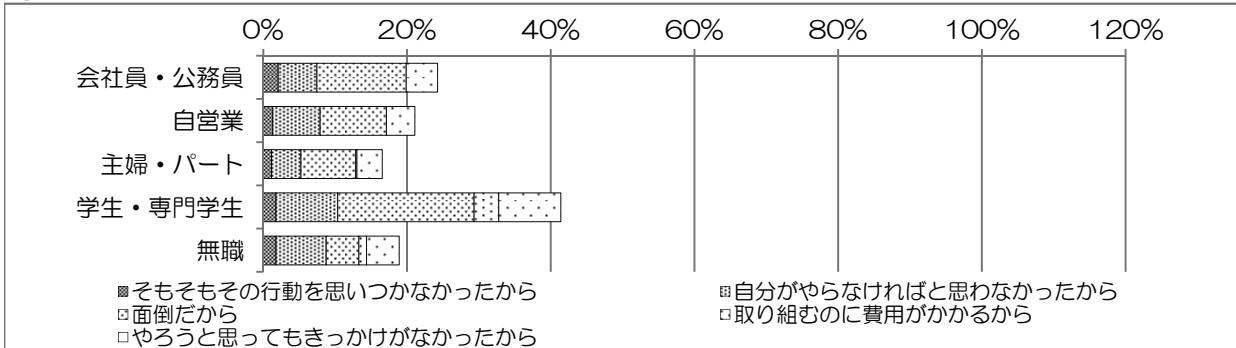
② 使用済み油や調理くずなどを下水に流さずに処理する。



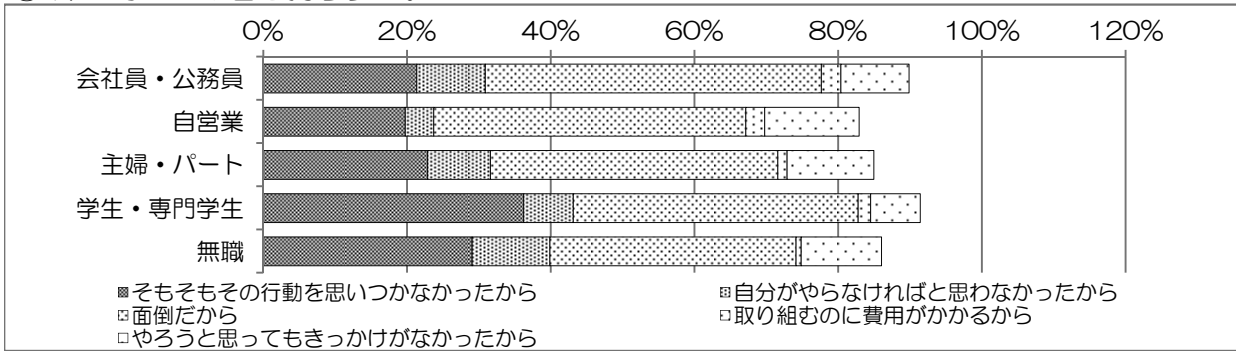
③ 家の庭やベランダなどで植物を育てる。(近隣の公園等での緑化活動を含む。)



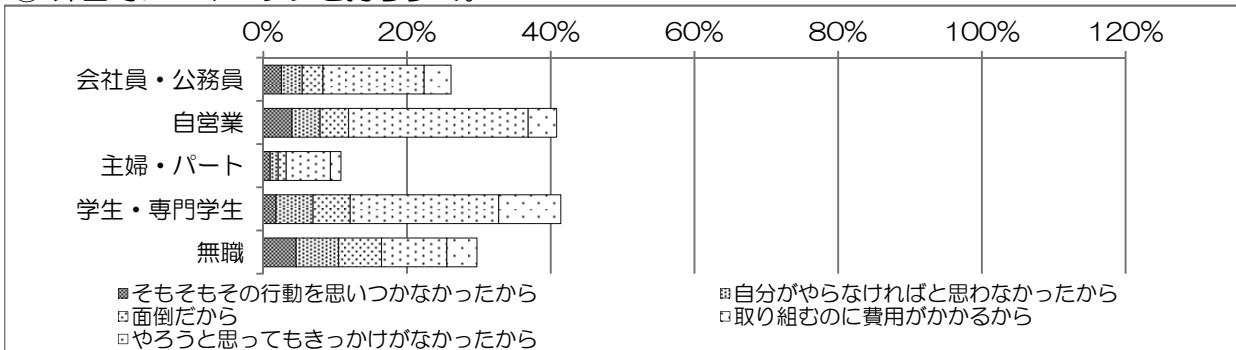
④ 食材や日用品は無駄なく使い切るようにし、ごみを減らす。



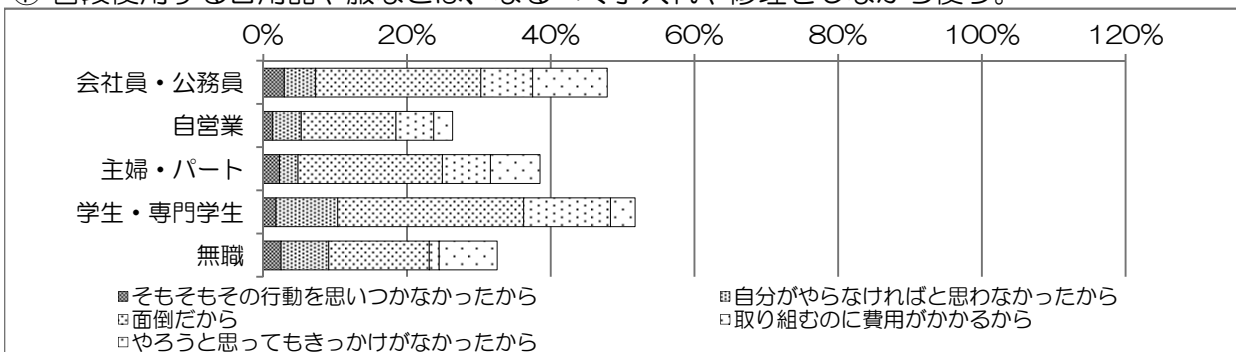
⑤ 外出時にマイ箸を持ち歩く。



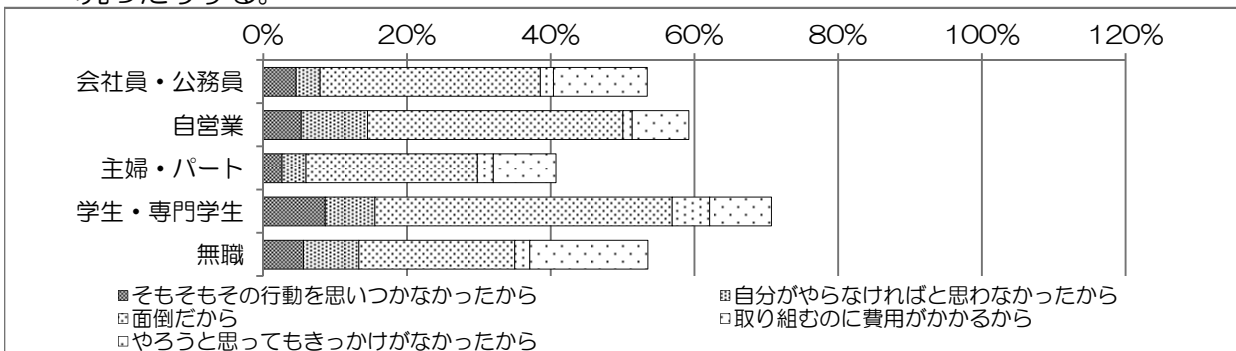
⑥ 外出時にマイバッグを持ち歩く。



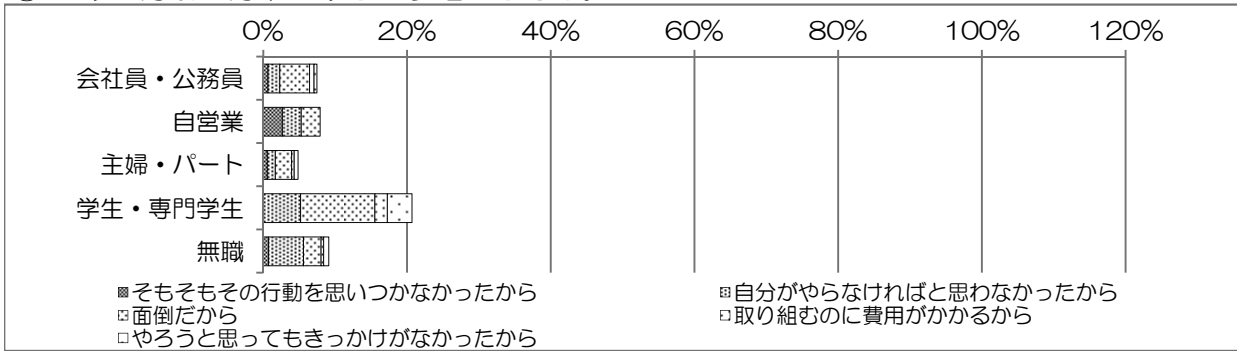
⑦ 普段使用する日用品や服などは、なるべく手入れや修理をしながら使う。



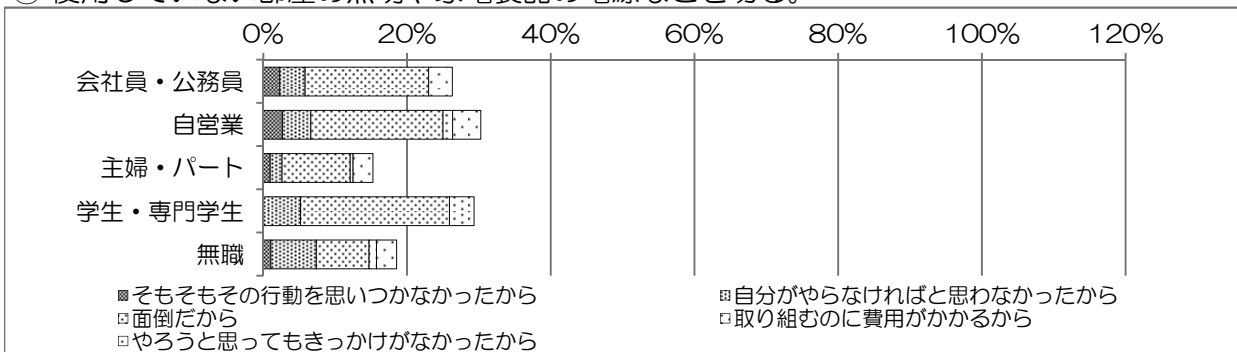
⑧ 使わなくなった日用品や服などで再利用できるものは、再利用したり、リサイクルショップへ売ったりする。



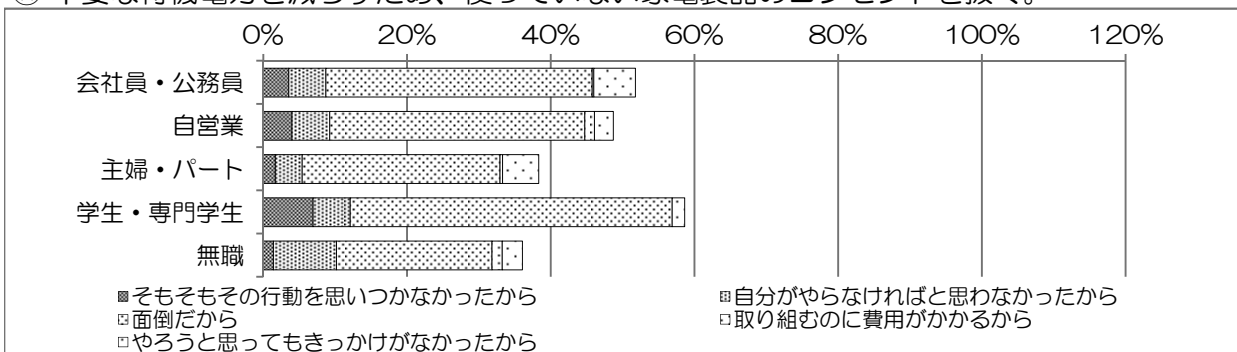
⑨ ごみの分別区分やごみを出す曜日を守る。



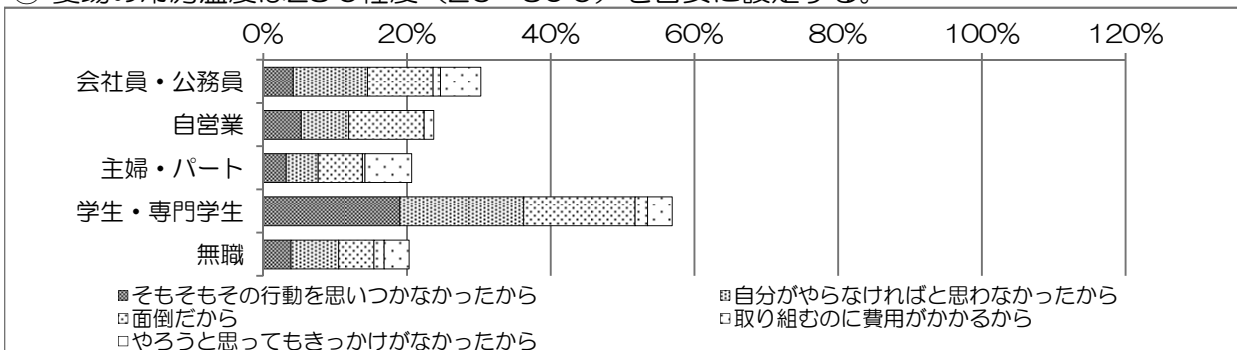
⑩ 使用していない部屋の照明や家電製品の電源などを切る。



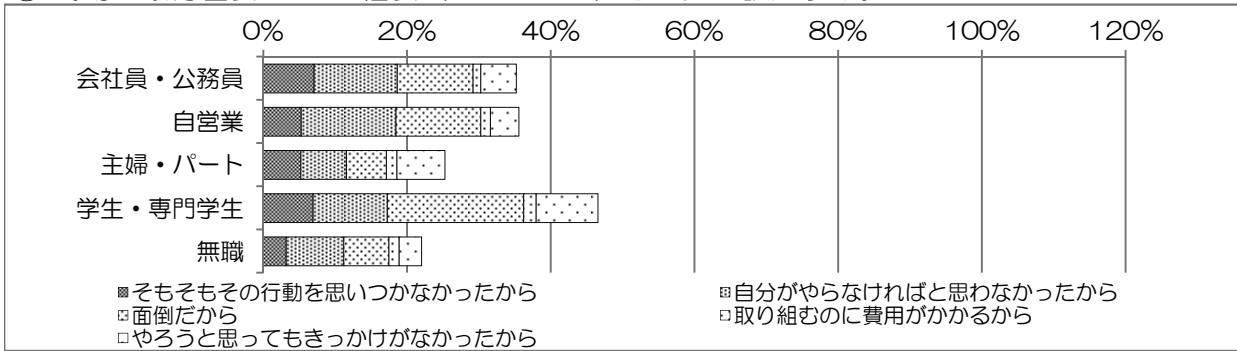
⑪ 不要な待機電力を減らすため、使っていない家電製品のコンセントを抜く。



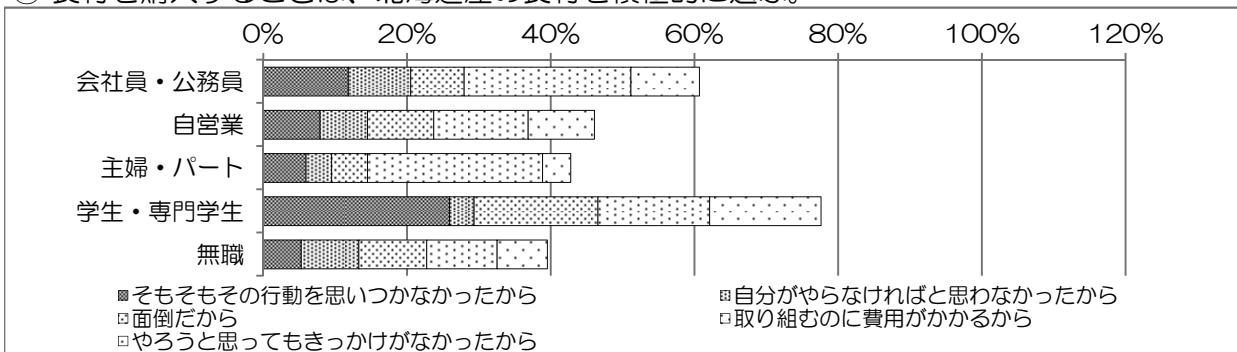
⑫ 夏場の冷房温度は28℃程度（26～30℃）を目安に設定する。



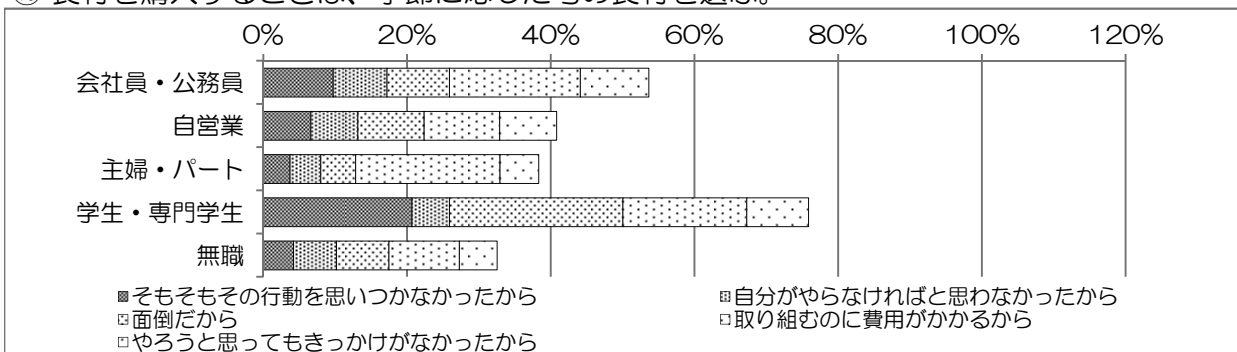
⑬ 冬場の暖房温度は20℃程度（18～22℃）を目安に設定する。



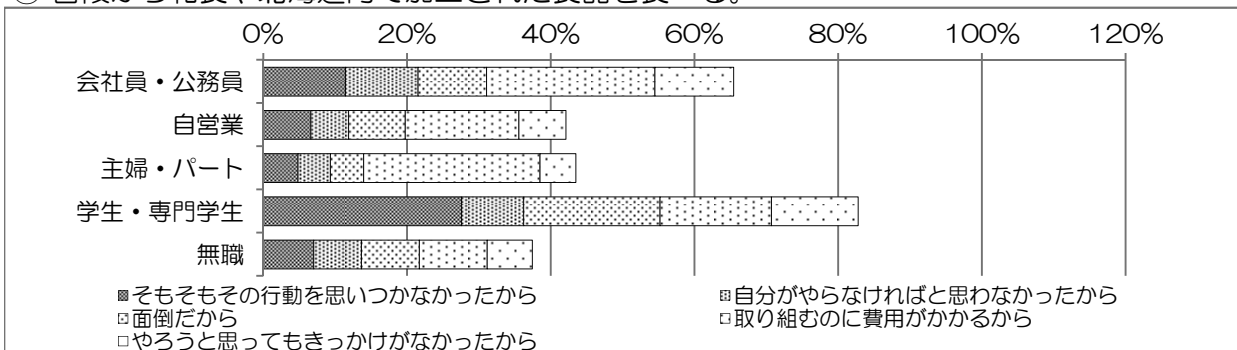
⑭ 食材を購入するときは、北海道産の食材を積極的に選ぶ。



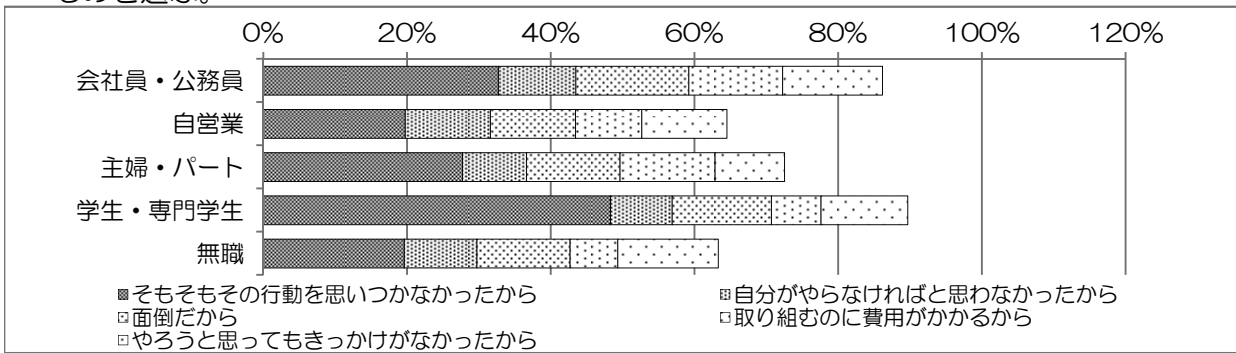
⑮ 食材を購入するときは、季節に応じた旬の食材を選ぶ。



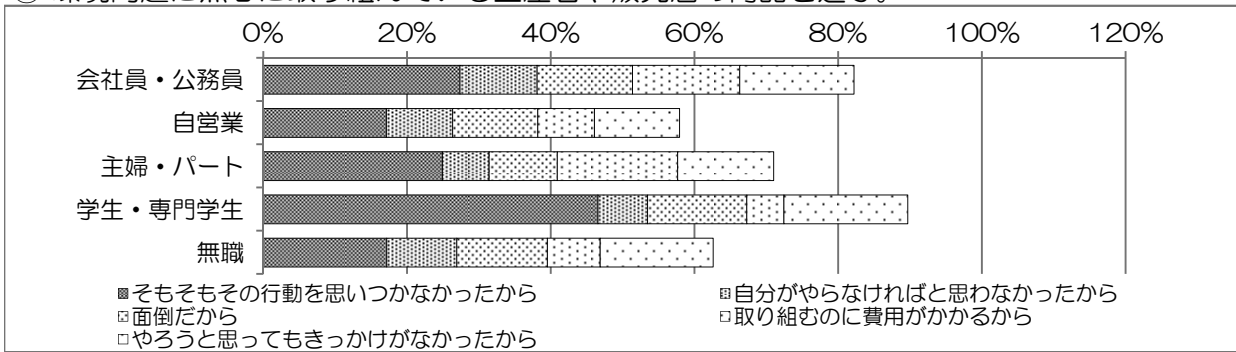
⑯ 普段から和食や北海道内で加工された食品を食べる。



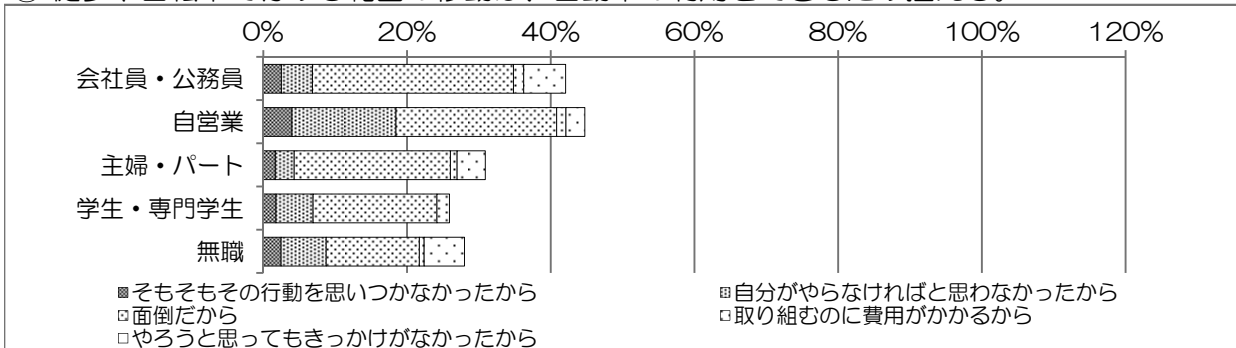
⑰ 文房具や洗剤などの日用品を購入する際は、エコマークなどの環境ラベルがついているものを選ぶ。



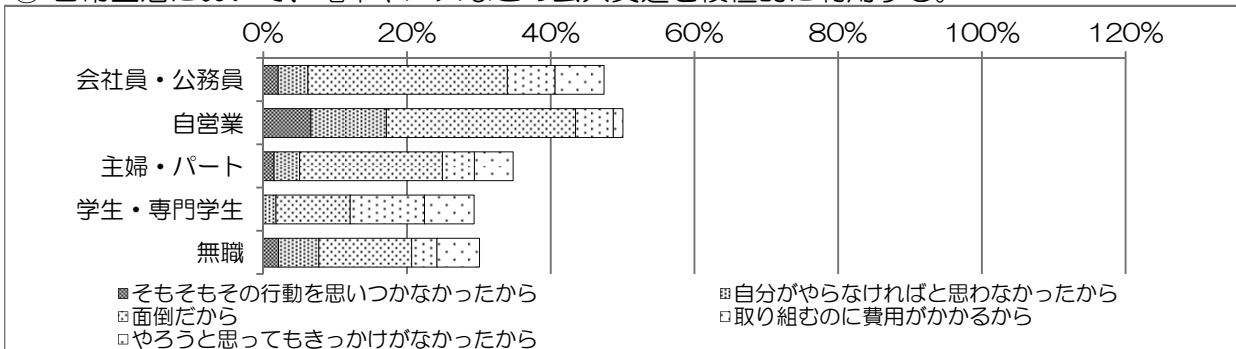
⑱ 環境問題に熱心に取り組んでいる生産者や販売店の商品を選ぶ。



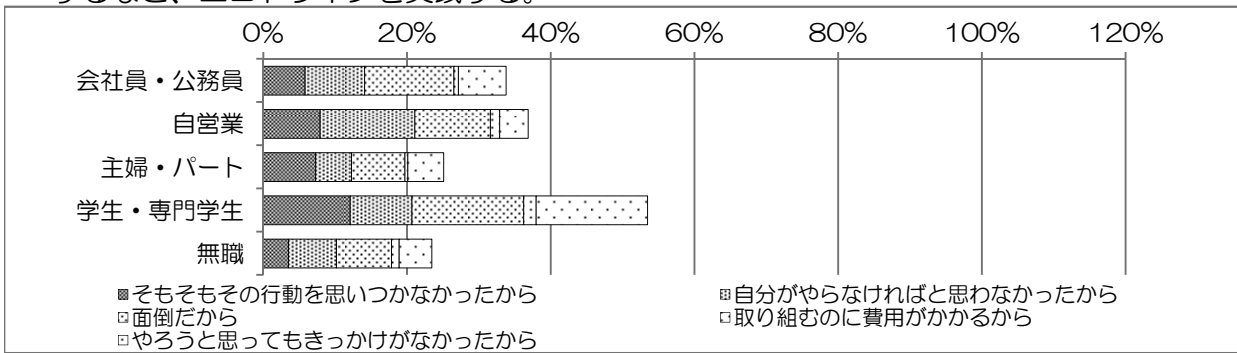
⑲ 徒歩や自転車で行ける範囲の移動は、自動車の利用をできるだけ控える。



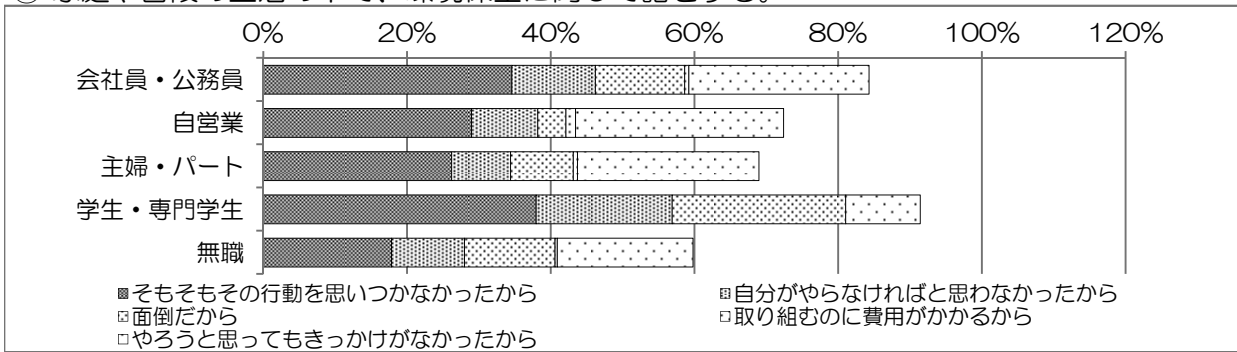
⑳ 日常生活において、電車やバスなどの公共交通を積極的に利用する。



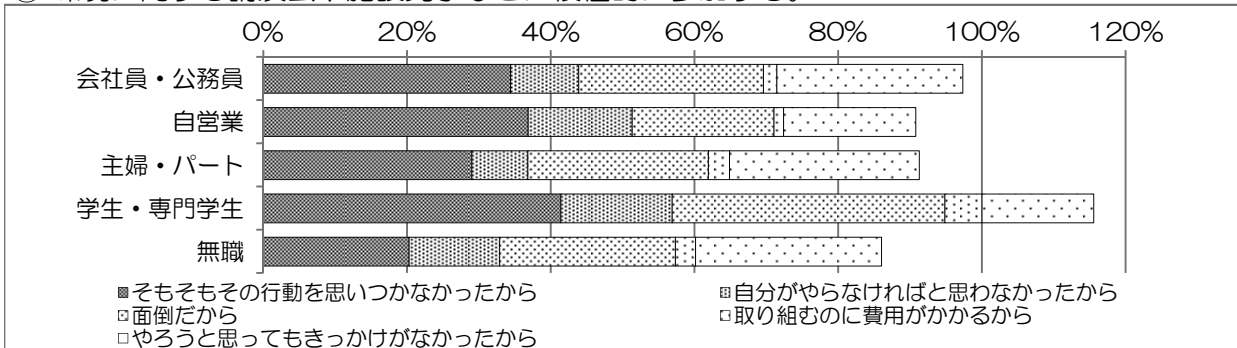
⑳ 自動車を運転する際は、アクセルをゆっくり踏んだり、アイドリングストップを行ったりするなど、エコドライブを実践する。



㉑ 家庭や普段の生活の中で、環境保全に関して話をする。

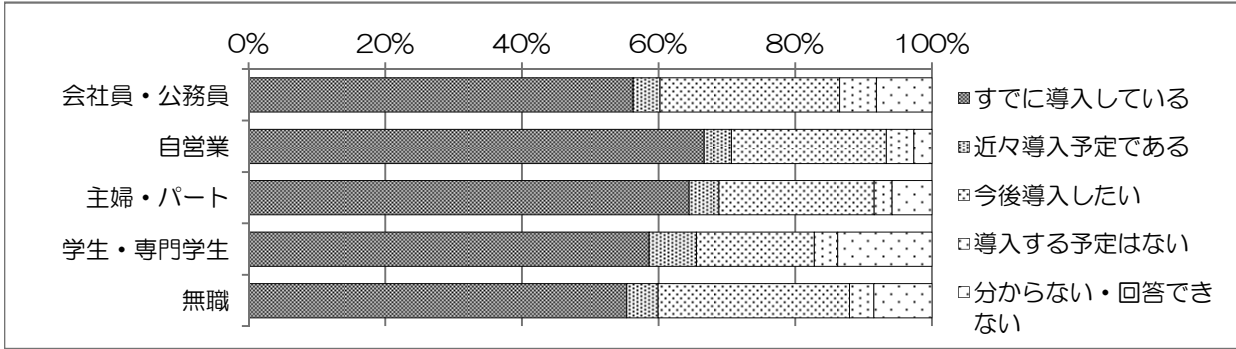


㉒ 環境に関する講演会や施設見学などに積極的に参加する。

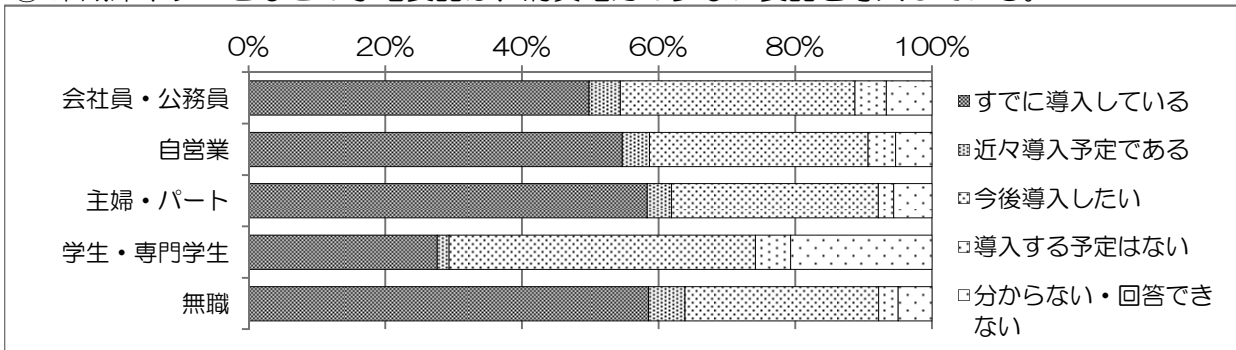


問5 製品等の導入についての状況

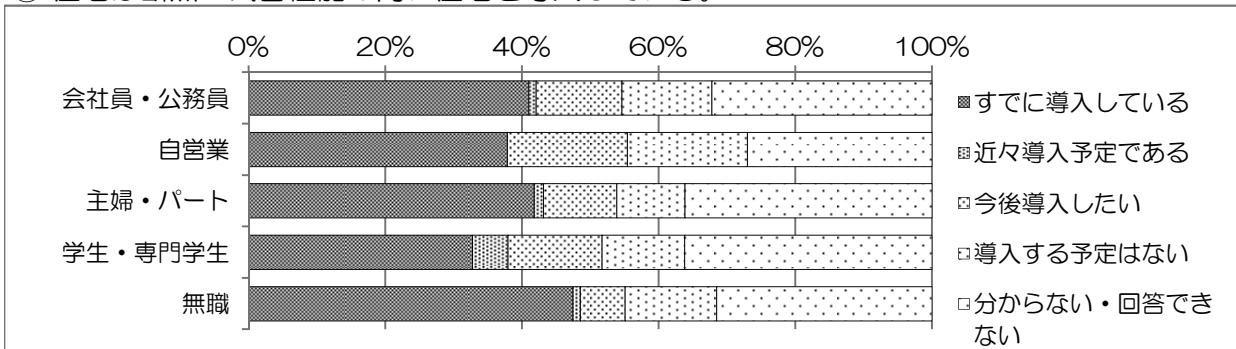
① 照明器具は、LEDや蛍光灯型など、省エネルギーの製品を導入している。



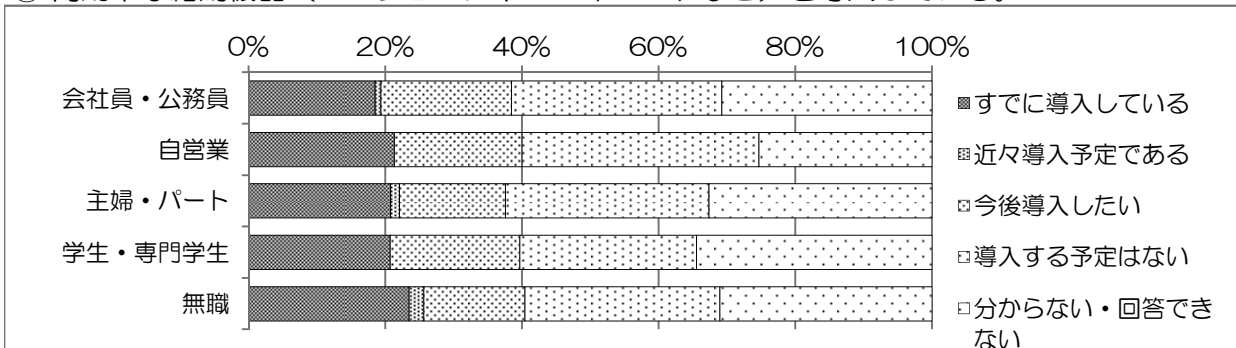
② 冷蔵庫やテレビなどの家電製品は、消費電力の少ない製品を導入している。



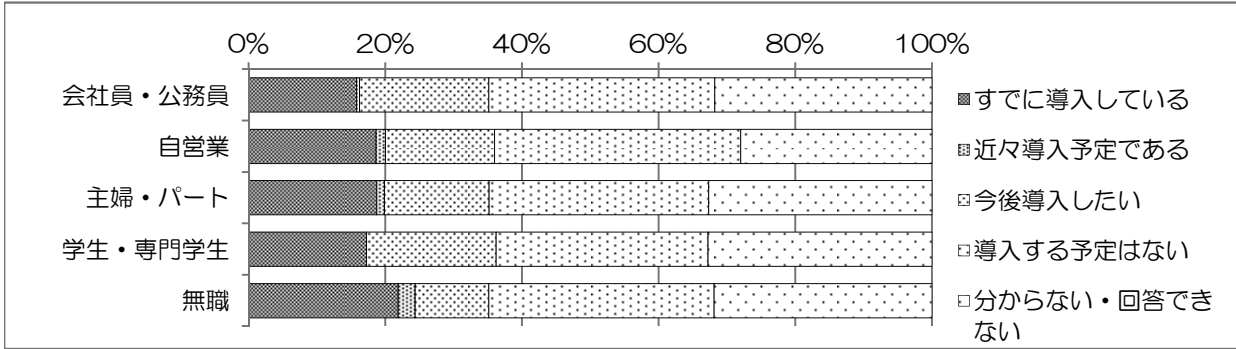
③ 住宅は断熱・気密性能の高い住宅を導入している。



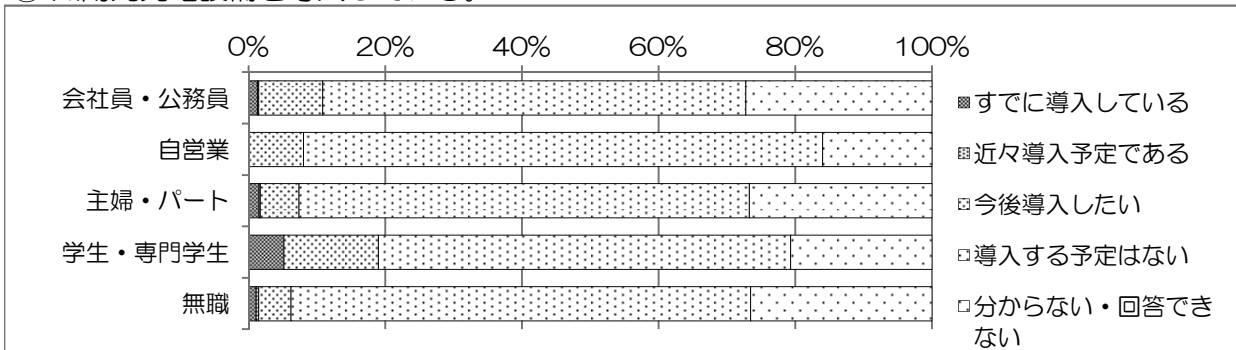
④ 高効率な給湯機器（エコジョーズやエコキュートなど）を導入している。



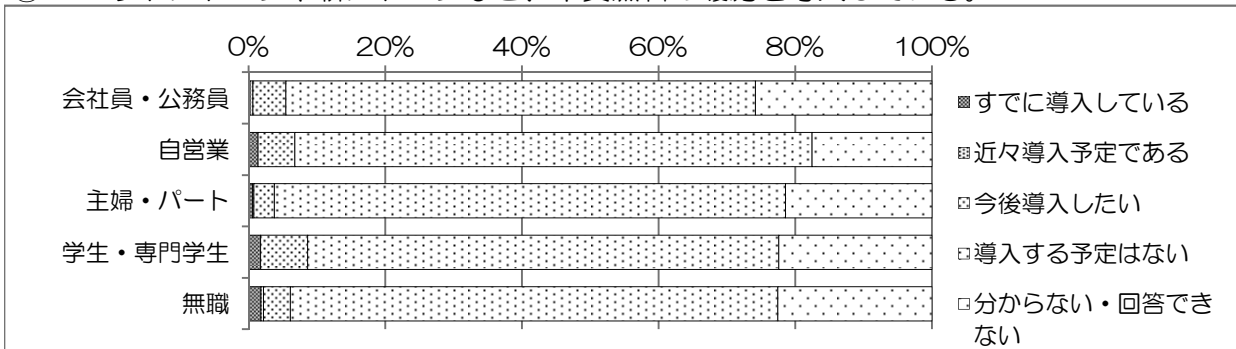
⑤ 高効率な暖房機器（エコジョーズやヒートポンプ暖房システムなど）を導入している。



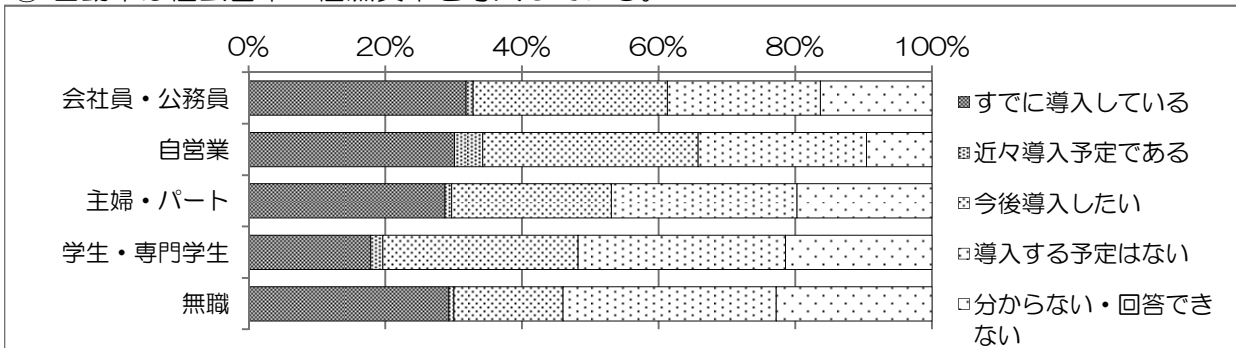
⑥ 太陽光発電設備を導入している。



⑦ ペレットストーブや薪ストーブなど、木質燃料の暖房を導入している。

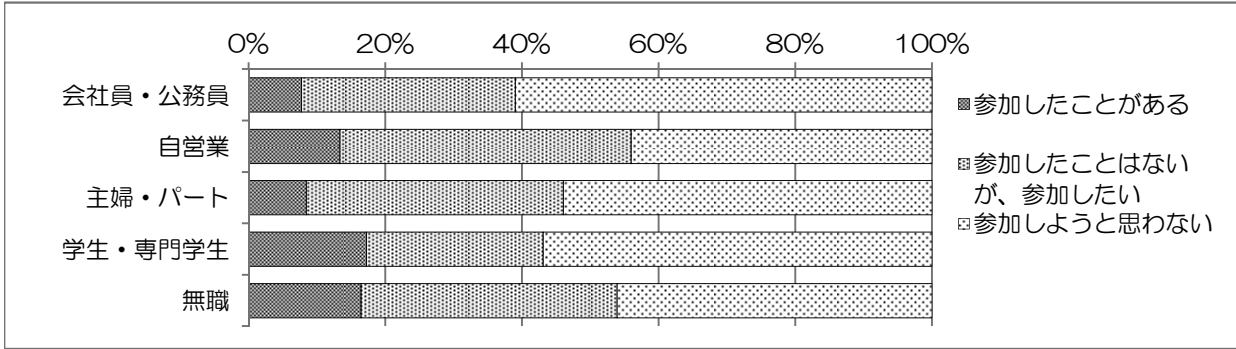


⑧ 自動車は低公害車・低燃費車を導入している。

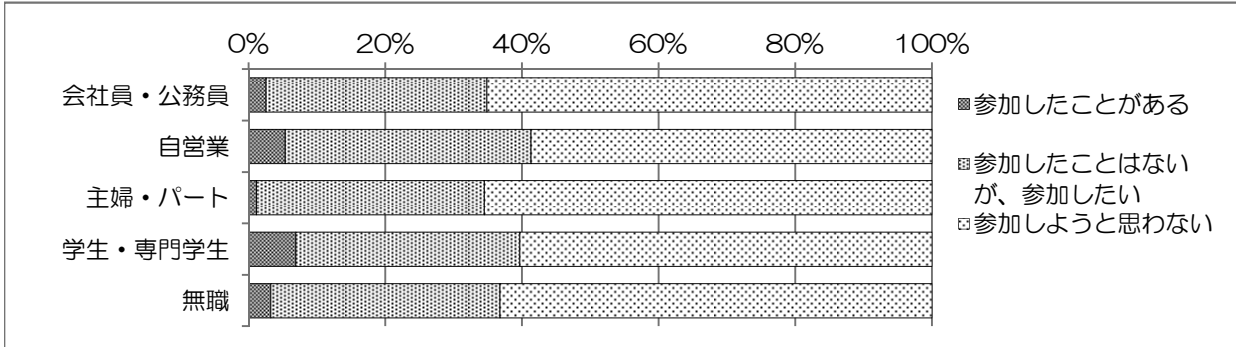


問6 イベント等への参加状況

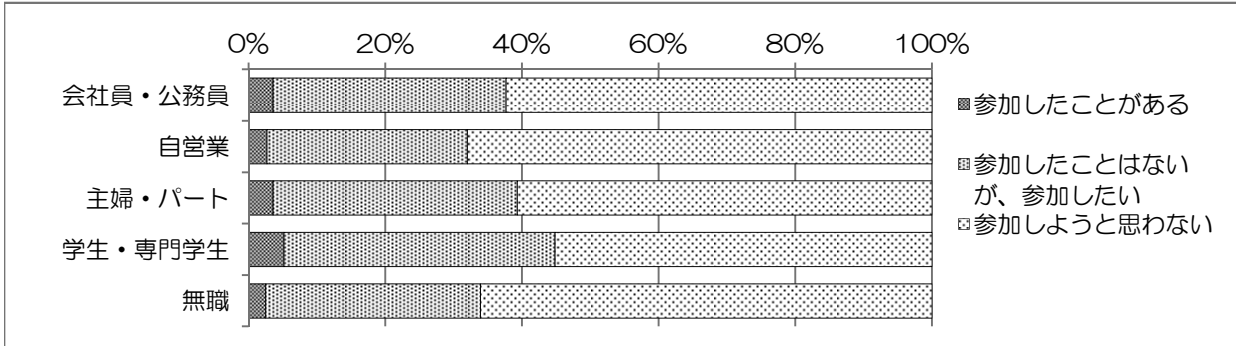
① 地域で行われている環境保全活動に関するイベントへの参加



② 環境をテーマとする国際交流や国際協力などのイベントへの参加

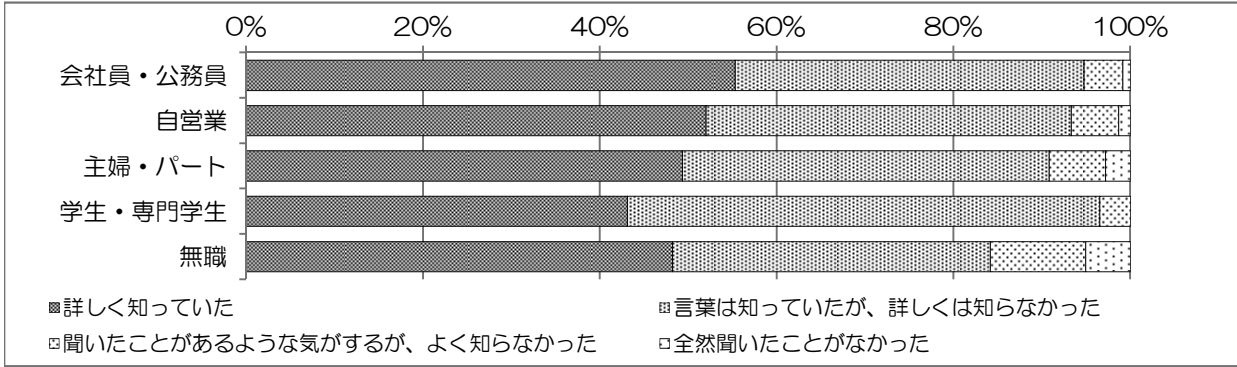


③ “さっぽろ雪まつり”などの札幌市で行われているイベントでの環境対策の情報発信への参加

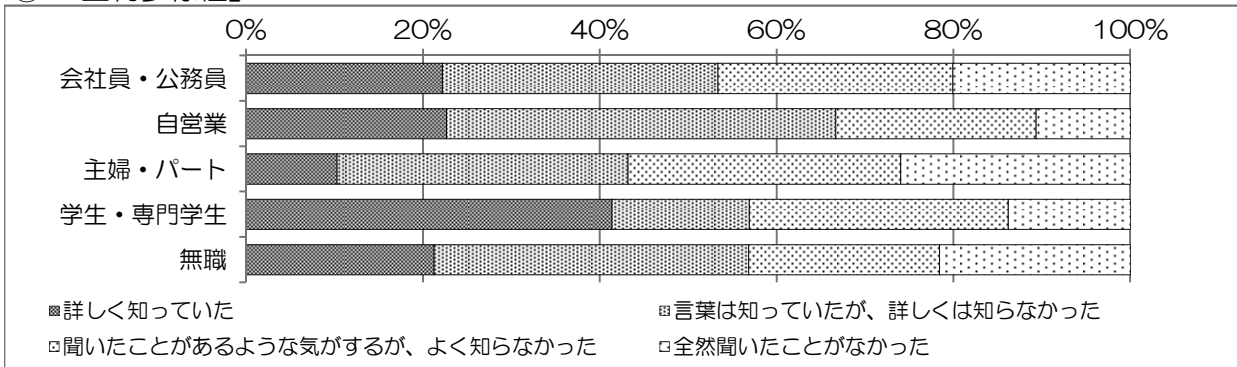


問7 新たな環境問題に対する認知度

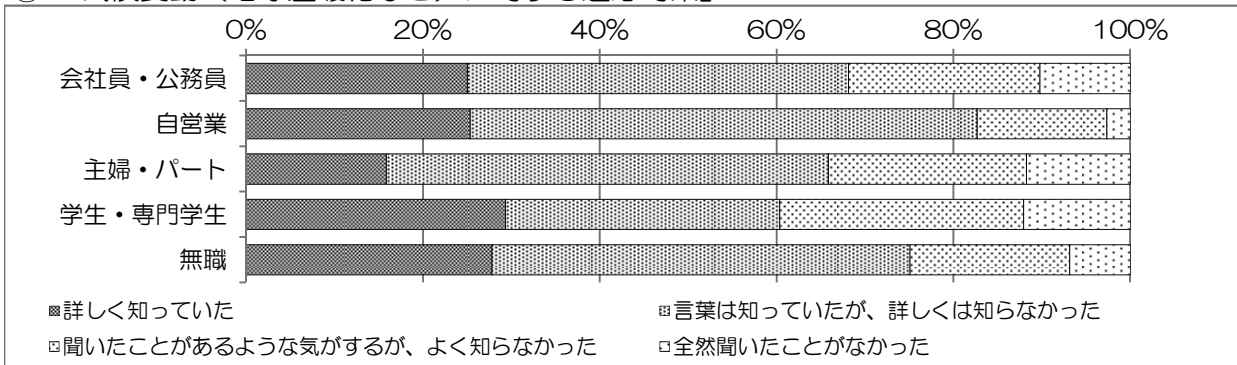
① 「PM2.5」



② 「生物多様性」

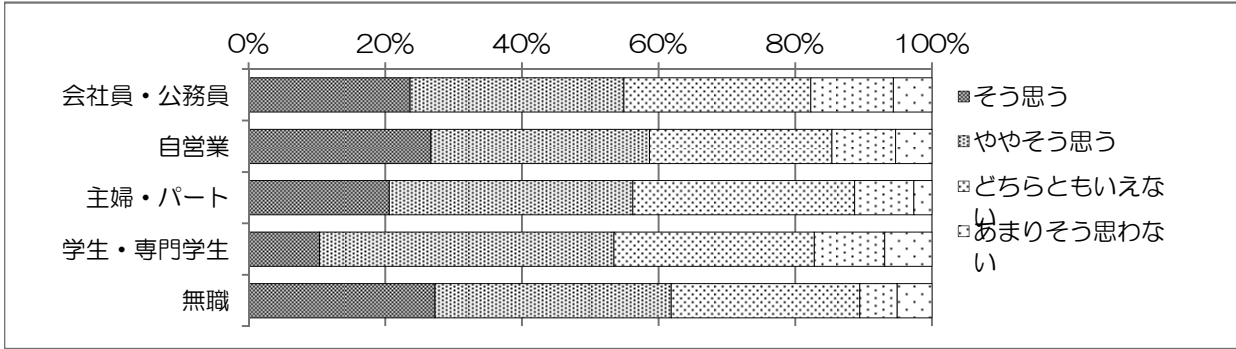


③ 「気候変動（地球温暖化など）に対する適応対策」

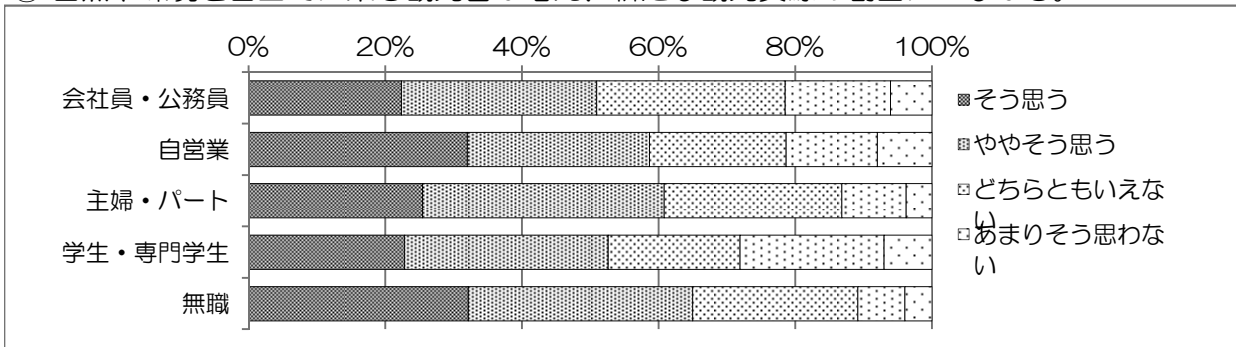


問8 札幌市と市民が一体となって環境問題の解決に取り組むことによる波及効果について

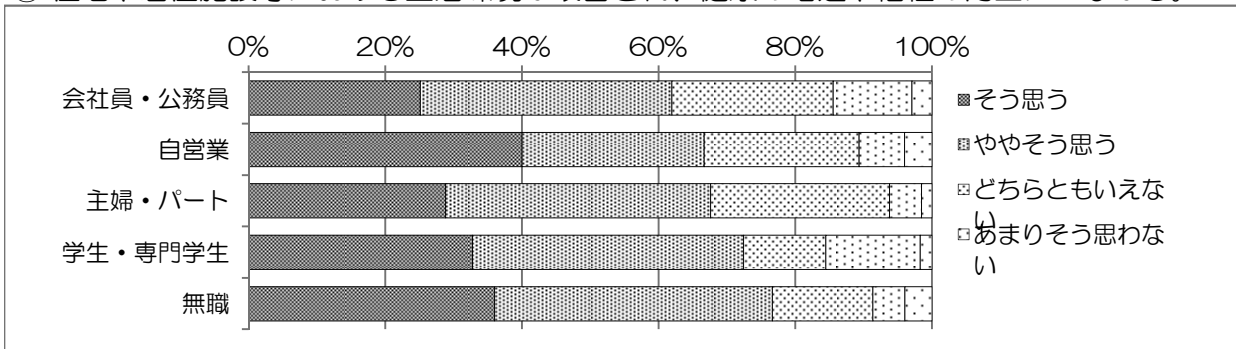
① 新たな技術の普及や雇用の創出などの経済波及効果につながる。



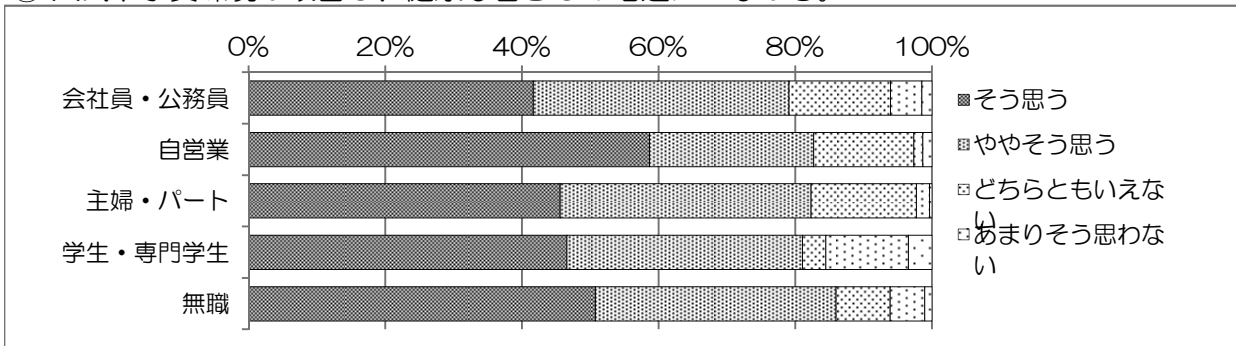
② 自然や環境を目当てに来る観光客が増え、新たな観光資源の創出につながる。



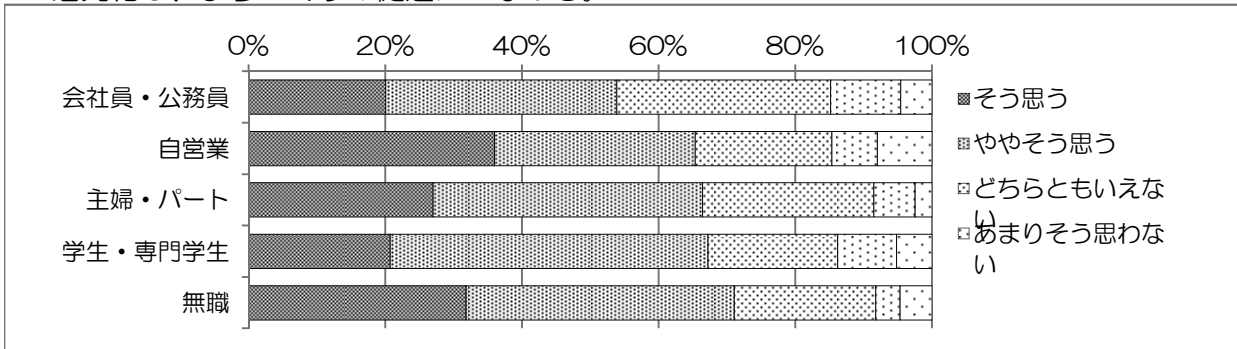
③ 住宅や居住施設等における生活環境が改善され、健康の増進や福祉の向上につながる。



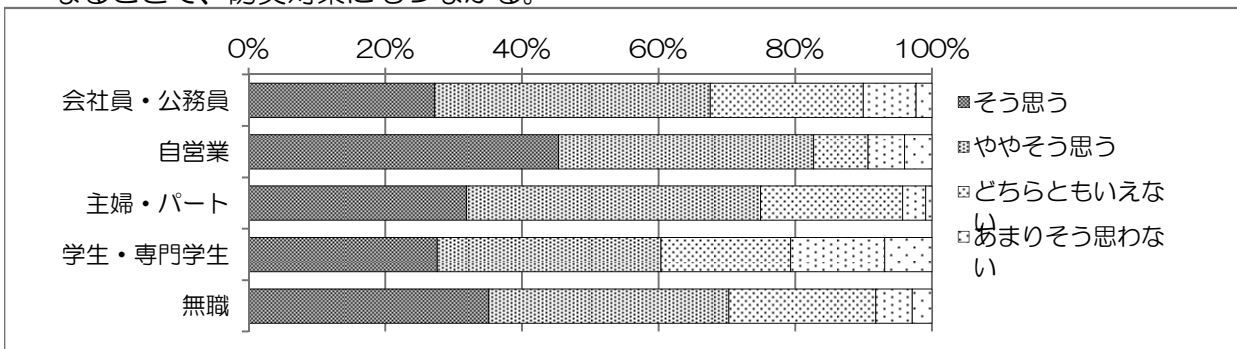
④ 大気や水質環境が改善し、健康な暮らしの増進につながる。



⑤ 町内会や市民団体と地域住民との関わりが増えることで、地域コミュニティの活動が活発化し、まちづくりの促進につながる。



⑥ 太陽光発電やコージェネレーション設備などの導入が進み、災害時の電源確保になることで、防災対策にもつながる。



⑦ 自動車利用を減らすために公共交通網が整備され、高齢者や子どもなど誰もが使いやすい移動手段の確保をすれば、魅力ある住みやすい都市づくりにつながる。

